

ユーザーマニュアル

ネットワークビデオレコーダー

NVR

第1章 製品概要.....	1
1.1 リアパネル.....	1
1.2 リモコン（参考用）.....	2
第2章 NVRのインストールと接続.....	3
2.1 HDDの取り付け.....	3
2.2 接続図.....	4
2.3 電源接続.....	4
第3章 NVRの共通操作.....	5
3.1 付属のマウスを使う.....	5
3.2 仮想キーボードを使う.....	5
3.3 パスワード.....	6
第4章 NVRのスタートアップ.....	7
4.1 スタートウィザード.....	7
4.1.1 スタートウィザード.....	7
4.1.2 ネットワーク構成.....	7
4.1.3 日時.....	8
4.1.4 IPカメラ.....	10
4.1.5 ディスク.....	12
4.1.6 解像度.....	12
4.1.7 モバイル.....	13
4.1.8 概要.....	13
4.2 ライブビュー画面の概要.....	14
4.2.1 カメラクイックツールバー.....	15
4.2.2 タスクバー.....	16
4.2.3 スタートメニュー.....	16
4.2.3.1 ロック解除とロック画面.....	17
4.2.3.2 シャットダウン.....	17
第5章 NVRシステムセットアップ.....	19
5.1 チャンネル.....	19
5.1.1 チャンネル.....	19
5.1.1.1 チャンネル構成.....	19
5.1.1.2 ワイヤレスカメラ.....	20
5.1.1.3 IPチャンネル.....	20
5.1.1.4 プロトコル管理.....	22
5.1.2 ライブ.....	23
5.1.3 画像制御.....	24
5.1.4 PTZ.....	26
5.1.4.1 PTZ制御.....	27
5.1.5 モーション.....	28

5.1.6	アラーム	アル	29
5.1.7	PIR		30
5.1.8	抑止力		31
5.1.9	ビデオカバー		33
5.1.10	インテリジェント		33
5.1.10.1	PID (周辺侵入検知システム)		34
5.1.10.2	LCD (ラインクロッシング検出)		36
5.1.10.3	SOD (静止物検出)		38
5.1.10.4	PD (歩行者検知)		40
5.1.10.5	FD(顔検出)		42
5.1.10.6	CC (クロスカウンティング)		44
5.1.10.7	サウンドディテクション		47
5.1.10.8	オクルージョン検出		48
5.1.10.9	インテリジェント・アナリシス		48
5.1.10.10	インテリジェント・スケジュール		49
5.2	記録		50
5.2.1	エンコード		50
5.2.2	記録		52
5.2.2.1	記録		52
5.2.2.2	レコードスケジュール		53
5.2.3	キャプチャー		54
5.2.3.1	キャプチャー		54
5.2.3.2	キャプチャーのスケジュール		55
5.3	アラーム		55
5.3.1	モーション		55
5.3.2	PIR		55
5.3.3	I/O		56
5.3.4	インテリジェント		57
5.3.4.1	ピッド		57
5.3.4.2	液晶ディスプレイ		58
5.3.4.3	SOD		59
5.3.4.4	PD		59
5.3.4.5	FD		60
5.3.4.6	CC		61
5.3.4.7	サウンドディテクション		62
5.3.4.8	オクルージョン検出		62
5.3.5	PTZ連動		63
5.3.6	例外		64
5.3.7	アラームスケジュール		65
5.4	AI		66
5.4.1	セットアップ		66
5.4.1.1	顔検出		66
5.4.1.2	人・車両検知		68

5.4.1.3 スケジュール.....	アル.....	69
5.4.2 レコグニション.....		69
5.4.2.1 モデル構成.....		69
5.4.2.2 データベース管理.....		70
5.4.3 アラーム.....		72
5.4.3.1 顔認識.....		72
5.4.3.2 人体検知・車両検知.....		74
5.4.4 統計情報.....		76
5.4.4.1 顔認識.....		76
5.4.4.2 人・車両検知.....		76
5.5 ネットワーク.....		77
5.5.1 一般.....		77
5.5.1.1 一般.....		77
5.5.1.2 PPPoE.....		78
5.5.1.3 ポートコンフィギュレーション.....		79
5.5.2 DDNS.....		80
5.5.3 電子メール.....		81
5.5.3.1 電子メール設定.....		81
5.5.3.2 メールスケジュール.....		82
5.5.4 FTP.....		83
5.5.5 IPフィルター.....		84
5.6 デバイス.....		85
5.6.1 ディスク.....		85
5.6.1.1 ディスクグループ.....		88
5.6.1.2 s.m.a.r.t.....		89
5.6.1.3 RAID.....		90
5.6.2 クラウド.....		99
5.7 システム.....		100
5.7.1 一般.....		100
5.7.1.1 一般.....		100
5.7.1.2 日付と時刻.....		101
5.7.1.3 出力構成.....		103
5.7.2 マルチユーザー.....		103
5.7.2.1 パスワードの変更.....		104
5.7.2.2 新規ユーザーの追加.....		104
5.7.2.3 ユーザー権限の設定.....		106
5.7.3 メンテナンス.....		107
5.7.3.1 ログ.....		107
5.7.3.2 ロードデフォルト.....		108
5.7.3.3 アップグレード.....		109
5.7.3.4 パラメータ管理.....		109
5.7.3.5 オートリポート.....		110
5.7.4 IPカメラ メンテナンス.....		110

5.7.4.1 IPカメラのアップグレード	アル	111
5.7.4.2 IPカメラの初期設定値を読み込む		111
5.7.4.3 リポートIPC		112
5.7.4.4 パラメータ管理		112
5.7.5 システム情報		113
5.7.5.1 情報		113
5.7.5.2 チャンネル情報		113
5.7.5.3 記録情報		114
5.7.5.4 ネットワーク状態		114
第6章 検索・再生・バックアップ		115
6.1 検索機能を使う		115
6.1.1 動画検索・再生全般		117
6.1.1.1 ビデオクリップバックアップ		118
6.1.2 イベント検索・再生・バックアップ		120
6.1.2.1 イベント再生コントロール		121
6.1.3 サブピリオド再生		122
6.1.4 スマート		123
6.1.5 タグ		124
6.1.6 外部ファイル		125
6.1.7 画像検索・閲覧		125
6.1.7.1 ピクチャレビューコントロール		127
6.1.8 スライス		128
6.1.9 AI		129
6.1.9.1 顔		129
6.1.9.2 人・車両		131
6.1.9.3 リピーター		132
6.1.9.4 フェイス・アテンダンス		132
第7章 Webクライアントによるリモートアクセス		134
7.1 基本システム環境要件		134
7.2 Webプラグインのダウンロードとインストール		134
7.3 ウェブクライアントマネージャー		137
7.3.1 ライブインターフェース		137
7.3.2 再生		139
7.3.2.1 再生操作ボタン		140
7.3.3 リモート設定		142
7.3.4 ローカル設定		142
第8章 バックアップした映像をPC/Macで見る		143
第9章 モバイル端末を使ったリモートアクセス		146
第10章 付録		148
10.1 トラブルシューティング		148

10.2 使用状況メンテナンス.....	アル.....	149
10.3 付属品（参考出品）.....		150

アフリエイトインストールストラクシヨソ

人身事故を防ぐため、また機器や他の接続機器の破損を防ぐために、以下の安全上の注意事項をよくお読みください。

1. 電源（注：付属またはメーカー指定の電源をご使用ください。）

指定外の電源で装置を運転しないでください。

2. NVRの開口部には、絶対に物を押し込まないでください。

感電やその他の事故を防ぐため、NVRの開口部には絶対に物を押し込まないでください。

3. 埃の多い場所に機器を置かないでください

埃の多い場所に機器を置かないでください。

4. 雨や湿気の多い場所に機器を置かないでください。

地下室などの湿気の多い場所には置かないでください。万一、水につかった場合は、電源プラグを抜いて、すぐにお買い求めの販売店にご連絡ください。

5. 機器の表面を清潔に保ち、乾燥させる

柔らかい湿らせた布でNVRの外装を清掃してください（液体のエアゾール・クリーナーは使用しないでください）

6. 異常が見つかった場合は操作しないでください

NVRから異臭や異音がする場合は、電源ケーブルを抜き、正規販売店またはサービス・センターにご連絡ください。

7. 上部カバーを取り外さないでください

警告感電を避けるため、NVRのキャップを取り外さないでください。

8. 取り扱い注意

硬いものにぶつかるなどして、NVRが正常に動作しない場合は、正規販売店に修理または交換をご依頼ください。

9. 標準リチウム電池を使用する（注：付属またはメーカー指定の電池を使用すること）

電源遮断後、システムクロックが継続して動作しない場合は、メインボード上の標準3Vリチウム電池を交換してください。

警告電池を交換する前にNVRの電源を切ってください、さもないと重大な感電の恐れがあります。使用済みの電池は適切に廃棄してください。

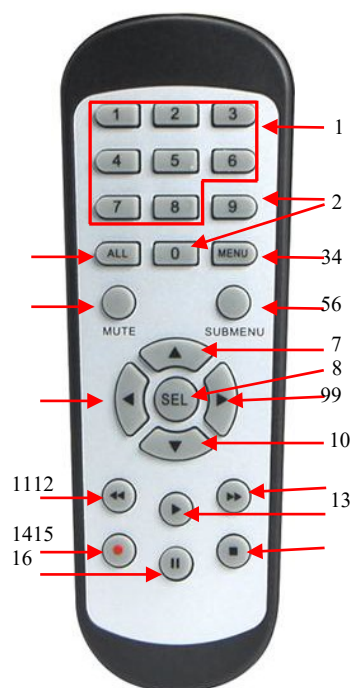
10. 風通しのよい場所に設置する

NVRシステムにはHDDが含まれており、動作中に大量の熱を発生します。そのため、動作中にシステムを冷却するための換気口（上面、底面、両側面、裏面）を塞がないようにしてください。風通しの良い場所に機器を設置または配置してください。

11. 付属の電源アダプタは、NVR1セットにしか使用できません。それ以上の機器を接続すると、電力不足でNVRが何度も再起動する可能性があります。

12. 水滴や飛沫が機器にかからないようにする。花瓶などの水を含んだものを機器の上に置かないでください。

1.2 リモコン (参考用)



いいえ。	アイコン	商品説明
1	1-8	数字キー を押して、チャンネル1~8を表示する
2		数字キー
3	すべて	を押して全チャンネルを表示する マルチディスプレイモード
4	メニュー	を押して、メインメニューに入る、またはメインメニューを終了する
5	ミュート	ミュートのオン/オフ
6	サブメニュー	サブメニューへ移動
7		上矢印キー：音量増加
8	セル	を押して、選択したメニュー項目に入り 設定を編集する
9		左/右キー：パラメータを減少/増加させる コントロールバーの値。
10		下矢印キー；音量減少
11		動画再生中に押すと、巻き戻し
12		動画再生中に押すと、早送りされます
13		を押して、録画したビデオを再生したり、 入力したりします。 レコーディングサーチメニュー
14		を押して、手動録音を開始します。
15		を押して、手動録画を停止するか ビデオ再生
16		を押すと、ビデオの再生を一時停止したり、 入力したりすることができます。 フレームプレイバックモード

第2章 NVRのインストールと接続

2.1 HDDの取り付け

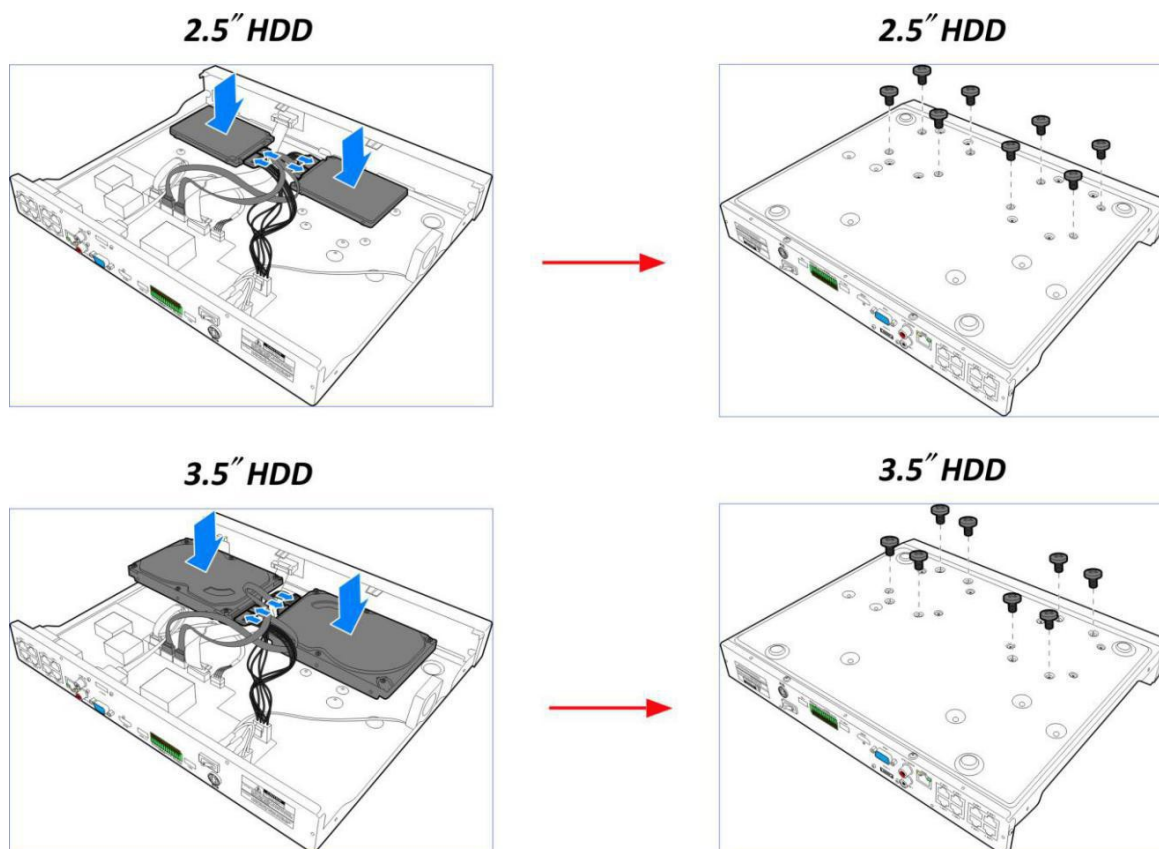
このNVRは、2台の3.5インチまたは2.5インチSATAハードディスク・ドライブをサポートします。

注意：機器の電源を入れたままハードディスクドライブの取り付け、取り外しを行わないでください。

HDDの取り付け。

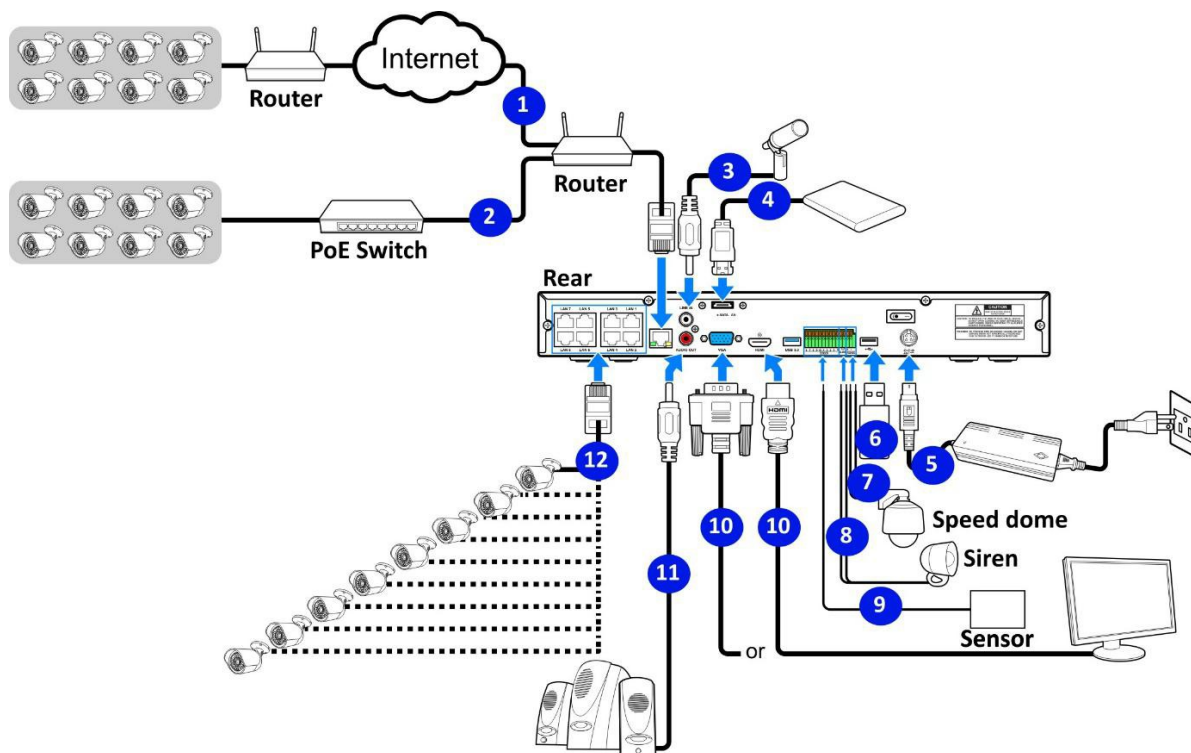
a) 2台のハードディスク・ドライブにデータ・ケーブルと電源ケーブルを接続し、ハードディスク・ドライブをNVRケースに設置します。

b) NVRケースを慎重に反転させ、8本のネジでハードディスク・ドライブをNVRに固定します。



注：上記の手順はあくまで参考です。購入されたNVRによって、実際の操作方法は異なる場合があります。

2.2 接続図



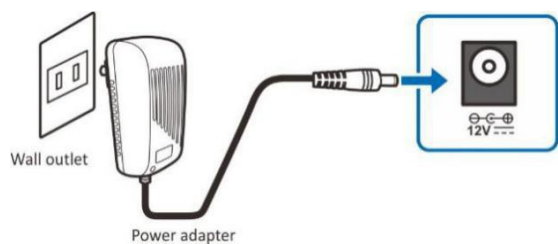
講演者

注：上記の図は参考用です。実際の接続は、購入されたNVRによって異なる場合があります。

2.3 電源接続

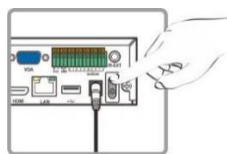
注意NVR に付属の電源アダプターのみを使用してください。

電源アダプターの一端をNVRの背面にある電源コネクタに接続します。電源アダプターのもう一



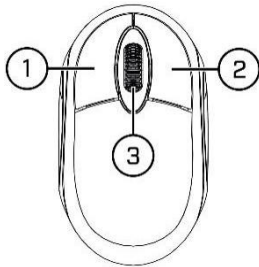
方の端を壁のコンセントに差し込みます。

特定の機種では、電源スイッチを押して電源を入れる必要がある場合があります。



第3章 NVRの共通操作

3.1 付属のマウスを使用する



1. 左ボタン。

- クリックすると、メニューが選択できます。
- 分割表示でライブ視聴中に、チャンネルをダブルクリックすると全画面表示されます。もう一度ダブルクリックすると、分割画面に戻ります。
- ライブビュー画面上のチャンネルをクリックすると、カメラクイックツールバーが表示されます。
- メニューモードでのクリック&ホールドによるスライダーやスケールのドラッグ操作

2. 右ボタン。

- 1回クリックすると、ライブビューイング画面にタスクバーが表示されます。[4.2.2タスクバーでタスクバーを見る](#)
- メニューの中で、クリックするとメニューに戻る／閉じることができます。

3. スクロールホイール

- メニューでは、スクロールしてメニューの内容を上下に移動することができます。
- 音量調節のホイールにカーソルを合わせてスクロールすると、システムの音量を上げ下げすることができます。

3.2 バーチャルキーボードを使う

データ入力が必要なときは、画面に自動的にバーチャルキーボードが表示されます

クリックすると、キーボードが大文字に切り替わり、句読点が多く表示されます



クリックすると文字が削除されます

クリックすると

カーソルを右に移動する 5

カーソルを左へ移動

3.3 パスワード

NVRを初めて実行する場合、プライバシー保護のため、すぐにご自身のパスワードを設定する必要があります。ユーザー名とパスワードは必ず記録し、安全な場所に保存してください。

言語OSDの言語を選択する

デバイスID：（）内にデバイスIDを入力します。デフォルトのIDは000000です。デバイスIDの詳細は、[5.6.1 一般](#)をご覧ください。

新しい管理者名：自分で管理者名を設定する場合。

New Admin Password：自分でパスワードを設定する場合。パスワードは8文字の組み合わせが必要です。

Confirm Password：自分のパスワードをもう一度入力します。

Apply をクリックして設定を確認し、ログインインターフェイスに進みます。ユーザー名

とパスワードを入力して、NVRシステムに**ログイン**します。

注：パスワードを忘れた場合、システムにログインすることができませんので、パスワードの再設定は販売店にお問い合わせください。

さい。

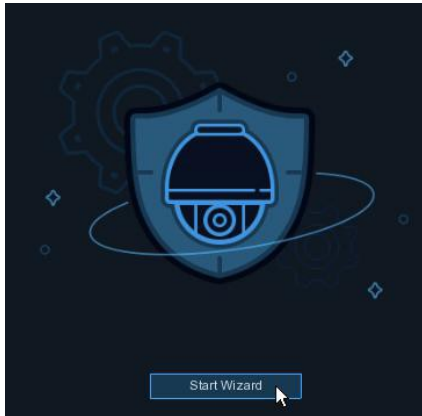
第4章 NVR のスタートアップ^{アル}

4.1 スタートウィザード

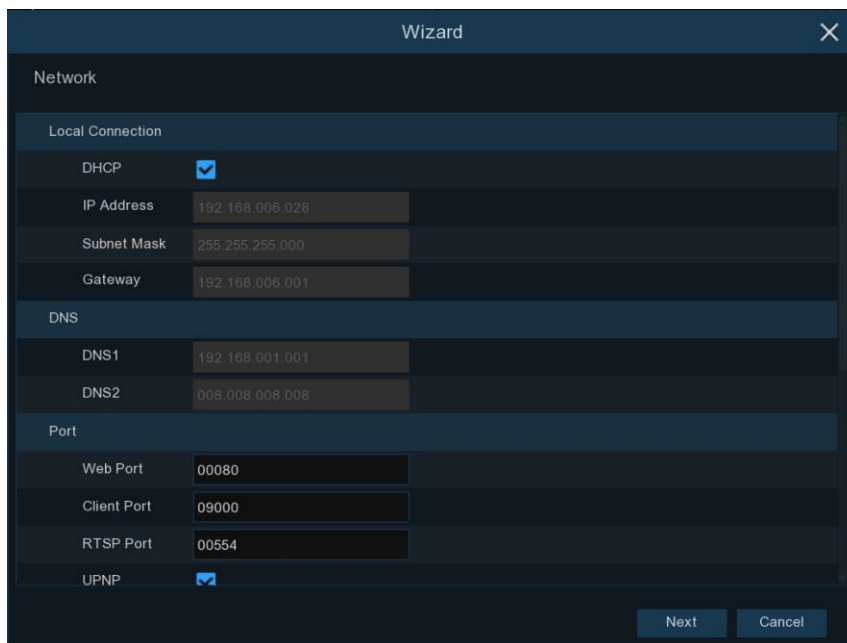
スタートアップ・ウィザードは、システムを構成し、NVRを迅速に動作させるのに役立ちます。

4.1.1 スタートウィザード

[ウィザードの開始](#)をクリックして次のステップに進みます。



4.1.2 ネットワーク構成

A screenshot of a 'Wizard' window titled 'Network'. It contains several sections: 'Local Connection' with a checked 'DHCP' box and fields for 'IP Address' (192.168.006.028), 'Subnet Mask' (255.255.255.000), and 'Gateway' (192.168.006.001); 'DNS' with fields for 'DNS1' (192.168.001.001) and 'DNS2' (008.008.008.008); 'Port' with fields for 'Web Port' (00080), 'Client Port' (09000), and 'RTSP Port' (00554); and a checked 'UPNP' box. 'Next' and 'Cancel' buttons are at the bottom right.

DHCPを使用できるルーターに接続する場合は、**DHCP**ボックスにチェックを入れてください。ルーターは、NVRのすべてのネットワーク・パラメータを自動的に割り当てます。ネットワークが手動で以下のパラメータに対応している場合を除きます。

IPアドレス。IPアドレスはネットワークでNVRを識別します。0から255までの4つの数字のグループとピリオドで区切られたものです。例えば、「192.168.001.100」です。

サブネットマスク：サブネットマスクは、ネットワークで使用できるIPアドレスの範囲を定義するネットワークパラメータです。IPアドレスが住んでいる通りのようなものなら、サブネットマスクは近所のようなものです。サブネットマスクは、ピリオドで区切られた4つの数字で構成されています。例えば、「255.255.000.000」のようになります。

ゲートウェイ。このアドレスにより、NVRはインターネットにアクセスすることができます。ゲートウェイの形式は

のアドレスは、IPアドレスと同じです。例えば、「192.168.001.001」のように。

DNS1/DNS2：DNS1はプライマリDNSサーバ、DNS2はバックアップDNSサーバです。通常はDNS1サーバーのアドレスを入力するだけで十分です。

ポート

ウェブ・ポート：NVRにリモートでログインする際に使用するポートです(例: ウェブ・クライアントを使用)。デフォルトのポート80がすでに他のアプリケーションで使用されている場合は、変更してください。

クライアント・ポート：NVRが情報を送信するために使用するポートです(モバイル・アプリを使用するなど)。デフォルトのポート9000がすでに他のアプリケーションによって使用されている場合は、変更してください。**RTSPポート**：NVRが他のデバイスにリアルタイム・ストリーミングを送信するために使用するポートです(例: ストリーミング・メディア・プレーヤーを使用)。

UPnP：Web Clientを使用してNVRにリモートでログインする場合、ルーターでポート転送を完了させる必要があります。お使いのルーターがUPnPをサポートしている場合、このオプションを有効にします。この場合、ルーターでポート転送を手動で設定する必要はありません。ルーターがUPnPをサポートしていない場合、ルーターでポート転送を手動で完了することを確認してください。

4.1.3 日付/時間

このメニューでは、日付、時刻、日付形式、時刻形式、タイムゾーン、NTP、サマータイムを設定します。

日付と時間

カレンダーアイコンをクリックして、現在のシステム日付を設定します。



日付です。 カレンダーのアイコンをクリックして、システムの日付を設定します。

時刻： クリックすると、システム時刻を設定できます。

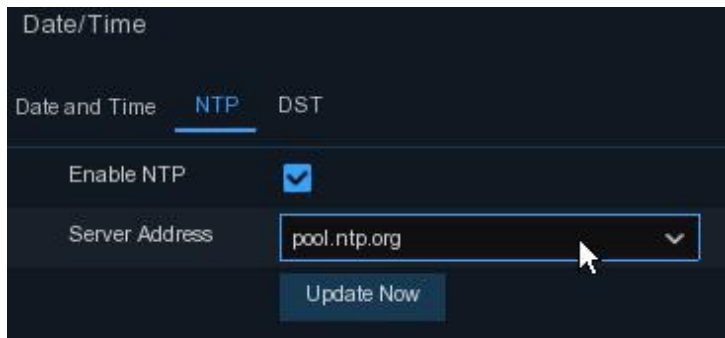
日付の形式。 ドロップダウンメニューから、お好みの日付形式をお選びください。

時刻の表示形式。 24時間表示と12時間表示から選択できます。

タイムゾーン：正しいタイムゾーンを設定します。

エヌティーピー

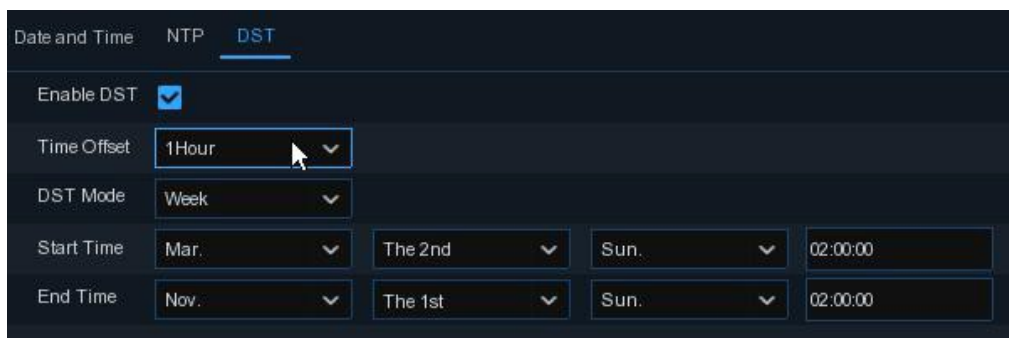
NTPとは、Network Time Protocolの略で、ネットワークタイムプロトコルのことです。この機能により、インターネット経由でNVRの日付と時刻を自動的に同期させることができます。そのため、NVRはインターネットに接続されている必要があります。



NTP」にチェックを入れ、NTPサーバーを選択します。

ダウンロードコンテンツ

DSTとは、Daylight Savings Time（夏時間）の略です。



DST：お住まいの地域でサマータイムが実施されている場合、有効にします。

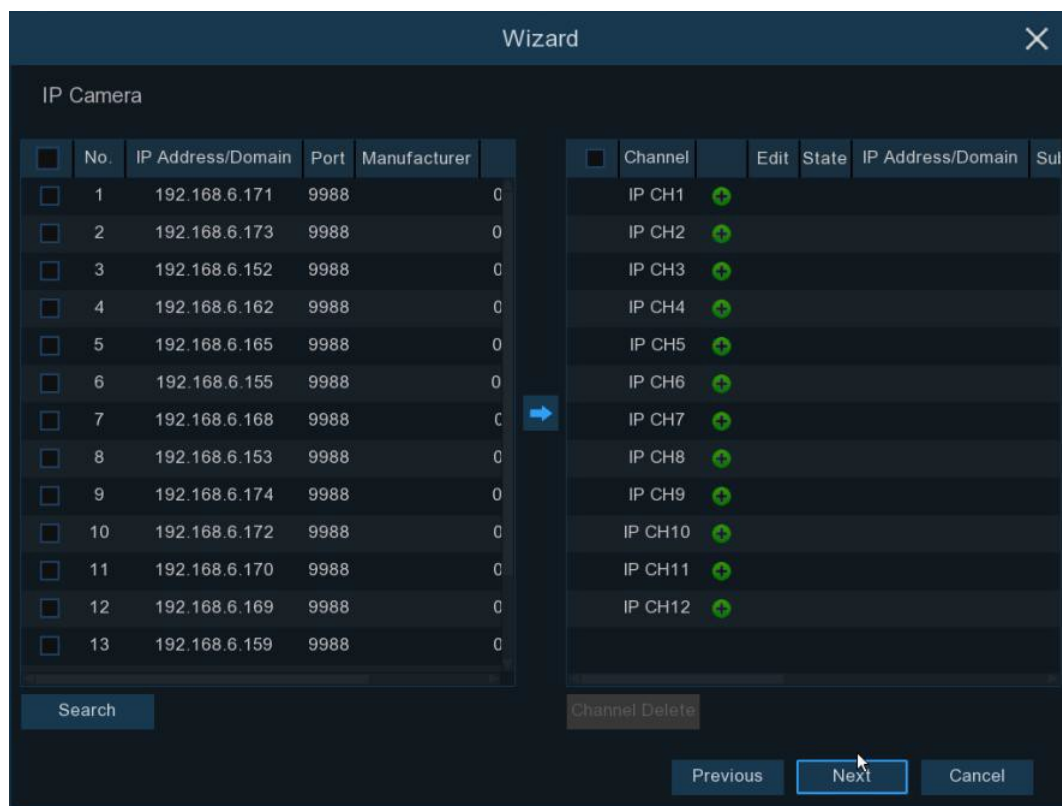
タイムオフセット。 夏時間をオフセットする時間を選択します。

タイムモード。 サマータイムを週単位で設定するか、日単位で設定するかを選択します

開始時刻/終了時刻：サマータイムの開始時刻と終了時刻を設定します。

4.1.4 IPカメラ

このメニューでは、NVRにIPカメラを追加することができます。



検索 をクリックすると、同じネットワーク内の IP カメラが検索されます。追加したいIPカメラを選択し、 アイコンをクリックしてNVRに追加します。

カメラのユーザー名とパスワードを入力し、カメラを追加します。

また、**+** ボタンをクリックすると、1つのチャンネルに個別のIPカメラを追加することができます。

No	IP Address/Domain	Port	Manufacturer	Device Type	MAC Address	Software Version
1	192.168.1.151	9988		IP Camera	B7-91-06-21-D9-1F	
2	192.168.1.152	9988		IP Camera	02-18-09-3B-A7-BB	
3	192.168.1.153	9988		IP Camera	E1-A1-66-94-46-B9	
4	192.168.1.154	9988		IP Camera	CF-C1-11-5A-CA-7A	
5	192.168.1.155	9988		IP Camera	B3-5B-52-54-0B-1D	
6	192.168.1.156	9988		IP Camera	6B-EC-57-ED-06-19	
7	192.168.1.157	9988		IP Camera	74-E4-95-CE-40-D3	
8	192.168.1.158	9988		IP Camera	E0-56-51-B3-8E-58	
9	192.168.1.159	9988		IP Camera	63-7A-76-1A-58-95	
10	192.168.1.160	9988		IP Camera	05-DA-0A-16-EA-CA	

IP Address/Domain	<input type="text" value="192.168.1.151"/>
Alias	<input type="text" value="CH17"/>
Position	<input type="text" value="Left-Top"/> ▼
Port	<input type="text" value="9988"/>
Protocol	<input type="text" value="Private"/> ▼
User Name	<input type="text" value="admin"/>
Password	<input type="password"/> <input type="checkbox"/> Show Password
Bind channel	<input type="text" value="CH17"/> ▼

Search Add Cancel

検索 ボタンをクリックして IP カメラを検索し、デバイスリストで IP カメラをクリックします。

IP Address/Domain: IPカメラのIPアドレスまたはドメイン名

エイリアス IPカメラの名前

位置を指定します。 画面上にカメラ名を表示する位置。

ポート IPカメラのポート

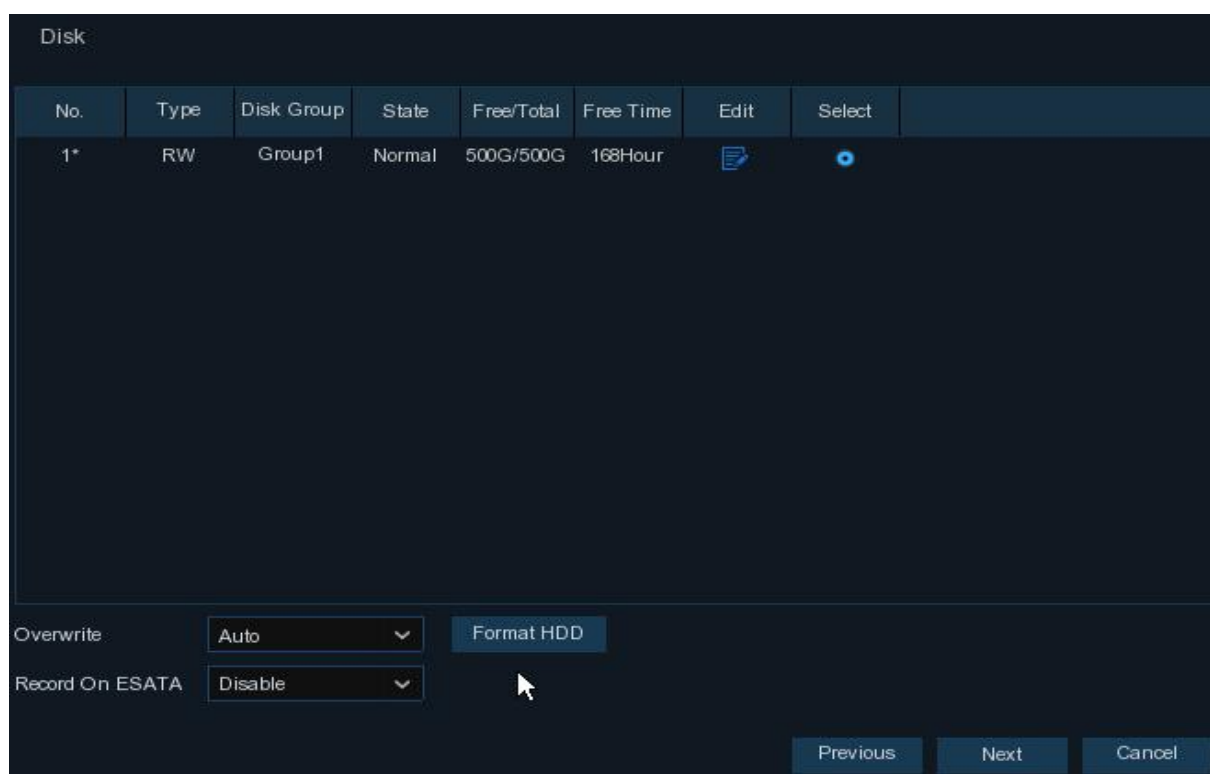
プロトコル IPカメラのプロトコルをドロップダウンメニューから選択します。

ユーザー名 IPカメラのユーザー名

パスワード: IPカメラのパスワード

バインドチャンネルです。 アタッチしたいNVRのチャンネルを選択します。

4.1.5 ディスク



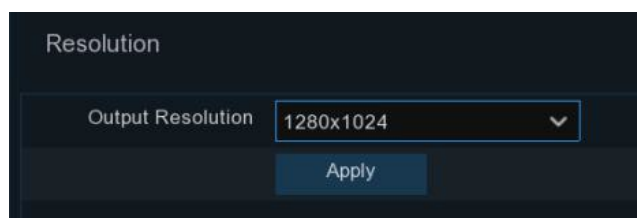
HDDを初めてNVRにインストールする場合、フォーマットする必要があります。HDDを選択し、**[HDDのフォーマット]**ボタンをクリックして、HDDをフォーマットします。

上書きするこのオプションは、HDDが一杯になったときに、HDD上の古い録画に上書きするために使用します。例えば、7日というオプションを選択した場合、過去7日間の録画だけがHDDに保存されます。古い録画を上書きしないようにするには、**[無効]**を選択します。この機能を無効にした場合は、定期的にHDDの状態を確認し、HDDが満杯になっていないことを確認してください。

ESATAで録画: NVRがリア・パネルにe-SATAポートを搭載している場合、e-SATA HDDにビデオを録画できるようにすることが可能です。

4.1.6 解像度

お使いのモニターに合った出力解像度をお選びください。NVRは、システムの起動時にモニターの最適な解像度に一致するように出力解像度を自動的に調整することをサポートします。



4.1.7 モバイル

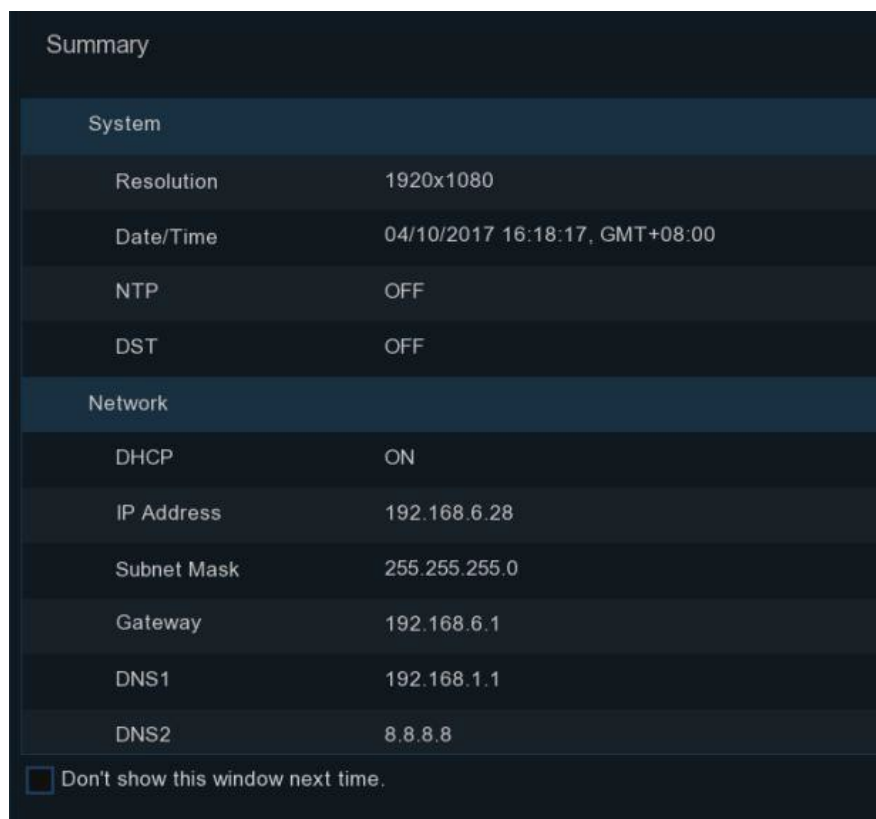
NVRにP2P IDが付属している場合、モバイル・アプリでQRコードをスキャンしてNVRをリモートで表示することができます。



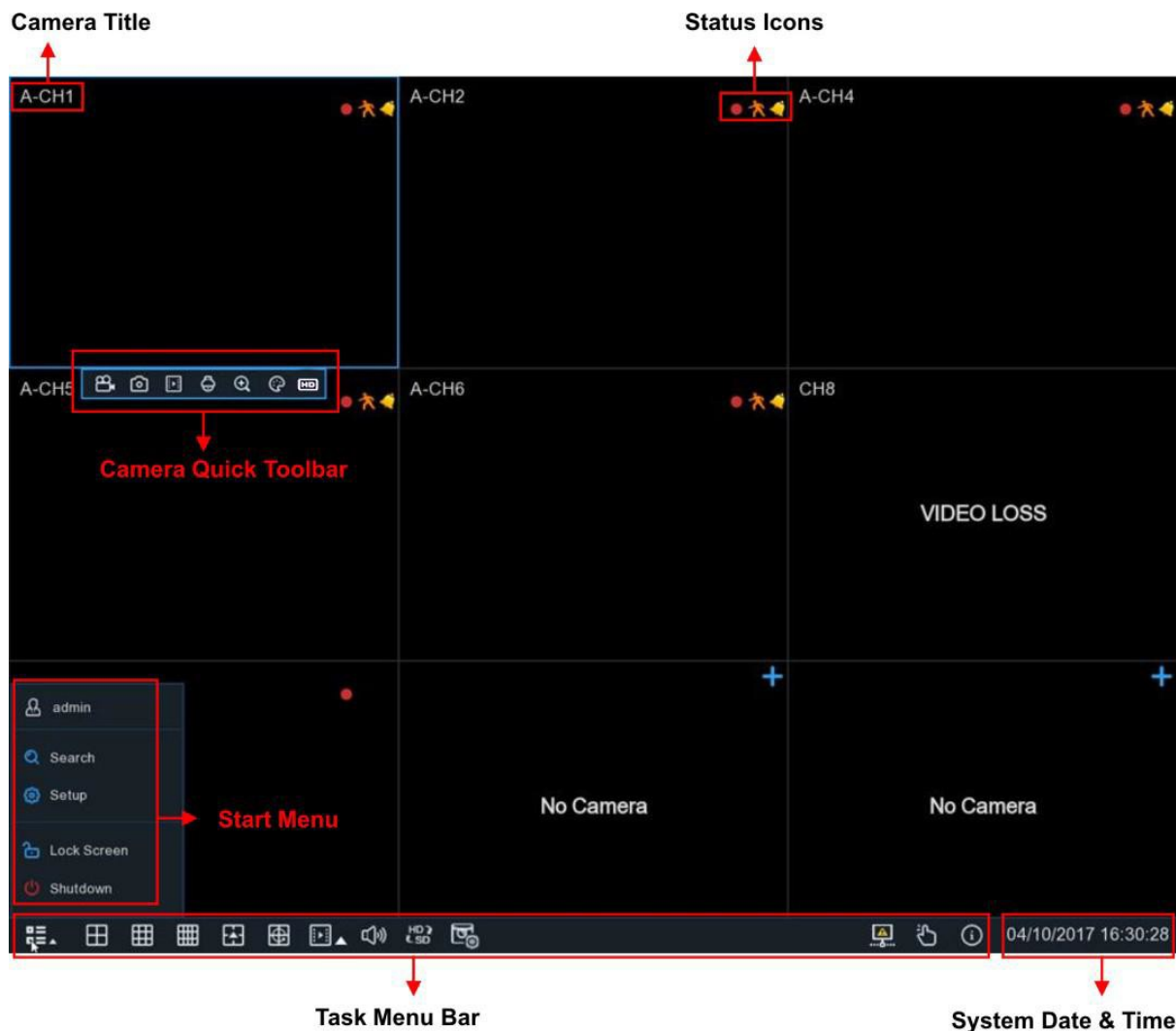
4.1.8 概要

スタートウィザードで設定したシステム概要情報を確認し、ウィザードを終了することができます。

次のシステム再起動時にスタートウィザードを表示しない場合は、「[次回からこのウィンドウを表示しない](#)」にチェックを入れてください。完了」ボタンをクリックして、保存して終了します。



4.2 ライブビュー画面概要



カメラタイトル

カメラのタイトルを表示する場合


A-: 接続されているカメラがAHDカメラであることを示します。


T-: 接続されているカメラが TVI カメラであることを示す **C-**


: 接続されているカメラが CVI カメラであることを示す **IP**


: 接続されているカメラが IP カメラであることを示す


ステータスアイコン

 これは、NVRが現在録画中であることを示します。

 このアイコンは、カメラが動きを検知したときに表示されます。

 このアイコンは、外部I/Oアラーム装置が作動したことを示しま

 す このアイコンは、HDDが動作するためのエラーであること

 を示します




このアイコンは、HDDが未フォーマット
であることを示します。このアイコンは
、HDDがいっぱいであることを示します
。

のアイコンは、HDDが読み取り専用であることを示しています。

VIDEO LOSS : アナログカメラが断線している。

カメラがない。IP カメラが切断されています。


デコードに失敗しました。NVRはこの種のIPカメラ圧縮規格をサポートしていませんので、H.264圧縮規格に変更してください。


+ クリックすると、IP カメラを追加するための **Quick Add** メニューが表示されます  クリックすると、現在の IP カメラを編集できます。



4.2.1 カメラクイックツールバー



ライブビュー時に、接続されているカメラ上でマウスの左ボタンをクリックすると、カメラクイックツールバーが表示されます。





 クリックすると、そのチャンネルをすぐに手動で録画します。手動録画中の場合、アイコンは赤色で表示されます。もう1回クリックすると手動録画を停止します。

 クリックすると、現在のカメラ画像のスナップショットが保存されます。この機能を使用するには、手動キャプチャが有効になっている必要があります。マニュアルキャプチャーの有効化については、「[5.2.3.1 キャプチャー](#)」を参照してください。

 このチャンネルの最新 5 分間の録画を再生する  PTZ
コントロールパネルに入るにはクリックします。


 クリックするとチャンネルが拡大されます。  のアイコンが表示されたら、マウスの左ボタンを押したまま、ズームインしたい範囲をドラッグします。



 クリックすると、そのチャンネルの画像色を調整できます。画像のHUE、BRIGHT、CONTRAST、SATURATIONを調整することができます。

 ライブビューのビデオストリームをHDとSDの間で切り替えることができます。HDはメインストリームライブビュー、SDはサブストリームライブビューです。


4.2.2 タスクバー






 クリックすると、スタートメニューが表示されます



 クリックするとライブビューのレイアウトを変更できます  クリックするとライブビューのレイアウト



をさらに選択できます。

 クリックすると、チャンネルを順番に表示します

 クイックプレイバック。全チャンネルの最新録画を最初から再生するか、最新の5S、10S、30S、1Min、5Minから再生を選択することができます。  クリックで音声音量調整


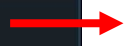








 クリックすると、すべてのIPチャンネルがメインストリームとサブストリームに切り替わります (ライブビューの場合 決議)

 クリックすると、リアルタイムビュー、バランスビュー、スムーズビューが切り替わります。ビュー効果モードは、ビットレートとフレームレートによるライブビューのビデオ品質にのみ影響し、録画品質には影響しません。  手動録画と手動アラームを開始または停止します。

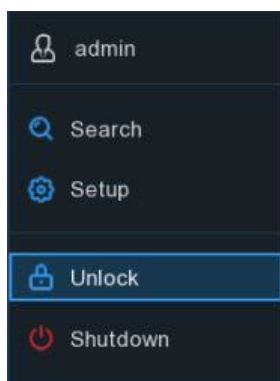
 システム情報、チャンネル情報、記録情報、ネットワークの状態を表示します。  ネットワークが切断されている場合、このアイコンが表示されます。

4.2.3 スタートメニュー


スタートメニューでは、ユーザー切り替え、検索・再生、システム設定メニューへの移行、画面のロック・アンロック、システムのシャットダウン、再起動、ログアウトが可能です。


 admin		ユーザー切り替えのため。マルチユーザーを有効にするには、「 5.6.3 マルチユーザー 」を参照してください。
 Search		検索&プレイバック続きを見る 第6章 検索、再生、バックアップ
 Setup		NVR システムのセットアップ。 第5章 NVRシステム で見ると
 Lock Screen		画面のロック&ロック解除 4.2.3.1 ロック解除とロック画面 について見る。システムのシャットダウン、再起動、ログアウト。 4.2.3.2 シャットダウン について見る。
 Shutdown		

4.2.3.1 ロック解除とロック画面

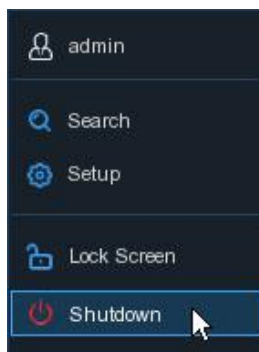


NVRがメニュー操作をしていない間、画面は不正なOSD操作を保護するためにロックされます 1分。

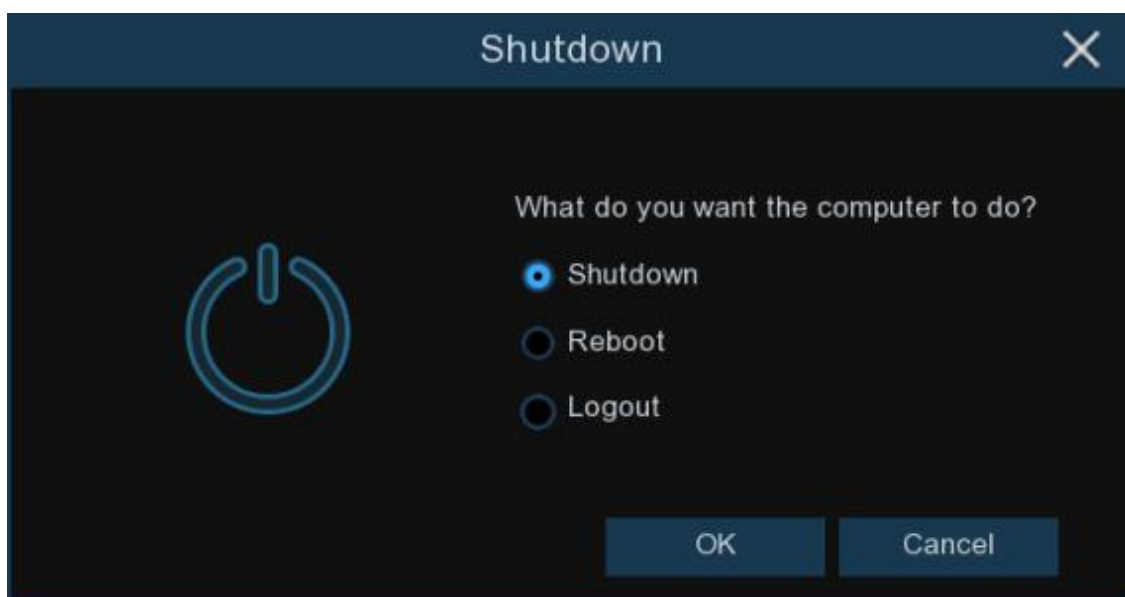
必要であれば、手動で画面操作をロックすることもできます。これを行うには、スターメニューに移動し、ロックスクリーンアイコンをクリックすると、システムがすぐにロックされます。

システムがロックされている場合は、ロック解除アイコンをクリックすることで、システムのロックを解除し、操作を行うことができます。

4.2.3.2 シャットダウン



スターメニューのシャットダウンボタンをクリックし、さらに動かしたい動作をチェックします。**OK**ボタンをクリックすると、認証のために管理者パスワードの入力が要求されます。



ログアウトを選択した場合、ライブビューイング画面は消えます。操作を続けるには、システム

The image shows a dark-themed login interface. It contains the following elements:

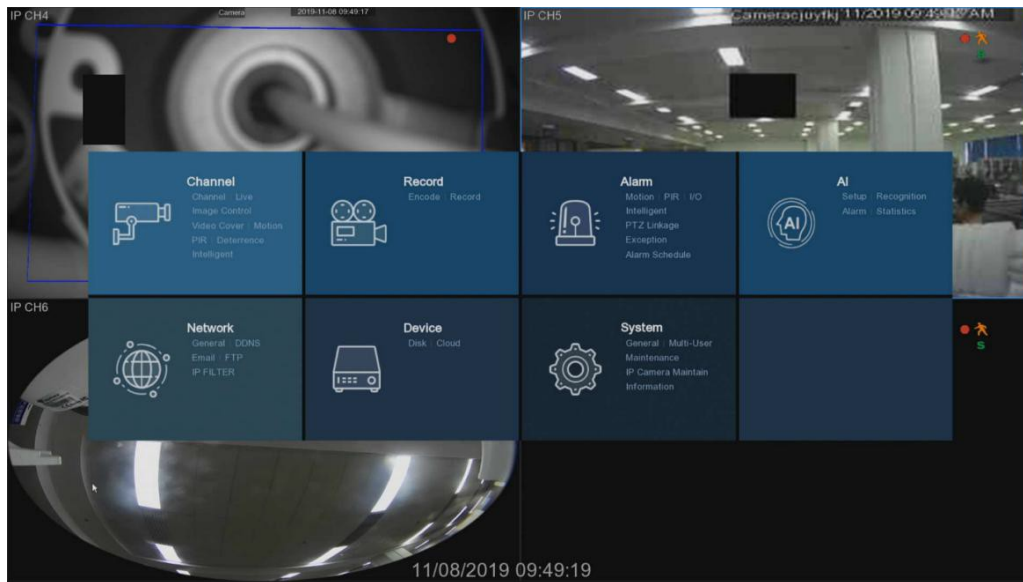
- Language:** A dropdown menu currently set to "ENGLISH".
- Device ID:** A text input field containing "000000" with a "(000000)" label to its right.
- User:** A dropdown menu currently set to "admin".
- Password:** A text input field that is currently empty.
- Show Password:** A checkbox that is currently unchecked.
- Login:** A blue button with the text "Login" centered on it. A mouse cursor is pointing at the bottom center of the button.

ムにログインする必要があります。

第 5 章 NVR システムのセットアップ

NVRのチャンネル、記録、アラーム、ネットワーク、デバイス、システムなどの設定は、以下から行うことができます。

スタートメニューの設定。

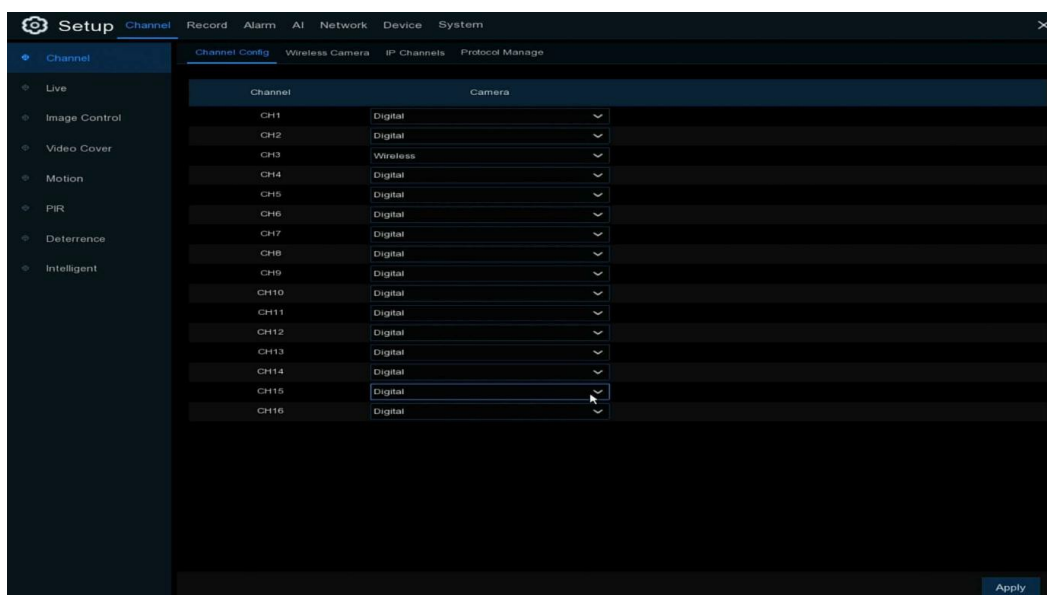


5.1 チャンネル

このセクションでは、カメラの設定、ライブビュー表示、IP カメラの管理、IP カメラの画像調整、PTZ 設定、モーション設定、変換モードなどを行うことが許可されています。

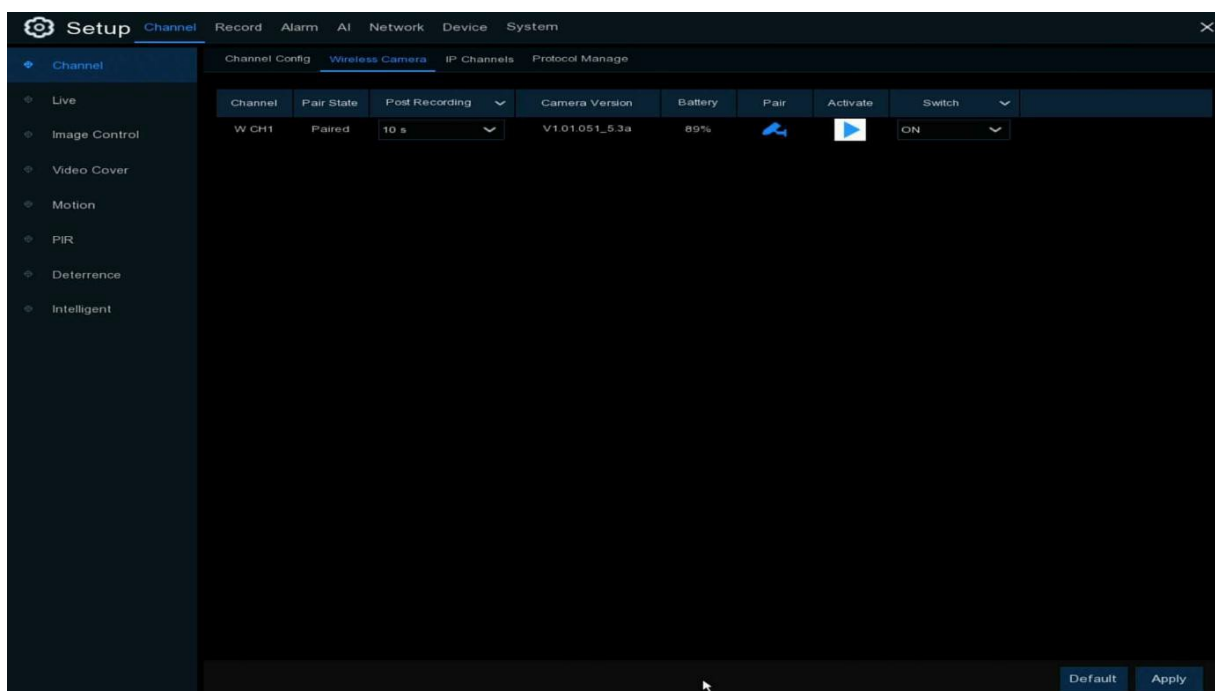
5.1.1 チャンネル

5.1.1.1 チャンネル構成



ここでは、チャンネルの種類を選ぶことができ、ワイヤレスとデジタルが選択できます。

5.1.1.2 ワイヤレスカメラ

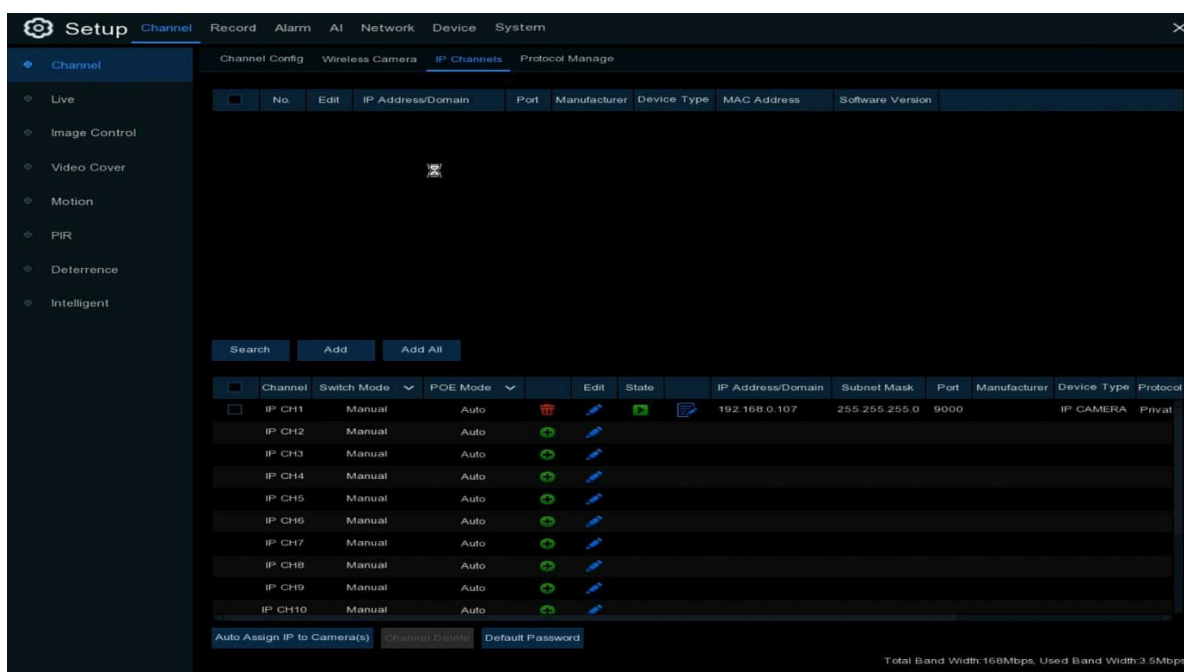


このメニューでは、ワイヤレスカメラのパラメータを設定することができます。ワイヤレスカメラの種類にチャンネルがない場合は、このメニューは空です。

(写真はこちら)

ペアリングのアイコンをクリックすると、ワイヤレスカメラのペアリングが開始されます。有効化] をクリックして、有効化し、現在のカメラ画像を表示します。

5.1.1.3 IPチャンネル



検索] をクリックしてローカルネットワークからIPカメラを検索し、 **[追加]** をクリックして個々のIPカメラを追加し、 **[OK]** をクリックします。

Add All ですべての IP カメラを追加します。

IP Address/Domain	192.168.1.151
Alias	CH17
Position	Left-Top
Port	9988
Protocol	Private
User Name	admin
Password	<input type="password"/>
	<input type="checkbox"/> Show Password
Bind channel	CH17

Buttons: Search, Add, Cancel

検索 ボタンをクリックして IP カメラを検索し、デバイスリストで IP カメラをクリックします。

IP Address/Domain: IPカメラのIPアドレスまたはドメイン名

エイリアス IPカメラの名前

位置を指定します。 画面上にカメラ名を表示する位置。

ポート IPカメラのポート

プロトコル IP カメラのプロトコルをドロップダウンメニューから選択します。

ユーザー名 IPカメラのユーザー名

パスワード : IP カメラのパスワード

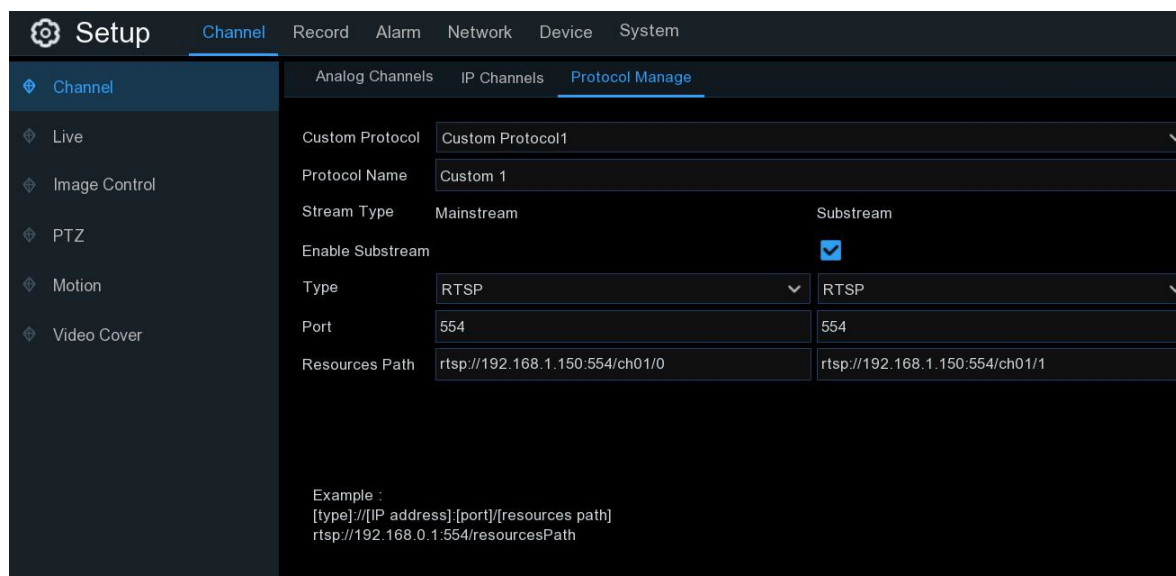
バインドチャンネルです。 アタッチしたいNVRのチャンネルを選択します。

カメラに自動でIPを割り当てる。 追加されたIPカメラは、そのIPアドレスがNVRと同じネットワーク・セグメントにない場合、接続することができません。この機能で、追加したすべてのIPカメラにIPアドレスを再割り当てします。

チャンネルの削除。 追加した IP カメラを 1 つ以上選択し、このボタンをクリックすると削除されます。スイッチモードのドロップダウンボックスをクリックし、手動/自動を切り替えてIPCモードを追加します。POEモードのドロップダウンボックスをクリックし、オートモードまたはEPOEモードを選択します。

5.1.1.4 プロトコル管理

プロトコル管理では、IPカメラ接続用のRTSPプロトコルを独自に編集することができます。



カスタムプロトコル。 システムサポート最大。10種類のカスタムプロトコルオプションに対応。

プロトコル名。 カスタムプロトコルに名前を付けます。

サブストレイルを有効にする。 サブストリームを有効にする場合は、チェックを入れてください。

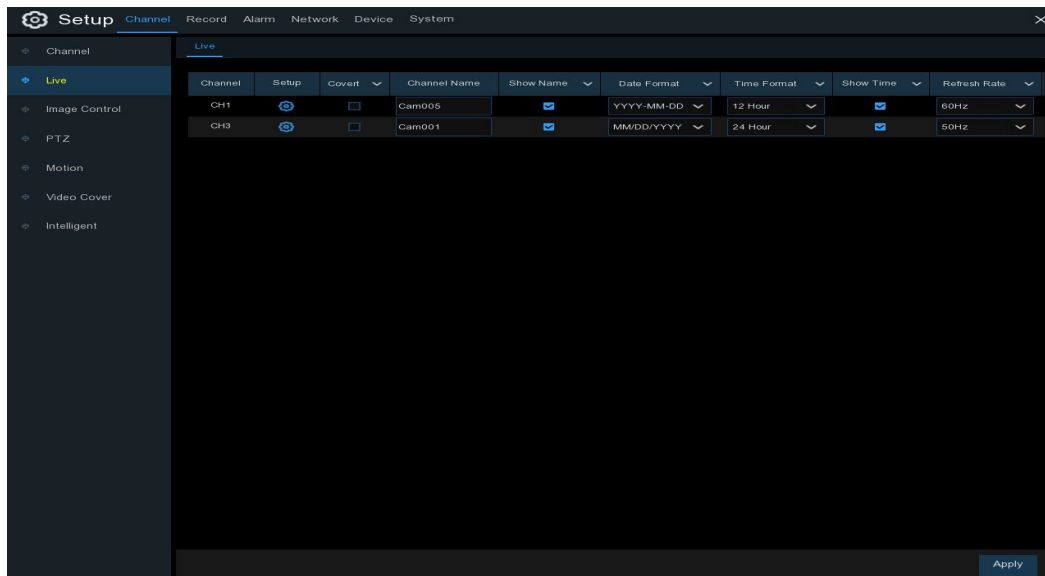
タイプです。 現在、RTSPのみ利用可能です。

ポート : IP カメラの RTSP ポートを入力します。

リソースのパスです。 IP カメラの RTSP アドレスを入力します。

5.1.2 ライブ

カメラのパラメータを設定する。



チャンネルです。チャンネル名を表示します。

セットアップ アイコンをセットアップ
ページに挿入します。

Channel クリックします

Channel Name

Date Format

Time Format

Refresh Rate

Camera Type

EQ Level

Convert

Show Name

Show Time

HUE 32

BRIGHT 23

CONTRAST 27

SATURATION 20

Default

設定するチャンネルを選択
します。

カメラに表示するデー・フォーマット (IPカメラのみ)

カメラに表示するeフォーマット (IPカメラのみ) カ

メラのフレッシュレート (IPカメラのみ)

アナログカメラのカメラタイプ (Auto、AHD、TVI、CVI) を選択します。

AHD EQ (Enhanced Quality) レベルは、お使いのメラビ
デオケーブルに依存します。

チェックボックス このチャンネルのライブ画像を非表示に
する場合、ライブビュー画面にカメラ名を表示します。

ライブビュー画面にシステム時刻を表示する

イメージカラーの色相値のみ

イメージカラーのBright値のみ

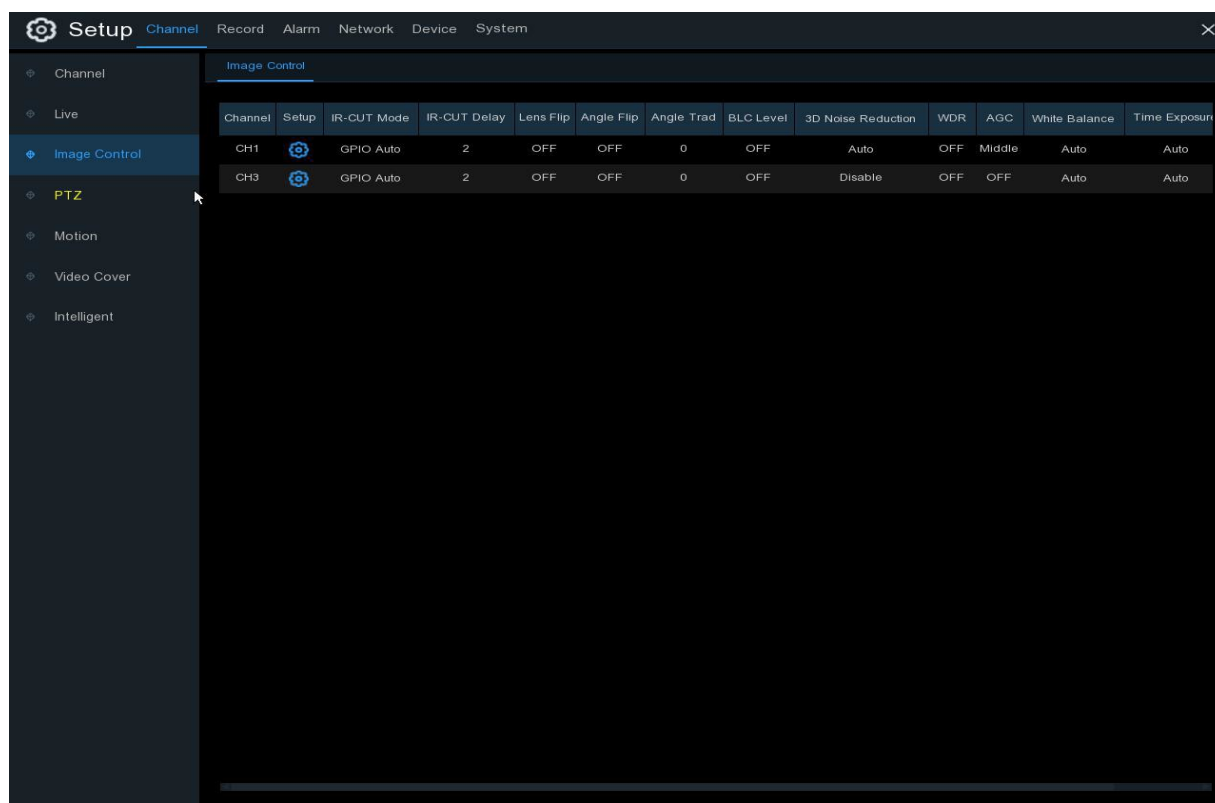
イメージカラーのContrast値だけ イメージ
カラーのSaturation値だけ

Defaultをクリックすると初期設定が読み込まれ、Applyをク
リックすると設定が保存され、マウスの右ボタンをクリックす

ると終了します。

5.1.3 画像制御

このメニューでは、対応する IP カメラの画像設定を制御することができます。



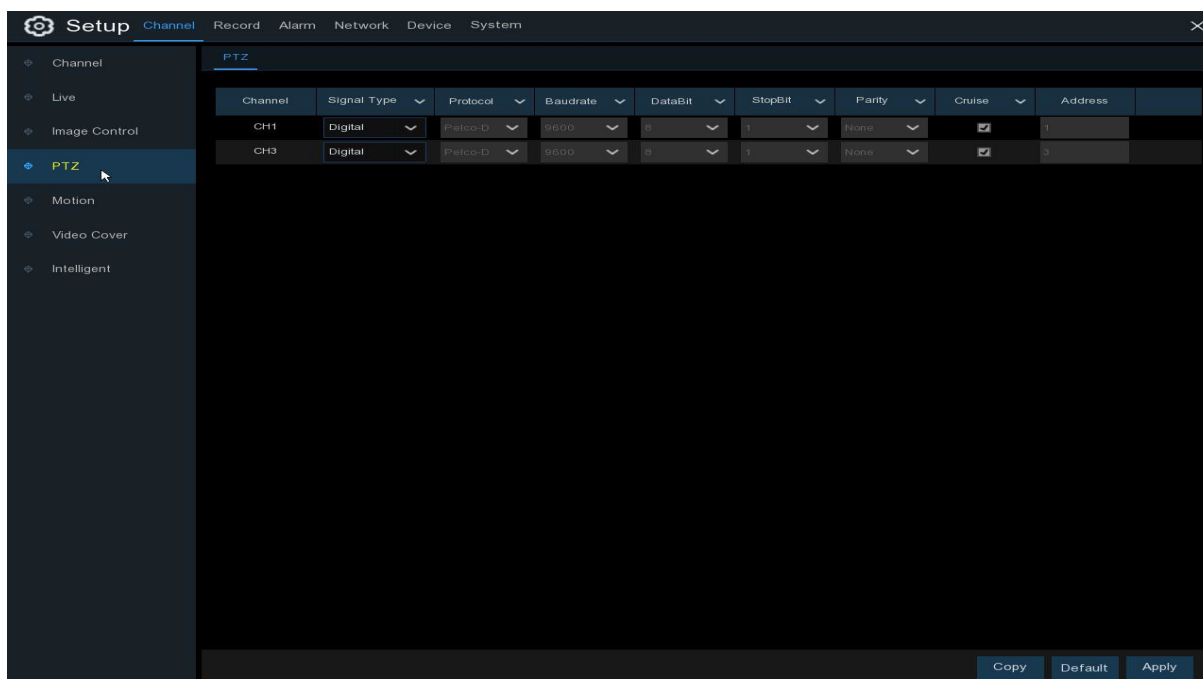
チャンネルです。チャンネル名です。

セットアップを行います。クリックすると、設定画面が表示されます。

Channel	CH17	設定するチャンネルを選択する
IR-CUT Mode	GPIO Auto	内蔵のIRカットフィルターのモードを選択することで、昼夜を問わずカメラを正常に動作させることができます。
IR-CUT Delay	2	IR-CUT切り替えのディレイタイムを設定する
<input type="checkbox"/> Lens Flip	<input type="checkbox"/> Angle Flip	レンズフリップとアングルフリップを有効にするためのチェック
Angle Trad	0	フリップ角の設定
Back Light	Enable	バックライト補正の有効/無効を設定する
BLC Level	Low	バックライト補正レベルを選択
3D Noise Reduction	Auto	3Dノイズリダクション機能の有効/無効を設定する
Level	128	3Dノイズリダクションレベルの設定
WDR	Enable	暗い場所で明るい光源で撮影するときに、映像の明るさとコントラストを自動的に調整できるようにします。
Level	128	WDRレベルを設定する
AGC	Middle	自動ゲインコントロール
White Balance	Auto	ホワイトバランスを設定する
Shutter	Auto	シャッターモードを設定する
Time Exposure	1/8	カメラの露出時間を選ぶ
Defog Mode	Auto	霧の中で使用すると、映像の品質が向上する

5.1.4 PTZ

このメニューでは、ドームカメラのPTZ（パン-チルト-ズーム）設定を行います



チャンネルチャンネル名

信号の種類アナログチャンネルはアナログ、IPチャンネルはアナログ&デジタル

プロトコルPTZ対応カメラとNVRの間の通信プロトコルを選択します。カメラがUTC (Up the Coax) 機能をサポートしている場合、COAX1 または COAX2 を選択して、カメラのOSDメニューを表示したり、UTC PTZ 機能を制御したりすることが可能です。

ボーレート。NVRからPTZ対応カメラに送信される情報の速度です。PTZ対応カメラの互換性レベルと一致していることを確認してください。

DataBit / StopBit: NVRとPTZ対応カメラ間の情報は、個別のパッケージで送信されます。

DataBitは送信されたビット数を示し、**EndBit**はパッケージの終了と次の（情報）パッケージの開始を示します。**DataBit** で使用可能なパラメータは以下の通りです。**StopBit**のパラメータは1 または2です。

パリティ。エラーチェック用。この設定を行うには、PTZ対応カメラのマニュアルを参照してください。

Cruise (クルーズ)。クルーズモードを使用できるようにします。クルーズモードを使用するには、いくつかのプリセットポイントを設定する必要があります。

アドレスです。PTZ システムのコマンドアドレスを設定します。PTZ対応カメラが正しく機能するためには、それぞれ固有のアドレスが必要であることを注意してください。

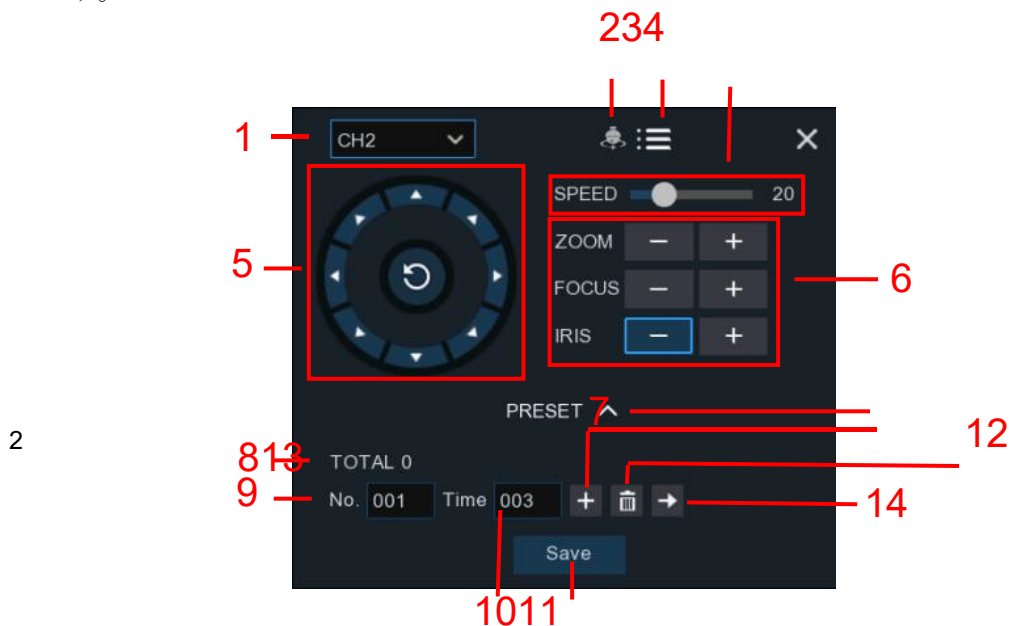
5.1.4.1 PTZ制御






PTZの設定が終了すると、PTZ機能を使ってPTZカメラを制御することができます。


1) ライブビュー画面上でマウスを左クリックすると、カメラクイックツールバーが表示されま




すので、PTZコントロールの  アイコンを選択してください。

2) PTZコントロールパネルが表示されます。



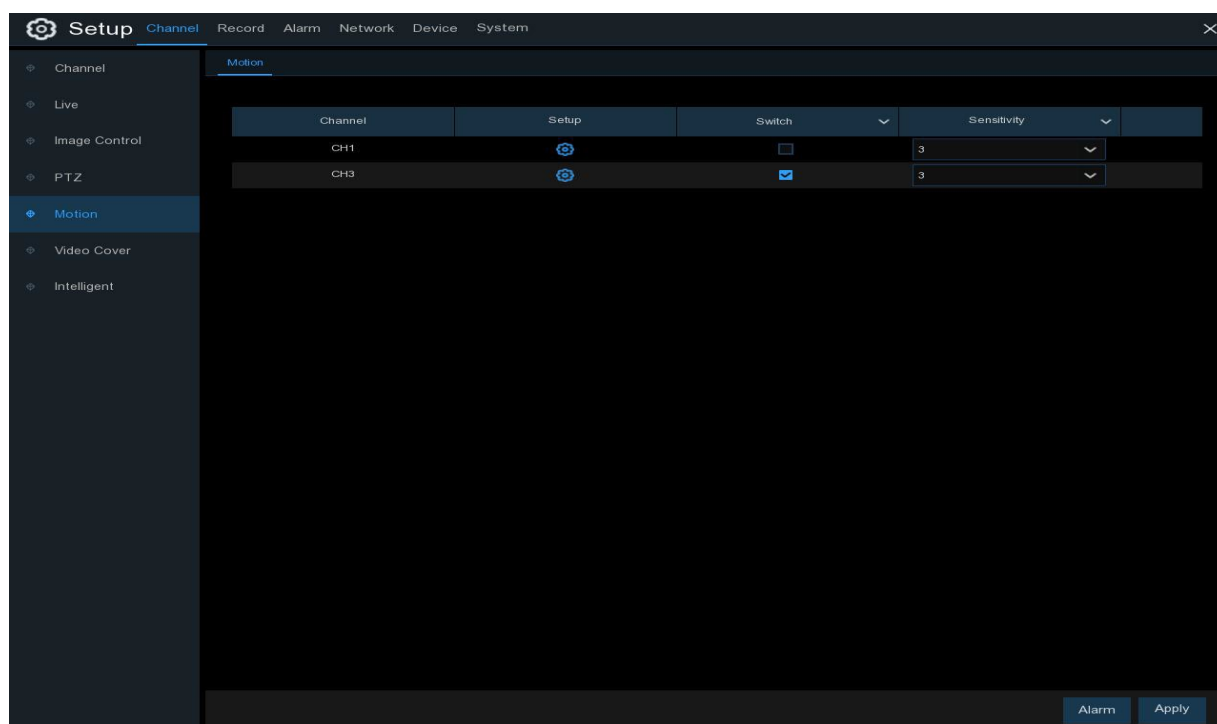
いいえ。	アイコン	項目	商品説明
1		チャンネル	PTZ カメラのチャンネルをクリックで選択します。
2		クルーズ	プリセットポイントによるPTZクルーズの開始/停止。プリセットポイントを確認する 5.1.4 PTZ 」において、このチャンネルのクルーズ機能を有効にします。
3		協定世界時 メニュー	このチャンネルのプロトコルを COAX1 または COAX2 に設定した場合、UTC メニューボタンが表示されます。このアイコンをクリックすると、UTC OSD メニューに入ることができます。また、このボタンで UTC OSD メニューで選択します。
4	スピード	スピード	PTZスピードの調整
5		ポインター パネル	A) 方向矢印をクリックすると、PTZカメラの方向を選択できます B) 上/下/左/右矢印をクリックすると、UTC OSDメニューでカーソルが移動します。 C)  をクリックすると、オートパンモードに切り替わります

			。
6	- ZOOM + (ズームプラス)	ズーム	クリックすると拡大・縮小します。
	- FOCUS + (フォーカスプラス)	フォーカス	クリックでフォーカス調整
	- アイリスプラス	アイリス	クリックすると、アイリス設定が調整されます
7		プリセット	プリセットポイントパネルを表示／非表示にするには
8	合計	合計	プリセットポイントの総数を表示する

			アル
9	いいえ。	いいえ。	プリセットポイント数
10	時間	時間	プリセットポイントにカメラが滞在する時間を設定します。
11	セーブ	セーブ	クリックすると、設定とプリセットポイントが保存されます
12		鏤める	特定のプリセットポイントの番号を入力し、このボタンをクリックすると PTZカメラをプリセットポイントに移動させる
13		削除	クリックすると、選択したプリセットポイントが削除されます
14		次のページへ	クリックすると、PTZカメラの特定のプリセットポイントを設定することができます。NVRのプリセット・ポイントは最大255個まで追加することができます。

5.1.5 モーション

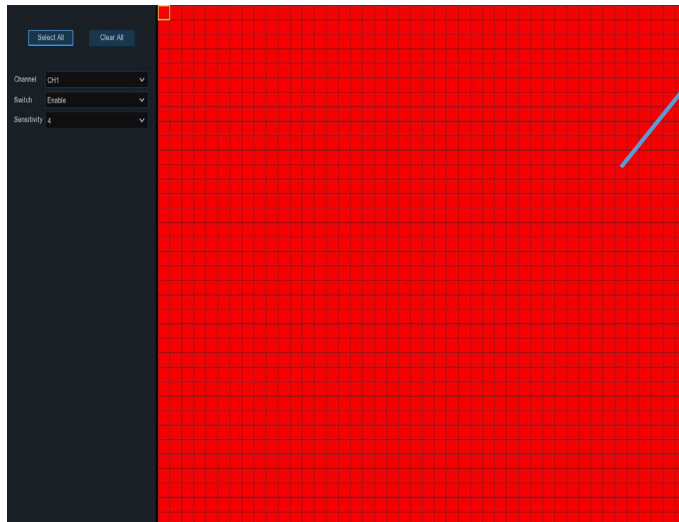
このメニューでは、モーションのパラメータを設定することができます。モーション検出時は、1台または複数のカメラによって、ご自宅に潜在する脅威を警告します。これは、参照用として使用するカメラの画像を添付した電子メール・アラートを送信したり（このオプションが有効な場合）、モバイル・アプリからプッシュ通知を送信することによって行われます。



セットアップを行います。 クリックすると、設定画面が表示されます。

モーションディテクトエリア。

初期設定では、画面全体に動体検知のマーク（赤いブロック）が表示されます。特定の領域の動き検出を無効にしたい場合は、グリッドカーソルをクリックし、マウスをドラッグして範囲をハイライトすると、透明なブロックにマークが解除されます。設定完了後、マウスの右ボタンで戻り、[保存]をクリックすると、領域設定が有効になります。

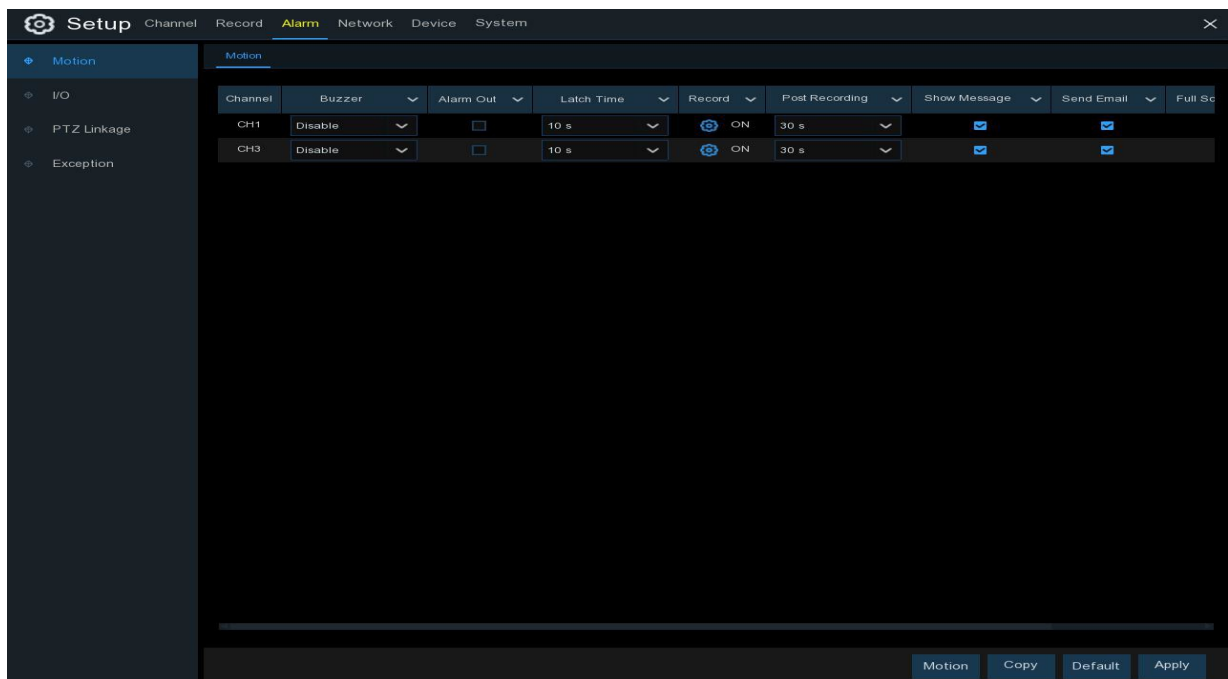


スイッチ モーション検知の有効/無効を設定します。

感度を設定します。 感度のレベルを設定します。レベル1は最も低い感度レベル、レベル8は最も高い感度レベルです。

5.1.6 アラーム

アラームボタンをクリックして、動体検知アラーム機能を設定します。




チャンネル チャンネル名

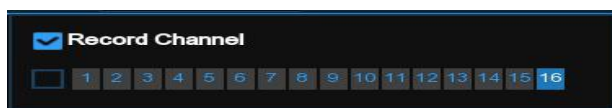
ブザー NVRは内蔵ブザーを使用してアラーム音を発することができます。動きが検出されたときのブザーの継続時間を秒単位で設定できます。

アラーム出力。 オプション機能。NVRが外部アラーム・デバイスへの接続をサポートしている場合、アラーム音を発するように設定することができます。


ラッチタイム： 動体検知時の外部アラーム時間を設定します。

記録する  アイコンをクリックし、動き検出がトリガーされたときに録画したいチャンネルを

選択します。



ポストレコーディング。 イベント発生後、NVRが録画を継続する時間を設定できます。推奨される録画時間は30秒ですが、最大で5分まで設定できます。

メッセージを表示する モーションが発生したとき、ライブビュー画面に  のアイコンを表示する場合は、チェックを入れます。
が検出されました。

メールを送信します。 モーションが検出されたとき、NVRに自動電子メールを送信させることができます。

FTP画像アップロード。 モーション検出時にアラーム画像を FTP サーバーにアップロードします。FTP を有効にするには、[5.4.4 FTP](#) を参照してください。

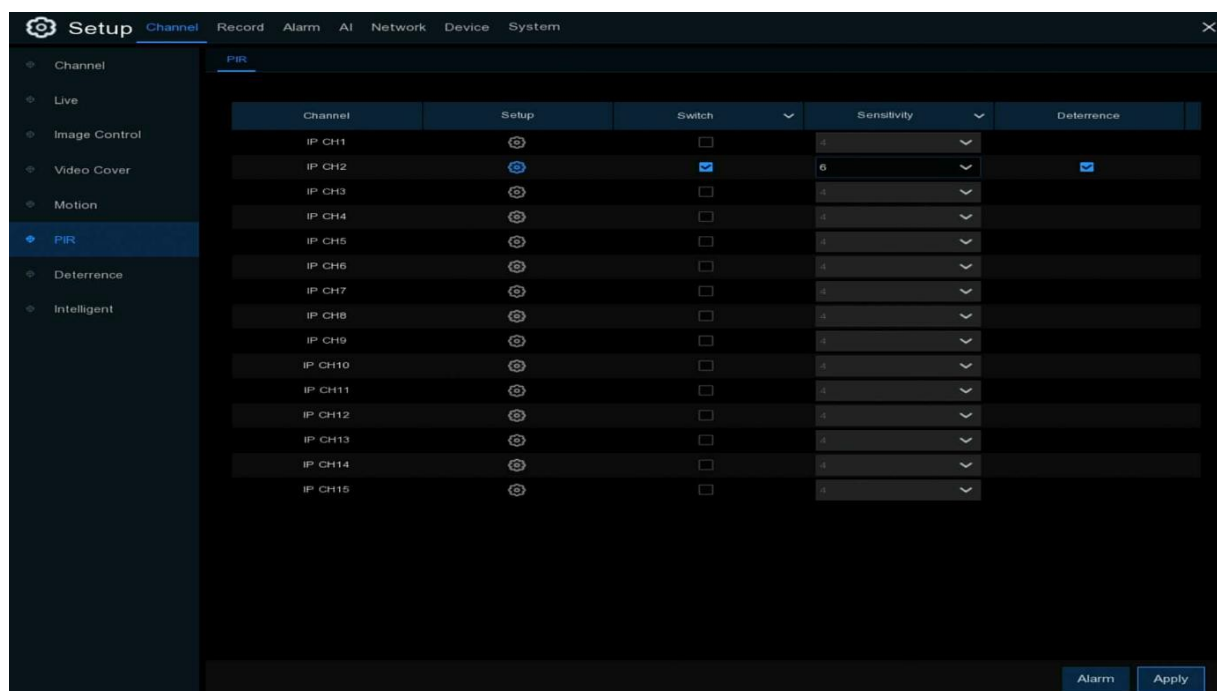
FTPビデオアップロード。 モーション検出時にアラームビデオを FTP サーバーにアップロードします。FTP を有効にするには、「[5.4.4 FTP](#)」を参照してください。

ピクチャー・トゥ・クラウド モーション検出時にアラーム画像をクラウドサーバーにアップロードします。クラウドを有効にするには、「[5.5.2 クラウド](#)」を参照してください。


ビデオ・トゥ・クラウド モーション検出時にアラームビデオをクラウドサーバーにアップロードします。クラウドを有効にするには、「[5.5.2 クラウド](#)」を参照してください。

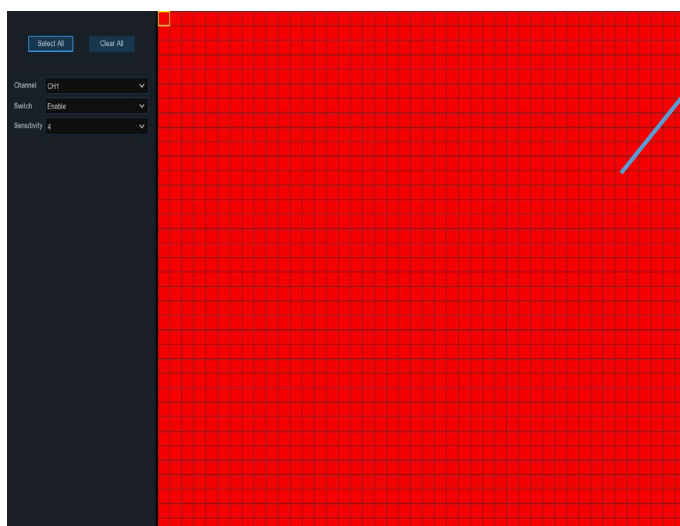
フルスクリーン この機能が有効で、あるチャンネルでモーションが検出された場合、そのチャンネルがフルスクリーンで表示されます。

5.1.7 PIR



PIRアラームメニューでは、PIRアラームが作動すると、モーションメニューと同じように、メールやアプリのプッシュ通知でアラームが送信されます。

セットアップを行います。 クリックすると、設定画面が表示されます。 アル



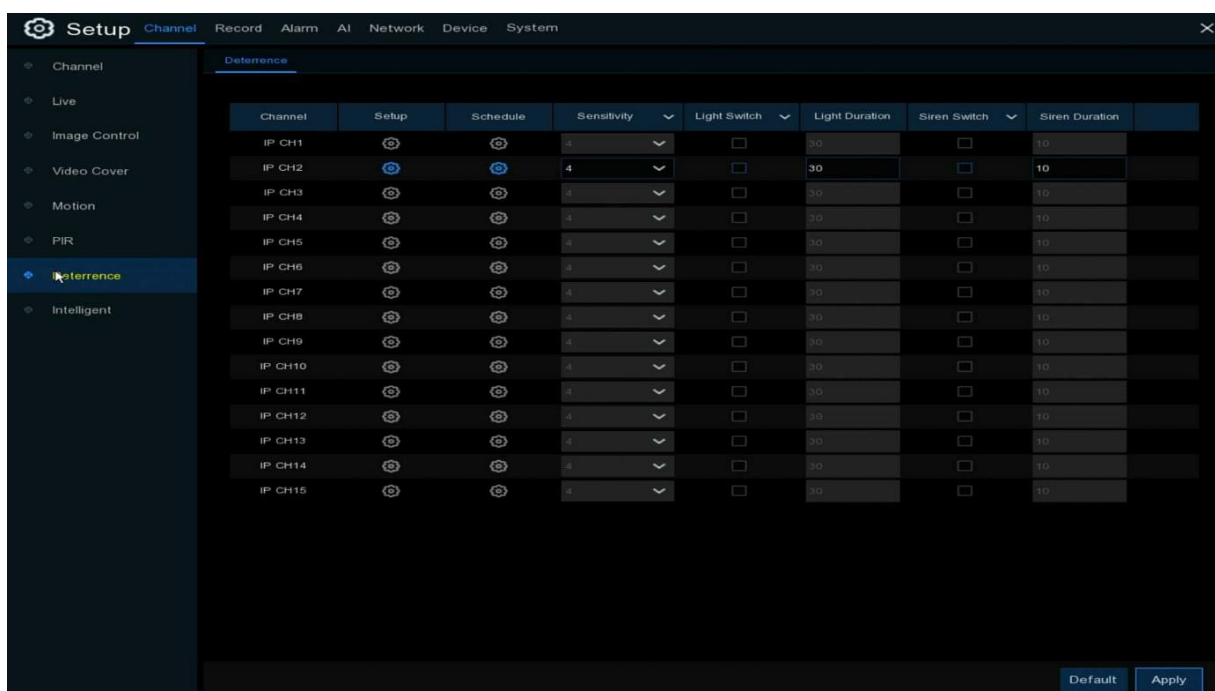
PIRの検出エリア。

デフォルトでは、画面全体にPIR検出のマーク（赤いブロック）が表示されます。特定の領域でPIR検出を無効にしたい場合は、グリッドカーソルをクリックしてからマウスをドラッグして範囲をハイライトし、透明なブロックにマークを解除します。設定が完了したら、マウスの右ボタンで戻り、**[保存]**をクリックすると、領域設定が有効になります。


スイッチです。PIR検出の有効/無効を切り替えます。

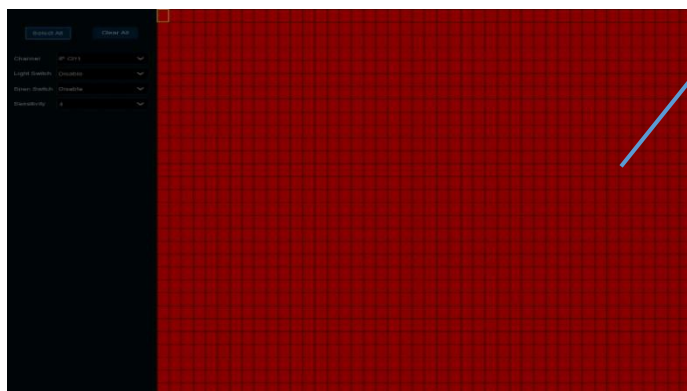
感度を設定します。感度のレベルを設定します。レベル1は最も低い感度レベル、レベル8は最も高い感度レベルです。

5.1.8 抑止力



ここでは、白色光警報に関するパラメータを設定します。チャンネル：チャンネル名。

セットアップを行います。  アイコンをクリックし、設定画面に入ります。



抑止力エリア。

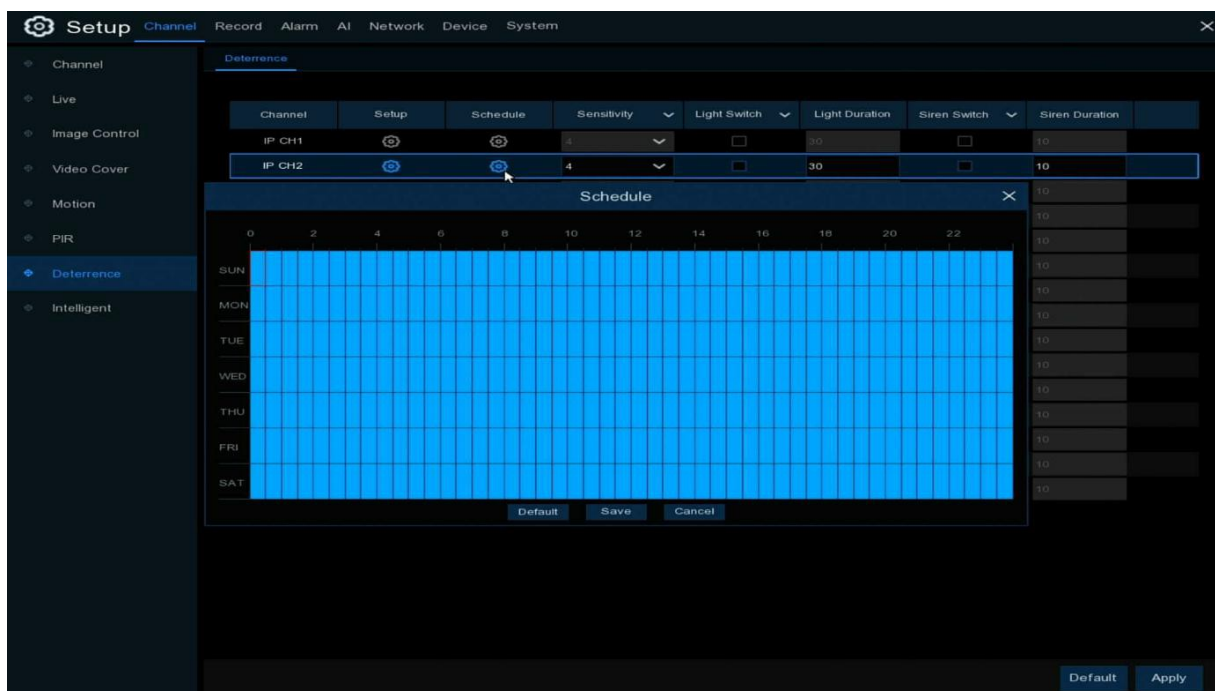
デフォルトでは、画面全体に抑止力検知のマーク（赤いブロック）が表示されます。特定の領域で抑止力検知を無効にしたい場合は、グリッドカーソルをクリックし、マウスをドラッグして範囲をハイライトすると、透明なブロックへのマークが解除されます。設定完了後、マウスの右ボタンで戻り、**保存**をクリックすると、領域設定が有効になります。

ライトスイッチ。 ライト警告の有効/無効を設定します。

サイレンスイッチ。 サイレン警告の有効/無効を設定します。

感度を設定します。 感度のレベルを設定します。レベル1は最も低い感度レベル、レベル8は最も高い感度レベルです。

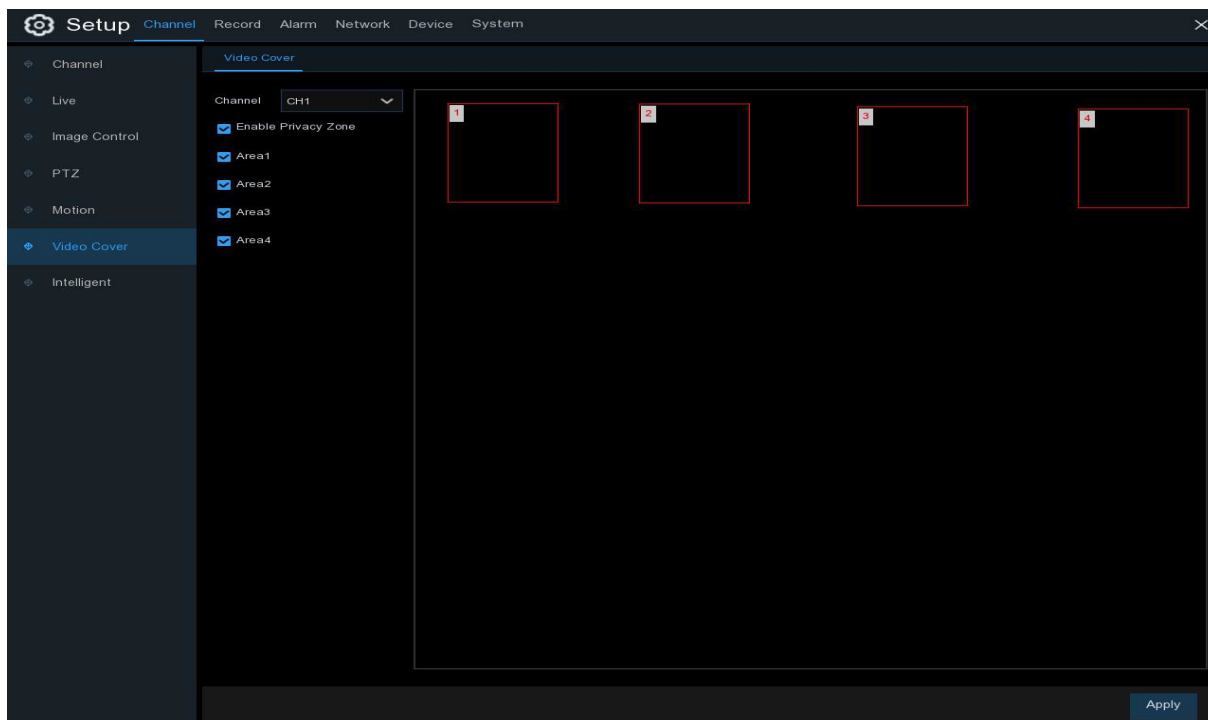
スケジュール：  アイコンをクリックすると、設定画面が表示されます。



時間帯が水色で表示されている場合、その時間帯にチャンネルが抑止アラームを発動していることを示します。

5.1.9 動画カバー

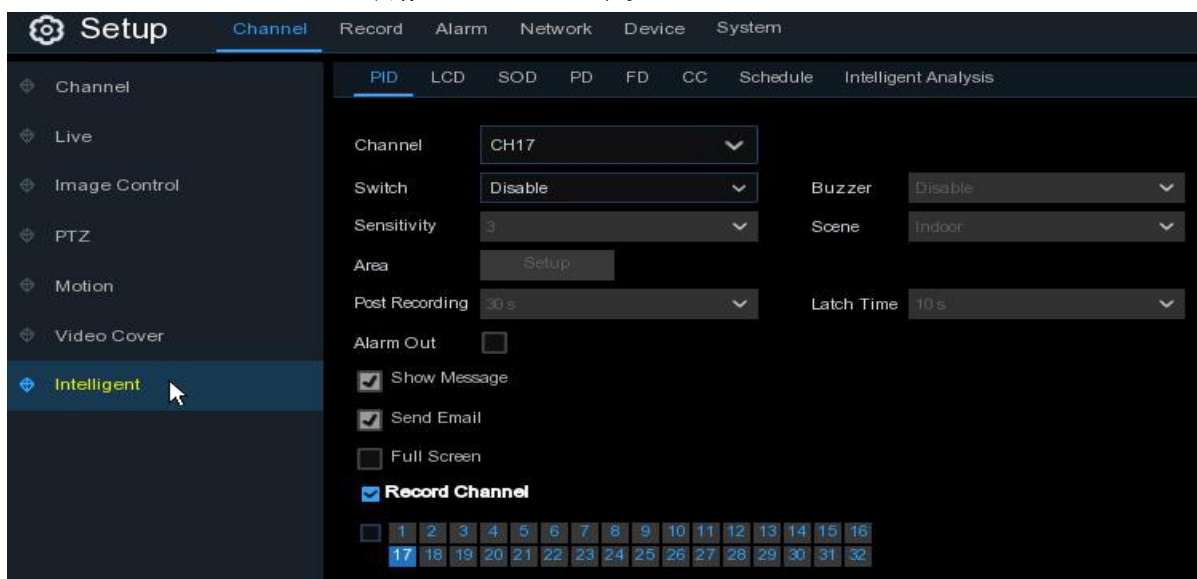
画像の一部を覆い隠したい場合に、プライバシーゾーンを作成するメニューです。カメラ画像上に任意のサイズと位置で最大4つのプライバシーゾーンを作成することができます。プライバシーゾーンを有効にし、必要なゾーンの数を選択します。ゾーンは「赤いボックス」として表示されます。赤いボックスの端をクリックし、任意のサイズにドラッグして、プライバシーゾーンを作成します。



注：設定したプライバシーゾーンの領域は、ライブビューと録画映像の両方で見えなくなります。

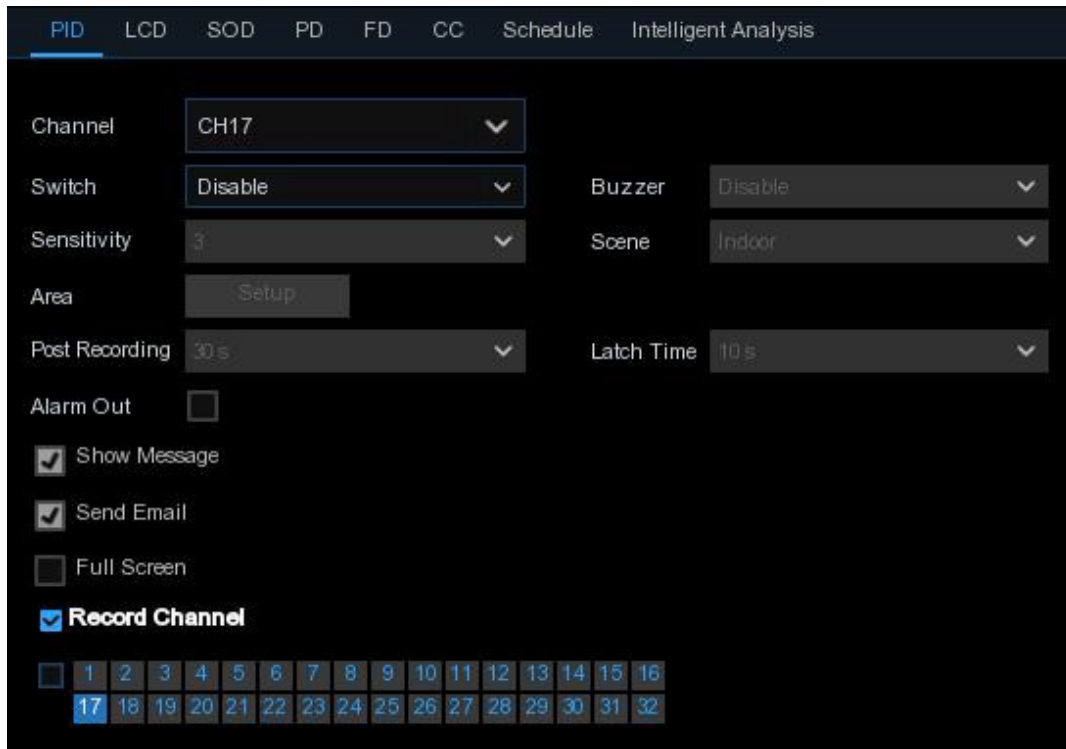
5.1.10 インテリジェント

オプションのインテリジェント機能として、周辺侵入検知、ライン横断検知、静止物検知、歩行者検知、顔検知、交差点計数などがあります。



5.1.10.1 PID (周辺侵入検知)

周辺侵入検知機能は、あらかじめ定義された仮想領域に侵入し、うろつく人、車、その他の物体を検知し、アラームが作動したときに特定のアクションを実行することができます。



チャンネルを設定するチャンネルを選択します。

スイッチです。PID機能の有効化/無効化

ブザーを鳴らします。検知した際に10秒、20秒、40秒、60秒のいずれかのタイミングでブザー音を鳴らすか、鳴らさないかを選択できます。

センシティブ (Sensitive)。感度レベルは1~4で、感度が高いほどトリガーしやすくなります。

検出されます。

シーンシーン設定には、屋内と屋外があります。カメラを設置した場所に合わせてシーンを選択してください。

ポストレコーディング。イベント発生後、NVRが録画を継続する時間を設定できます。

ラッチ時間：検出がトリガーされたときの外部アラーム時間を設定します。**アラーム**

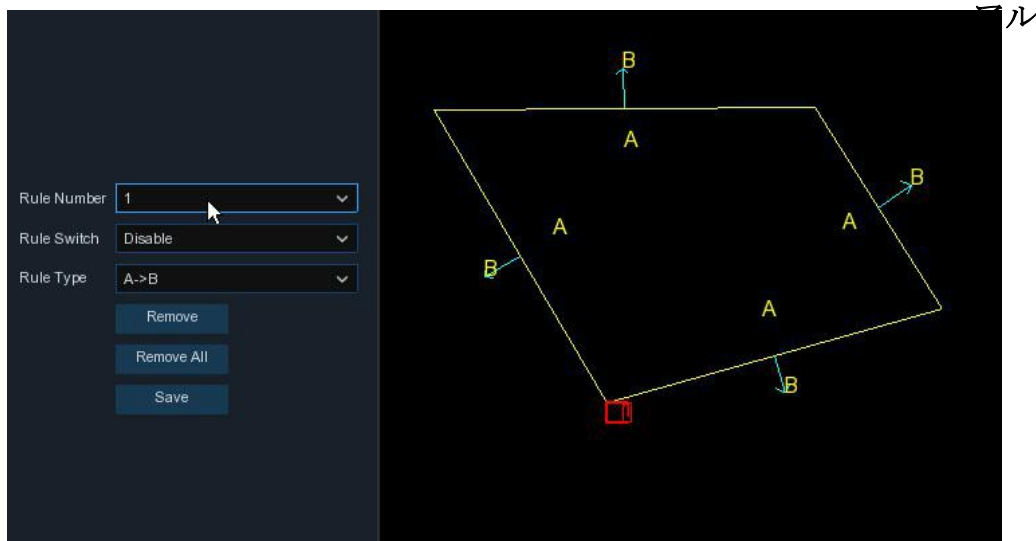
出力: NVRが外部アラーム装置への接続をサポートしている場合、アラーム音を発するよう設定できます。

メッセージを表示する。PID機能がトリガーされると、画面に "S" の文字が表示されます。

メールを送信します。アラームが発生した場合、設定したメールアカウントにメールが送信されます。**フルスクリーン**検出された場合、チャンネルをフルスクリーンに拡大します。**チ**

チャンネルを録画する: 検出がトリガーされたときに録画したいチャンネルを選択します。

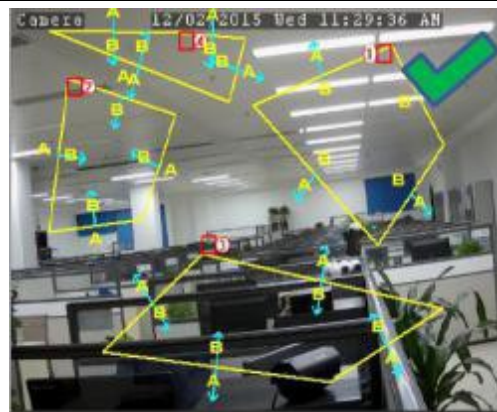
[エリア設定](#)をクリックして、カメラ画像に仮想領域を描画します。



1. ルール番号のいずれかを選択します。PIDエリアの番号です。PID機能で設定できるエリアは最大4つです。
2. **Rule Switch**で検出を有効にする場合。
3. ルールの種類を選択します。
 AB : NVRはサイドAからサイドBへの動作のみを検出、
 : NVRはサイドBからサイドAへの動作のみを検出します。
 。
 AB: NVR は、B 側から A 側、または A 側から B 側へのいずれかの動作を検出します。
4. マウスを使ってカメラ画像内の4点をクリックし、仮想領域を描画します。領域の形状は凸多角形である必要があります。凹型のポリゴンは保存できません。
5. **保存**] をクリックすると、設定が保存されます。
6. 領域の位置や形状を変更したい場合は、領域内の赤枠をクリックすると、領域の境界線が赤色に変更されます。マウスの左ボタンを長く押し続けると、領域の位置が移動し、角をドラッグすると領域のサイズが変更されます。
7. カメラ画像からいずれかの領域を削除したい場合は、領域内の赤枠をクリックし、**削除**ボタンをクリックします。**すべて削除**をクリックすると、すべての領域が削除されます。

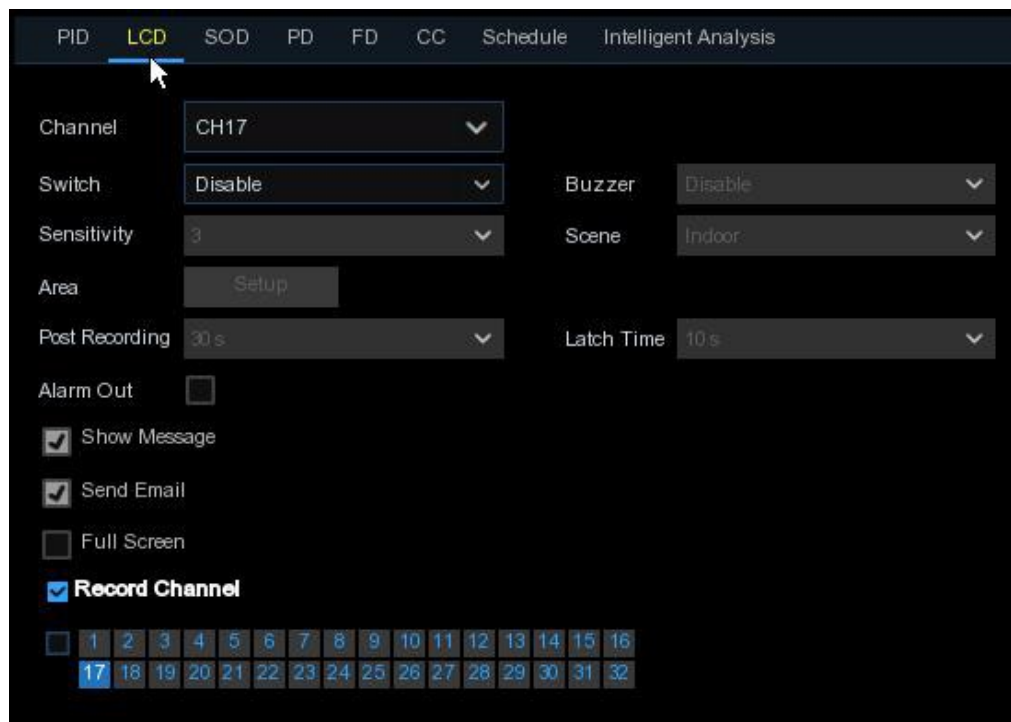
お知らせ

- 1) ターゲットがエッジ/コーナーを通過する際に検出をトリガできない可能性があるため、周囲はカメラ画像のエッジ/コーナーに近すぎてもならない。
- 2) 領域の形状は、ターゲットが外周を通過する際に検出できない可能性があるため、狭すぎず、小さすぎずとすること。



5.1.10.2 LCD（ラインクロッシング検出）

ラインクロス検出機能は、あらかじめ設定された仮想ラインを横切る人、車、その他の物体を検出し、アラームが発生したときに特定のアクションを実行することができます。



チャンネル 設定するチャンネルを選択します

スイッチ です。LCD機能の有効化／無効化

ブザーを鳴らします。 検知した際に10秒、20秒、40秒、60秒のいずれかのタイミングでブザー音を鳴らすか、鳴らさないかを選択できます。

センシティブ (Sensitive) 。感度レベルは1～4で、感度が高いほど検出が容易になります。

シーン シーン設定には、屋内と屋外があります。カメラを設置した場所に合わせてシーンを選択してください。

ポストレコーディング。イベント発生後、NVRが録画を継続する時間を設定できます。

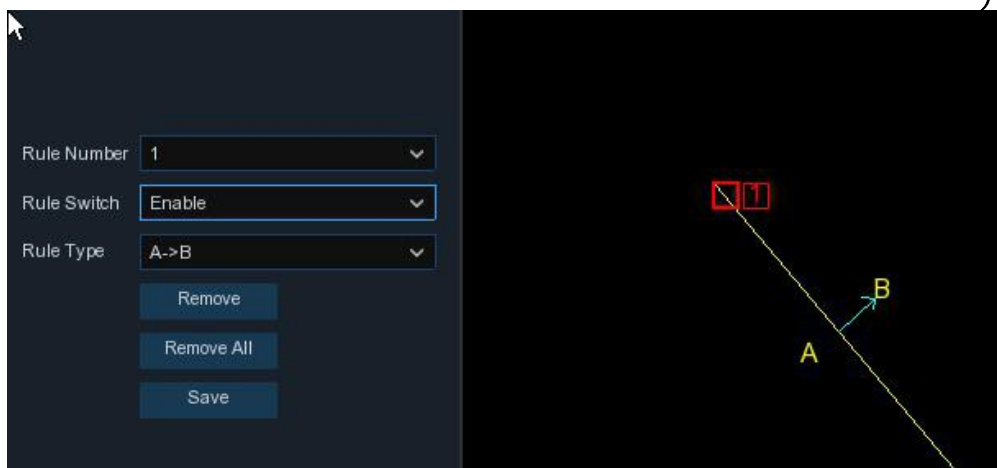
ラッチタイム：検知した際の外部アラーム時間を設定します。

アラーム出力: NVRが外部アラーム・デバイスへの接続をサポートしている場合、アラーム音を発するように設定することができます。

メッセージを表示する。LCD機能が作動すると、画面に "S" の文字が表示されます。

メールを送信します。アラームが発生した場合、設定したメールアカウントにメールが送信されます。**フルスクリーン** 検出された場合、チャンネルをフルスクリーンに拡大します。**チャンネルを録画する**：検出がトリガーされたときに録画したいチャンネルを選択します。

エリア設定をクリックすると、カメラ画像に仮想の線を描きます。



1. ルール番号のいずれかを選択します。液晶の線の数です。最大4ラインまで描画可能です。
2. **Rule Switch**で検出を有効にする場合。
3. ルールの種類を選択します。
 AB : NVRはサイドAからサイドBへの動作のみを検出、
 : NVRはサイドBからサイドAへの動作のみを検出します。
 。
 AB: NVR は、B 側から A 側、または A 側から B 側へのいずれかの動作を検出します。
4. マウスでカメラ映像の2点をクリックすると、仮想の線が描かれます。
5. **保存]** をクリックすると、設定が保存されます。
6. 線の位置や長さを変更したい場合は、線の中の赤枠をクリックすると、線の色が赤色に変更されます。マウスの左ボタンを長押しすると線が移動し、端末をドラッグすると線の長さや位置が変更できます。
7. カメラ画像から線を1本だけ削除したい場合は、線の赤枠をクリックし、**削除**ボタンをクリックします。**すべて削除**をクリックすると、すべての線が削除されます。

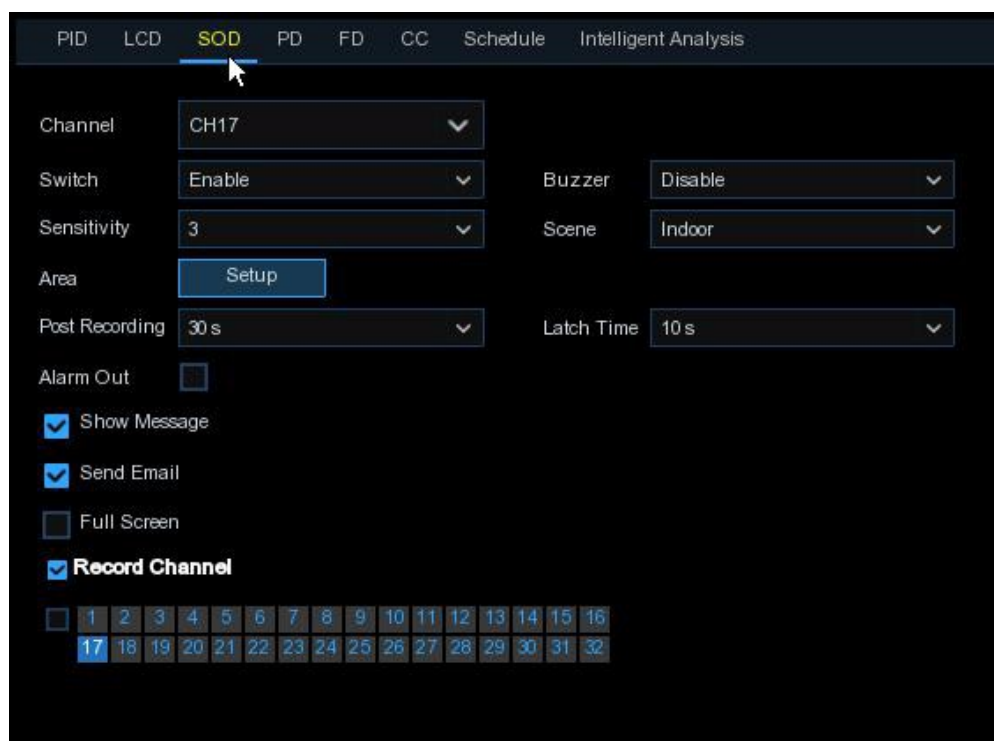
お知らせ

- 1) 線はカメラ画像の端に近すぎたはならず、ターゲットがそれを横切ったときにアラームが作動しないことを避けるためである。
- 2) ターゲットがその外側を通過したときにアラームが作動しないことを避けるため、線は短く設定してはならない。



5.1.10.3 SOD（静止物検出）

置き忘れ防止機能では、手荷物、財布、危険物など、あらかじめ設定された領域内の置き忘れを検知し、アラーム発生時に一連のアクションを起こすことが可能です。



チャンネル：設定するチャンネルを選択します。

スイッチ：SOD機能の有効/無効を切り替える

ブザー：検知時に10秒、20秒、40秒、60秒のいずれかのタイミングでブザーを鳴らすか鳴らさないかを設定

センシティブ (Sensitive)。感度レベルは1～4で、初期値は2です。感度を高くすると、検出のトリガーがかかりやすくなります。

シーン：シーン設定には、屋内と屋外があります。カメラを設置した場所に合わせてシーンを選択してください。

ポストレコーディング。イベント発生後、NVRが録画を継続する時間を設定できます。

ラッチタイム：検知した際の外部アラーム時間を設定します。

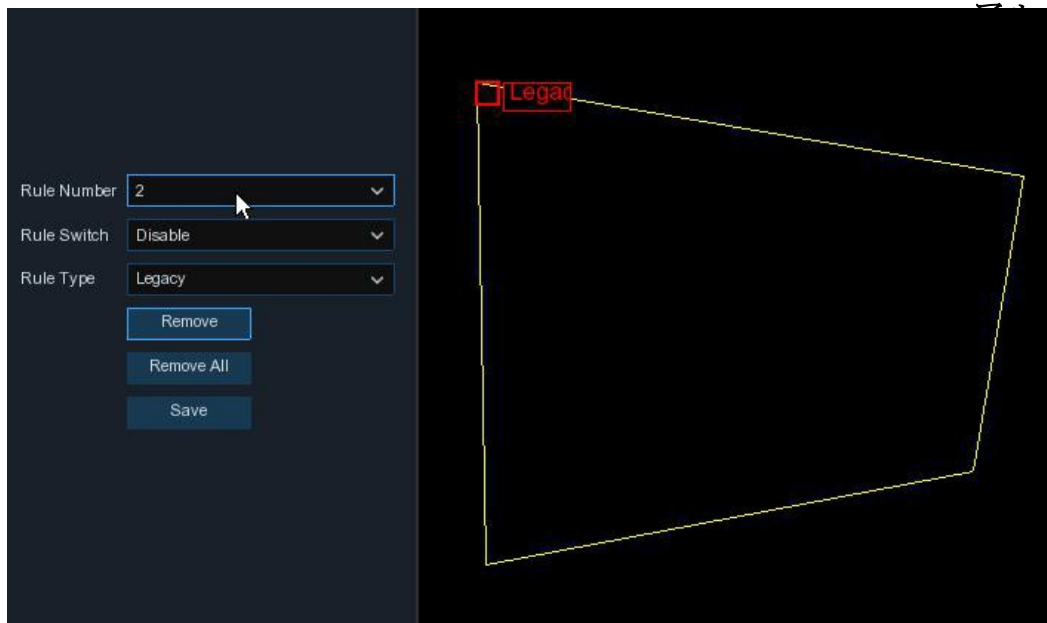
アラーム出力：NVRが外部アラーム・デバイスへの接続をサポートしている場合、アラーム音を発するように設定することができます。

メッセージを表示する。インテリジェント検出が作動すると、画面に "S" の文字が表示されます。

メールを送信します。アラームが発生した場合、設定したメールアカウントにメールが送信されます。**フルスクリーン**検出された場合、チャンネルをフルスクリーンに拡大します。

チャンネルを録画する：検出がトリガーされたときに録画したいチャンネルを選択します。

エリア設定]をクリックして、カメラ画像に仮想領域を描画します。



1. ルール番号のいずれかを選択します。SODエリアの番号です。SOD機能で設定できるエリアは最大4つです。
2. **Rule Switch**で検出を有効にする場合。
3. ルールの種類を選択します。
レガシーです。NVRは残されたオブジェクトのみを検出します。NVRは紛失したオブジェクトのみを検出します。
レガシー&ロスト。NVRは、残されたオブジェクトと失われたオブジェクトの両方を検出します。
4. マウスを使ってカメラ画像内の4点をクリックし、仮想領域を描画します。領域の形状は凸多角形である必要があります。凹型のポリゴンは保存できません。
5. **保存]** をクリックすると、設定が保存されます。
6. 領域の大きさを調整したい場合は、領域内の赤枠をクリックすると、領域の境界線が赤色に変更されます。マウスの左ボタンを長押しすると領域全体が移動し、角をドラッグすると領域の大きさが変更されます。
7. カメラ画像からいずれかの領域を削除したい場合は、領域内の赤枠をクリックし、**削除**ボタンをクリックします。すべて削除をクリックすると、すべての領域が削除されます。

お知らせ

- 1) など、検出対象物の大きさ以上の面積が必要である。

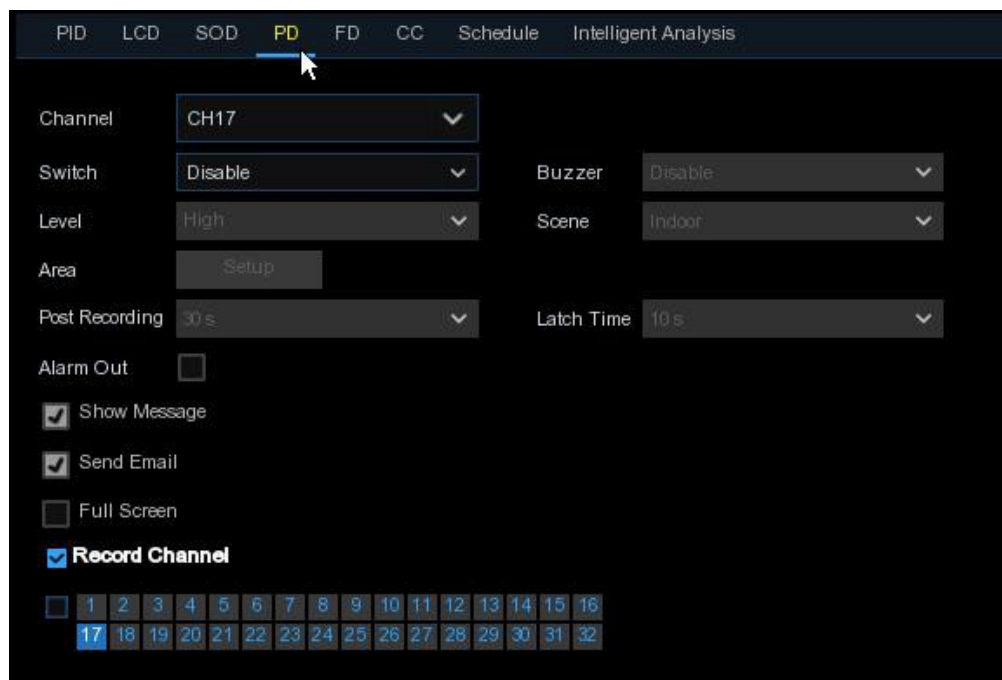
白いボトルの検出

- 2) 検出された物体を覆うことができない。



5.1.10.4 PD（歩行者検知）

歩行者検知機能は、あらかじめ設定された領域で移動する人を検知し、アラームが作動した際に一連のアクションを起こすことができます。



チャンネル：設定するチャンネルを選択します。

スイッチ：PD機能の有効/無効を切り替える

ブザー：検知時に10秒、20秒、40秒、60秒のいずれかのタイミングでブザーを鳴らすか鳴らさないかを設定

レベル：スモール、ミドル、ビッグ小レベルは、長尺物の検知に適しています。の距離を測定します。近距離の物体を検出する場合は、大きなレベルを推奨します。
シーン：シーン設定には、屋内と屋外があります。カメラを設置した場所に合わせてシーンを選択してください。

ポストレコーディング：イベント発生後、NVRが録画を継続する時間を設定できます。

ラッチ時間：検出がトリガーされたときの外部アラーム時間を設定します。**アラーム**

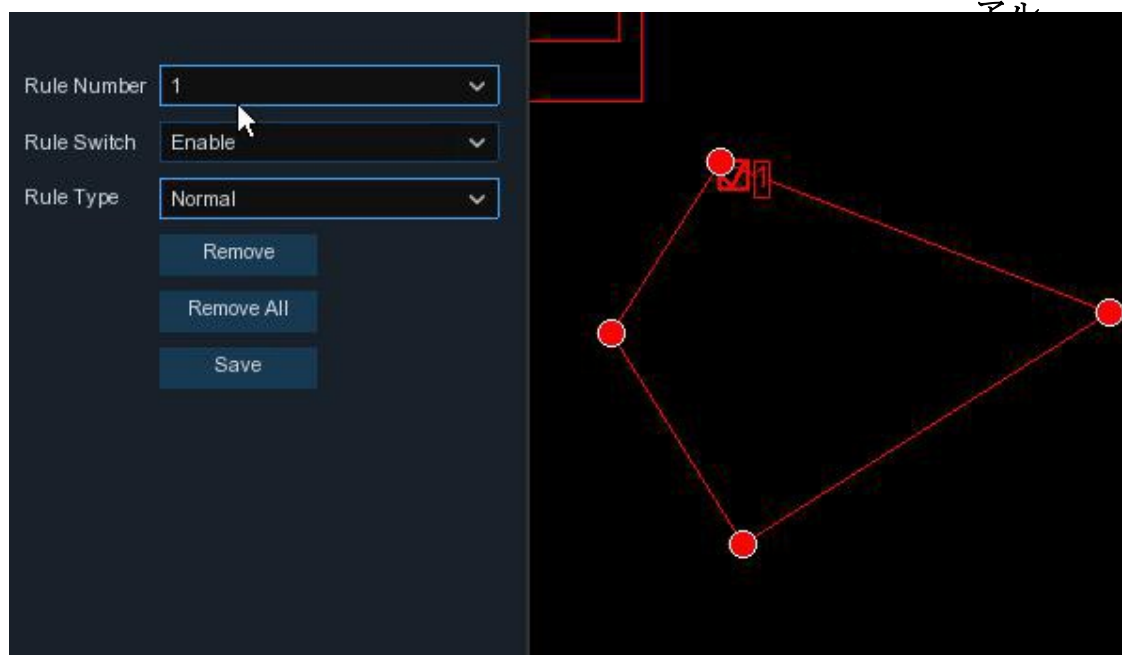
出力：NVRが外部アラーム装置への接続をサポートしている場合、アラーム音を発するよう設定できます。

メッセージを表示する：インテリジェント検出が作動すると、画面に "S" の文字が表示されます。

メールを送信します：アラームが発生した場合、設定したメールアカウントにメールが送信されます。**フルスクリーン**：検出された場合、チャンネルをフルスクリーンに拡大します。**チ**

チャンネルを録画する：検出がトリガーされたときに録画したいチャンネルを選択します。

エリア設定]をクリックして、カメラ画像に仮想領域を描画します。



1. ルール番号のいずれかを選択します。PDエリアの数です。PD機能で設定できるエリアは最大4つです。
2. **Rule Switch**で検出を有効にする場合。
3. **ルールの種類**を選択します。この検出ではノーマルのみ利用可能です。
4. マウスを使ってカメラ画像内の4点をクリックし、仮想領域を描画します。領域の形状は凸多角形である必要があります。凹型のポリゴンは保存できません。
5. **保存]** をクリックすると、設定が保存されます。
6. 領域の大きさを調整したい場合は、領域内の赤枠をクリックすると、領域の境界線が赤色に変更されます。マウスの左ボタンを長押しすると領域全体が移動し、角をドラッグすると領域の大きさが変更されます。
7. カメラ画像からいずれかの領域を削除したい場合は、領域内の赤枠をクリックし、**削除**ボタンをクリックします。**すべて削除**をクリックすると、すべての領域が削除されます。

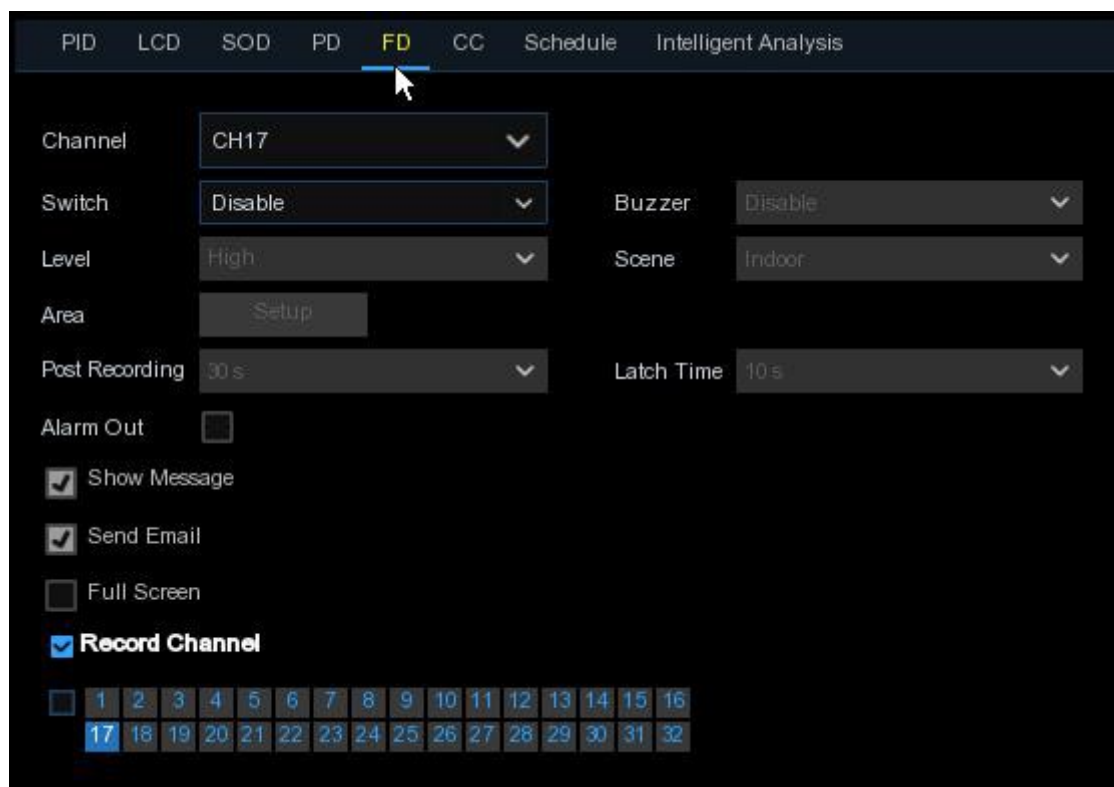
お知らせ

- 1) 検出のための領域は、人が到達できない領域であってはならない。
- 2) 検出された人たちは、その地域を完全に包囲する必要があります。



5.1.10.5 FD(顔検出)

顔検出機能は、あらかじめ設定された領域に現れる動く人の顔を検出し、アラームが作動したときに一連のアクションを実行することができます。



チャンネル：設定するチャンネルを選択します。

Enable：FD機能の有効/無効を設定します。

ブザー：検知時に10秒、20秒、40秒、60秒のいずれかのタイミングでブザーを鳴らすか鳴らさないかを設定

レベルスモール、ミドル、ビッグ小レベルは、長尺物の検知に適しています。の距離を測定します。近距離の物体を検出する場合は、大きなレベルを推奨します。

シーンシーン設定には、屋内と屋外があります。カメラを設置した場所に合わせてシーンを選択してください。

ポストレコーディング。イベント発生後、NVRが録画を継続する時間を設定できます。

ラッチ時間：検出がトリガーされたときの外部アラーム時間を設定します。**アラーム**

出力: NVRが外部アラーム装置への接続をサポートしている場合、アラーム音を発するよう設定できます。

メッセージを表示する。インテリジェント検出が作動すると、画面に "S" の文字が表示されます。

メールを送信します。アラームが発生した場合、設定したメールアカウントにメールが送信されます。**フルスクリーン**検出された場合、チャンネルをフルスクリーンに拡大します。**チ**

チャンネルを録画する: 検出がトリガーされたときに録画したいチャンネルを選択します。

エリア設定]をクリックして、カメラ画像に仮想領域を描画します。

1. ルール番号のいずれかを選択します。FDエリアの番号です。FD機能で設定できるエリアは最

大4つです。

2. **Rule Switch**で検出を有効にする場合。

3. ルールの種類を選択します。この検出ではノーマルのみ利用可能です。
4. マウスを使ってカメラ画像内の4点をクリックし、仮想領域を描画します。領域の形状は凸多角形である必要があります。凹型のポリゴンは保存できません。
5. **保存**] をクリックすると、設定が保存されます。
6. 領域の大きさを調整したい場合は、領域内の赤枠をクリックすると、領域の境界線が赤色に変更されます。マウスの左ボタンを長押しすると領域全体が移動し、角をドラッグすると領域の大きさが変更されます。
7. カメラ画像からいずれかの領域を削除したい場合は、領域内の赤枠をクリックし、**削除**ボタンをクリックします。すべて削除をクリックすると、すべての領域が削除されます。

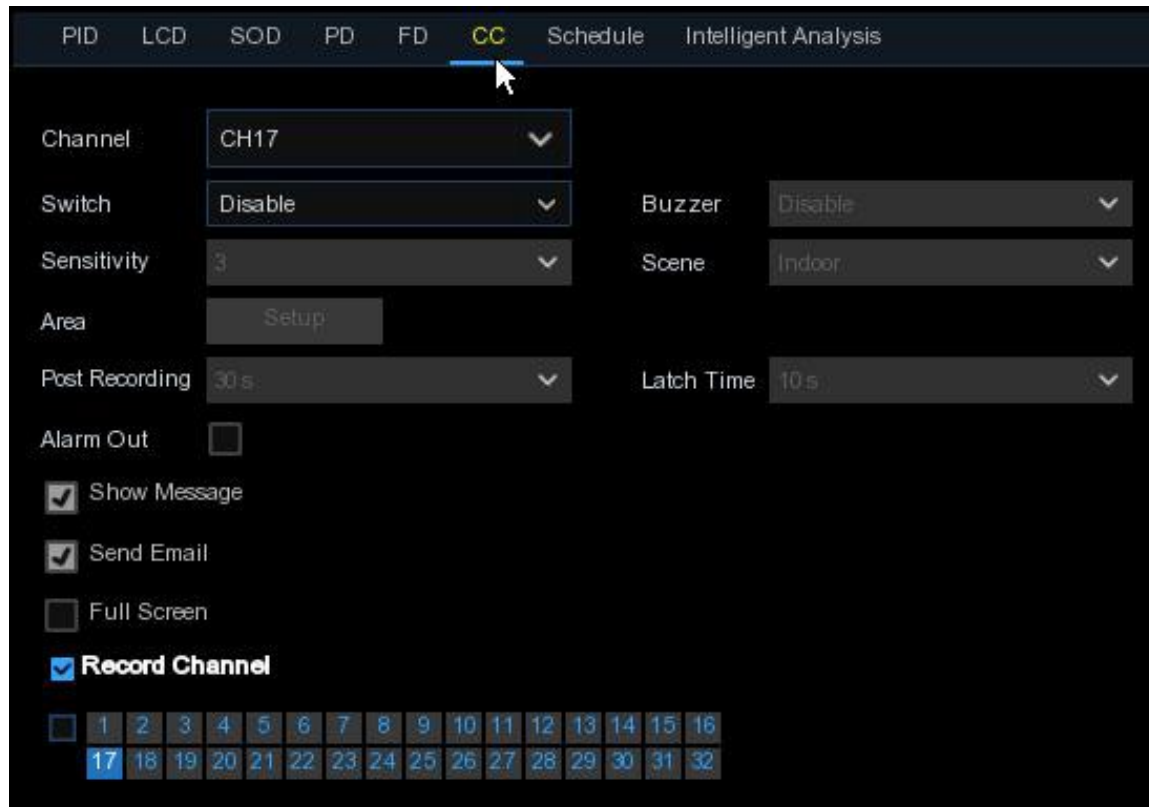
お知らせ

- 1) 検出のための領域は、人が到達できない領域であってはならない。
- 2) この領域は、前面全体を含む必要があります。



5.1.10.6 CC (クロスカウンティング)

クロスカウント機能とは、仮想の線をまたいで物や人を移動させた時間をカウントする機能です。



チャンネル：設定するチャンネルを選択します。

スイッチ：CC機能の有効/無効を切り替えます。

ブザー：検知時に10秒、20秒、40秒、60秒のいずれかのタイミングでブザーを鳴らすか鳴らさないかを設定

センシティブ (Sensitive)。感度レベルは1～4で、初期値は2です。感度を高くすると、検出のトリガーがかりやすくなります。

シーンシーン設定には、インドアとアウトドアがあります。に合わせてシーンをお選びください。

は、カメラを設置する場所です。

ポストレコーディング。イベント発生後、NVRが録画を継続する時間を設定できます。

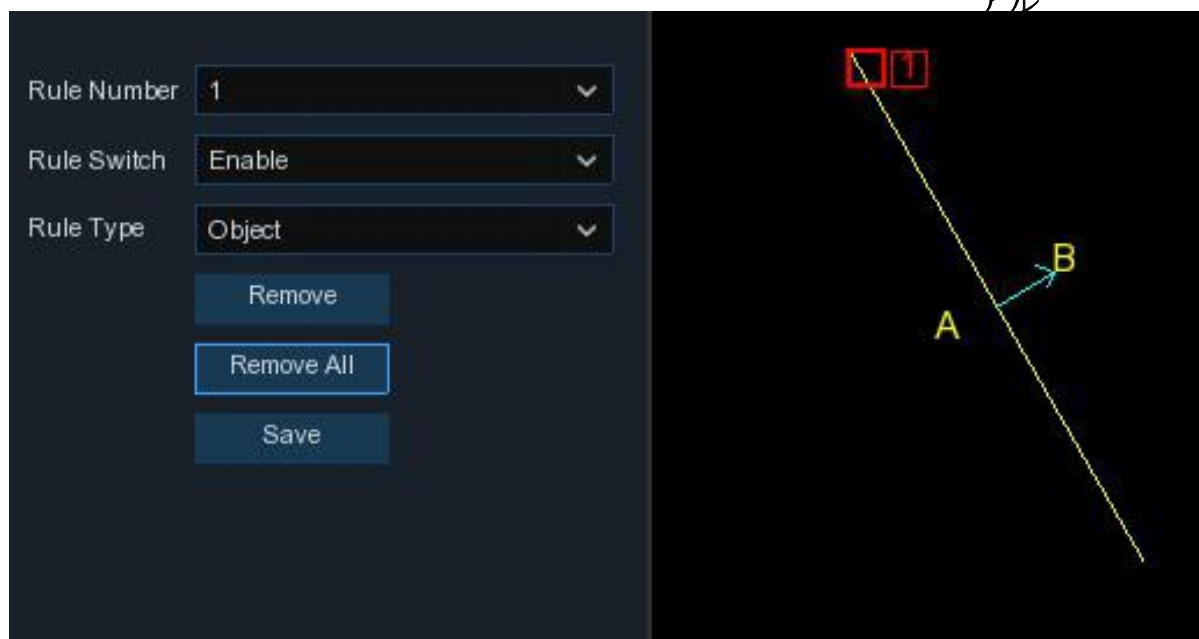
ラッチタイム：検知した際の外部アラーム時間を設定します。

アラーム出力：NVRが外部アラーム・デバイスへの接続をサポートしている場合、アラーム音を発するように設定することができます。

メッセージを表示する。インテリジェント検出が作動すると、画面に "S" の文字が表示されます。

メールを送信します。アラームが発生した場合、設定したメールアドレスにメールが送信されます。**フルスクリーン**検出された場合、チャンネルをフルスクリーンに拡大します。**チャンネルを録画する**：検出がトリガーされたときに録画したいチャンネルを選択します。

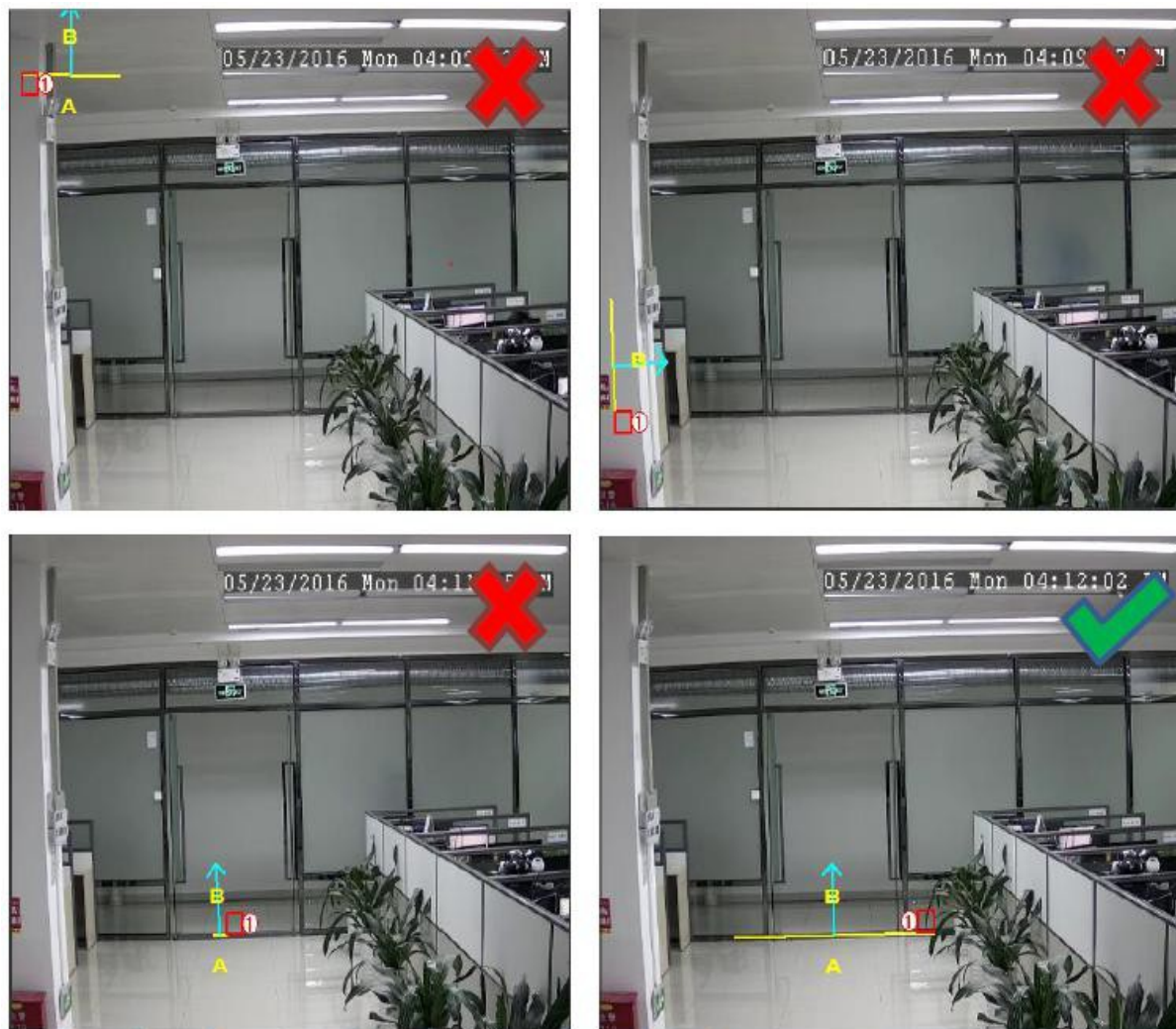
[エリア設定](#)をクリックして、カメラ画像に仮想領域を描画します。



1. ルール番号のいずれかを選択します。描画できる仮想線の本数です。最大4本です。
2. **Rule Switch**で検出を有効にする場合。
3. ルールの種類を選択する
オブジェクトです。移動する物体のみカウントされます。
歩行者：動いている人だけのカウントします。
4. マウスでカメラ映像の2点をクリックすると、仮想の線が描かれます。A面からB面までがEnter、B面からA面までがExitです。
5. **保存**] をクリックすると、設定が保存されます。
6. 線の位置や長さを変更したい場合は、線の中の赤枠をクリックすると、線の色が赤色に変更されます。マウスの左ボタンを長押しすると線が移動し、端末をドラッグすると線の長さや位置が変更できます。
7. カメラ画像から線を1本だけ削除したい場合は、線の赤枠をクリックし、**削除**ボタンをクリックします。すべて削除をクリックすると、すべての線が削除されます。

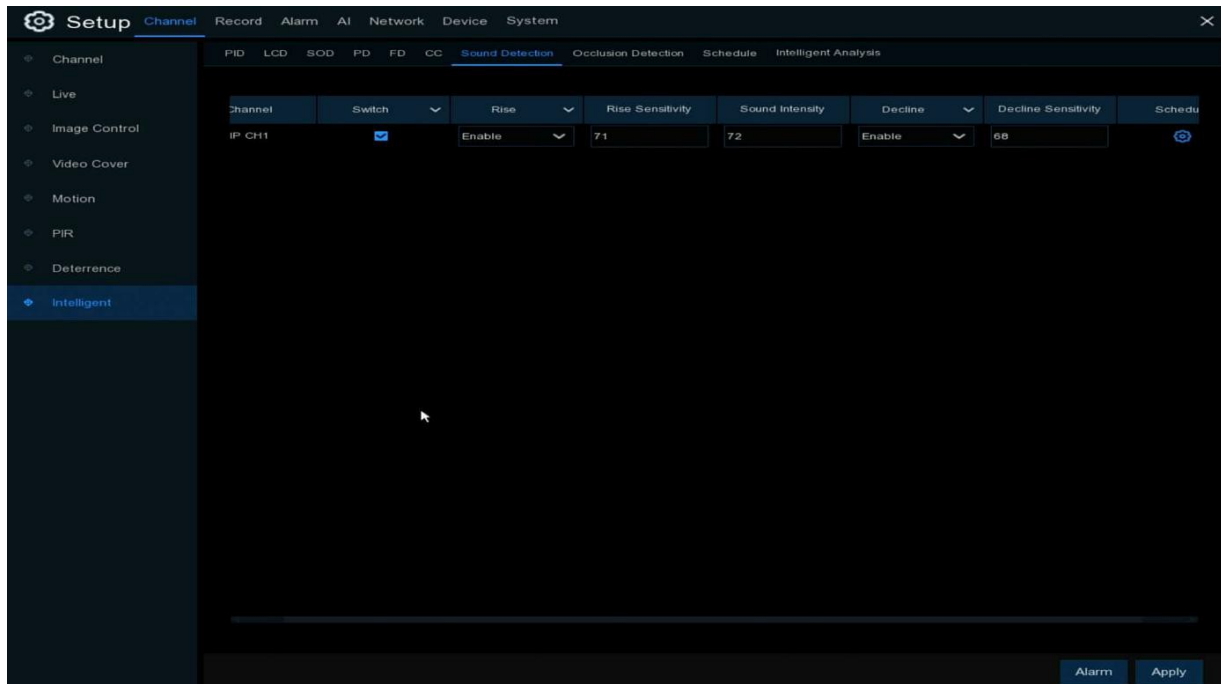
お知らせ

- 1) 線はカメラ画像の端に近すぎたはならず、ターゲットがそれを横切ったときにアラームが作動しないことを避けるためである。
- 2) 線は、検出された物体が届く範囲にあることが望ましい。
- 3) ターゲットがその外側を通過したときにアラームが作動しないことを避けるため、線は短く設定してはならない。



5.1.8.7 Intelligent Analysisでクロスカウントの統計結果を検索・表示することができます。

5.1.10.7 サウンドディテクション



音検知では、音の上昇や下降を検知しながらアラームを発生させることができ、アラーム発生時に何らかのアクションを起こすことも可能です。

Switch: 音の検出を有効または無効にします。

Rise: 音の立ち上がりの検出を有効または無効にします。

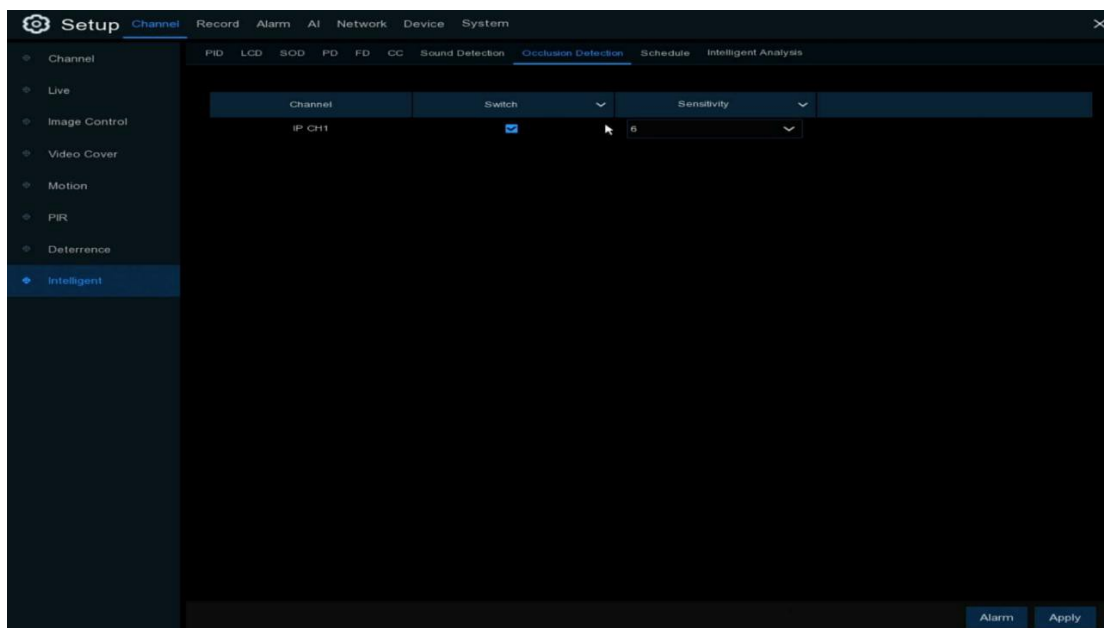
ライズ感度。 感度のレベルを設定します。レベル1が最低感度、レベル100が最高感度になります。

音の強さ : 音の強さの閾値を設定します。閾値が低いほど感度が高くなり、アラームが鳴りやすくなります

Decline: サウンドのDecline検出を有効または無効にする。

感度を下げる。 感度のレベルを設定します。レベル1は最も低い感度レベル、レベル100は最も高い感度レベルです。

5.1.10.8 オクルージョン検出



オクルージョン検出は、ライブビュー画面のオクルージョンを検出し、アラーム発生時に特定のアクションを実行することができます。

スイッチです。LCD機能の有効化／無効化

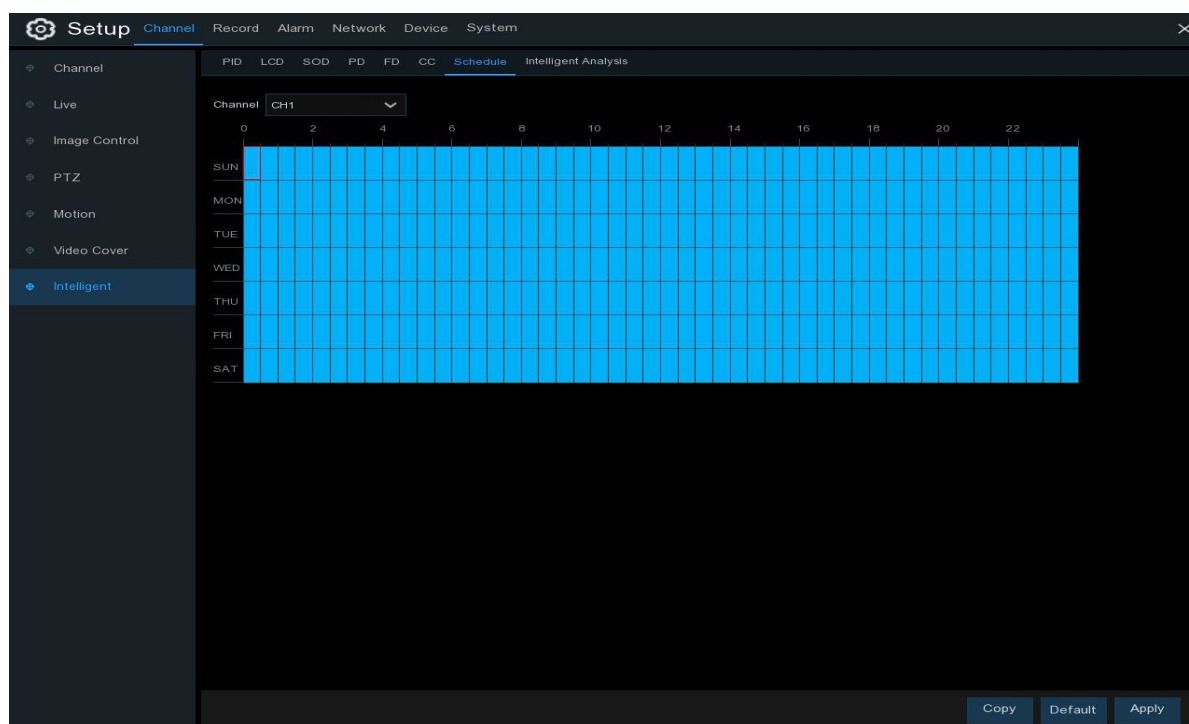
感度を設定します。感度レベルは1～6で、デフォルト値は4です。感度を高くすると、検出のトリガーがかかりやすくなります。

5.1.10.9 インテリジェント・アナリシス

Hour	Count(Cross Out)
00:00 - 00:59	1
01:00 - 01:59	2
02:00 - 02:59	2
03:00 - 03:59	1
04:00 - 04:59	61812948
05:00 - 05:59	61812976
06:00 - 06:59	116859212
07:00 - 07:59	-2013242624
08:00 - 08:59	1
09:00 - 09:59	65537

日次／週次／月次／年次でクロスイン・クロスアウトの統計結果を照会することが可能です。

5.1.10.10 インテリジェント・スケジュール



インテリジェント機能を有効にするには、スケジュールを設定する必要があります。スケジュールは、**24時間×7日間**で有効になります。

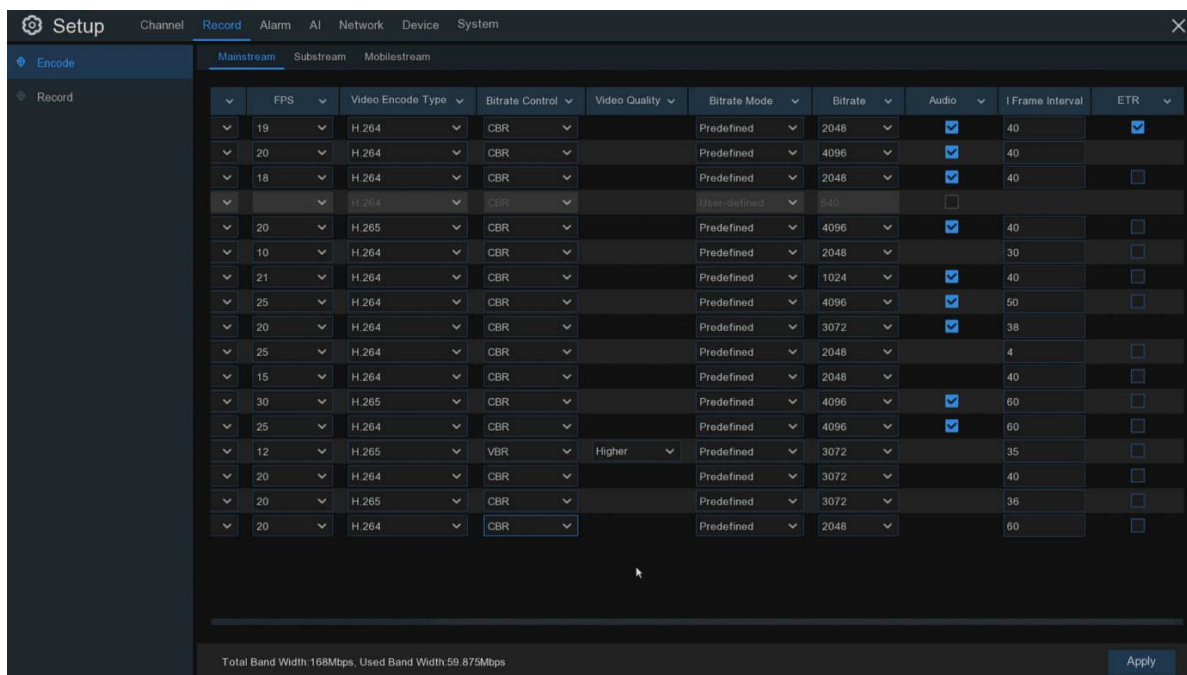
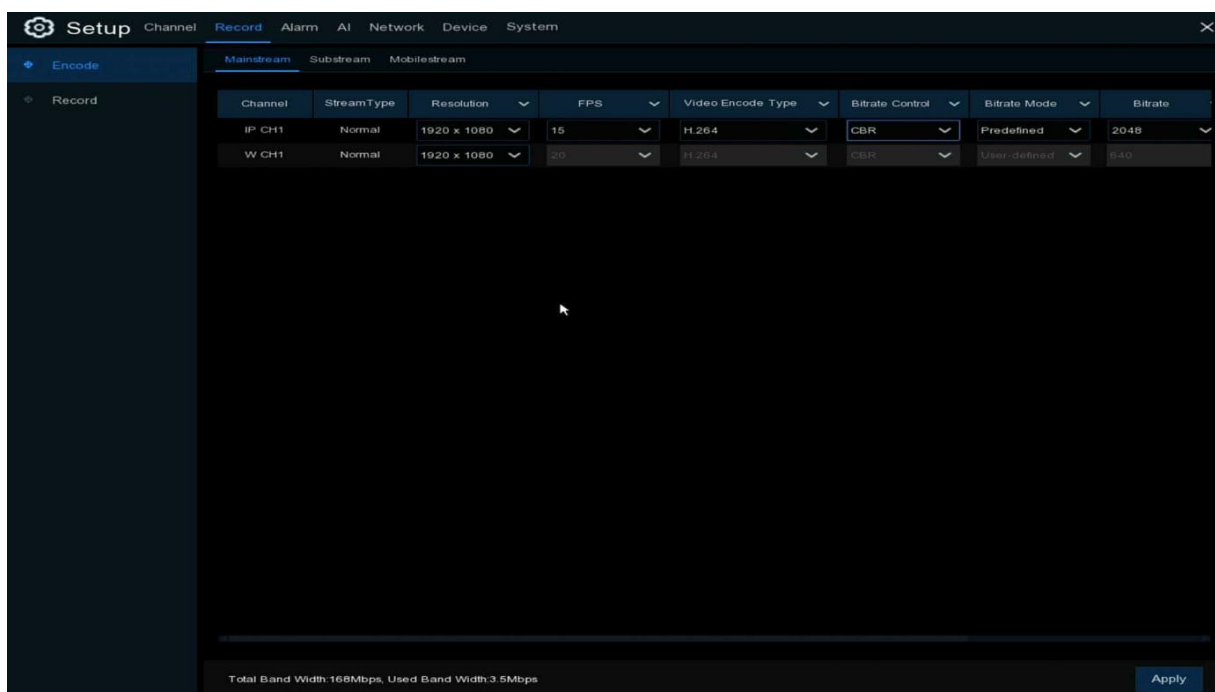
スケジュールを設定するには、1つのチャンネルを選択し、カーソルをドラッグしてスロットをマークします。タイムスロット内の空色のブロックは、インテリジェント検出のためにアクティブになります。スケジュールは、設定したときに選択されたチャンネルに対してのみ有効です。同じスケジュールを他のチャンネルでも使用したい場合は、**コピー**機能を使用してください。**保存]** をクリックすると、設定が保存されます。

5.2 記録

このメニューでは、録画のパラメータを設定することができます

5.2.1 エンコード

このメニューでは、録画映像やネットワーク伝送の画質を設定することができます。一般的に、メインストリームは HDD に保存される録画映像の画質、サブストリームは Web クライアントや CMS などのリモートアクセスで視聴する映像の画質、モバイルストリームはモバイル端末からのリモートアクセスで視聴する映像の画質をそれぞれ定義します。



解像度。 このパラメーターは、記録される画像の大きさを定義します。

FPS: このパラメーターは、NVRが記録する1秒あたりのフレーム数を定義します。

ビデオエンコードタイプ。 IPカメラのみ。NVRはH.264 IPカメラのみをサポートします。H.265を選択した場合、IPチャンネルのライブビュー画面は「[デコードに失敗しました](#)」と表示されます。

ビットレート・コントロール。 ビットレートレベルを選択します。グレーの壁のようなシンプルなシーンでは、**コンスタントビットレート (CBR)** が適しています。より複雑なシーン、例えば賑やかな通りは**可変ビットレート (VBR)** が適しています。

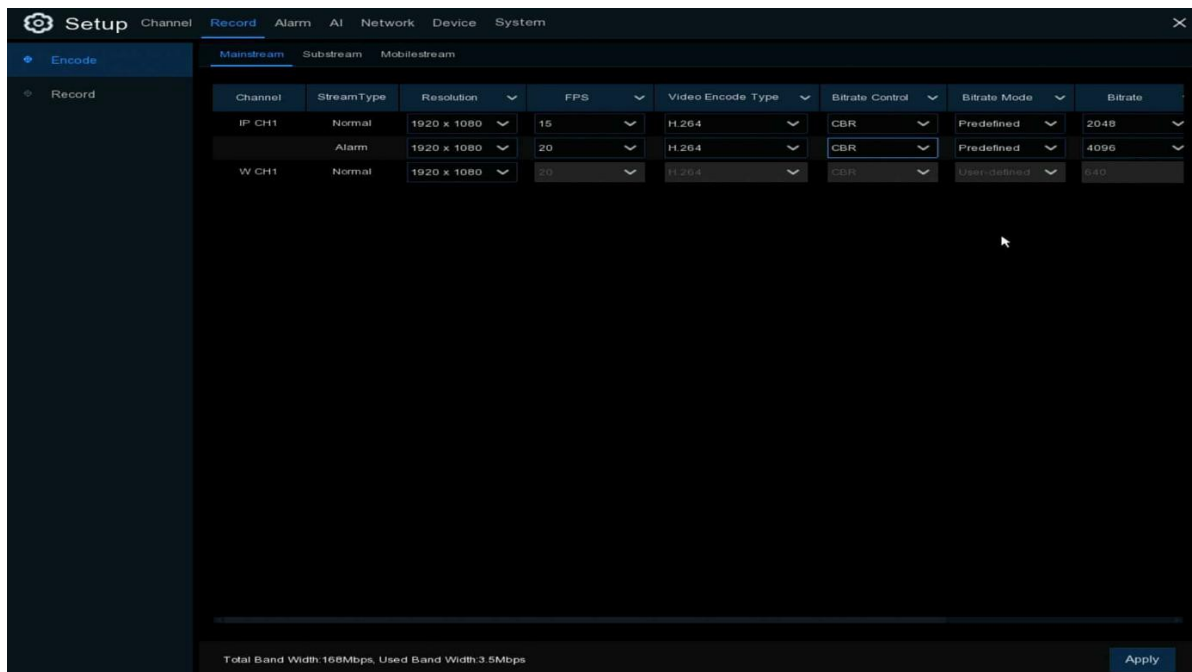
ビットレートモード。 ビットレートを自分で設定したい場合は、**ユーザー定義**モードを選択します。あらかじめ定義されたビットレートを選択したい場合は、**Predefined** モードを選択します。

ビットレート。 このパラメータは、NVRがビデオの録画に使用するデータ転送の速度に対応します。より高いビットレートでエンコードされた録画は、より高品質になります。

オーディオ: カメラのオーディオを有効または無効にします。

Iフレーム間隔: カメラのIフレーム間隔を設定します。

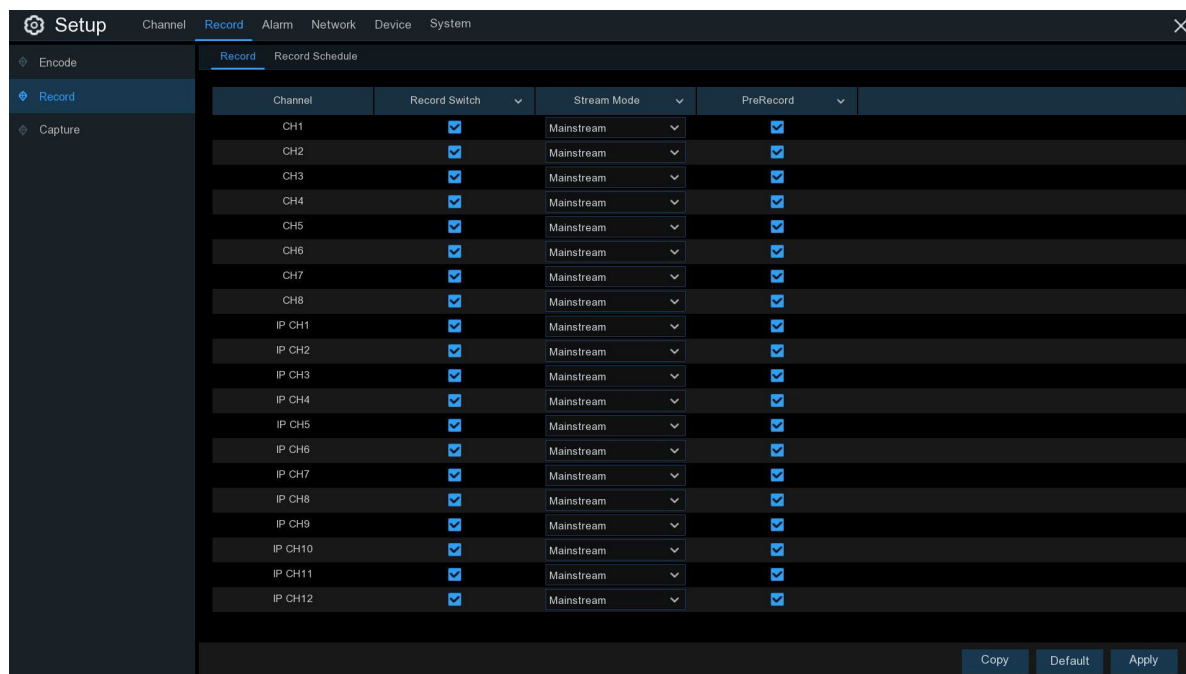
ETR: アラーム発生時と非発生時で異なるビットストリームパラメータを設定することが可能です。



5.2.2 記録

このメニューでは、チャンネル録画のパラメータを設定することができます。

5.2.2.1 記録



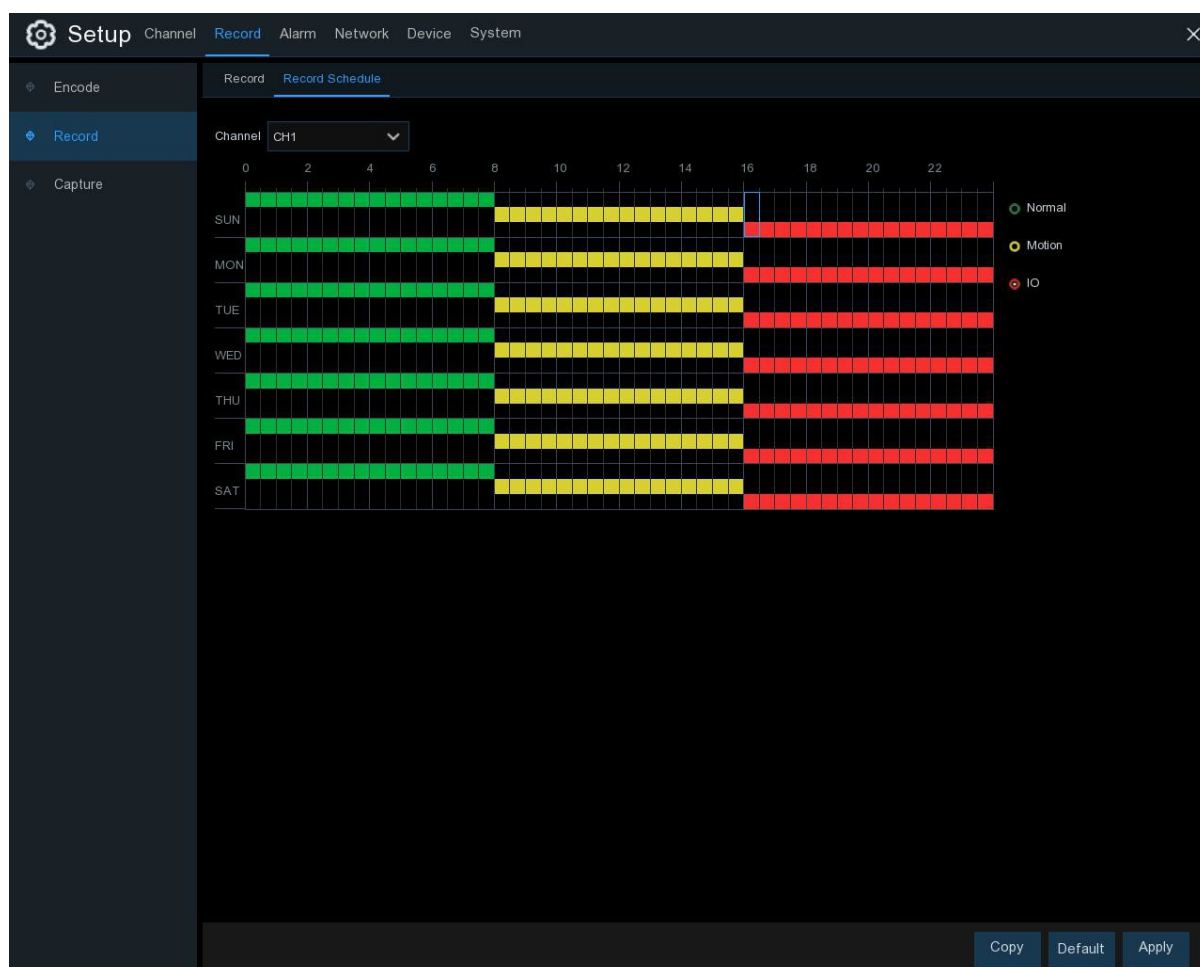
録画スイッチ。このチャンネルでの録音を有効にする場合はチェックを入れます。

ストリームモード。録画画質を選択します。Dualstreamを選択した場合、MainstreamとSubstreamの両方で録画されます。

プリレコードこのオプションを有効にすると、NVRはアラームイベントが発生する数秒前に録画を開始します。主な録画タイプがモーションまたはI/Oアラームベースの場合、このオプションを使用します。

5.2.2.2 記録スケジュール

このメニューでは、NVRがビデオを録画するタイミングを指定し、各チャンネルの録画モードを定義することができます。録画スケジュールでは、通常（連続）録画、モーション録画、I/Oアラーム録画およびPIR録画（NVRがサポートしている場合）により、毎日および毎時のようなスケジュールを設定することができます。録画モードを設定するには、まずモードのラジオボタン（通常、モーション、IO、PIR）をクリックし、カーソルをドラッグしてスロットにマークを付けます。録画スケジュールは、1つのチャンネルに対してのみ有効です。他のチャンネルで同じ録画スケジュールを使用したい場合は、**コピー**機能を使用します。**適用** をクリックして、設定を保存します。



チャンネルです。チャンネルを選択して、その録画パラメーターを設定します。

通常です。タイムスロットが緑色に表示されている場合、そのチャンネルがそのタイムスロットで通常の録画を行うことを示します。

モーションタイムスロットが黄色で表示されている場合、そのタイムスロット中にモーションが検出された場合にのみ、チャンネルが記録されることを示します。

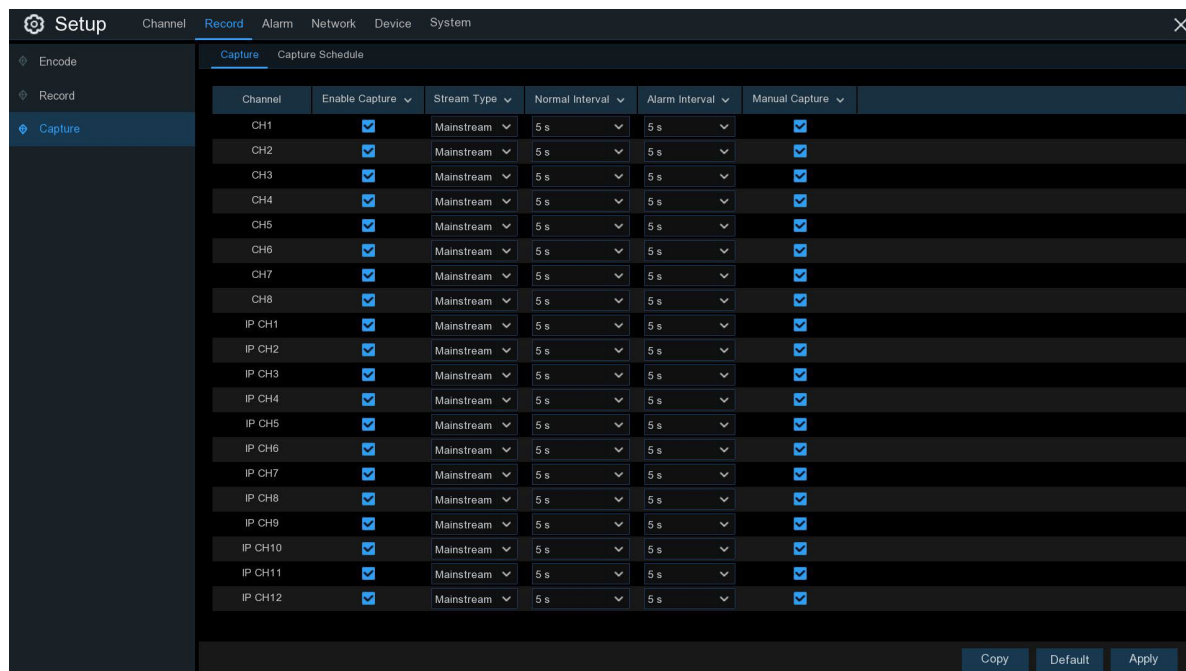
IO: タイムスロットが赤でマークされている場合、そのタイムスロット中にセンサーがトリガーされたときのみ、チャンネルが記録されることを示します。

記録なし。黒く表示されている時間帯は、その時間帯に録画が予定されていないことを意味します。

5.2.3 キャプチャ

画像取り込み機能を設定するメニューです。

5.2.3.1 キャプチャ

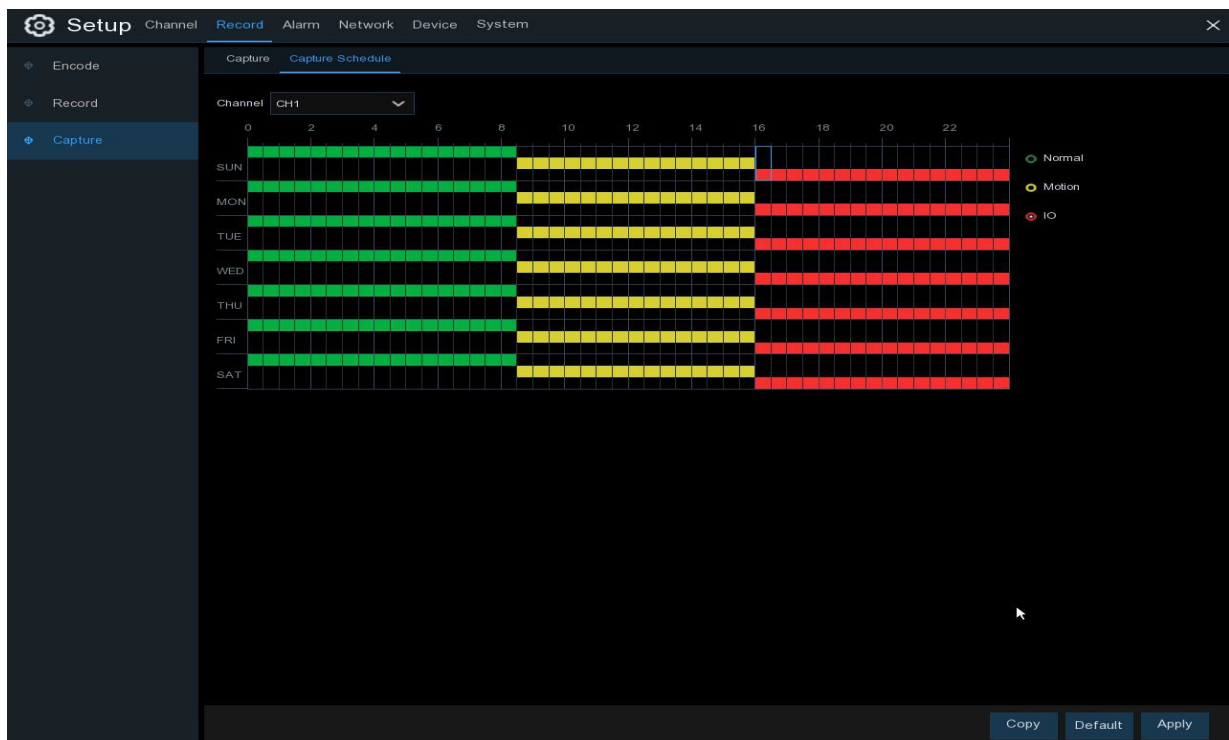


キャプチャを有効にする。 チャンネルでの自動キャプチャを有効または無効にします。**ストリームタイプ。** メインストリームまたはサブストリームによる画像解像度を選択します。**Normal Interval (通常間隔)**。通常の録画で画像をキャプチャする時間間隔。

アラームインターバル。 モーション、IOアラームまたはPIRがトリガーされたときに画像をキャプチャするための時間間隔

マニュアルキャプチャ。 チャンネルの手動キャプチャを有効または無効にする

5.2.3.2 キャプチャー予定



チャンネルです。チャンネルを選択して、そのキャプチャパラメータを設定します。

通常です。タイムスロットが緑色に表示されている場合、そのチャンネルはそのタイムスロットで通常のキャプチャを行うことを示します。

モーションタイムスロットが黄色にマークされた場合、そのタイムスロット中にモーションが検出された場合にのみ、チャンネルが画像をキャプチャすることを意味します。

IO: タイムスロットが赤でマークされている場合、そのタイムスロット中にセンサーがトリガーされたときのみ、チャンネルが画像をキャプチャすることを示します。

キャプチャなし。黒く表示されている時間帯は、その時間帯の画像をキャプチャしないことを意味しますが、チャンネルの手動キャプチャ機能を有効にすると、手動で画像をキャプチャすることができます。

5.3 アラーム

このセクションでは、アラームパラメータを設定することができます。

5.3.1 モーション

動作は[5.1.6動作](#)と同じです。

5.3.2 PIR


このメニューでは、PIR アラームのパラメータを設定することができます。

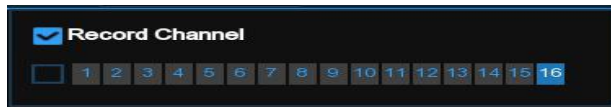
チャンネルチャンネル名

ブザーNVRは内蔵ブザーを使用してアラーム音を発することができます。PIRが検出されたときのブザーの継続時間を秒単位で設定することができます。

アラーム出力。オプション機能。NVRが外部アラーム・デバイスへの接続をサポートしている場合、アラーム音を発するように設定することができます。

ラッチタイム：PIRを検知した際の外部アラーム時間を設定します。

記録する。  アイコンをクリックし、PIR 検出時に録画したいチャンネルを選択します。



ポストレコーディング。イベント発生後、NVRが録画を継続する時間を設定できます。推奨される録画時間は30秒ですが、最大で5分まで設定できます。

メッセージを表示する。PIRが検知されたとき、ライブビュー画面に「PIR」アイコンを表示する場合はチェックを入れてください。

メールを送信します。PIRが検出されたとき、NVRが自動で電子メールを送信するように設定できます。

FTP画像アップロード。PIRが検出されたときにアラーム画像をFTPサーバーにアップロードします。FTPを有効にするには、[5.4.4 FTP](#)を参照してください。

FTPビデオアップロード。PIRが検知されたときに、アラームビデオをFTPサーバーにアップロードします。FTPを有効にするには、[5.4.4 FTP](#)を参照してください。

ピクチャー・トゥ・クラウドPIRが検出されたときに、アラーム画像をクラウドサーバーにアップロードします。クラウドを有効にするには、[5.5.2 クラウド](#)を参照してください。

ビデオ・トゥ・クラウドPIRが検知されたときに、アラームビデオをクラウドサーバーにアップロードします。クラウドを有効にするには、[5.5.2 クラウド](#)を参照してください。

フルスクリーンこの機能が有効で、あるチャンネルでPIRが検知された場合、そのチャンネルをフルスクリーンで表示します。

5.3.3 入出力

これはオプション機能で、NVRがセンサーI/Oをサポートし、外部のセンサーI/Oアラーム

Alarm In	Alarm Type	Buzzer	Alarm Out	Latch Time	Record	Post Recording	Show Message	Send Email	Full Screen
IO-1	Normally-Open	Disable	<input type="checkbox"/>	10 s	ON	30 s	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
IO-2	Normally-Open	Disable	<input type="checkbox"/>	10 s	ON	30 s	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
IO-3	Normally-Open	Disable	<input type="checkbox"/>	10 s	ON	30 s	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
IO-4	Normally-Open	Disable	<input type="checkbox"/>	10 s	ON	30 s	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
IO-5	Normally-Open	Disable	<input type="checkbox"/>	10 s	ON	30 s	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
IO-6	Normally-Open	Disable	<input type="checkbox"/>	10 s	ON	30 s	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
IO-7	Normally-Open	Disable	<input type="checkbox"/>	10 s	ON	30 s	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
IO-8	Normally-Open	Disable	<input type="checkbox"/>	10 s	ON	30 s	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>


・デバイスを接続してNVRと連携させる場合に表示されます。

アラームイン。I/Oチャンネル

アラームタイプ。あなたの選択のための3つのタイプがある。ノーマリーオープン、ノーマルクローズ、オフ。センサーの種類に合わせて選択するか、OFFを選択するとセンサートリガー機能が解除されます。**ブザー**NVRは内蔵ブザーを使用してアラーム音を鳴らすことができます。センサーがトリガーされたときのブザーの継続時間を秒単位で設定できます。

アラーム出力。センサーがトリガーされたときに、外部アラームデバイスがアラーム音を発することを有効にするためにチェックを入れます。

ラッチ時間：外部センサーがトリガーされたときにブザーを鳴らす時間を設定できます（10秒、20秒、40秒、60秒）。

録画する  アイコンをクリックし、モーションセンサーが作動したときに録画したいチャンネルを選択します。
が検出されます。



ポストレコーディングを行います。アラーム終了時のアラーム記録時間を設定できます（30秒、1分、2分、5分）。

メッセージを表示する。センサーがトリガーされたときに、画面にアラームメッセージを表示します。

メール送信。センサーが作動したときに、指定したメールにメールを送信するように設定します。

フルスクリーンセンサーがトリガーされると、対応するチャンネルはフルスクリーンモードに切り替わります。

FTPピクチャアップロード。IOがアラームになったときに、アラーム画像をFTPサーバーにアップロードします。FTPを有効にするには、[5.4.4 FTP](#)を参照してください。

FTP Video Upload。IOがアラームのとき、アラームビデオをFTPサーバーにアップロードします。FTPを有効にするには、[5.4.4 FTP](#)を参照してください。

ピクチャー・トゥ・クラウドIOがアラームになったときに、アラーム画像をクラウドサーバーにアップロードします。クラウドを有効にするには、[5.5.2 Cloud](#)を参照してください。

ビデオ・トゥ・クラウド。IOがアラームになったときに、アラームビデオをクラウドサーバーにアップロードします。クラウドを有効にするには、[5.5.2 Cloud](#)を参照してください。

5.3.4 インテリジェント

5.3.4.1 ピーディー


ここでは、PIDアラーム機能を設定することができます。

チャンネルチャンネル名

ブザーNVRは内蔵ブザーを使ってアラーム音を鳴らすことができます。PIDがトリガーされたときのブザーの継続時間を秒単位で設定できます。

アラーム出力。オプション機能。NVRが外部アラーム・デバイスへの接続をサポートしている場合、アラーム音を発するように設定することができます。

ラッチタイム：PIDがトリガーされたときの外部アラーム時間を設定します。

記録する  アイコンをクリックし、PIDがトリガーされたときに録画したいチャンネルを選択します。



ポストレコーディング。イベント発生後、NVRが録画を継続する時間を設定することができます。推奨される録画時間は30秒ですが、最大で5分まで設定できます。

メッセージを表示する。 PIDがトリガーされたとき、ライブビュー画面に "S" アイコンを表示する場合はチェックを入れてください。

メールを送信します。 PIDがトリガーされたときに、NVRが自動電子メールを送信するように設定できます。

FTPピクチャーアップロード。 PID を検出したときに、アラーム画像を FTP サーバ^{フル}にアップロードします。FTP を有効にするには、[5.4.4 FTP](#) を参照してください。

FTP Video Upload。 PID がアラームのとき、アラーム映像を FTP サーバーにアップロードします。FTP を有効にするには、「[5.4.4 FTP](#)」を参照してください。

ピクチャー・トゥ・クラウド PIDがアラームのとき、アラーム画像をクラウドサーバーにアップロードします。クラウドを有効にするには、[5.5.2 Cloud](#) を参照してください。

ビデオ・トゥ・クラウド。 PID がアラームのとき、アラーム映像をクラウドサーバーにアップロードします。クラウドを有効にするには、[5.5.2 Cloud](#) を参照してください。

フルスクリーンこの機能が有効で、あるチャンネルにPIDがアラームされている場合、そのチャンネルがフルスクリーンで表示されます。

5.3.4.2 液晶ディスプレイ


ここでは、LCDアラーム機能を設定することができます。

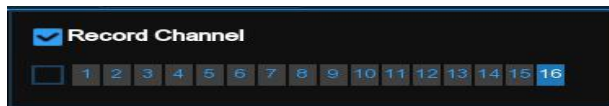
チャンネルチャンネル名

ブザーNVRは内蔵ブザーを使用してアラーム音を発することができます。LCDがトリガーされたときのブザーの継続時間を秒単位で設定できます。

アラーム出力。 オプション機能。NVRが外部アラーム・デバイスへの接続をサポートしている場合、アラーム音を発するように設定することができます。

ラッチタイム : LCD がトリガーされたときの外部アラーム時間を設定します。

記録する  アイコンをクリックし、LCD がトリガーされたときに録画したいチャンネルを選択します。



ポストレコーディング。 イベント発生後、NVRが録画を継続する時間を設定できます。推奨される録画時間は30秒ですが、最大で5分まで設定できます。

メッセージを表示する。 LCDトリガー時にライブビュー画面に "S "アイコンを表示させる場合はチェックを入れます。

メールを送信します。 LCDがトリガーされたときに、NVRに自動電子メールを送信させることができます。

FTPピクチャーアップロード。 LCD 検出時にアラーム画像を FTP サーバーにアップロードします。FTP を有効にするには、[5.4.4 FTP](#) を参照してください。

FTPビデオアップロード。 LCD がアラームのとき、アラームビデオを FTP サーバーにアップロードします。FTP を有効にするには、[5.4.4 FTP](#) を参照してください。

ピクチャー・トゥ・クラウド LCD がアラーム状態のときに、アラーム画像をクラウドサーバーにアップロードします。クラウドを有効にするには、[5.5.2 Cloud](#) を参照してください。

ビデオ・トゥ・クラウド。 LCD がアラームのとき、アラームビデオをクラウドサーバーにアップロードします。クラウドを有効にするには、[5.5.2 Cloud](#) を参照してください。

フルスクリーンこの機能が有効で、あるチャンネルにLCDがアラームしている場合、そのチャンネルをフルスクリーンで見ることができます。

5.3.4.3 SOD


ここでは、SOD アラーム機能を設定することができます。

チャンネルチャンネル名

ブザーNVRは内蔵ブザーを使ってアラーム音を鳴らすことができます。SODがトリガーされたときのブザーの継続時間を秒単位で設定できます。

アラーム出力。オプション機能。NVRが外部アラーム・デバイスへの接続をサポートしている場合、アラーム音を発するように設定することができます。

ラッチタイム : SOD がトリガーされたときの外部アラーム時間を設定します。

録画する。  アイコンをクリックし、SOD がトリガーされたときに録画したいチャンネルを選択します。



ポストレコーディング。イベント発生後、NVRが録画を継続する時間を設定することができます。推奨される録画時間は30秒ですが、最大で5分まで設定できます。

メッセージを表示する。SODが発生したとき、ライブビュー画面に "S "アイコンを表示する場合はチェックを入れてください。

メールを送信します。SODがトリガーされたとき、NVRが自動電子メールを送信するように設定できます。

FTPピクチャーアップロード。SOD が検出されたときに、アラーム画像を FTP サーバーにアップロードします。FTP を有効にするには、[5.4.4 FTP](#) を参照してください。

FTP Video Upload。SOD がアラームのとき、アラームビデオを FTP サーバーにアップロードします。FTP を有効にするには、[5.4.4 FTP](#) を参照してください。

ピクチャー・トゥ・クラウドSODがアラームになったときに、アラーム画像をクラウドサーバーにアップロードします。クラウドを有効にするには、[5.5.2 クラウド](#)を参照してください。

ビデオ・トゥ・クラウド。SOD がアラームになったときに、アラームビデオをクラウドサーバーにアップロードします。クラウドを有効にするには、[5.5.2 クラウド](#)を参照してください。

フルスクリーンこの機能が有効で、あるチャンネルで SOD がアラームになっている場合、そのチャンネルをフルスクリーンで表示します。

5.3.4.4 ピーディー


ここでは、PDアラーム機能を設定することができます。

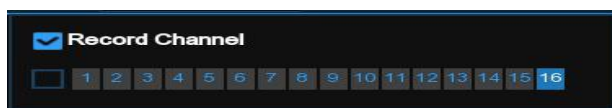
チャンネルチャンネル名

ブザーNVRは内蔵ブザーを使ってアラーム音を鳴らすことができます。PDがトリガーされたときのブザーの継続時間を秒単位で設定することができます。

アラーム出力。オプション機能。NVRが外部アラーム・デバイスへの接続をサポートしている場合、アラーム音を発するように設定することができます。

ラッチタイム : PDがトリガーされたときの外部アラーム時間を設定します。

録画する  アイコンをクリックし、PD がトリガーされたときに録画したいチャンネルを選択します。



ポストレコーディング。 イベント発生後、NVRが録画を継続する時間を設定できます。推奨される録画時間は30秒ですが、最大で5分まで設定できます。

メッセージを表示する。 PDがトリガーされたときにライブビュー画面に "S "アイコンを表示する場合は、チェックボックスをオンにします。

メールを送信します。 PDがトリガーされたとき、NVRが自動電子メールを送信するように設定できます。

FTPピクチャーアップロード。 PD が検出されたときに、アラーム画像を FTP サーバーにアップロードします。FTP を有効にするには、[5.4.4 FTP](#) を参照してください。

FTP Video Upload。 PD がアラームのときにアラームビデオを FTP サーバーにアップロードします。FTP を有効にするには、「[5.4.4 FTP](#)」を参照してください。

ピクチャー・トゥ・クラウド PD がアラームになったときに、アラーム画像をクラウドサーバーにアップロードします。クラウドを有効にするには、[5.5.2 Cloud](#) を参照してください。

ビデオ・トゥ・クラウド。 PD がアラームになったときに、アラームビデオをクラウドサーバーにアップロードします。クラウドを有効にするには、[5.5.2 クラウド](#) を参照してください。

全画面表示です。 この機能が有効で、あるチャンネルにPDがアラームしている場合、そのチャンネルがフルスクリーンで表示されます。

5.3.4.5 FD


ここでは、FDアラーム機能を設定することができます。

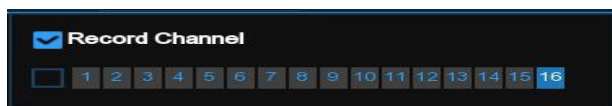
チャンネルチャンネル名

ブザーNVRは内蔵ブザーを使ってアラーム音を鳴らすことができます。FDがトリガーされたときのブザーの継続時間を秒単位で設定できます。

アラーム出力。 オプション機能。NVRが外部アラーム・デバイスへの接続をサポートしている場合、アラーム音を発するように設定することができます。

ラッチタイム : FD がトリガーされたときの外部アラーム時間を設定します。

録画する。  アイコンをクリックし、FD がトリガーされたときに録画したいチャンネルを選択します。



ポストレコーディング。 イベント発生後、NVRが録画を継続する時間を設定できます。推奨される録画時間は30秒ですが、最大で5分まで設定できます。

メッセージを表示する。 FD発動時にライブビュー画面に "S "アイコンを表示する場合は、チェックを入れてください。

メールを送信します。 FDがトリガーされたときに、NVRが自動電子メールを送信するように設定できます。

FTPピクチャーアップロード。 FD 検出時にアラーム画像を FTP サーバーにアップロードします。FTP を有効にするには、[5.4.4 FTP](#) を参照してください。

FTP Video Upload。FD がアラームの場合に、アラーム映像を FTP サーバーにアップロードします。FTP を有効にするには、「[5.4.4 FTP](#)」を参照してください。

ピクチャー・トゥ・クラウドFD がアラームになったときに、アラーム画像をクラウドサーバーにアップロードします。クラウドを有効にするには、[5.5.2 クラウド](#)を参照してください。

ビデオ・トゥ・クラウド。FD がアラーム時にアラームビデオをクラウドサーバーにアップロードします。クラウドを有効にするには、[5.5.2 クラウド](#)を参照してください。

フルスクリーンこの機能が有効な場合、あるチャンネルで FD がアラームになっていると、そのチャンネルがフルスクリーンで表示されます。

5.3.4.6 シーシー


ここでは、CCアラーム機能を設定することができます。

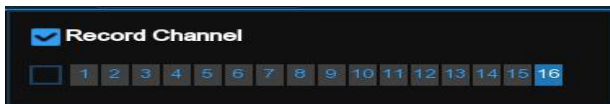
チャンネルチャンネル名

ブザーNVRは内蔵ブザーを使ってアラーム音を鳴らすことができます。CCがトリガーされたときのブザーの継続時間を秒単位で設定できます。

アラーム出力。オプション機能。NVRが外部アラーム・デバイスへの接続をサポートしている場合、アラーム音を発するように設定することができます。

ラッチタイム：CCがトリガーされたときの外部アラーム時間を設定します。

録画します。  アイコンをクリックし、CC がトリガーされたときに録画したいチャンネルを選択します。



ポストレコーディング。イベント発生後、NVRが録画を継続する時間を設定できます。推奨される録画時間は30秒ですが、最大で5分まで設定できます。

メッセージを表示する。CCがトリガーされたとき、ライブビュー画面に "S" アイコンを表示する場合はチェックを入れてください。

メールを送信します。CCがトリガーされたときに、NVRが自動で電子メールを送信するように設定できます。

FTP画像アップロード。CC を検出したときに、アラーム画像を FTP サーバーにアップロードします。FTP を有効にするには、[5.4.4 FTP](#) を参照してください。

FTP Video Upload。CC がアラームのとき、アラーム映像を FTP サーバーにアップロードします。FTP を有効にするには、「[5.4.4 FTP](#)」を参照してください。

ピクチャー・トゥ・クラウドCC がアラームになったときに、アラーム画像をクラウドサーバーにアップロードします。クラウドを有効にするには、[5.5.2 クラウド](#)を参照してください。

ビデオ・トゥ・クラウド。CC がアラームのとき、アラームビデオをクラウドサーバーにアップロードします。クラウドを有効にするには、[5.5.2 クラウド](#)を参照してください。

フルスクリーンこの機能が有効で、あるチャンネルにCCがアラームされている場合、そのチャンネルがフルスクリーンで表示されます。

5.3.4.7 サウンドディテクション


ここでは、サウンドディテクトのアラーム機能を設定することができます。

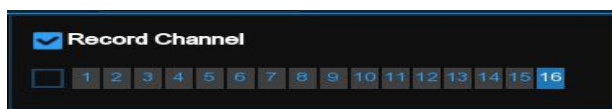
チャンネルチャンネル名

ブザーNVRは内蔵ブザーを使用してアラーム音を発することができます。サウンド・ディテクションがトリガーされたときのブザーの継続時間を秒単位で設定することができます。

アラーム出力。オプション機能。NVRが外部アラーム・デバイスへの接続をサポートしている場合、アラーム音を発するように設定することができます。

Latch Time: Sound Detection がトリガーされたときの外部アラーム時間を設定します。

記録する。  アイコンをクリックし、サウンドディテクションがトリガーされたときに録画するチャンネルを選択します。



ポストレコーディング。イベント発生後、NVRが録画を継続する時間を設定することができます。推奨される録画時間は30秒ですが、最大で5分まで設定できます。

メッセージを表示する。サウンド検出がトリガーされたときに、ライブビュー画面に "S" アイコンを表示する場合は、チェックボックスをオンにします。

メール送信。サウンド検出がトリガーされたときに、NVRが自動電子メールを送信するように設定することができます。

FTP画像アップロード。音検知時にアラーム画像を FTP サーバーにアップロードします。FTP を有効にするには、[5.4.4 FTP](#) を参照してください。

FTP Video Upload。Sound Detection がアラームの場合、アラームビデオを FTP サーバーにアップロードします。FTP を有効にするには、[5.4.4 FTP](#) を参照してください。

ピクチャー・トゥ・クラウド Sound Detection がアラームのとき、アラーム画像をクラウドサーバーにアップロードします。クラウドを有効にするには、[5.5.2 クラウドを参照してください](#)。

ビデオ・トゥ・クラウド。Sound Detection がアラームの場合、アラームビデオをクラウドサーバーにアップロードします。クラウドを有効にするには、[5.5.2 クラウドを参照してください](#)。

フルスクリーンこの機能が有効で、あるチャンネルでサウンドディテクションがアラームされた場合、そのチャンネルがフルスクリーンで表示されます。

5.3.4.8 オクルージョン検出

ここでは、オクルージョン検出のアラーム機能を設定することができます。


チャンネルチャンネル名

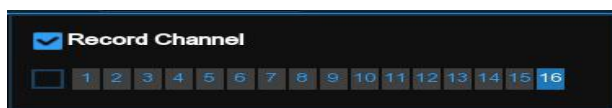
ブザーNVRは内蔵ブザーを使ってアラーム音を鳴らすことができます。オクルージョン検出がトリガーされたときのブザーの継続時間を秒単位で設定できます。

アラーム出力。オプション機能。NVRが外部アラーム・デバイスへの接続をサポートしている

場合、アラーム音を発するように設定することができます。

ラッチタイム：オクルージョン検出がトリガーされたときの外部アラーム時間を設定します。

記録  アイコンをクリックし、オクルージョン検出がトリガーされたときに録画するチャンネルを選択します。



ポストレコーディング。 イベント発生後、NVRが録画を継続する時間を設定できます。推奨される録画時間は30秒ですが、最大で5分まで設定できます。

メッセージを表示する。 オクルージョン検出が発生したときに、ライブビュー画面に "S" アイコンを表示する場合はチェックを入れてください。

メールを送信します。 オクルージョン検出がトリガーされたとき、NVRが自動電子メールを送信するように設定することができます。

FTP画像アップロード。 オクルージョン検出時にアラーム画像をFTPサーバーにアップロードします。FTPを有効にするには、[5.4.4 FTP](#)を参照してください。

FTP Video Upload。 オクルージョン検出がアラームの場合、アラームビデオをFTPサーバーにアップロードします。FTPを有効にするには、[5.4.4 FTP](#)を参照してください。

ピクチャー・トゥ・クラウドオクルージョン検出がアラームになったときに、アラーム画像をクラウドサーバーにアップロードします。クラウドを有効にするには、[5.5.2 クラウドを参照してください。](#)

ビデオ・トゥ・クラウドオクルージョン検出がアラームになったときに、アラーム映像をクラウドサーバーにアップロードします。クラウドを有効にするには、[5.5.2 クラウドを参照してください。](#)

フルスクリーンこの機能が有効で、あるチャンネルにオクルージョン検出のアラームが発生している場合、そのチャンネルがフルスクリーンで表示されます。

5.3.5 PTZ連動


PTZカメラを接続している場合、PTZカメラとモーションアラーム、外部I/Oセンサーアラーム、PIRアラームとの連動が設定できます。リンク機能を使用すると、モーションまたはI/Oアラームが発生したときに、PTZカメラのフォーカスをプリセットポイントに向けることができます。

スイッチです。PTZ連動機能の有効/無効を設定します。

モーションモーション検出アラームは、PTZリンク機能がチェックされるとトリガーされます。

IO : IOアラームが発生すると、PTZ連動機能を確認します。

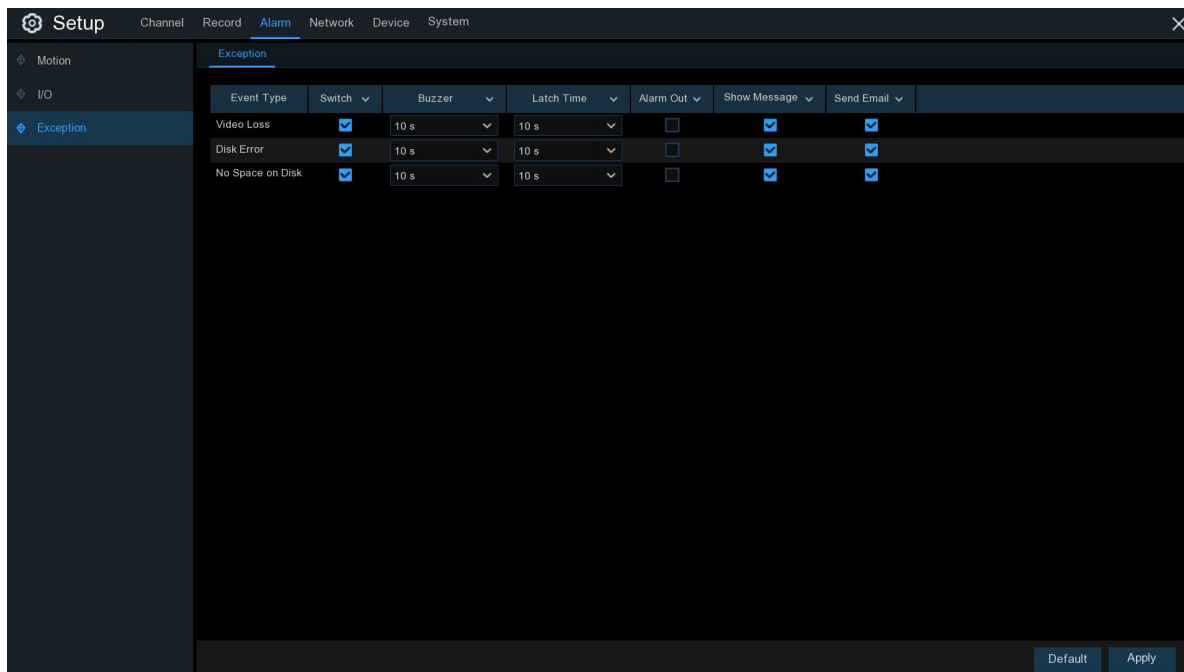
PIR : PIRアラームは、PTZ連動機能をチェックした場合にトリガーされます。

PTZ :  アイコンをクリックして、PTZカメラとプリセットポイントを関連付けます。 [5.1.4.1](#)

PTZ制御でプリセットポイントを表示します。

5.3.6 例外

このメニューでは、NVRに通知させたいイベントの種類を設定します。



イベントの種類。 イベントの種類を下記からお選びください。

- ディスクに空き容量がない。HDDが一杯になったとき。
- ディスクエラーです。HDDが正しく検出されない場合。
- ビデオロス：カメラが正しく接続されていない場合。

スイッチ イベントの監視を有効にする場合は、チェックボックスをオンにします。

ブザーを鳴らします。 イベント発生時のブザーの鳴動時間を設定します (Off/10s/20s/40s/60s)。ブザーを鳴らさないようにするには、**OFF**を選択します。

ラッチタイム：これはオプション機能です。NVRが外部アラーム・デバイスの接続をサポートする場合、外部アラーム・デバイスが鳴動する時間 (10秒、20秒、40秒、60秒) を決定します。

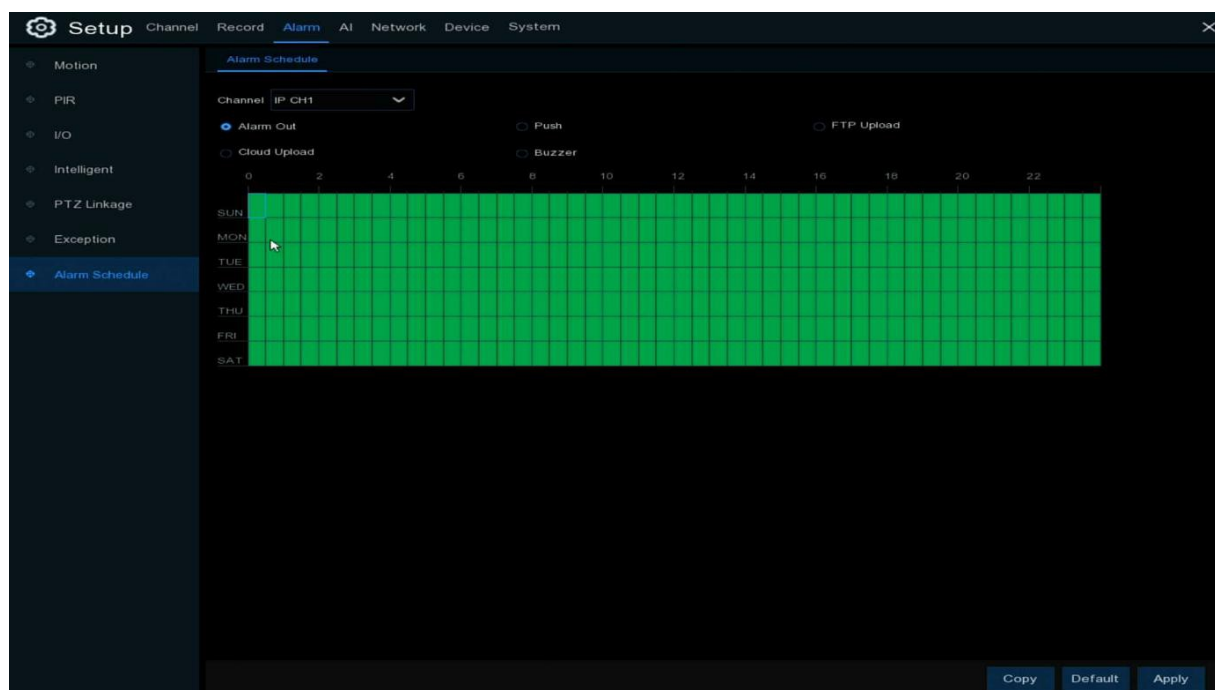
アラーム出力。 これはオプション機能です。クリックすると、外部アラーム装置を鳴動させることができます。これはオプション機能です。

メッセージを表示する。 No Space on Disk、Disk Error、Video Lossのイベントが発生したときに、画面にメッセージを表示する場合は、チェックを入れてください。

メール送信 イベントが発生したとき、NVRから自動電子メールを送信します。

5.3.7 アラームスケジュール

このメニューでは、Alarm out、Push、FTP Upload、Cloud Upload、Buzzerなどの複数のスケジュールを設定することができます。



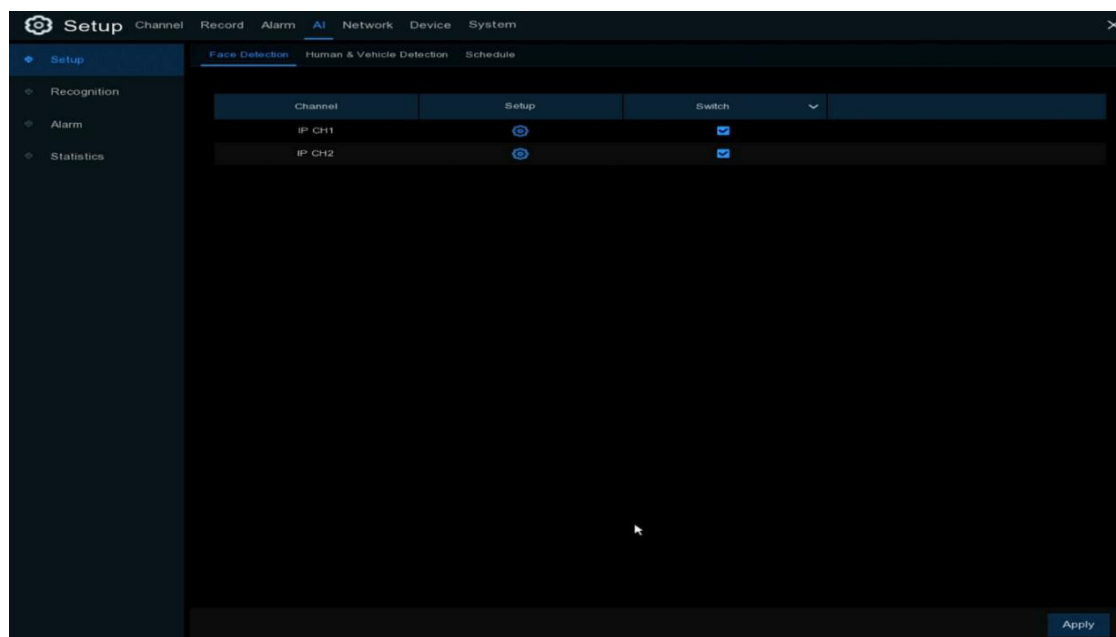
チャンネルです。チャンネルを選択して、そのキャプチャパラメータを設定します。
 緑色で表示されている時間帯は、その時間帯にチャンネルが動作していることを示します。


5.4 エーアイ

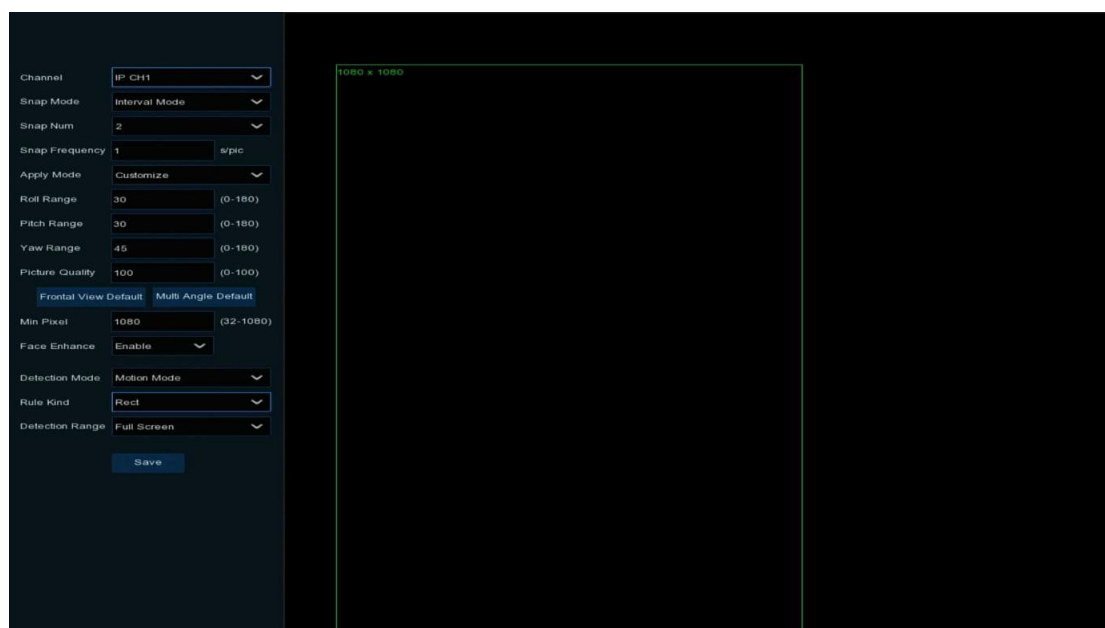
5.4.1 セットアップ

5.4.1.1 顔検出

このメニューでは、顔の関連パラメータを設定することができます



 をクリックし、設定インターフェースに入る
スイッチ：顔検出をオンまたはオフにする



オフにする

チャンネルチャンネル選択

スナップモード。アドバンスモード（顔が現れてから消えるまでの時間から最適な画像を選んで押す）、リアルタイムモード（顔が現れたら一度押し、消えたらもう一度押す）、インターバルモード（押す時間や間隔をカスタマイズする）があります。

Snap Num:インターバルモードでは、顔でプッシュするスクリーンショットの枚数を設定します。**スナップ頻度**。インターバルモードで、顔がプッシュする頻度を設定します。

モードを適用します。フェイスモード、マルチアングルモード、カスタムアングルモードなど、検出角度を設定します。

ロールレンジ。カスタムアングルの下で、顔の回転の範囲を設定します。**ピッチの範囲**。カスタムアングルの中で、フェースピッチの範囲を設定します

Yaw Range (ヨーレンジ)。カスタムアングルの下での顔の水平反転の範囲を設定する**正面図/ムーティアングルデフォール**。アングル設定をデフォルトの前方・マルチアングル設定に戻します。

画質。画質設定、最小1、最大100。

Min Pixel。最小認識ピクセルボックスを設定し、設定されたピクセルより大きい場合にのみ顔を認識することができます。

フェイスエンハンスフェイスエンハンスメントをオンにすると、顔の認識が容易になります。**検出モード**。静的モードと動的モードの2つの検出モードがあります。

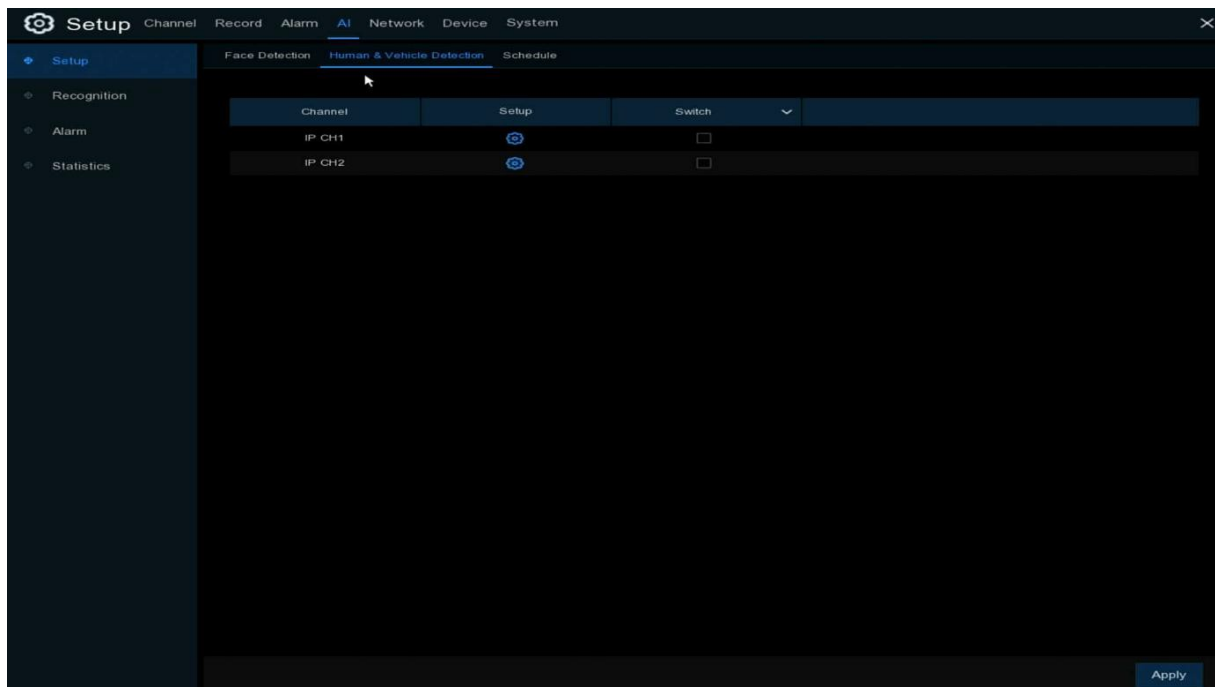
ルールの種類。ルールの種類。長方形ルールと線形ルールがある。

検出範囲。矩形ルールの下で、検出範囲を設定します。カスタマイズ可能、デフォルトは全画面領域。

ルールの種類線分罫線の下に、交差罫線を設定します。右のプレビューで下線を引く必要があります。設定されたルールに従って、顔がラインを横切ると、それが検出されます。

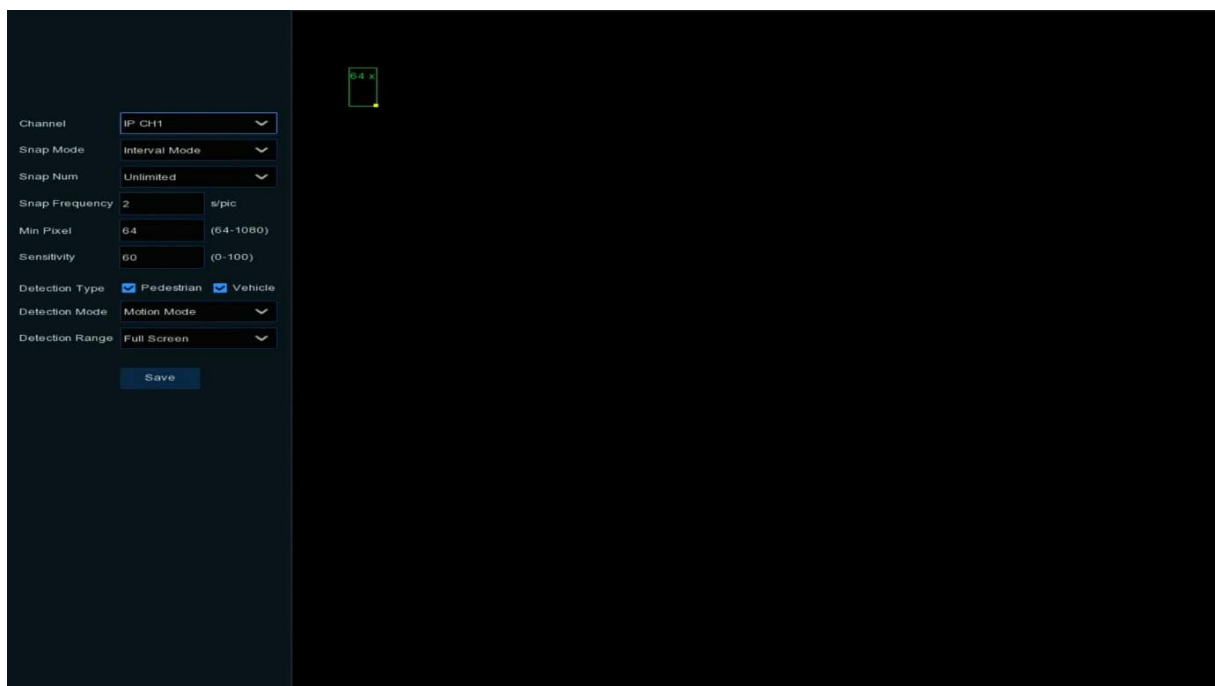
5.4.1.2 人・車両検知

このメニューでは、人の種類と車の種類の検出に関するパラメータを設定することができます



⚙️ をクリックすると、設定画面に入ります。

スイッチ 人体・車両検知のオン/オフ



チャンネルチャンネル選択

スナップモード。スナップショットモードは、デフォルトモード（人や車が出現してから消えるまでの間に、最も画質の良い写真を選んでプッシュする）、リアルタイムモードを含む

(表示されたら1回押し、消えたらもう1回押し)、インターバルモード(押し^{アル}時間や間隔をカスタマイズできる)。

Snap Num:インターバルモードでは、顔でプッシュするスクリーンショットの枚数を設定します。**スナップ頻度**。インターバルモードで、顔がプッシュする頻度を設定します。

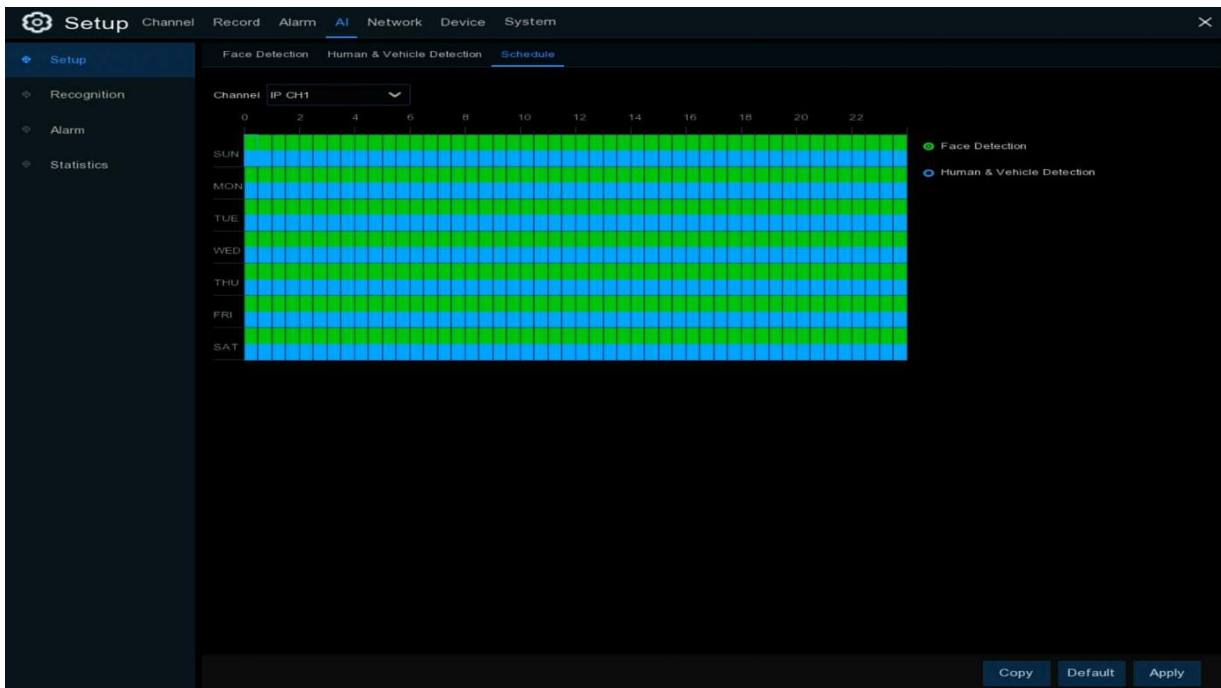
Min pixel. 最小認識ピクセルボックスを設定し、設定したピクセルより大きい場合にのみ、人や車両を認識することができます。

感度。感度設定、1分、最大100

検出タイプ。 検出タイプを設定し、人タイプ、車両タイプ、またはすべてを選択します。**検出モード。** 静的モードと動的モードを設定できます。

検出範囲。 検出範囲を設定、カスタマイズ可能、デフォルトではフルスクリーン。

5.4.1.3 スケジュール



人&車、顔検出のスケジュールを設定する。選択されている場合はオン、選択されていない場合はオフとなります。

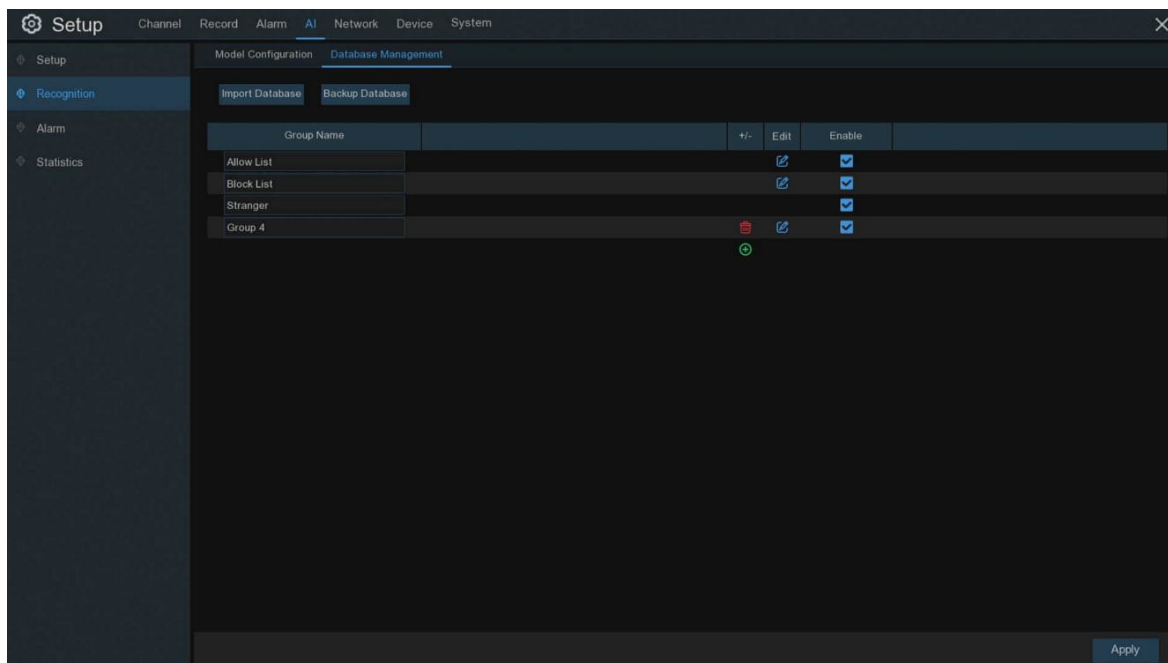
5.4.2 レコグニション

5.4.2.1 モデル構成

このメニューでアルゴリズムモデルを選択します。アルゴリズムモデルには、ローカルとIPCがあります(デバイスによっては、ローカルなアルゴリズムモデルがなく、アルゴリズムモデルによるIPCが必要なものもあります)。

5.4.2.2 データベース管理

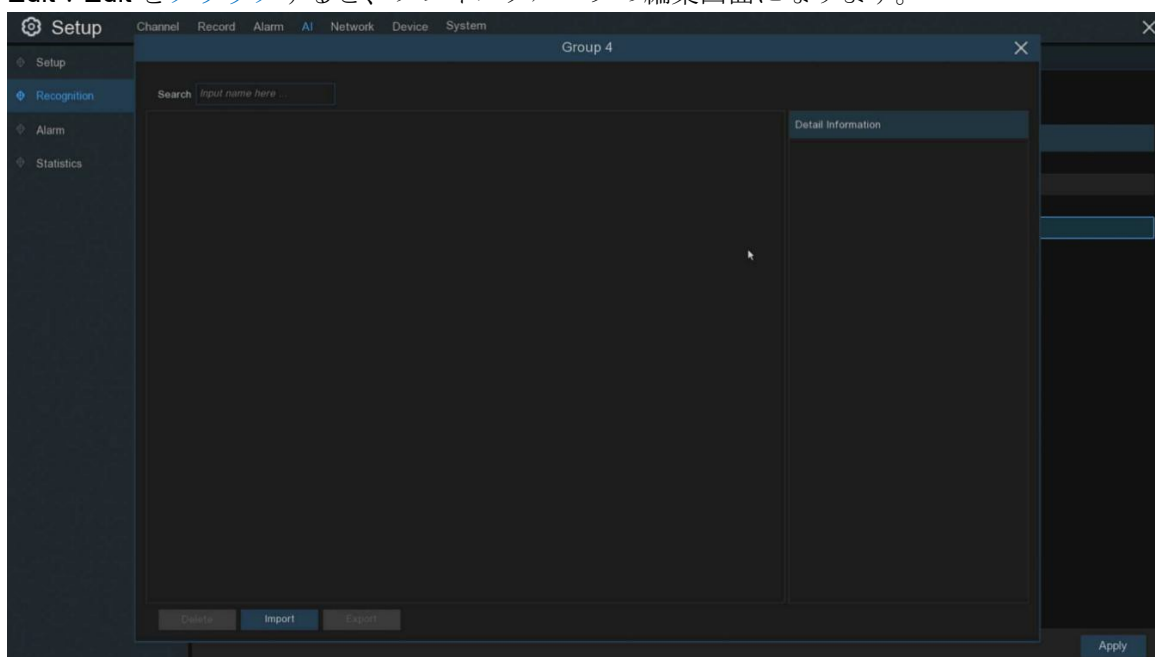
顔認識比較のデータベースを設定することができるメニューです。



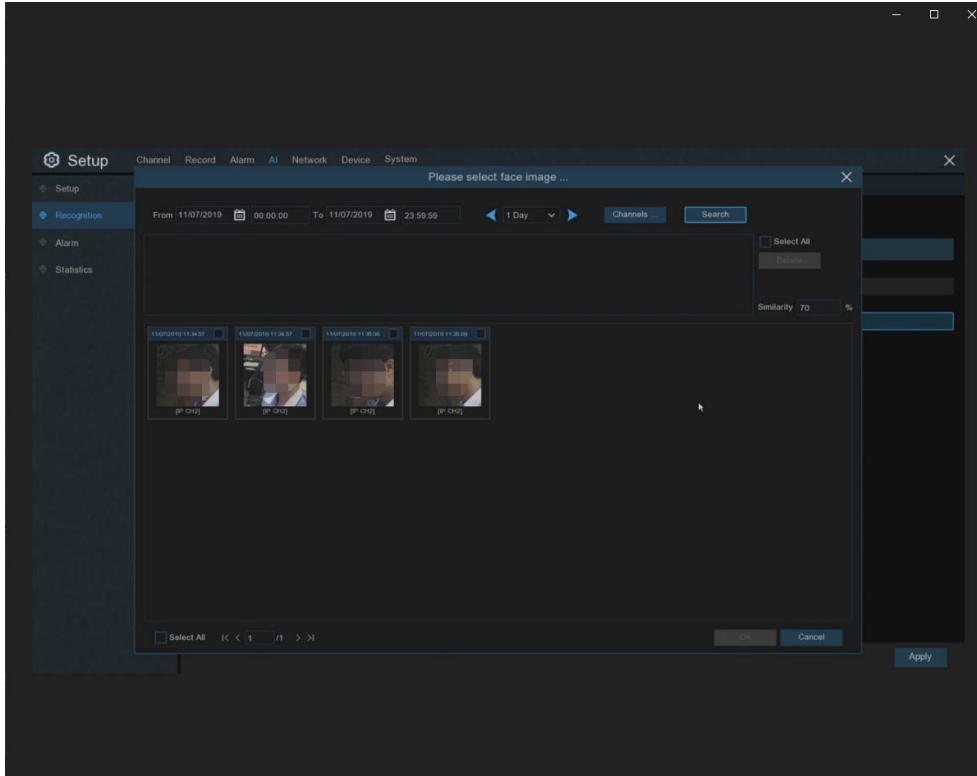
データベースをインポートする。エクスポートされたグループデータを端末にインポートすることができます。データベースのバックアップ。全グループをUSBフラッシュディスクにエクスポートすることができます。

点击/: 新しい顔グループを追加したり、既存の顔グループを削除したりすることができます。有効化する。顔グループのオン/オフを切り替えます。

Edit : Edit をクリックすると、フェイスグループの編集画面になります。

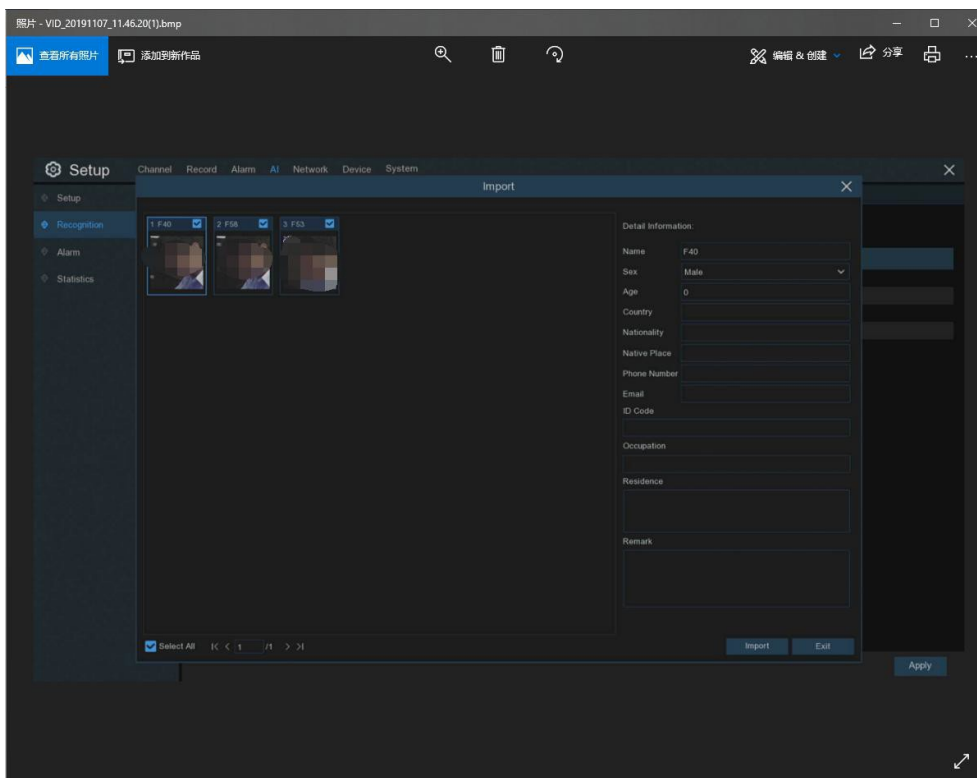


インポート：クリックしてから、ローカルストレージデバイスを選択し、ローカルフェイスを追加するた

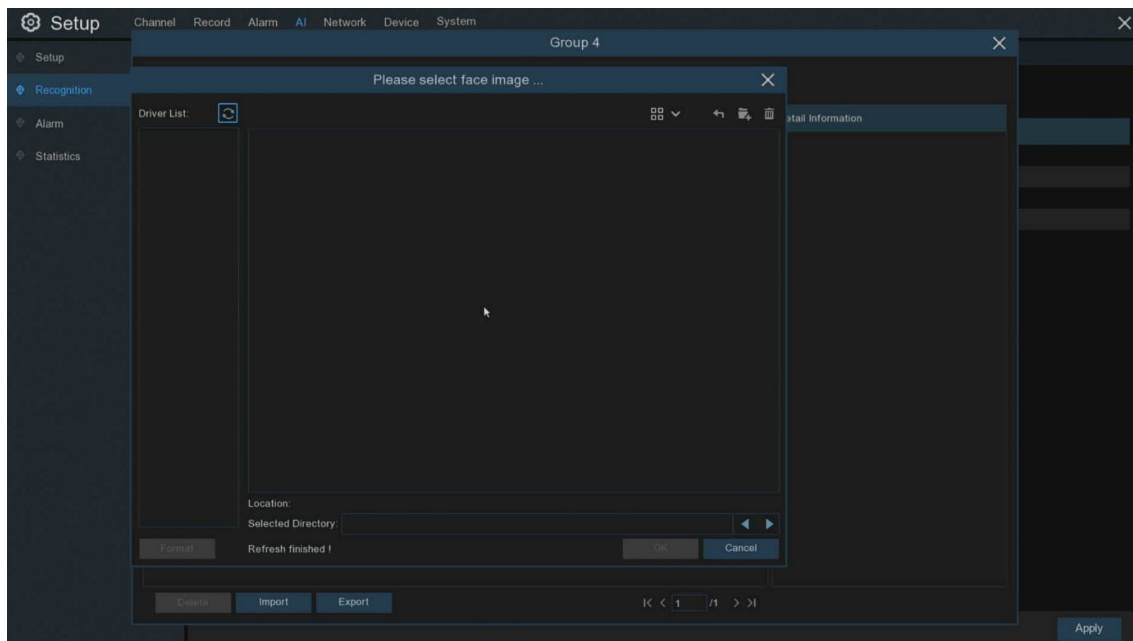


めのインターフェイスを入力します。

日付、期間、チャンネルを選択し、[検索] をクリックすると、その期間に全デバイスで保存された顔が検索されます。顔を選択して類似度を設定し、[検索] をクリックすると、選択した顔の類似度に一致する顔が検索されます。検索範囲内の顔を選択し、[削除] をクリックすると、検索範囲内の顔が削除されます。顔を選択し、[OK] をクリックすると、その顔がグループに追加されます。



顔情報は、右の情報で編集できます。編集後、**Import** をクリックするとインポートが完了し、**exit** をクリックすると
 のインターフェイスを使用しています。

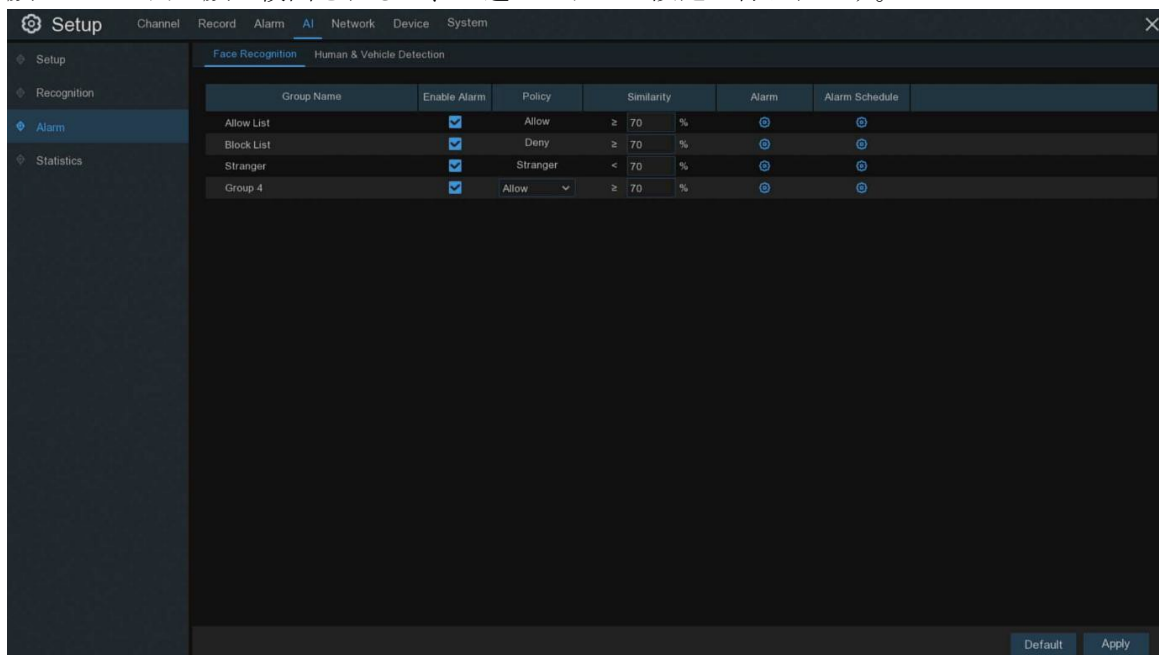


外部記憶装置] をクリックして外部記憶装置に入り、取り込みたい顔を選択します。手順は、ローカルの顔をインポートするのと同じです

5.4.3 アラーム


5.4.3.1 顔認識

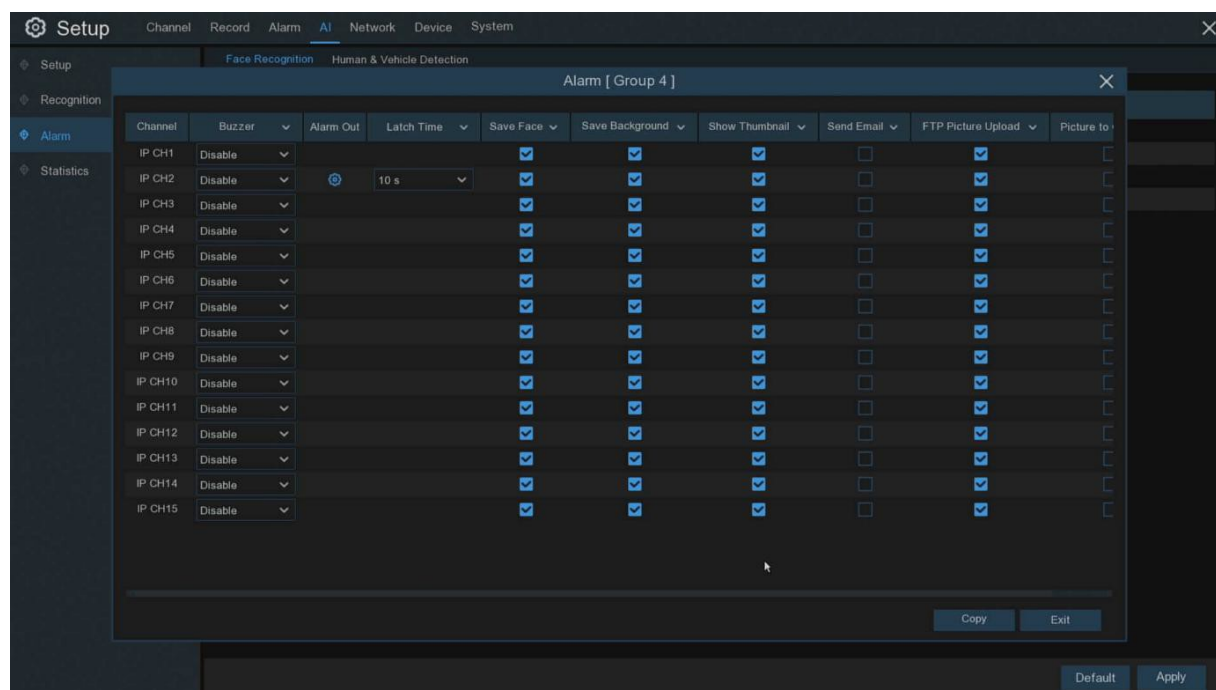
顔グループ内の顔が検出されると、一連のアラーム設定が行われます。



アラームを有効にする。顔検出アラームのオン/オフ
ポリシー:顔グループアラームのストラテジーを設定する

類似性類似性の設定

アラーム  をクリックすると、設定画面に入ります。



アラーム出力。オプション機能。NVRが外部アラーム・デバイスへの接続をサポートしている場合、アラーム音を発するように設定することができます。

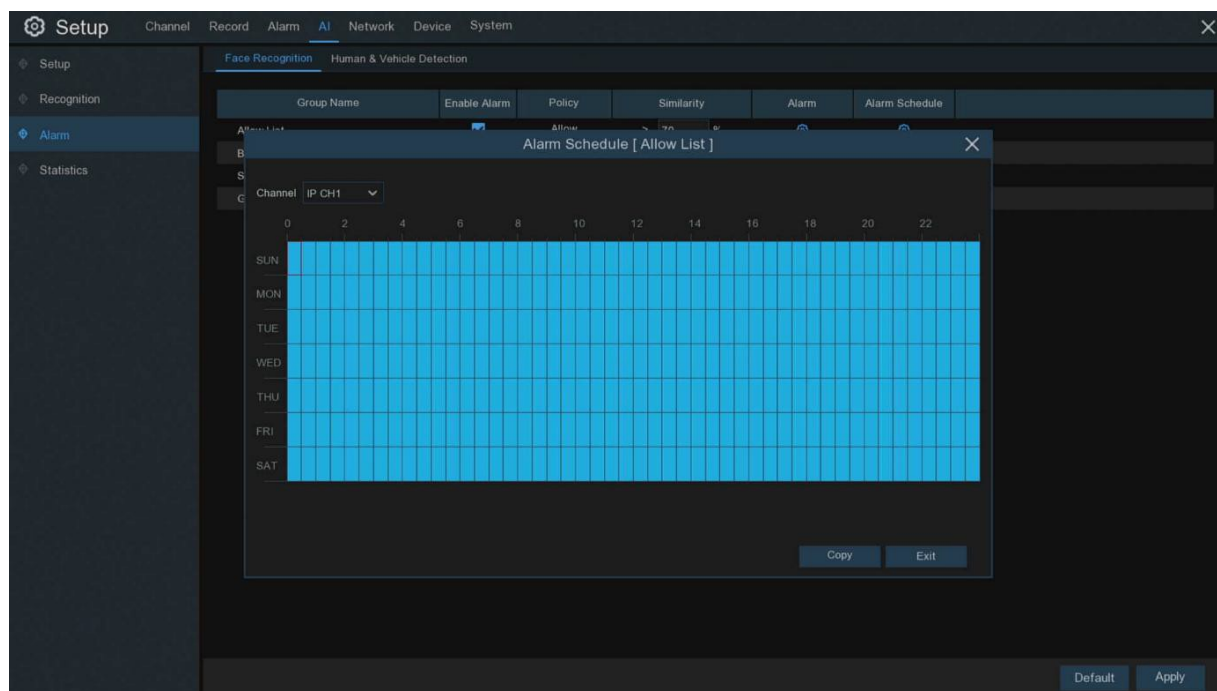
ラッチタイム：顔検出時の外部アラーム時間を設定する。顔を保存する。顔を検出したときに、その顔を保存します。

背景を保存します。顔検出時、プレビュー画像全体を保存

サムネイルを表示する。顔が検出されると、プレビューにサムネイルのポップアップが表示されます。メール送信顔を検出すると、設定したメールボックスに画像が送信されます。

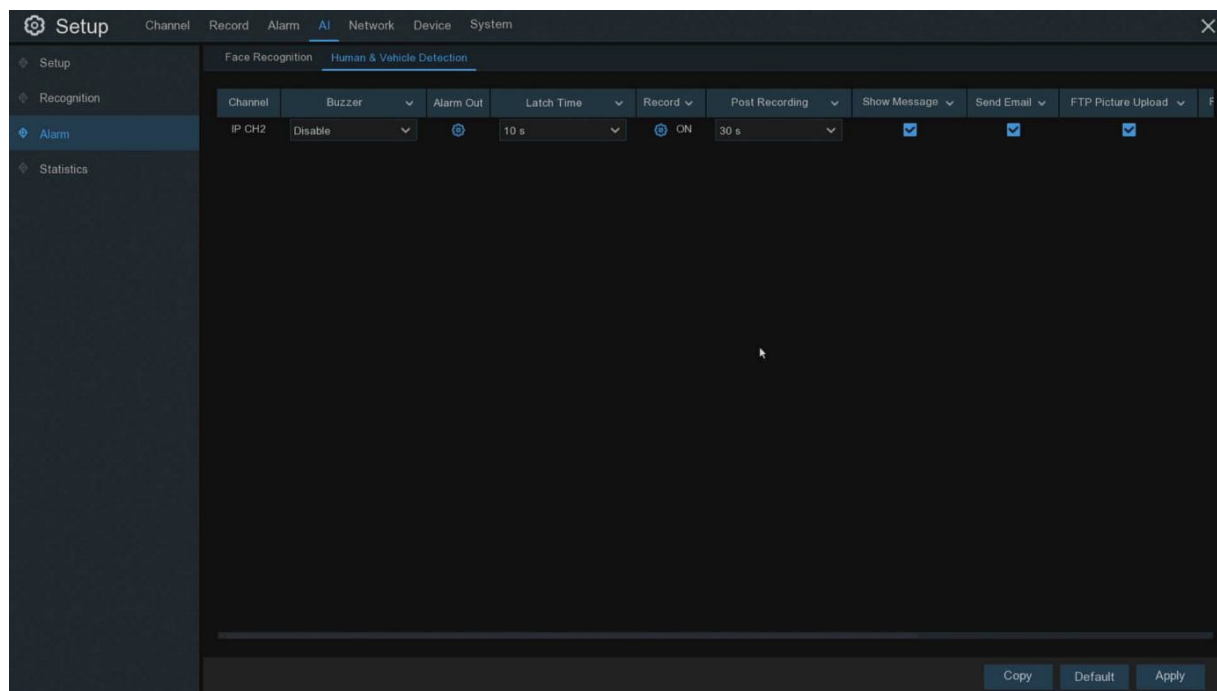
FTP画像アップロード。顔検出時に、設定したFTPサーバーに画像を送信する [5.4.4 FTP](#)。ピクチャー・トゥ・クラウド顔が検出されると、設定されたクラウドストレージサーバーに画像が送信されます [5.5.2 Cloud](#)。

アラームのスケジュールです。⚙️をクリックすると、スケジュール設定画面が表示されます。



アラームをかけたい時間帯をチェックしてクリック、終了して適用をクリックすると、コピーが他のチャンネルにコピーされることがある

5.4.3.2 人・車両検知

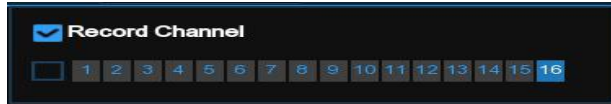


チャンネルチャンネル名

ブザー-NVRは内蔵ブザーを使ってアラーム音を発することができます。人間と車両が検出されたときのブザーの継続時間を秒単位で設定することができます。

アラーム出力。オプション機能。NVRが外部アラーム・デバイスへの接続をサポートしている場合、アラーム音を発するように設定することができます。

ラッチタイム：人間&車両が検出されたときに外部アラーム時間を設定するには、**記録する**。
⚙️ アイコンをクリックし、人間と車両の検出がトリガーされたときに記録するチャンネルを選択します。



ポストレコーディング。イベント発生後、NVRが録画を継続する時間を設定できます。推奨される録画時間は30秒ですが、最大で5分まで設定できます。

メッセージを表示する。PIRが検知されたとき、ライブビュー画面に「S」アイコンを表示する場合はチェックを入れてください。

メール送信人間と車両が検出されたときに、NVRが自動電子メールを送信できるようにすることができます。

FTP画像アップロード。人間と車両が検出されたときに、FTPサーバーにアラーム画像をアップロードします。FTPを有効にするには、[5.4.4 FTP](#)を参照してください。

FTPビデオアップロード。人間と車両が検出されたときに、FTPサーバーにアラームビデオをアップロードします。FTPを有効にするには、[5.4.4 FTP](#)を参照してください。

ピクチャー・トゥ・クラウド人間と車両が検出されたときに、アラーム画像をクラウドサーバーにアップロードします。クラウドを有効にするには、[5.5.2 クラウドを参照してください。](#)

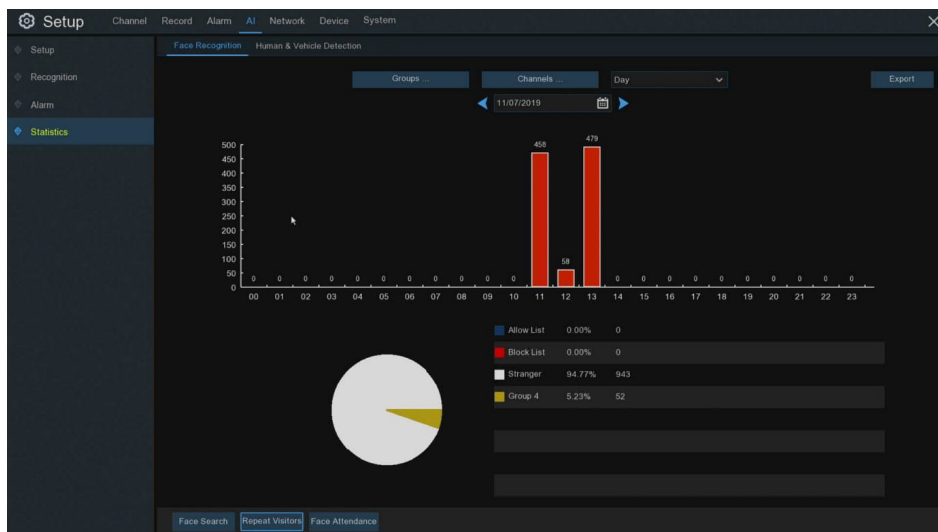
ビデオ・トゥ・クラウド。人間と車両が検出されたときに、アラームビデオをクラウドサーバーにアップロードします。クラウドを有効にするには、[5.5.2 クラウドを参照してください。](#)

フルスクリーンこの機能が有効になっている場合、人間と車両がチャンネルで検出されると、フルスクリーンでそのチャンネルが表示されます。

5.4.4 統計情報

5.4.4.1 顔認識

顔統計では、一定期間内に検出されたすべての顔をカウントし、統計グラフの形で表示すること



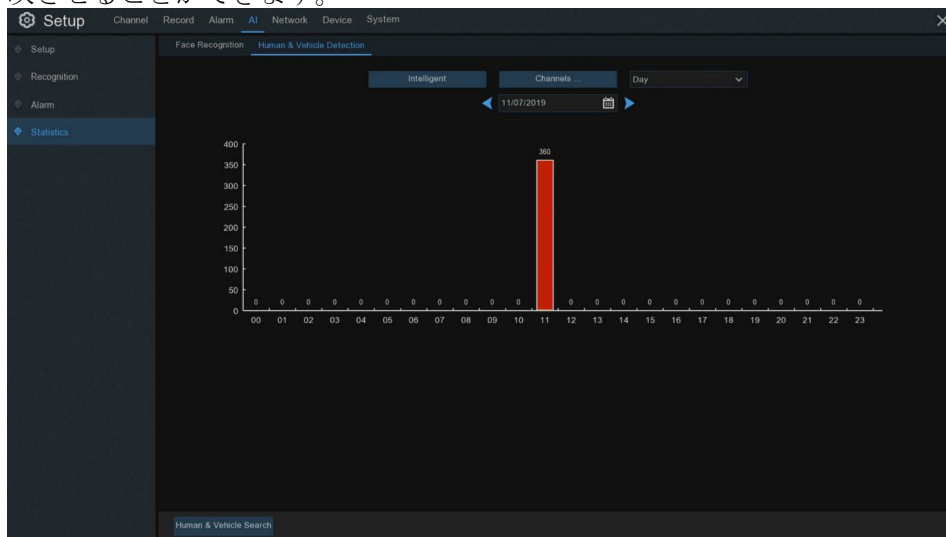
ができます。

Groups、Channels、Date、Statistics Time を選択すると、統計結果が直接表示されます。

Export をクリックすると、U ディスクにデータがインポートされます。

5.4.4.2 人・車両検知

人と車の統計では、一定期間内に検出されたすべての人と車をカウントし、統計グラフの方法で反映させることができます。



Intelligentでタイプ、チャンネル、日付、統計時間を選択すると、統計結果が直接表示されます

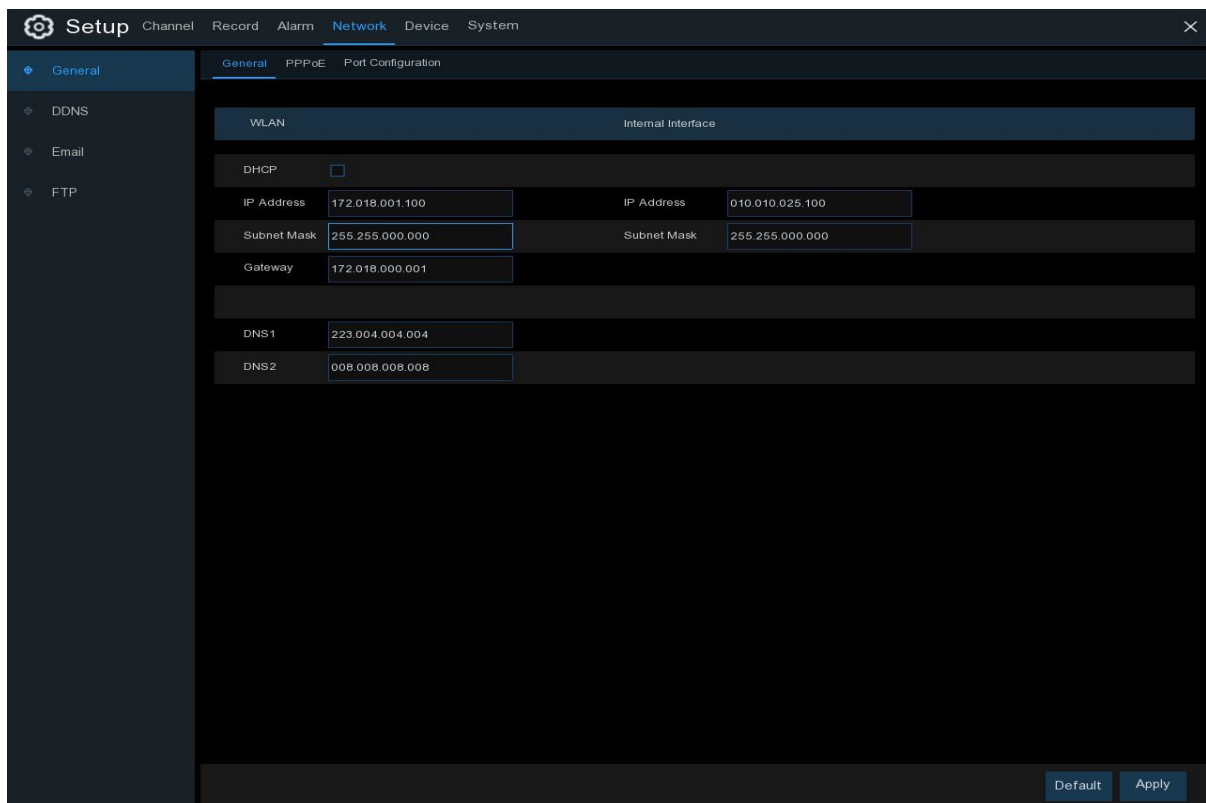
。

5.5 ネットワーク

このメニューでは、PPPoE、DHCP などのネットワークパラメータを設定することができます。最も一般的なタイプは DHCP です。ネットワークが手動でアドレス指定されていない限り、ほとんどの場合、ネットワークのタイプはDHCPです。インターネットへの認証ユーザー名とパスワードが必要な場合は、PPPoE を選択します。

5.5.1 一般

5.5.1.1 一般



DHCPを使用できるルーターに接続する場合は、**DHCP**ボックスにチェックを入れてください。ルーターは、NVRのすべてのネットワーク・パラメータを自動的に割り当てます。ネットワークが手動で以下のパラメータに対応している場合を除きます。

IPアドレス。IPアドレスはネットワークでNVRを識別します。0から255までの4つの数字のグループとピリオドで区切られたものです。例えば、「192.168.001.100」です。

サブネットマスク：サブネットマスクは、ネットワークで使えるIPアドレスの範囲を定義するネットワークパラメータです。IPアドレスが住んでいる通りのようなものなら、サブネットマスクは近所のようなものです。サブネットマスクは、ピリオドで区切られた4つの数字で構成さ

れています。例えば、「255.255.000.000」のようになります。

ゲートウェイ。このアドレスにより、NVRはインターネットにアクセスすることができます。ゲートウェイの形式は

のアドレスは、**IPアドレス**と同じです。例えば、"192.168.001.001"のように。

DNS1/DNS2 : DNS1はプライマリDNSサーバ、DNS2はバックアップDNSサーバです。通常はDNS1サーバのアドレスを入力するだけで十分です。

5.5.1.2 ピーピーオーイー

Field	Value
Enable PPPOE	<input type="checkbox"/>
User	
Password	
IP Address	172.018.001.100
Subnet Mask	255.255.000.000
Gateway	172.018.000.001
DNS1	223.004.004.004
DNS2	008.008.008.008

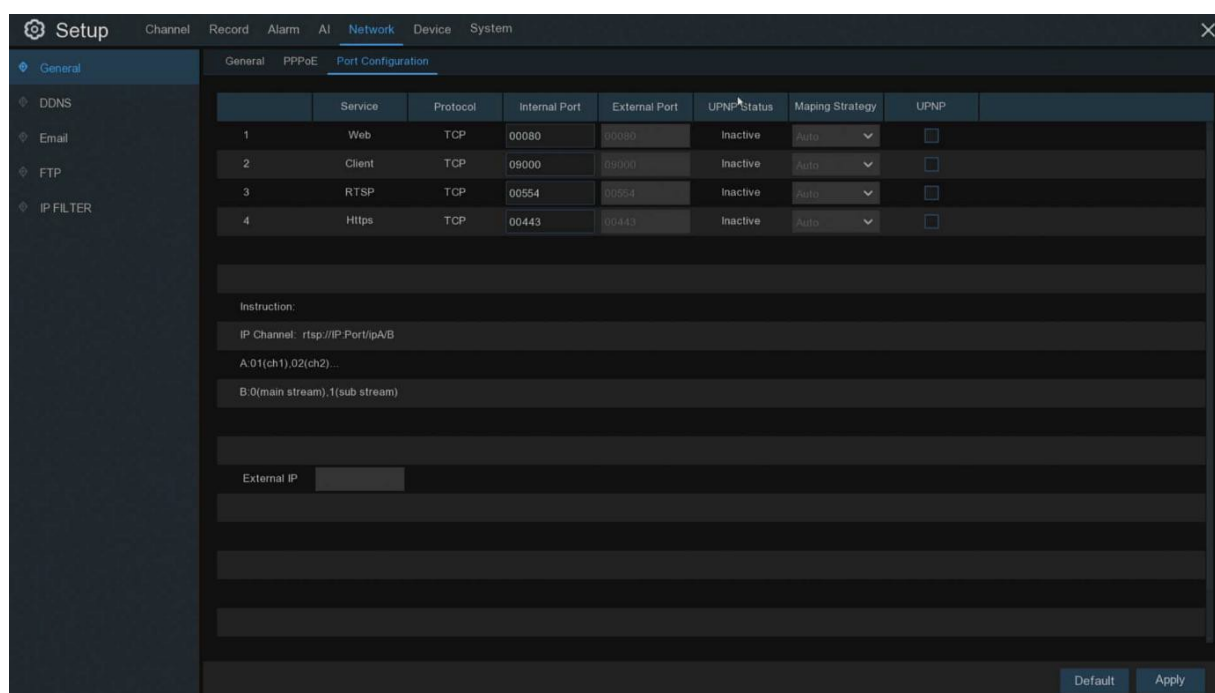
これは、NVRがDSLモデム経由でより直接的にネットワークに接続できるようにする高度なプロトコルです。

Enable PPPOE "にチェックを入れ、PPPoEのユーザー名とパスワードを入力します。

Apply をクリックして保存すると、システムが再起動し、PPPoE 設定が有効になります

。

5.5.1.3 ポートコンフィギュレーション



ウェブ・ポート: NVRにリモートでログインする際に使用するポートです (例: ウェブ・クライアントを使用)。デフォルトのポート80がすでに他のアプリケーションで使用されている場合は、変更してください。

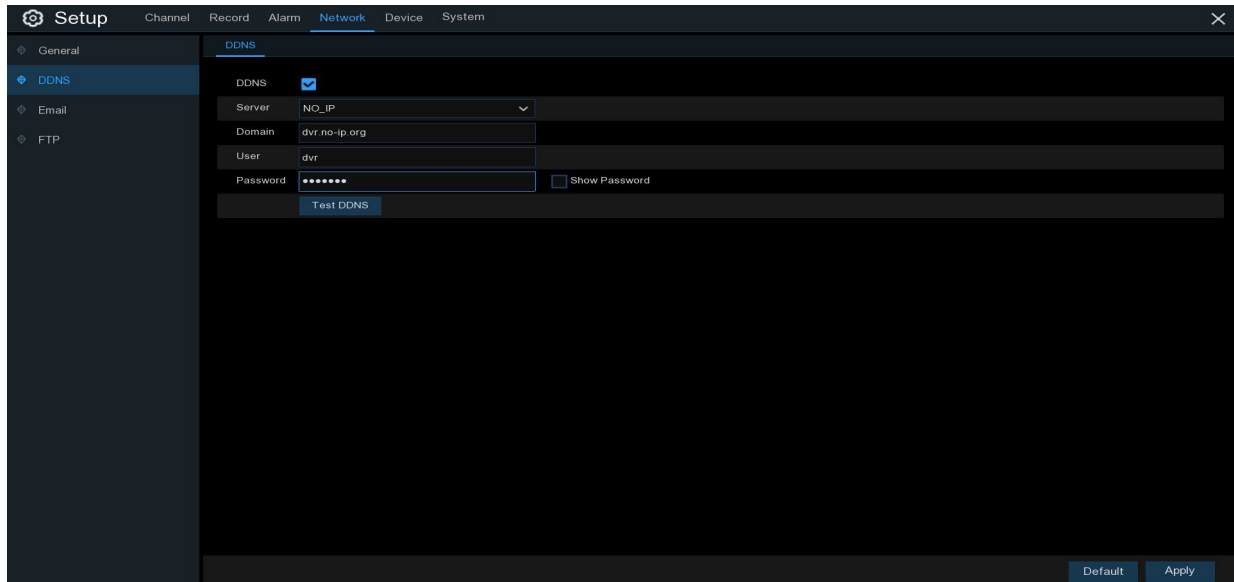
クライアント・ポート: NVRが情報を送信するために使用するポートです。デフォルトのポート9000がすでに他のアプリケーションによって使用されている場合は、変更してください。

RTSPポート。 デフォルトは554です。デフォルトのポート554がすでに他のアプリケーションによって取られている場合、それを変更してください。

UPnP: Web Clientを使用してNVRにリモートでログインする場合、ポート転送を完了させる必要があります。お使いのルーターがUPnPをサポートしている場合、このオプションを有効にします。NVRとルーターの両方でUPnPを有効にする必要があります。この場合、ルーターでポート転送を手動で設定する必要はありません。ルーターがUPnPをサポートしていない場合、ポート転送を手動で完了していることを確認してください。 [マッピング戦略](#)。手動に設定した後、[外部ポート](#)を手動で設定することができます。

5.5.2 ディーディーエヌエス

このメニューでは、DDNS の設定を行うことができます。DDNSは、NVRへのリモート接続を簡素化するために静的なアドレスを提供します。DDNSを使用するには、まずDDNSサービス・プロバイダーのWebページでアカウントを開設する必要があります。



DDNSを有効にする場合はチェックを入れます。

サーバー優先するDDNSサーバー（DDNS_3322、DYNDNS、NO_IP、CHANGEIP、DNSEXIT）を選択します。

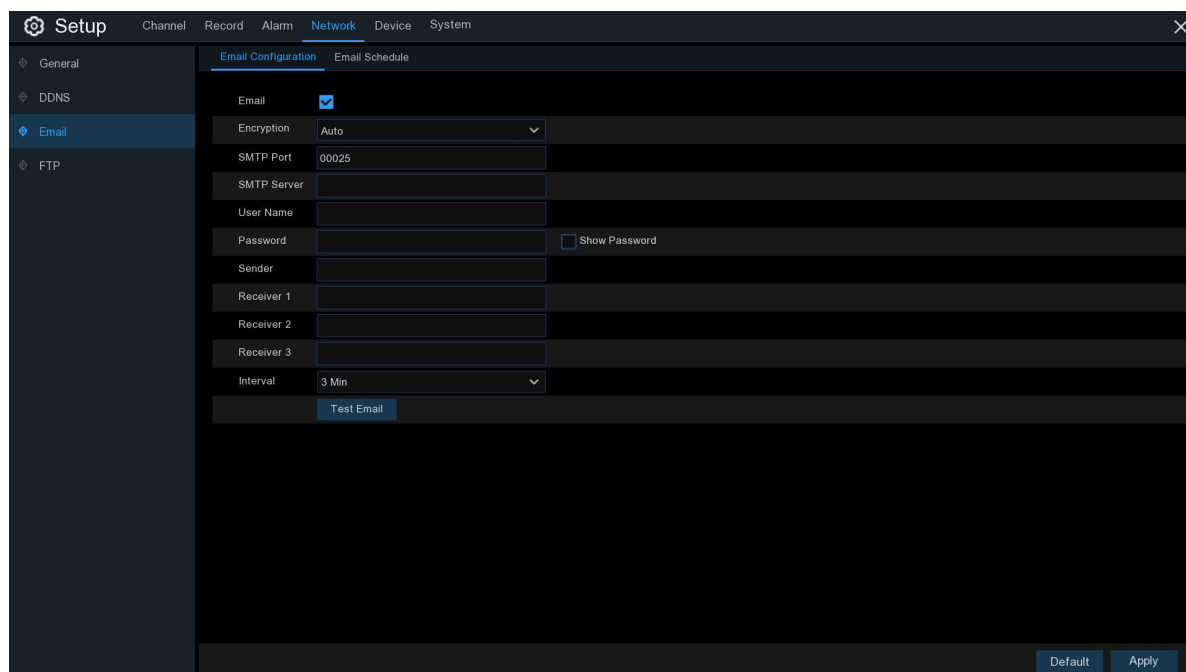
ドメインDDNSサービスプロバイダのWebページで作成したドメイン名を入力します。これは、PCからNVRにリモート接続する際にURLボックスに入力するアドレスになります。フォックスの例です。NVR.no-ip.org。

User/Password: DDNSサービスプロバイダのWebページでアカウントを作成したときに取得したユーザー名とパスワードを入力します。

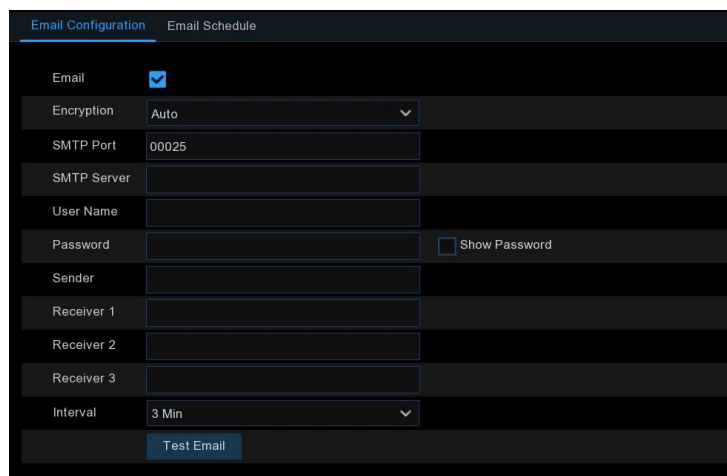
すべてのパラメータを入力した後、「**DDNSのテスト**」をクリックしてDDNSの設定をテストします。テスト結果が「ネットワークに到達できないか、DNSが正しくありません」の場合、ネットワークが正常に動作しているか、DDNSの情報が正しいかどうかを確認してください。

5.5.3 電子メール

このメニューでは、電子メールの設定を行います。アラーム発生時、HDD満杯時、HDDエラー時、Video Loss発生時にシステムからの通知をメールで受け取りたい場合は、この設定を完了してください。



5.5.3.1 電子メール設定



電子メールを送信します。 有効にする場合はチェックを入れてください。

暗号化する。 メールサーバーでSSLまたはTLSによる認証が必要な場合は有効にします。よくわからない場合は、「自動」に設定してください。

SMTPポート： メールサーバーのSMTPポートを入力します

。**SMTPサーバー** 電子メールのSMTPサーバーのアドレスを

入力します。**ユーザー名：** ユーザー名を入力します。電子メ

ールのアドレスを入力します。

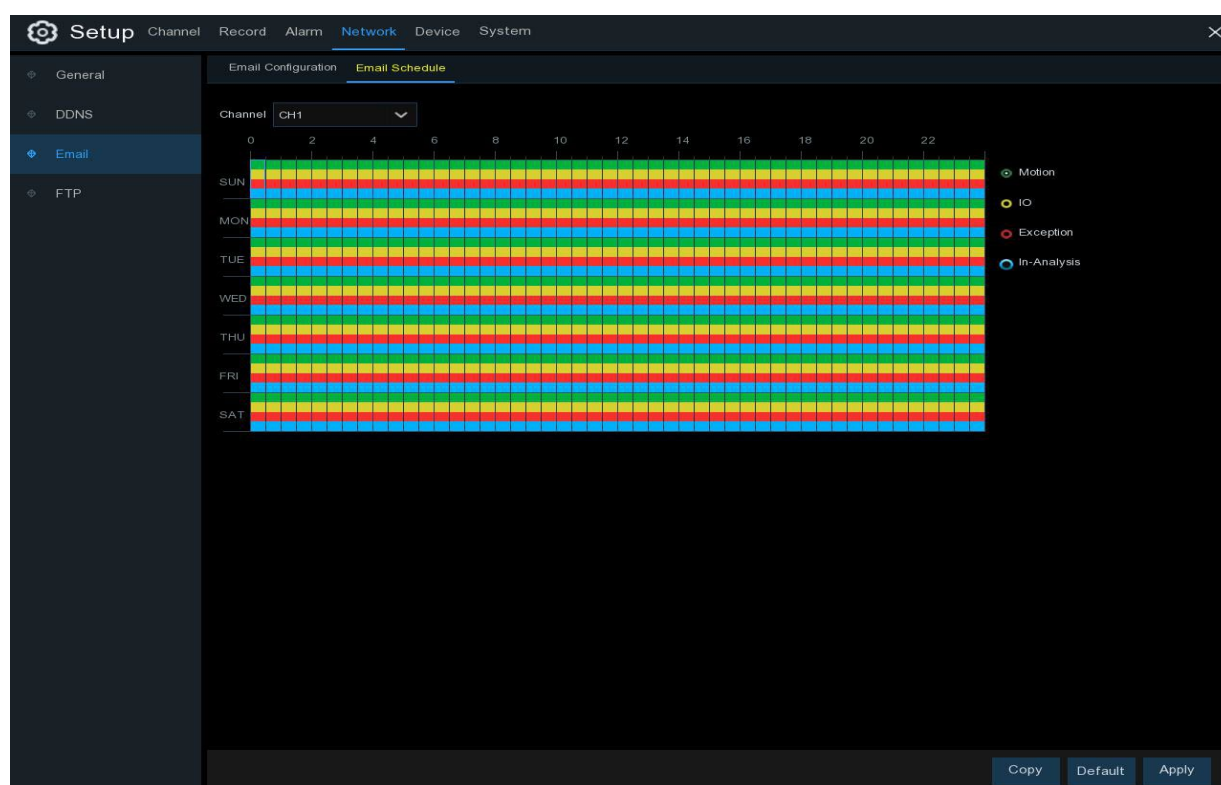
パスワード : メールパスワードを入力してください。

受信者1~3 : NVRからのイベント通知を受信する電子メール・アドレスを入力します。

インターバル。NVRからの通知メール間の時間間隔の長さを設定します。すべての設定が正しいことを確認するには、**[電子メールのテスト]**をクリックします。システムから受信トレイに自動メールメッセージが送信されます。テスト電子メールを受信した場合、設定パラメータが正しいことを意味します。

5.5.3.2 メールスケジュール

メール通知を完全に実行するには、スケジュールを設定する必要があります。



メールスケジュール上のカラーコードの意味は次のとおりです。

緑色 動体検知用スロット。

黄色です。I/Oアラーム用スロット（オプション）。

赤 : 例外用スロット（HDD満杯、HDDエラー、Video Loss）。

青色 Intelligent Analysis検出用スロット。

5.5.4 ファイル転送プロトコル

このメニューでは、FTP機能を有効にして、FTP経由でNVRからストレージ・デバイスにキャプチャーしたスナップショットを表示およびロードすることができます。

FTP Enable。クリックすると、FTP 機能が有効になります。

サーバーIP : FTPサーバーのIPアドレスまたはドメイン名を入力します。

Port : ファイル交換のためのFTPポートを入力します。

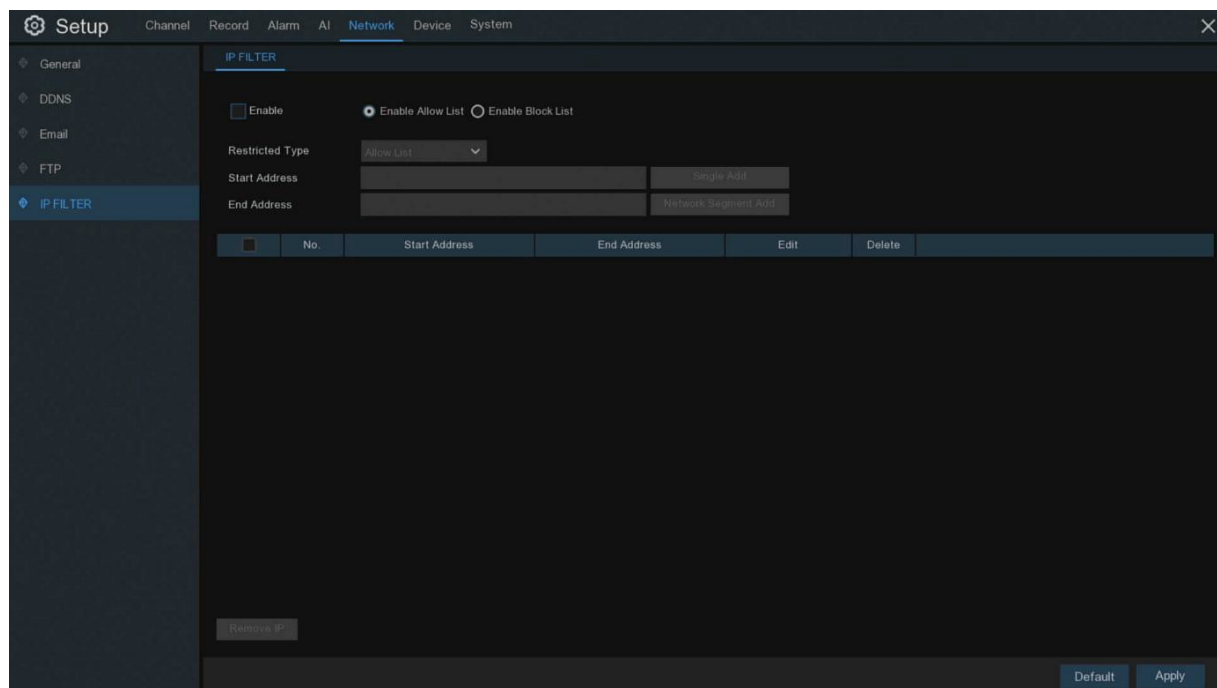
名前/パスワード : FTPサーバーのユーザー名とパスワードを入力します。デ

ィレクトリ名。FTP ファイル交換のためのデフォルトのディレクトリ名を入

力します。 **Test FTP** : クリックすると、FTPの設定をテストします。

5.5.5 IPフィルター

IPフィルタリングにより、あるIPのみ機器へのログインを許可したり、あるIPの機器へのログインを禁止したりする設定が可能です。



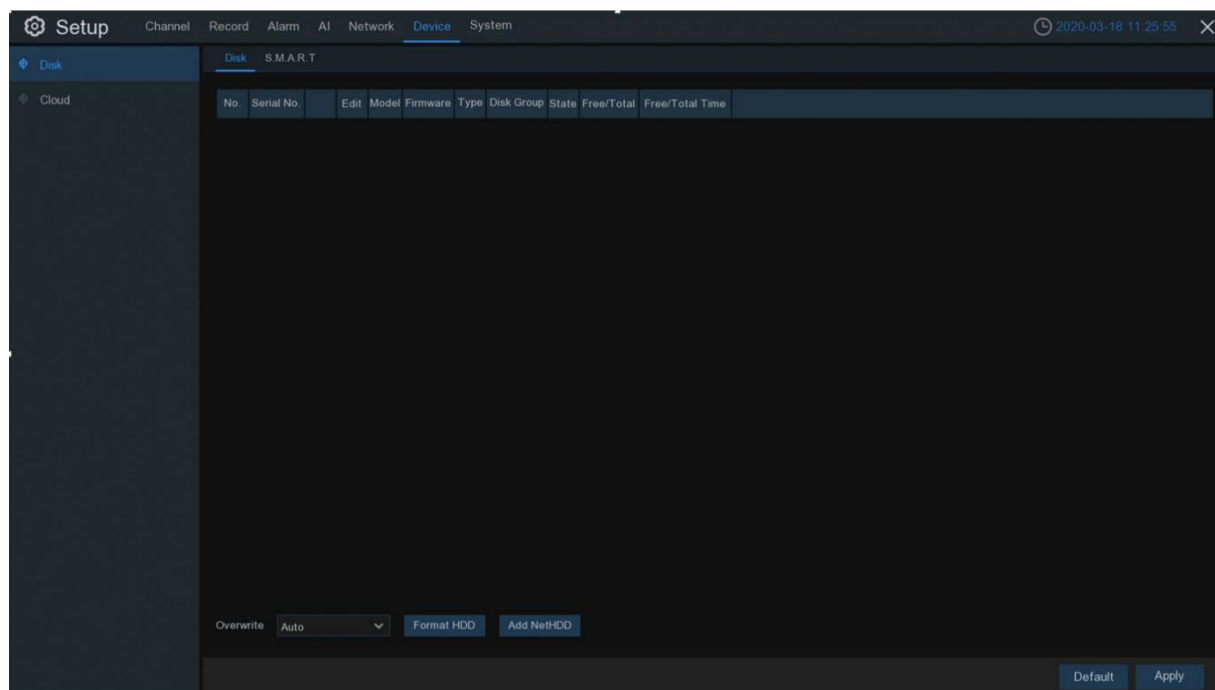
Restricted TypeでBlack ListまたはWhite Listを選択し、IPを入力し、Single AddでIP（またはIPセグメントを入力し、Network Segment AddでIPセグメントを追加）をブラックリストまたはホワイトリストに追加することができます。

5.6 デバイス

このセクションでは、内蔵HDDの機能を設定することができます。

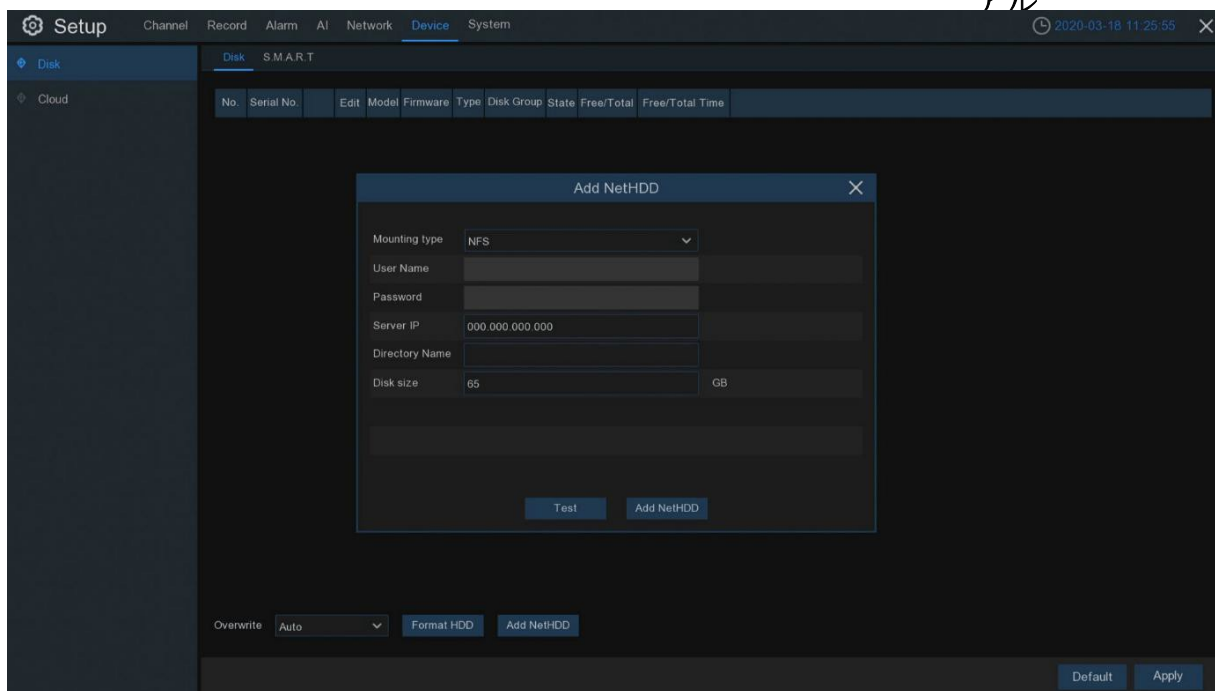
5.6.1 ディスク

内蔵HDDのチェックと設定を行うメニューです。初回起動時と新しいHDDに交換した場合のみ、HDDのフォーマットが必要です。



HDDのフォーマット：フォーマットしたいHDDを選択し、「**HDDのフォーマット**」をクリックします。フォーマットを開始するには、ユーザー名とパスワードを入力し、**[OK]**をクリックしてフォーマットを続けることを確認する必要があります。

ADD NetHDD：この機能を使用して、ネットワークハードディスクを追加します。ネットワークハードディスク（NAS）を設定した後、ネットワークを通じてNASに接続し、チャンネルの映像やスナップショットを記録することができます。ただし、AI顔データベースはハードディスクにしか保存できません。



マウントタイプ。 マウントの種類は2つあります。NFSとCIFSです。NFSはNASアカウントのパスワードを入力する必要がありませんが、CIFSはNASアカウントとパスワードの入力が必要です。

ユーザー名。 NASのアカウント番号を入力します（NFSモードでは選択できません）。

パスワード： NASのパスワードを入力します（NFSモードでは選択不可）。

Server IP: NAS の IP アドレスを入力します。

ディレクトリ名。 NASメモリにデータを入れるフォルダを入力します。


ディスクサイズ。 ネットワークハードディスク

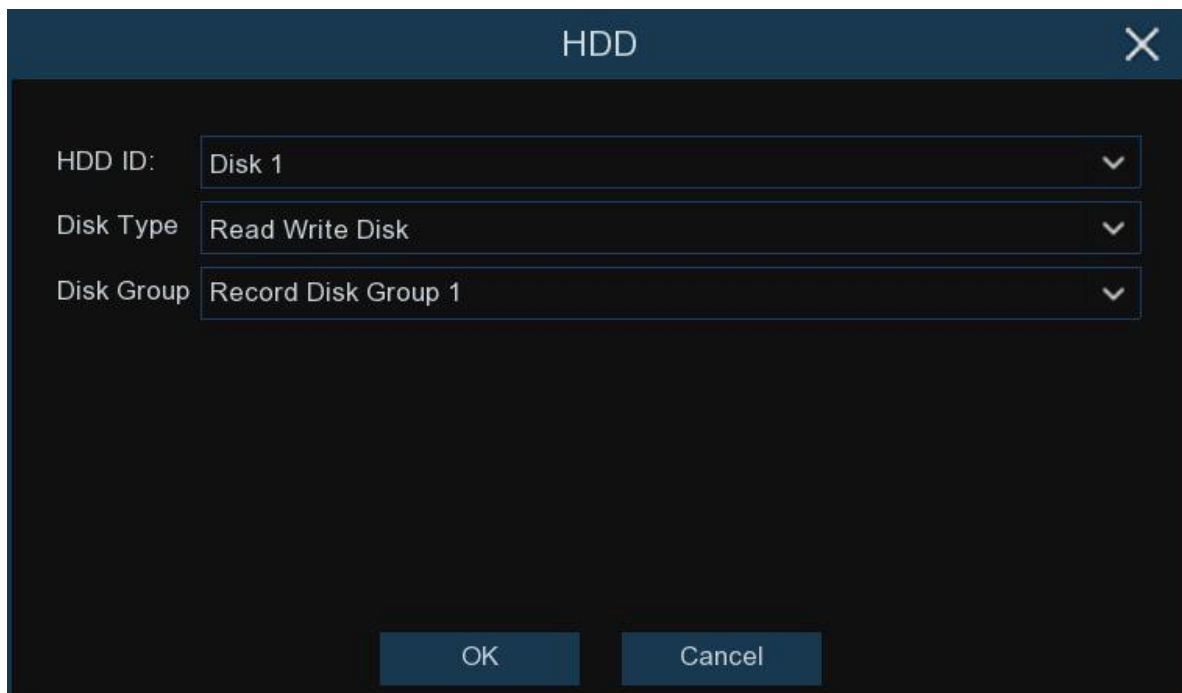
のサイズを設定します。**Test:** NASが接続されているかどうかをテストすることができます。

Add NetHDD: クリックして、NASを追加します。

上書きする このオプションは、HDDが一杯になったときに、HDD上の古い録画に上書きするために使用します。例えば、7日というオプションを選択した場合、過去7日間の録画だけがHDDに保存されます。古い録画を上書きしないようにするには、**OFF**を選択します。この機能を無効にした場合は、定期的にHDDの状態を確認し、HDDが満杯になっていないことを確認してください。HDDが満杯になると録画が停止します。

ESATAで録画: このメニューは、NVRがリア・パネルにe-SATAポートを装備している場合のみ表示されます。外付けのe-SATA HDDにビデオを録画し、HDDの容量を強化することができます。e-SATA録画機能を有効にすると、e-SATAバックアップ機能は無効になります。

NVRが複数のHDDのインストールをサポートしている場合、編集アイコンがシステムに表示され、



それをクリックして以下のようにHDDを編集することができます。

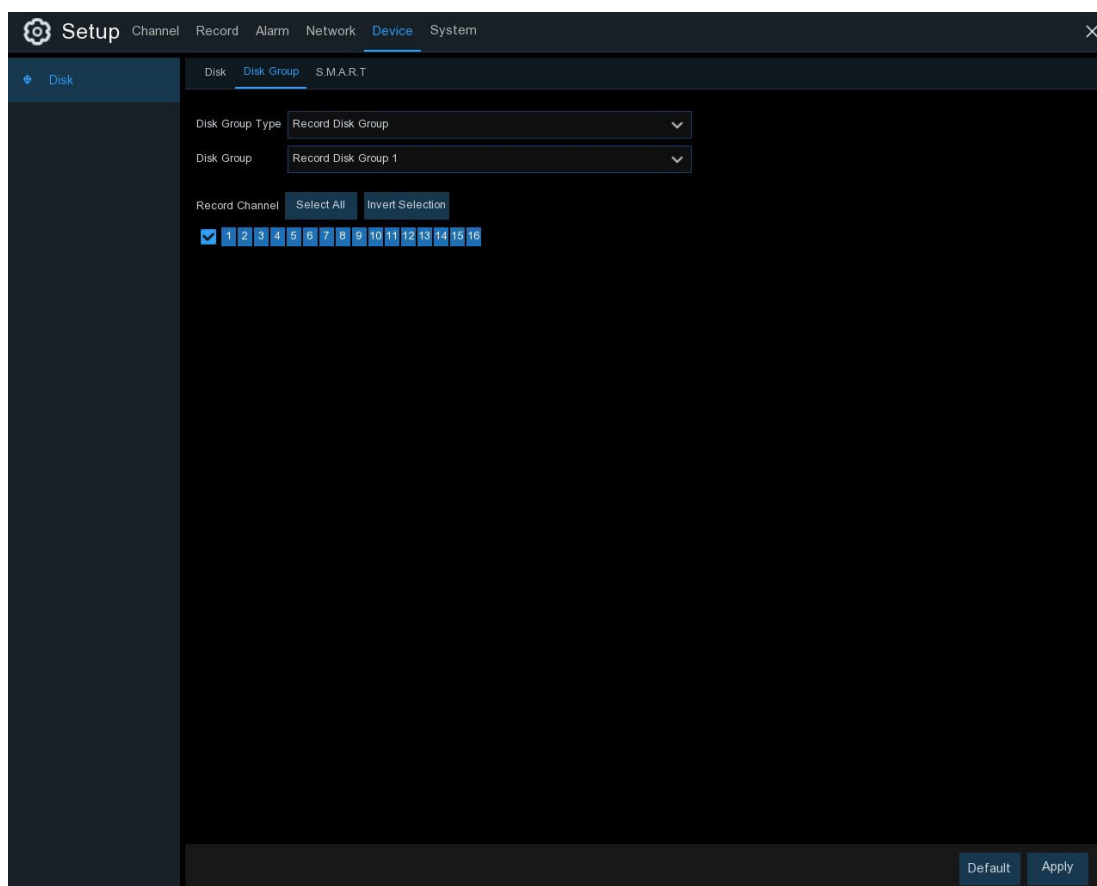
ディスクの種類リードライト、リードオンリー、リダンダント。

Read-Writeモードは、HDDが録画を保存したり、検索録画を再生したりするための通常の状態です。サイクリック録画時に重要な映像データが上書きされるのを防ぐため、HDDを**リード・オンリー**・モードに設定することができます。この**Read-only**のHDDには、新規録画はできません。この読み出し専用HDDから録画したものを検索して再生することは可能です。

リダンダントHDDを使用することで、録画中の映像を自動的にバックアップすることができる(読み書き可能)なハードディスクです。リダンダントHDDを設定すると、ハードディスク故障時に録画用ハードディスクとリダンダントハードディスクの両方に並行してカメラを録画するように設定することが可能です。

5.6.1.1 ディスクグループ

NVRが複数のHDDのインストールをサポートしている場合、HDDを異なるグループに構成することができます。HDDグループを使用すると、複数のHDDにバランスよく録画することができます。例えば、チャンネル1~4を1台のハードディスクに録画し、5~8を2台目のハードディスクに録画することができます。これにより、ハードディスクの消耗を抑えることができ、ハードディスクの寿命を延ばすことができます。



1. **ディスクグループタイプ**の隣にあるドロップダウンを使用して、構成するグループの種類を選択します。
2. **ディスクグループ**の隣にあるドロップダウンを使用して、選択したグループタイプ内の特定のグループを選択します。
3. チャンネルを表す番号のボックスをクリックすると、選択したグループのHDDにチャンネルを記録することができます。
4. **適用** をクリックして保存します。

5.6.1.2 S.M.A.R.T

この機能を使用すると、NVR内部にインストールされているハード・ドライブの技術情報を表示することができます。また、テスト(3種類あります)を実行して、潜在的なドライブ・エラーを評価および検出することができます。

Whole evaluation not passed, continue to use the disk

HDD ID: Disk 2 Self-check Type: Short

Self-check State: Self test successfully completed

TEMP(°C): 37 Utility Time(d): 1

Whole Evaluation: Check

S.M.A.R.T. Info:

ID	Attribute Name	Status	Flags	Value	Worst	Threshold	Raw Value
0x1	Raw Read Error Rate	OK	b	100	100	50	0
0x2	Throughput Performance	OK	5	100	100	50	0
0x3	Spin Up Time	OK	27	100	100	1	1389
0x4	Start Stop Count	OK	32	100	100	0	15
0x5	Reallocated Sector Ct	OK	33	100	100	50	0
0x7	Seek Error Rate	OK	b	100	100	50	0
0x8	Seek Time Performance	OK	5	100	100	50	0
0x9	Power On Hours	OK	32	100	100	0	35
0xa	Spin Retry Count	OK	33	100	100	30	0
0xc	Power Cycle Count	OK	32	100	100	0	15
0xbf	G-Sense Error Rate	OK	32	100	100	0	0
0xc0	Power-Off Retract Count	OK	32	100	100	0	13
0xc1	Load Cycle Count	OK	32	100	100	0	20
0xc2	Temperature Celsius	OK	22	100	100	0	37 (Min/Max 26/38)
0xc4	Reallocated Event Count	OK	32	100	100	0	0

Apply

全体の評価が通らない場合は、ディスクの使用を継続する。何らかの理由でハード・ドライブに障害(1つ以上の不良セクタなど)が発生した場合、NVRにドライブへの保存を継続するように指示することができます。

セルフチェックのタイプ。 3種類のタイプがあります。

短時間： このテストは、読み取り/書き込みヘッド、電子機器、内部メモリなどのハードドライブの主要コンポーネントを検証します。

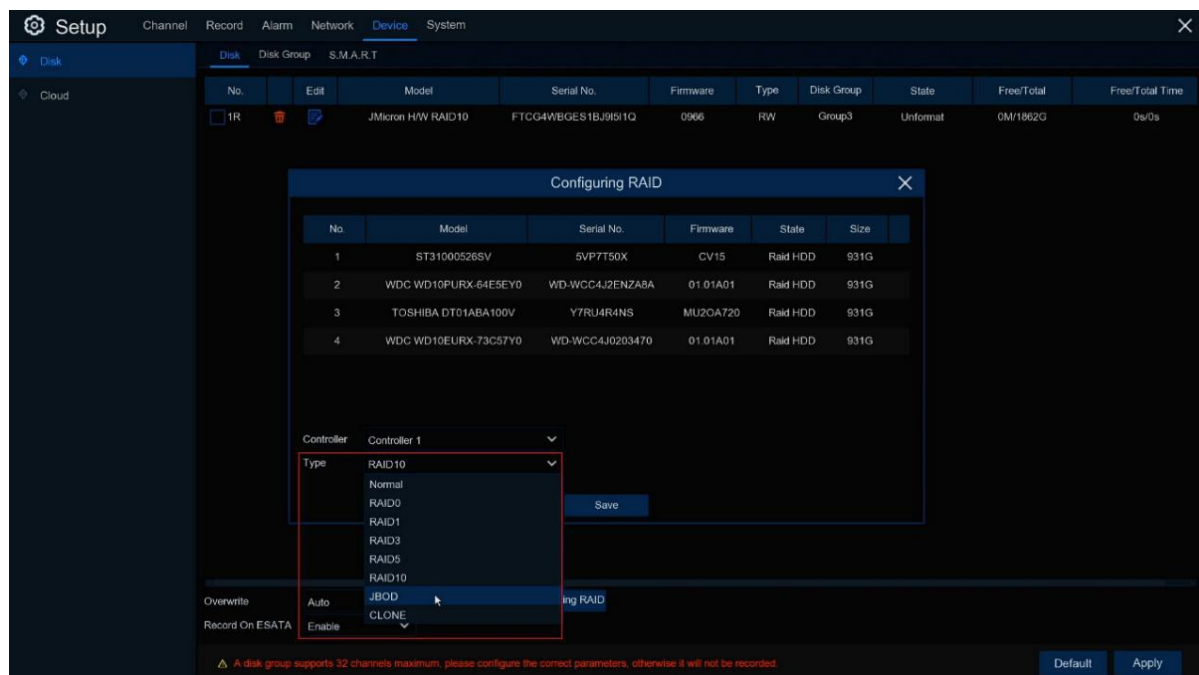
Long: このテストは、上記を検証し、表面スキャンを実行して問題のある領域を明らかにし、不良セクタを強制的に再配置する、より長いテストです。

伝わります。 ハードディスク・ドライブの機械部品が正常に動作しているかどうかを確認する、非常に簡単なテストです。

注：テストを行う際、NVRは通常通り動作します。HDD S.M.A.R.Tエラーが^{アル}見つかった場合、HDDは継続して使用できますが、記録データが失われる危険性があります。新しいHDDに交換することをお勧めします。

5.6.1.3 RAID

現在、RAIDディスクグループ機能は一部の機種（RS-N5032PC-E-NAND-RAID、RS-N5064PC-E-NAND-RAID）のみ対応しています。既存プログラムで対応可能なRAIDレベルnormal、raid0、raid1、raid3、raid5、raid10、jbod、clone。



レイド対応が必要な各種ハードディスクの特徴、メリット、デメリットは以下の通りです。

RAID						
RAID	レベル	特徴	原理	最低限必要なHDD量	製作後のサイズ	メリット・デメリット
	RAID0	ストリップ	2個以上のHDDを1個にまとめると、データは分割されてそれぞれのHDDに連続的に書き込まれます。	2	$Ds(\min) \cdot Dn$ の場合	読み書きのスピードは2倍になります。しかし、HDDを冗長化していないため、1台が壊れるとすべてのレイドが壊れるので、なかなか大変です。 データを復元する
	RAID1	ミラーリング	データのミラーリングによる冗長性を実現し、結合したHDDに、バックアップデータを生成し、同じデータを2つに分けて保存するHDD	2	$Ds(\min) \cdot Dn/2$	書き込み速度は同じですが、読み込み速度は2倍になります。 片方のHDDが壊れても、もう片方のHDDからバックアップデータを探し出すことができます。 第二のHDD
	RAID3	ペリフアイ	すべてのデータのあるフォールトトレラントアルゴリズムに従って複数のピースに分割し、N+1ピースのHDDに格納します。1台のHDDが壊れても、他のN個のHDDからデータを復元することができます。分割されたデータは、N個のHDDに格納され、チェックコードは、N個のHDDに格納されます。 特定のN+1 HDD。	3	$Ds(\min) \cdot (Dn-1)$ 。	1台のHDDが壊れても問題ありません。しかし、他のHDDは再計算し、壊れたHDDのデータを回復する必要があります。チェックコードのHDDは、システム全体の問題になりやすいのです。
	RAID5	ペリフアイ	シャード&チェックコードのハイブリッドストレージ。1台のHDDが壊れても、残ったデータと対応するパリティ情報を使って破損データ	3	$Ds(\min) \cdot (Dn-1)$ 。	1台のHDDが壊れても問題ありません。しかし、他のHDDは再計算し、壊れたHDDのデータを回復する必要があります。
	RAID10	1+0	まずミラーリング (RAID1)、次にストリップ (RAID0)。 例：2台のHDDを1つのグループとしてRAID1を構築し、複数のRAID1をRAID0に構築する。	4	$Ds(\min) \cdot Dn/2$	N個の読み出しと書き込み速度、N個のグループ量として。各グループは、1つのHDDを破壊することができます。 200%のスピードとシングルHDDの破損を提供することができました。 データ機密保護

ジェイボ ディー		すべてのHDDを1つのHDDとしてまとめる	2	Ds1+Ds2+...+」 。 ディースン	アル 利用率100%、入手 HDD最大容量
クローン	ミラー リ ng	すべてのHDDに同じデータを保存	3	Ds(分)	1/N稼働率、Nの意味 HDD数量
備考Ds: HDD容量、Ds(min): RAID構築時の最小HDD容量、Dn:HDDの数量					

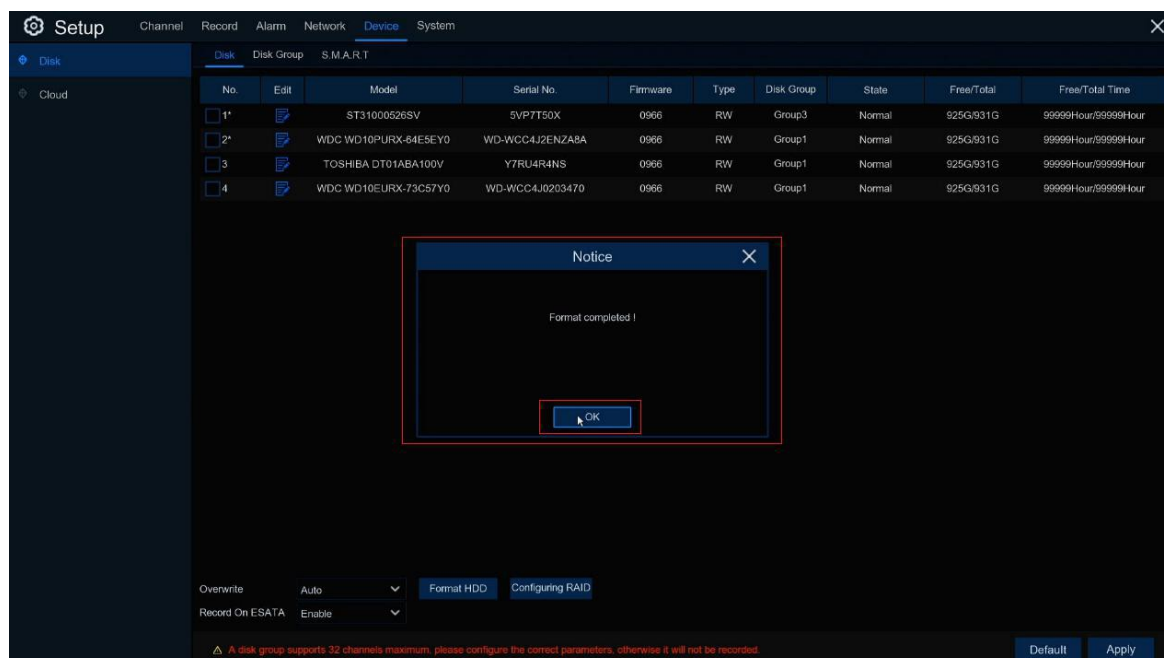
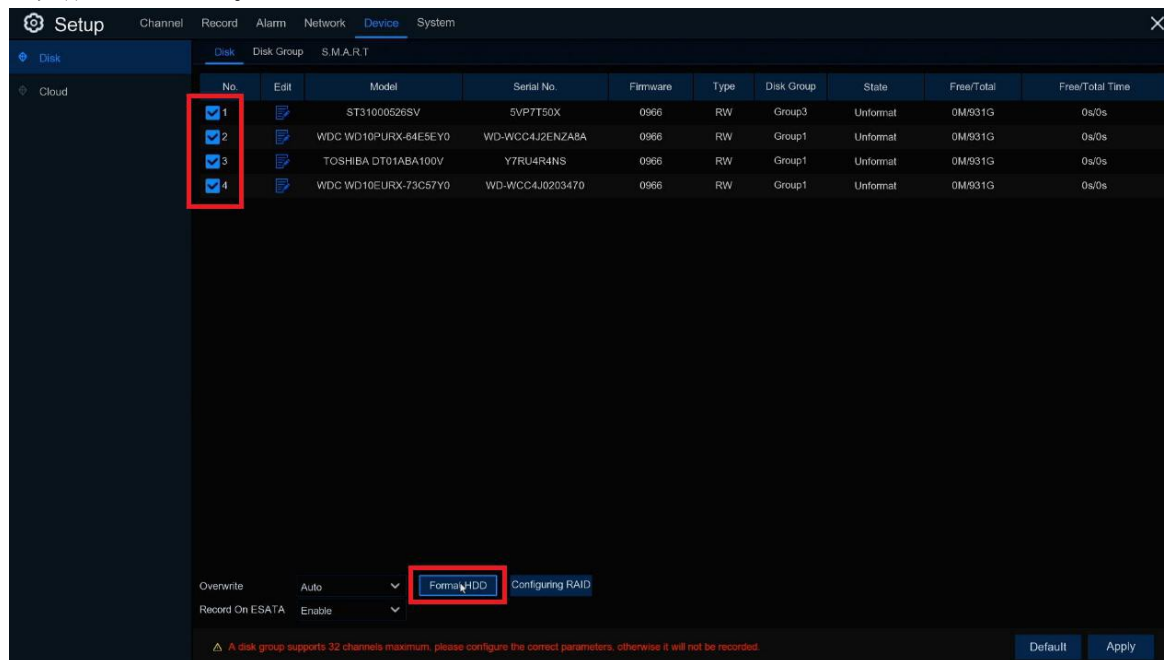
例えば、こんな感じです。

同じコントローラのHDDインターフェイスsata1～4の下に4台のHDDを接続し、レベルをRAID10に設定します。

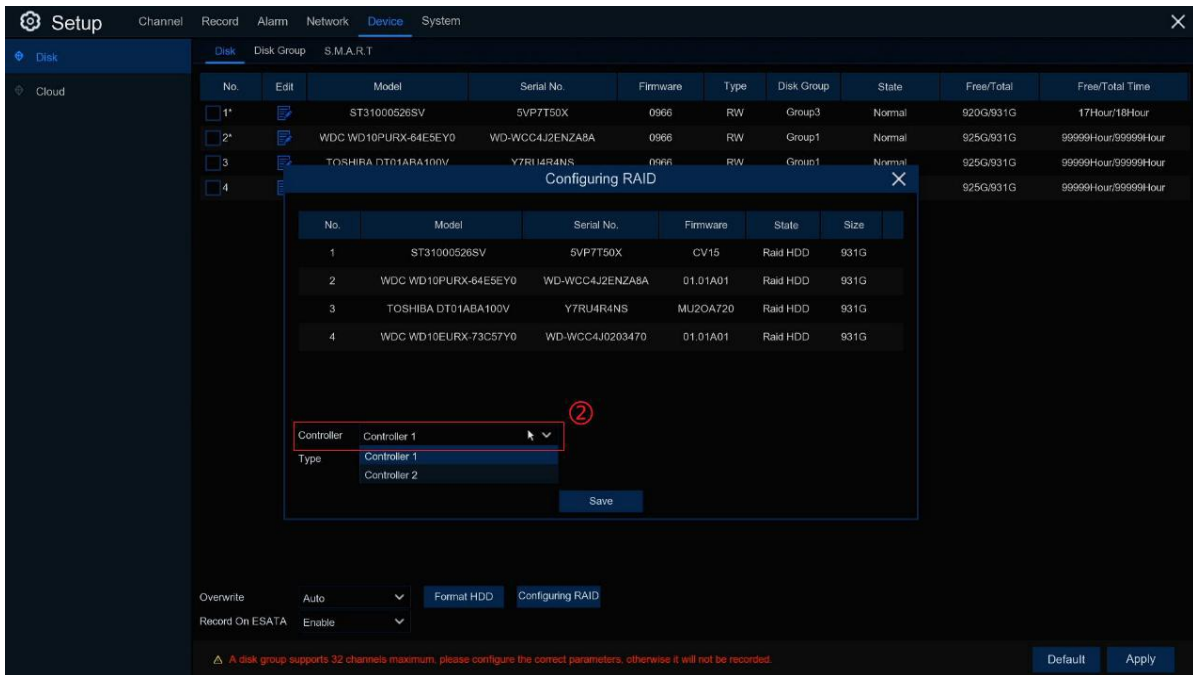
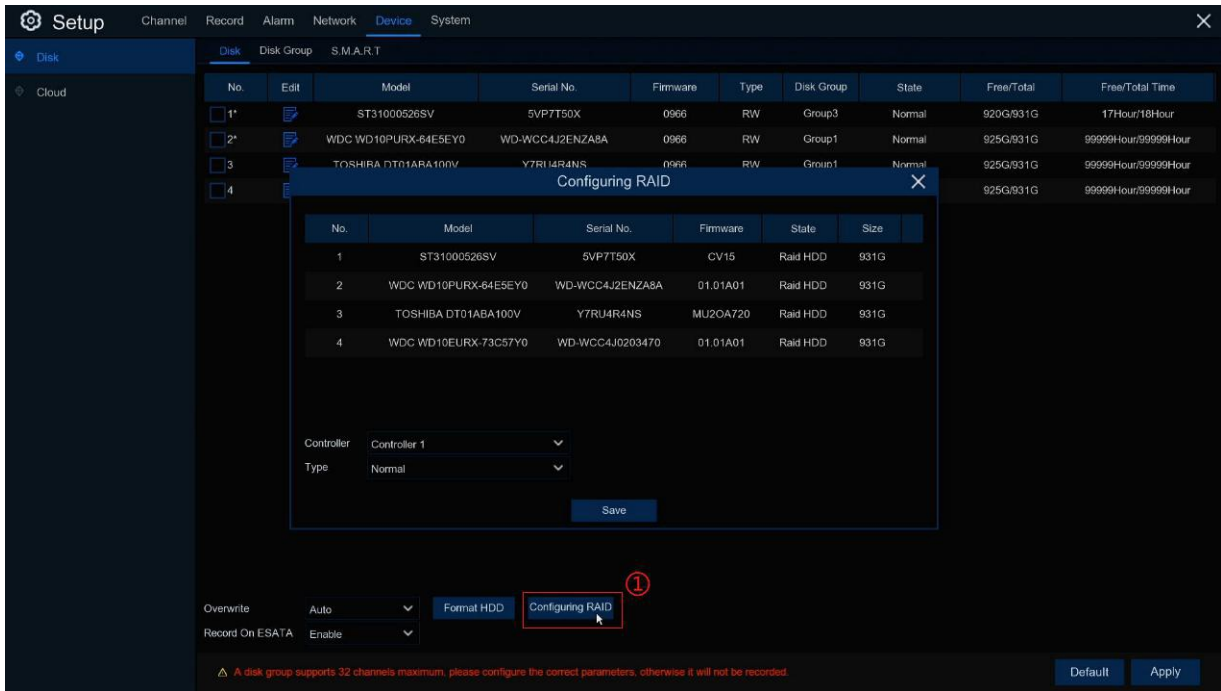
その他のレベルのRAIDモードのセットアップ手順は同じです。

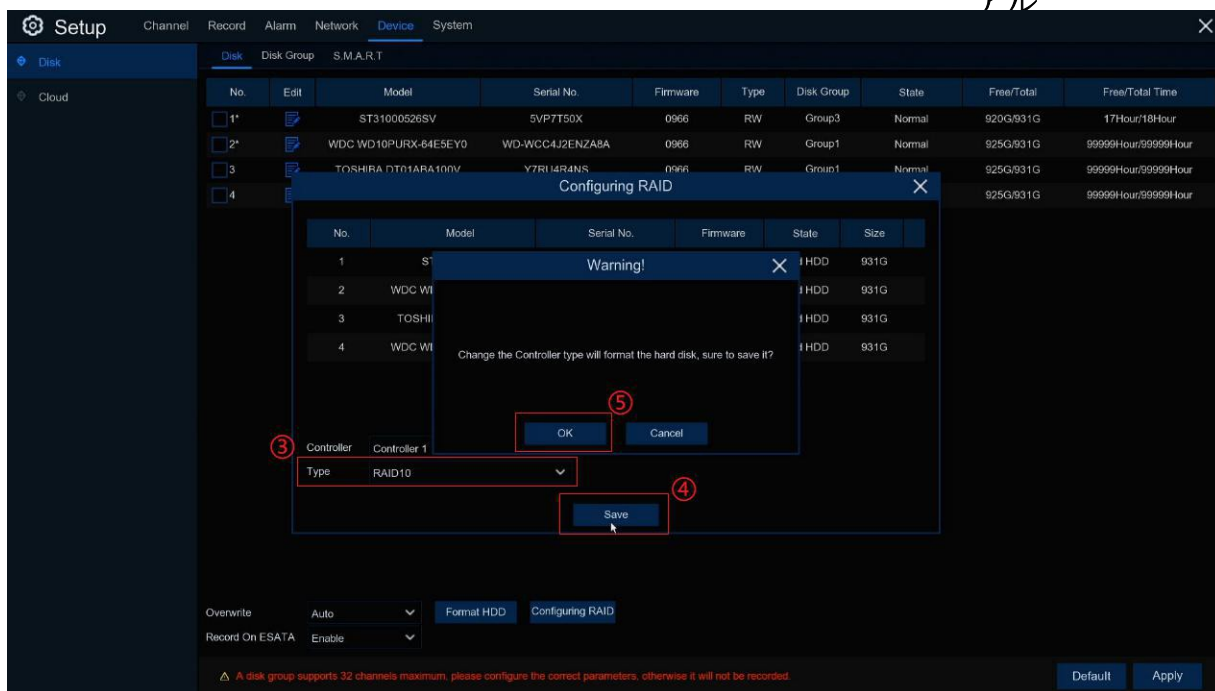
1) 必要なRAIDグループにチェックを入れ、format HDDをクリックし、パスワードを入力して確認し、formatするまで待ちます。

を完成させました。

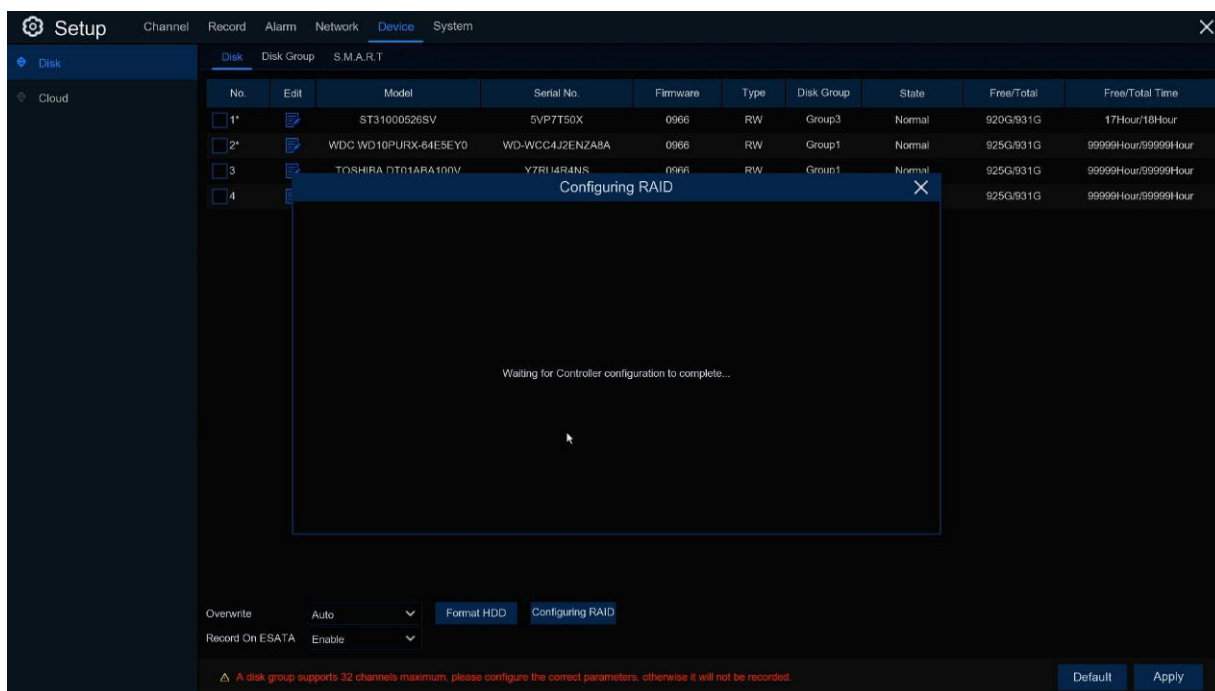


2) RAIDレベルを設定します。ここではサンプルとしてRAID10を設定します。->コントローラ1/2---->タイプRAID 10、保存。

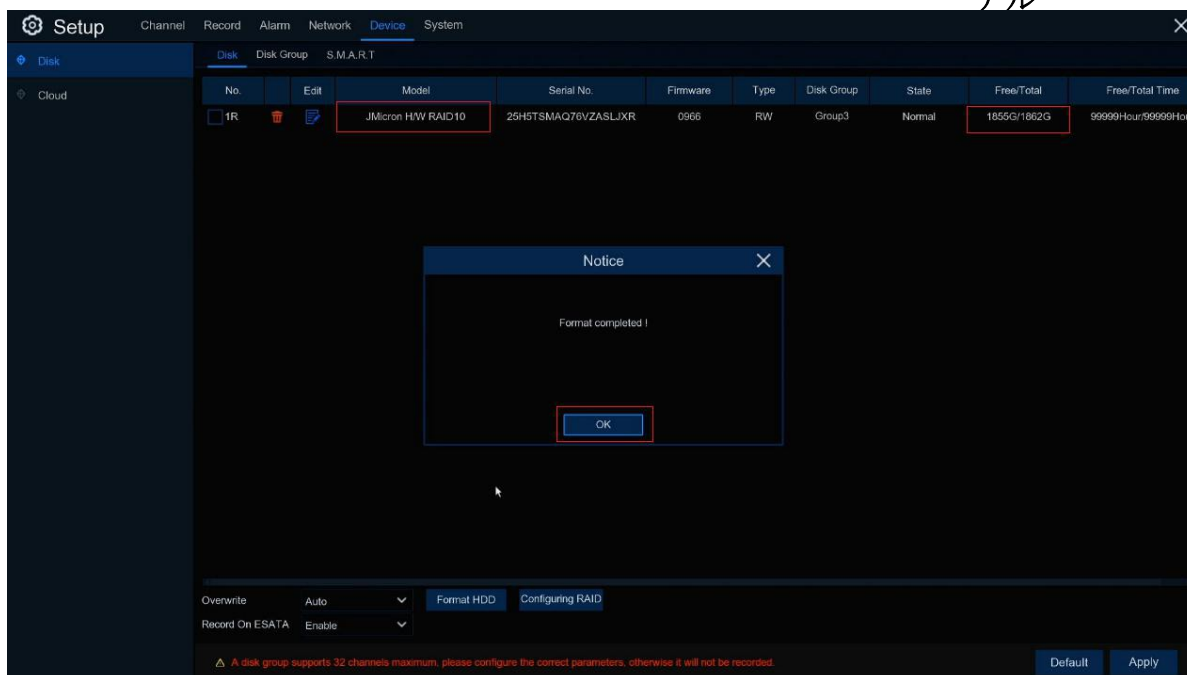




- HDDのRAID構成が終了するまで保存して待ちます。設定に成功したことを

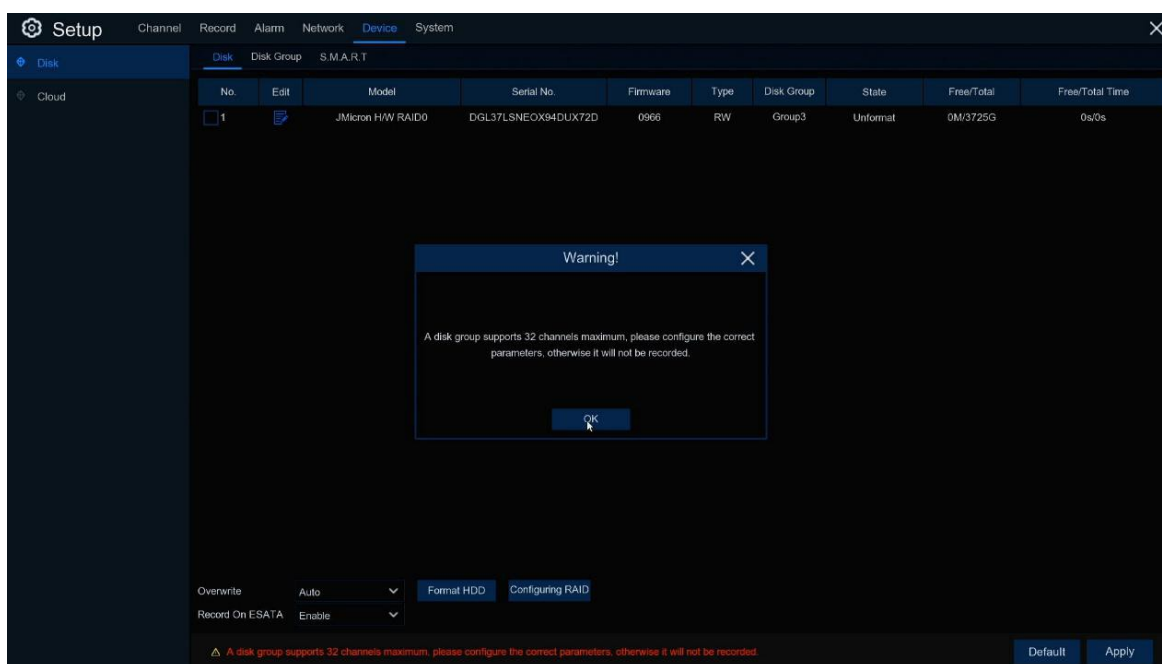


示すプロンプトが表示されるまで、他の操作をしないでください。

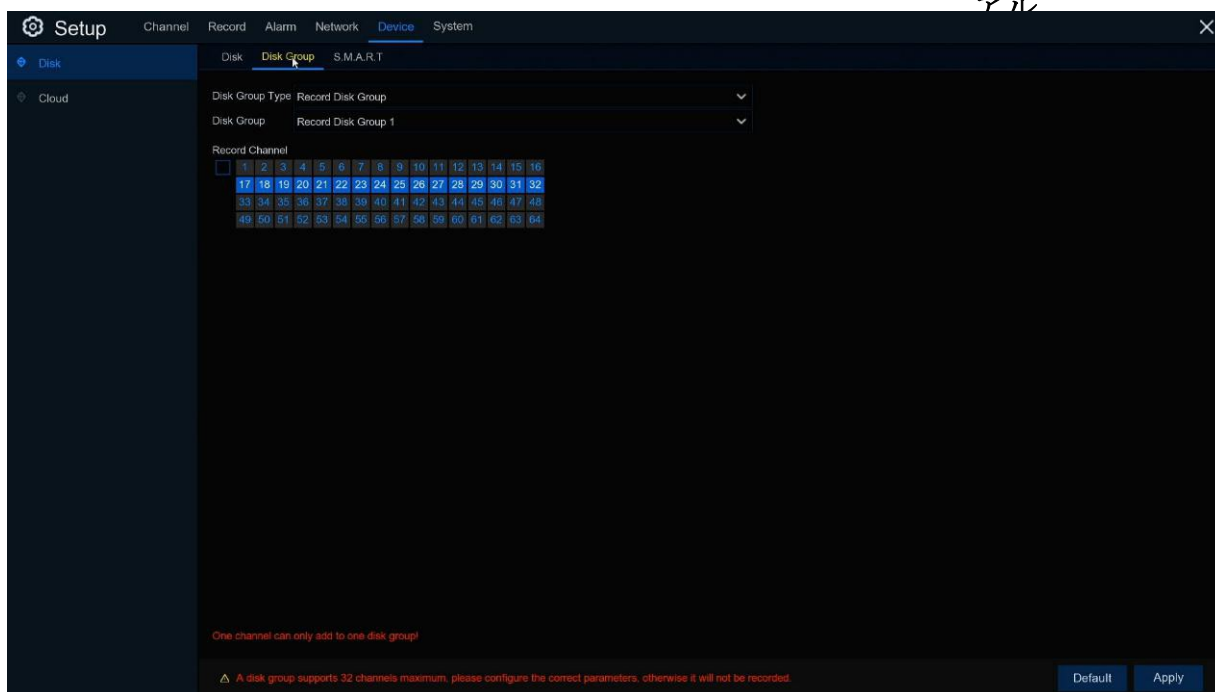


4台の1TB HDDでRAID1とRAID0を構築し、2台のHDDでミラーリング（RAID1）、ストリップ（RAID0）を進めるという扱いができるようになりました。この場合、読み込み速度は2倍になりますが、容量使用率は2TBと半分になります。また、壊れてもいいHDDは各グループに1台だけです。

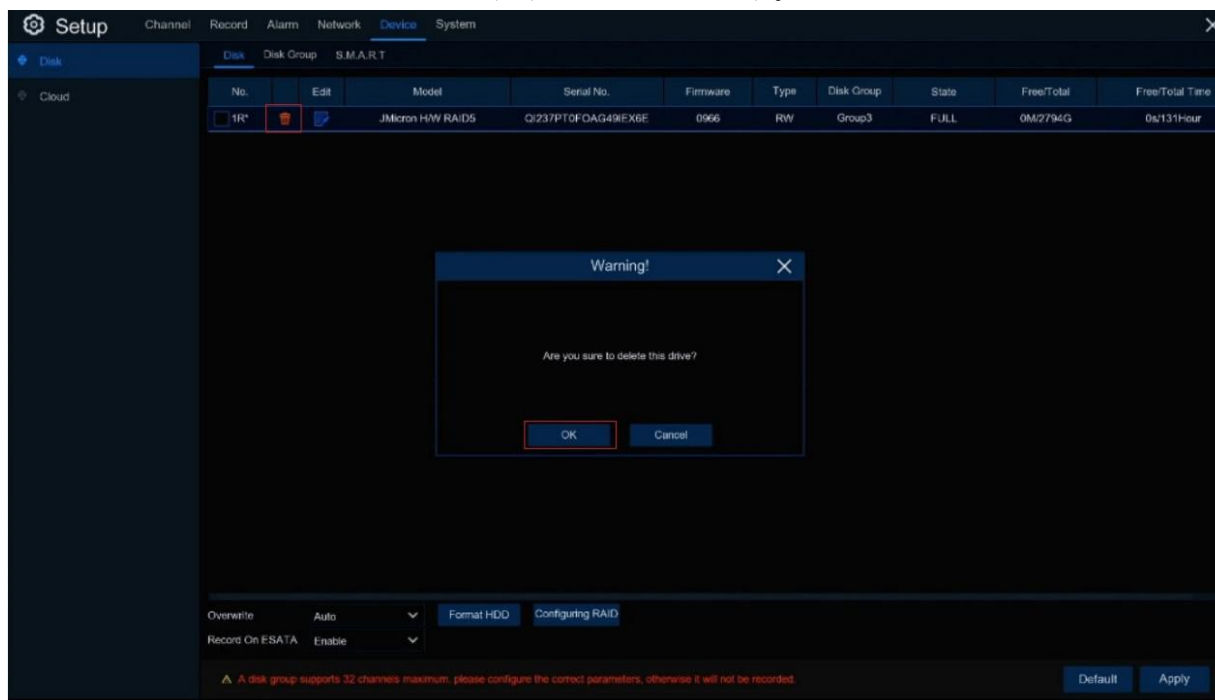
さらに、NVRは2つのHDDグループに保存される64チャンネルの記録アーカイブを最大限にサポートし、各HDDグループは32チャンネルを最大限にサポートし、各チャンネル



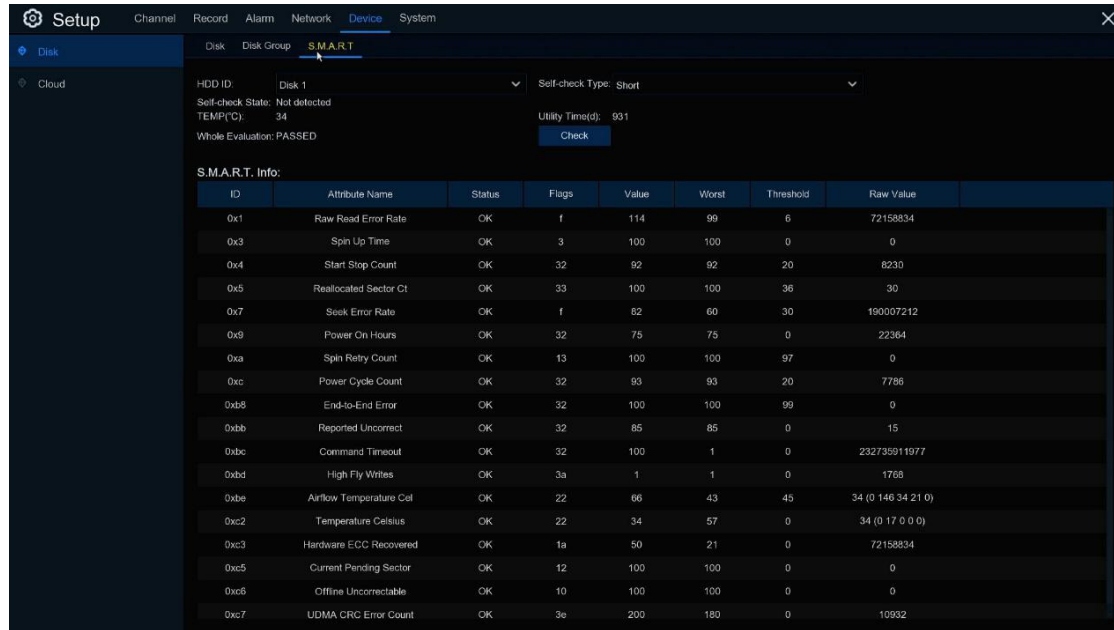
は1つのHDDグループにのみ追加することができます。



削除をクリックするとRAIDが削除されます。RAID Configuration インターフェイスで、モードを NONE に選択しても RAID を削除することができます。



RAID Smart検出：RAIDモード時の各HDD IDのスマート情報を表示します。



RAIDを構成する各HDDには、参考情報としてスマートインフォメーションが提供されます。スマート情報のチェック：値とワーストが閾値を下回ってはいけません。もし値がworstより小さければ、そのHDDは壊れようとしていることを意味します。値がしきい値より小さい場合は、HDDがすでに壊れていることを意味します。

3種類の特種なRAIDステータス。リビルド、デグレード、ブローケン、これら3つのステータスはRAIDレベルに関連しています。

リビルド：RAIDから1台のHDDを抜き、再度接続し、データ復旧を行うことを意味します。データ復旧に時間がかかるため、リビルド中は10分ごとにパーセンテージが表示されます。これは、ビットストリームが高すぎて書き込めないため、録画に影響を与える可能性があります。

壊れた：壊れたり抜けたりしたHDDの量が耐えられるレベルより多くなると、その時点でRAIDは使用できなくなります。もしRAIDモデルのHDDだけが抜かれた場合、それは壊れたものとして表示され、あなたはそれを再び接続して使い続けることができます。しかし、壊れたHDDの数量が許容範囲を超えると、データは失われ復旧できなくなり、基本的な通信機能だけが残され、つまり、それ以上使用できなくなります。

劣化：HDDが抜けたり壊れたりして、RAIDモードのHDDの数量が足りないことを意味します。十分な量のHDDを補充すれば、正常な状態に回復し、何も操作する必要がありません。

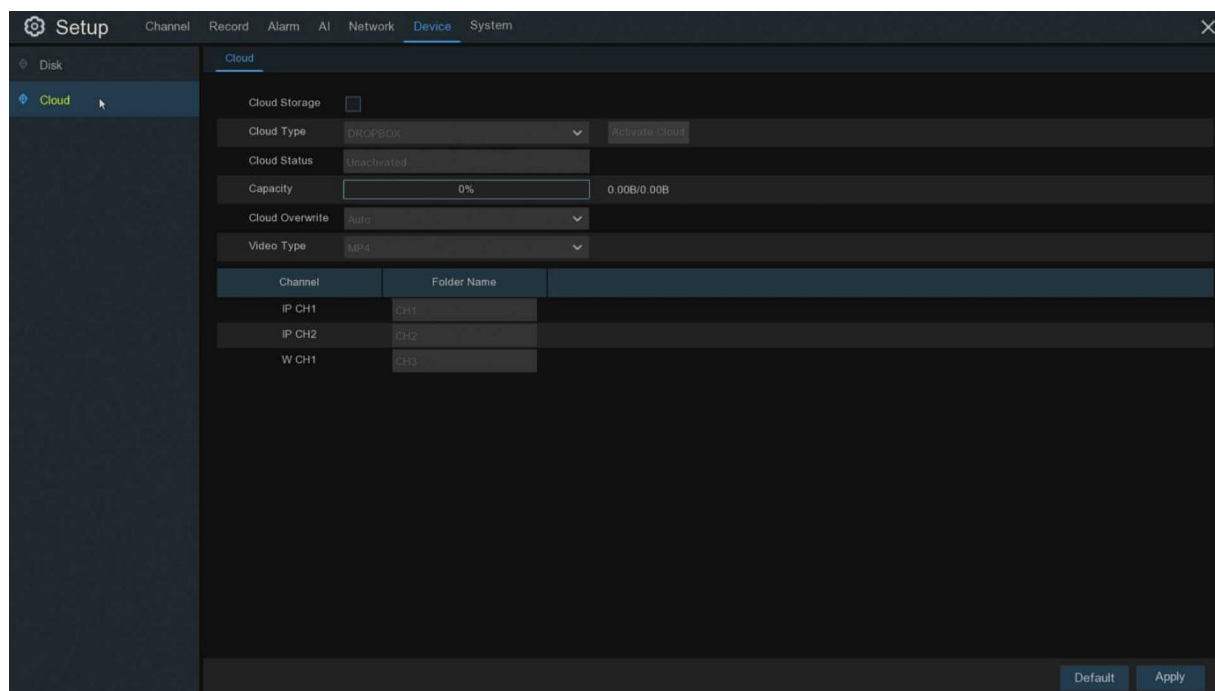
ノーマル：通常のHDDと同じで、PMとも呼ばれます。現在のテスト条件では、2つのRAIDは25%~35%のCPUリソースを余分に消費します。HDDが壊れた場合、RAIDの劣化により40%~50%のリソースを消費し、HDDの読み書きの効率が悪くなり、データが失われます。

その他、下表のような注意事項があります。

人様	1	コントローラ1、2は変更可能で、プラグの順番に関係します。もし、1個しか差し込まなかったり、最初に差し込まれたものはコントローラ1になります。しかし、それは は、UI上では安定と表示されます。
	2	プラグを抜き差しした後は、コンフィギュレーション・インターフェースに再アクセスする必要があります HDDをリフレッシュする。
	3	Build RAID 10とRAID 1は、HDDの数量によって区別されます。 4個以下のHDDはRAID1、もしくはRAID10になります。
	4	現在のファームウェアで上記のRAIDモードが実現可能
功り	1	RAIDが劣化した場合は、できるだけ早く故障したHDDを交換してください。 のように、できるだけ録画の影響を受けないようにしてください。 時々記録は影響されます、記録映像は連続的でないです
	2	モデルを再構築する際に映像が連続的に表示されない場合は、以下の方法が考えられます。 ビットストリームを縮小して映像の消失を防ぐ
	3	手動でHDDを取り外す場合は、HDDが混在しないように、事前にRAIDモードをノーマルに変更することをお勧めします。異なるグループのHDDを同じコントローラに接続すると、HDDエラーが発生し、メインボードやファームウェアが使用できなくなります。 (例1：HDD ABCDでRAID3、abcdでRAID5を構築する場合。大文字と小文字を混在させた場合、例えばABabをコントローラに接続するような場合。 例2：HDD ABCDでRAID3を構築し、Dを抜いて、HDD ABCをRAIDモードに再構築し、RAID3を含めて、Dを差し込む場合) もし、上記のような状態になった場合は、異なるグループのHDDを別々に接続して、通常通りセットすればよいのです。もし、どのHDDを1つのグループとして設定したか分からない場合は、1個を差し込んでから通常通り設定し、別の1個を差し込んでから設定することができます。 は、すべてが正常になるまで、正常に設定します。

5.6.2 クラウド

クラウドストレージは、アラームをトリガーしたときに写真やビデオをアップロードするためのクラウドストレージサーバーを設定することができ、DropboxまたはGoogle Driveはオプションです。フォルダ名メニューでチャンネル名を変更することができます。



クラウドタイプ：クラウドストレージの種類を選択、Dropbox

またはGoogle Cloud Overwrite：クラウド上書きの頻度を設定

Video Type: クラウドにアップロードするビデオの種類を設定します。

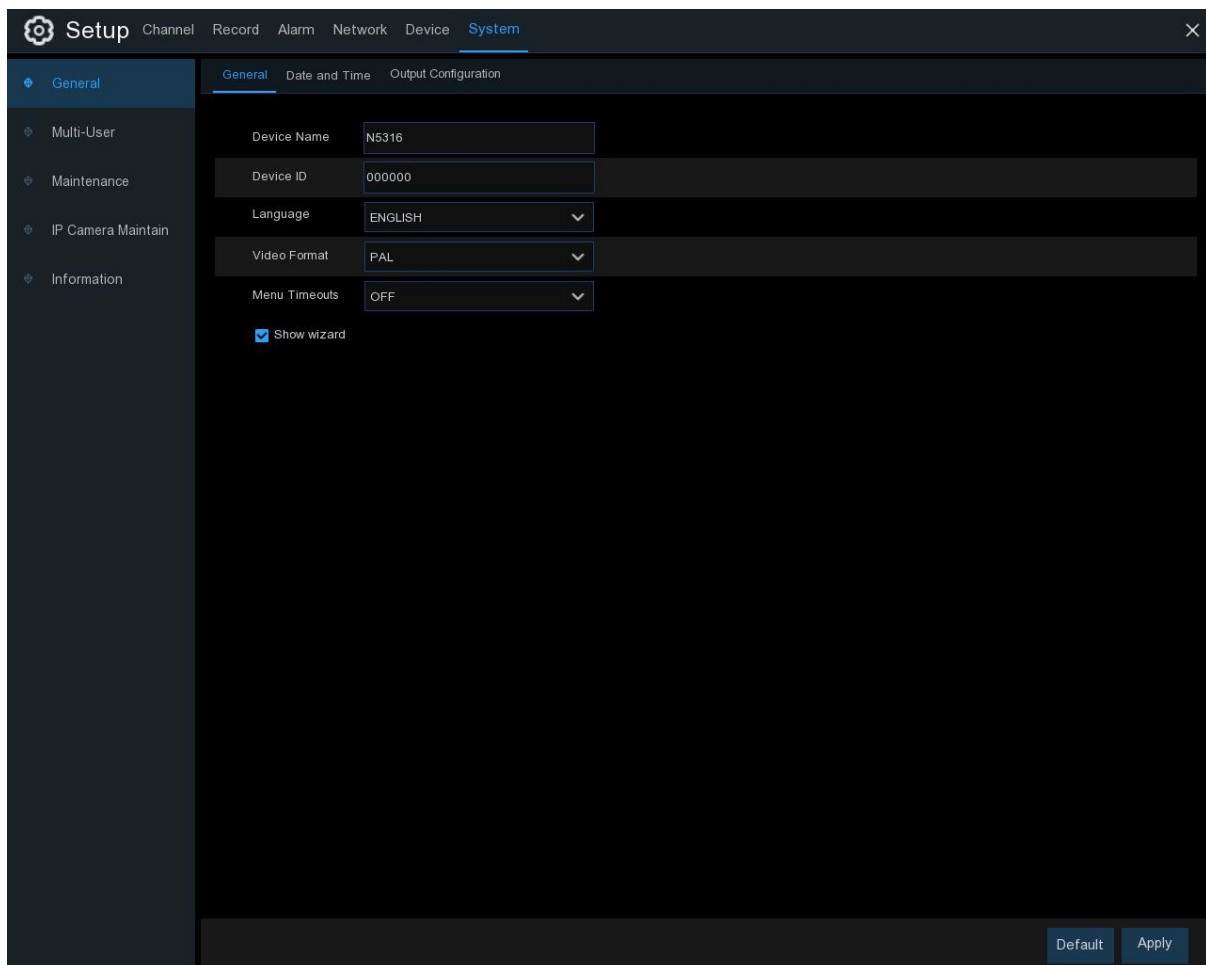
5.7 システム

日付、時間、地域などの一般的なシステム情報の変更、パスワードや権限の編集など

。

5.7.1 一般

5.7.1.1 一般



デバイス名。 NVRに必要な名前を入力します。名前には文字と数字の両方を含めることができます。

デバイス ID: NVRに必要なIDを入力します。デバイスIDはNVRを識別するために使用され、数字のみで構成することができます。例えば、2台のNVRが同じ場所に設置されている場合、デバイスIDは一方のNVRが000000、もう一方のNVRが111111となります。リモート・コントローラーでNVRを操作する場合、両方のNVRがコントローラーからのシグナルを受信し、同時に動作することができます。ID 111111のNVRのみを操作したい場合は、リモート・コントローラーのログイン・ページでデバイスID 111111を入力し、操作を進めることができます。

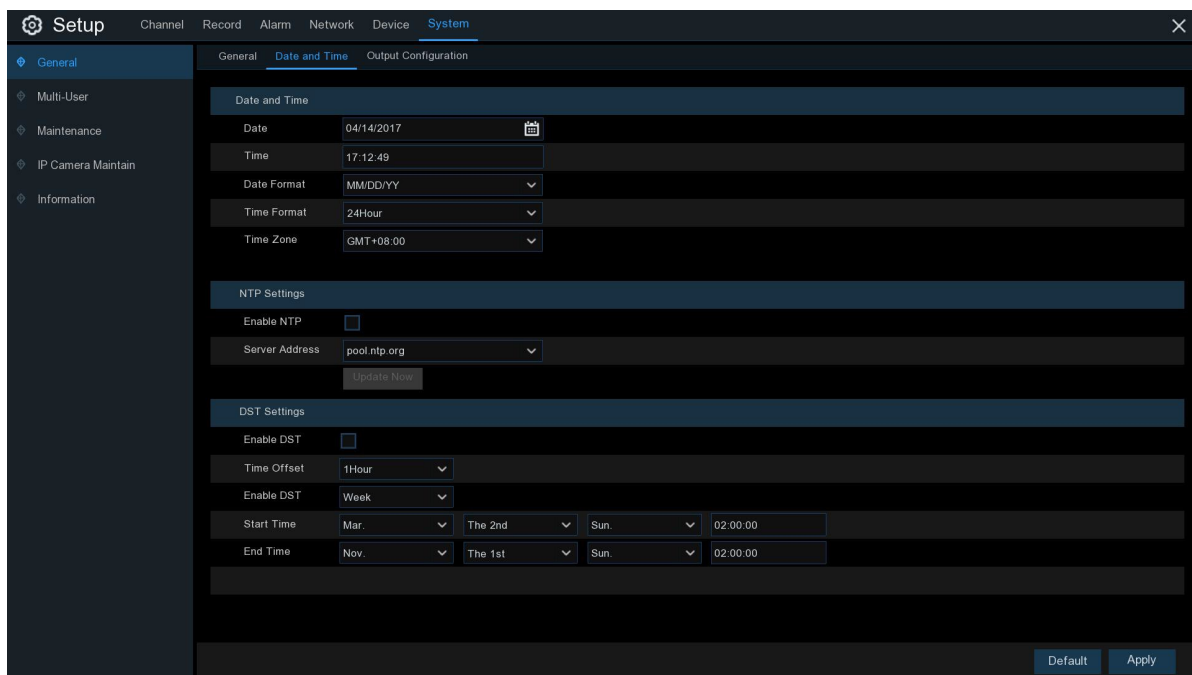
言語 システムメニューの表示言語を選択します。複数の言語が使用できます。

ビデオフォーマット。お住まいの地域の正しいビデオ規格を選択してください。

メニューのタイムアウト。ドロップダウン・メニューをクリックして、アイドル時にNVRが「メイン・メニュー」を終了する時間を選択します。「OFF」を選択して無効にすることもできます(パスワード保護は一時的に無効になります)。

ウィザードを表示する。NVRの電源を入れたり、再起動するたびにスタートアップ・ウィザードを表示したい場合は、チェックボックスをクリックします。

5.7.1.2 日付と時間

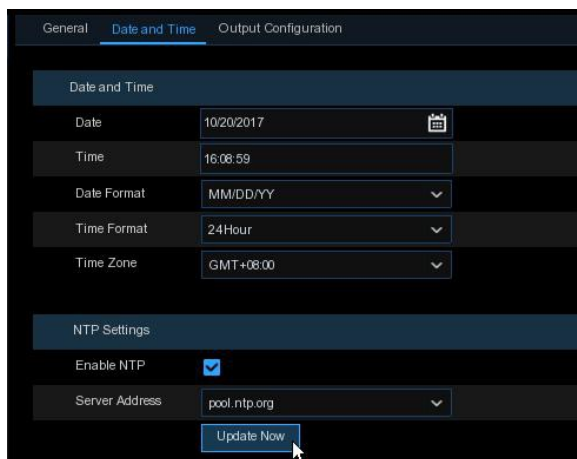


日付と時間

日付 カレンダーのアイコンをクリックすると、日付が変更されます。**時刻** : ダイアログボックスをクリックすると、時刻を変更することができます。**日付の形式**。お好みの日付形式を選択します。**時刻の形式**。希望する時刻の形式を選択します。

タイムゾーン : お住まいの地域や都市に関連するタイムゾーンを選択してください。

NTP (Network Time Protocol)機能により、NVRはタイム・サーバーと自動的に時計を同期させることができます。これにより、常に正確な時刻を設定することができます(NVRは定期的に自動同期を行います)。

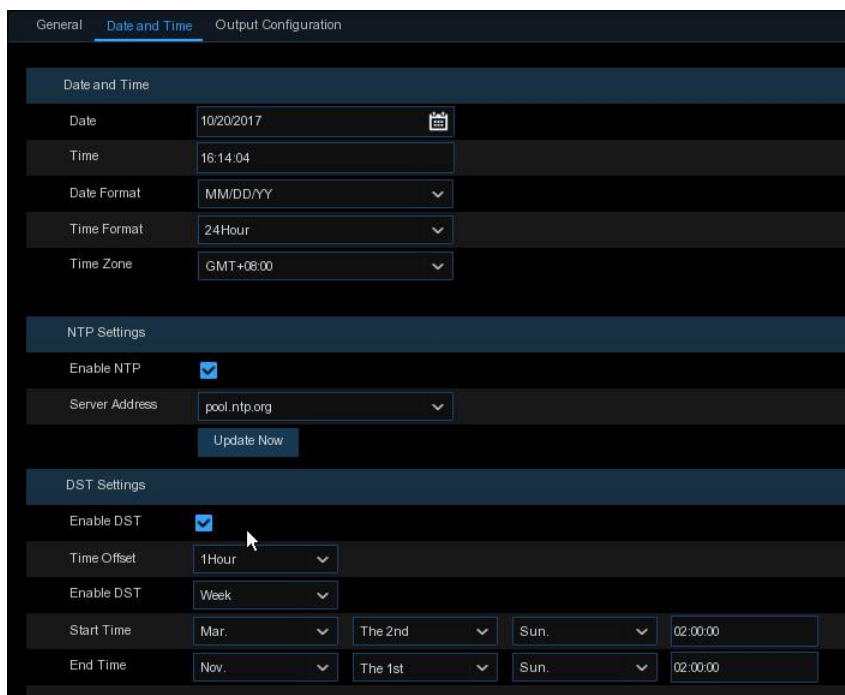


アル
NTPを有効にする場合はチェックを入れ、**サーバーアドレス**を選択し、「今すぐ更新」をクリックして手動で日付と時刻を同期させます。

適用] をクリックして、設定を保存します。

NTP機能を有効にすると、1日1回、またはシステム起動時に00:07:50にシステム時刻が更新されます。

DST（サマータイム）機能は、特定のタイムゾーンまたは地域でサマータイムが増加した時間を選択することができます。



DSTを有効にする：タイムゾーンまたは地域に夏時間が適用される場合は、このオプションにチェックを入れて有効にします。**時間オフセット**。タイムゾーンでサマータイムが適用される時間の長さを選択します。これは、協定世界時（UTC）と現地時間との差を分単位で表したものです。

Enable DST：夏時間の開始と終了の方法を選択できます。

週間サマータイムが開始・終了する月、特定の曜日、時間を選択します。例えば、特定の月の第一日曜日の午前2時。

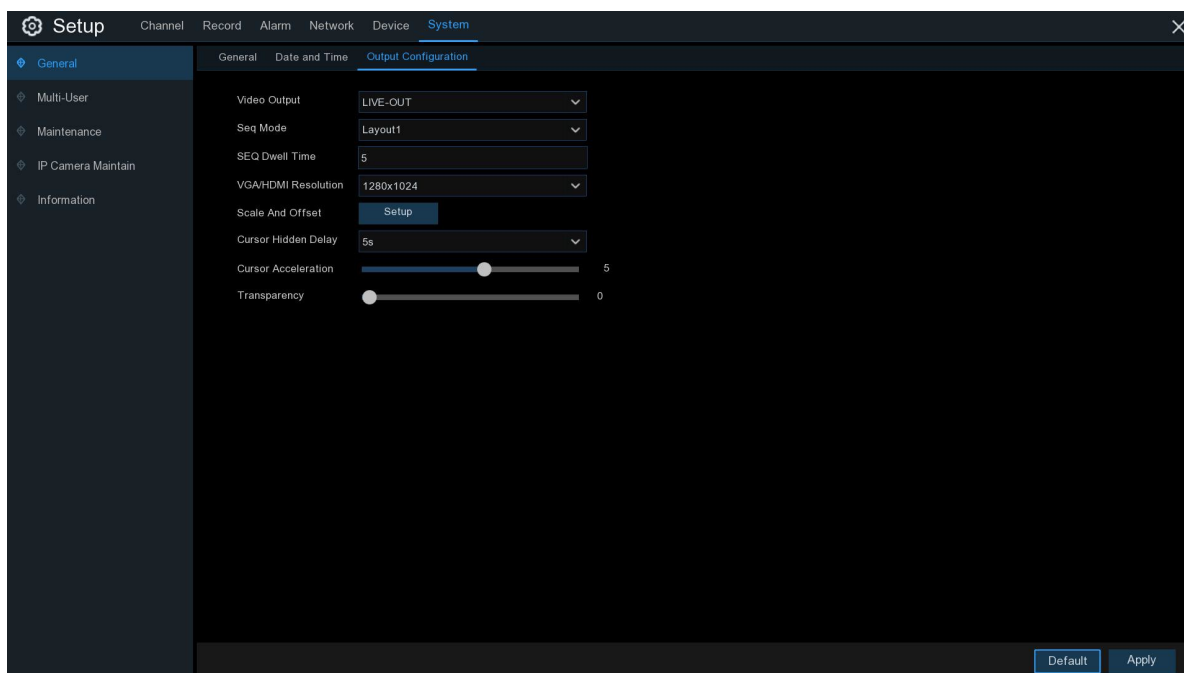
日付サマータイムの開始日（カレンダーのアイコンをクリック）、終了日、終了時刻を選択します。

開始時刻／終了時刻：サマータイムの開始時刻と終了時刻を設定します。

アル

5.7.1.3 出力構成

このメニューでは、ビデオ出力に関するパラメータを設定することができます。

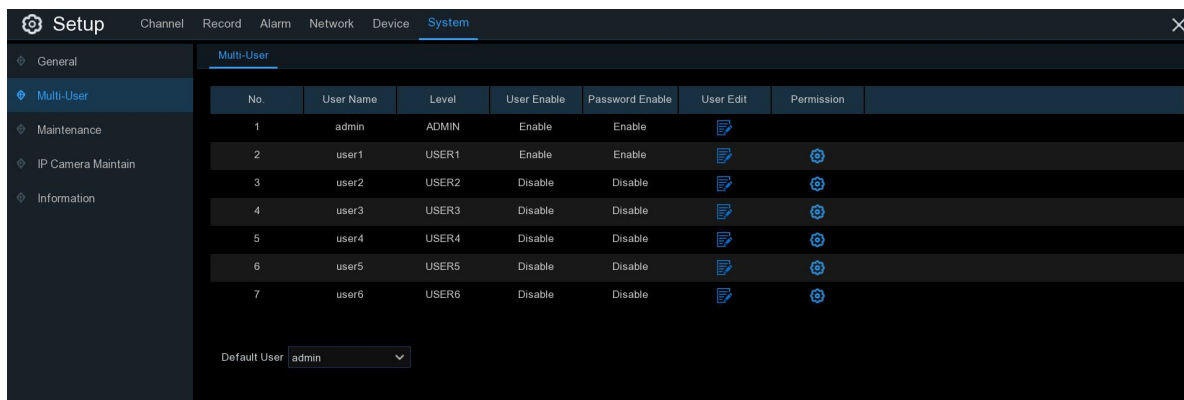


ビデオ出力です。出力オプションを選択する。

LIVE-OUT は、主な出力パラメータを設定するために使用します。

5.7.2 マルチユーザー


このメニューでは、ユーザー名、パスワード、ユーザー権限を設定することができます。

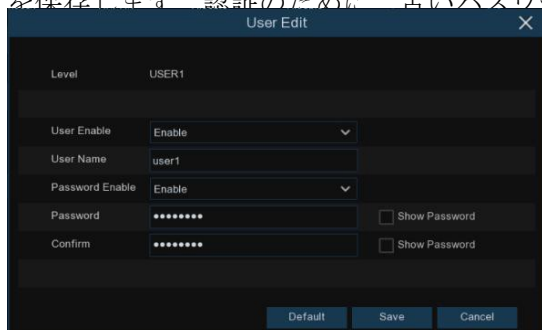


本システムでは、以下のアカウントタイプに対応しています。

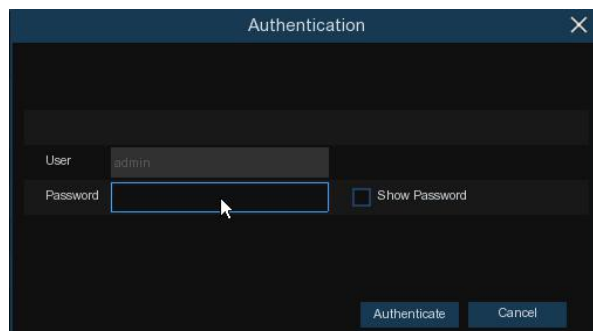
- **ADMIN - システム管理者**。管理者はシステムを完全に制御し、管理者とユーザーの両方のパスワードを変更し、パスワード保護の有効化/無効化を行うことができます。
- **USER - 通常ユーザー**：ユーザーはライブビュー、検索、再生、およびその他の機能へのアクセス権のみを有します。システムへのアクセスレベルの異なる複数のユーザーアカウントを設定することができます。

5.7.2.1 パスワードの変更

管理者またはユーザーアカウントのパスワードを変更するには、「ユーザー編集」アイコンをクリックします。パスワードは8文字以上で、数字とアルファベットを混在させることができます。確認のため、新しいパスワードをもう一度入力し、「保存」をクリックして新しいパスワードを保存します。認証のために、古いパスワードの入力が必要になります。
















The 'User Edit' dialog box shows fields for 'Level' (USER1), 'User Enable' (Enable), 'User Name' (user1), 'Password Enable' (Enable), 'Password' (masked with dots), and 'Confirm' (masked with dots). There are 'Show Password' checkboxes for both password fields and 'Default', 'Save', and 'Cancel' buttons at the bottom.




The 'Authentication' dialog box shows 'User' (admin) and 'Password' (masked with dots) fields. There is a 'Show Password' checkbox for the password field and 'Authenticate' and 'Cancel' buttons at the bottom.

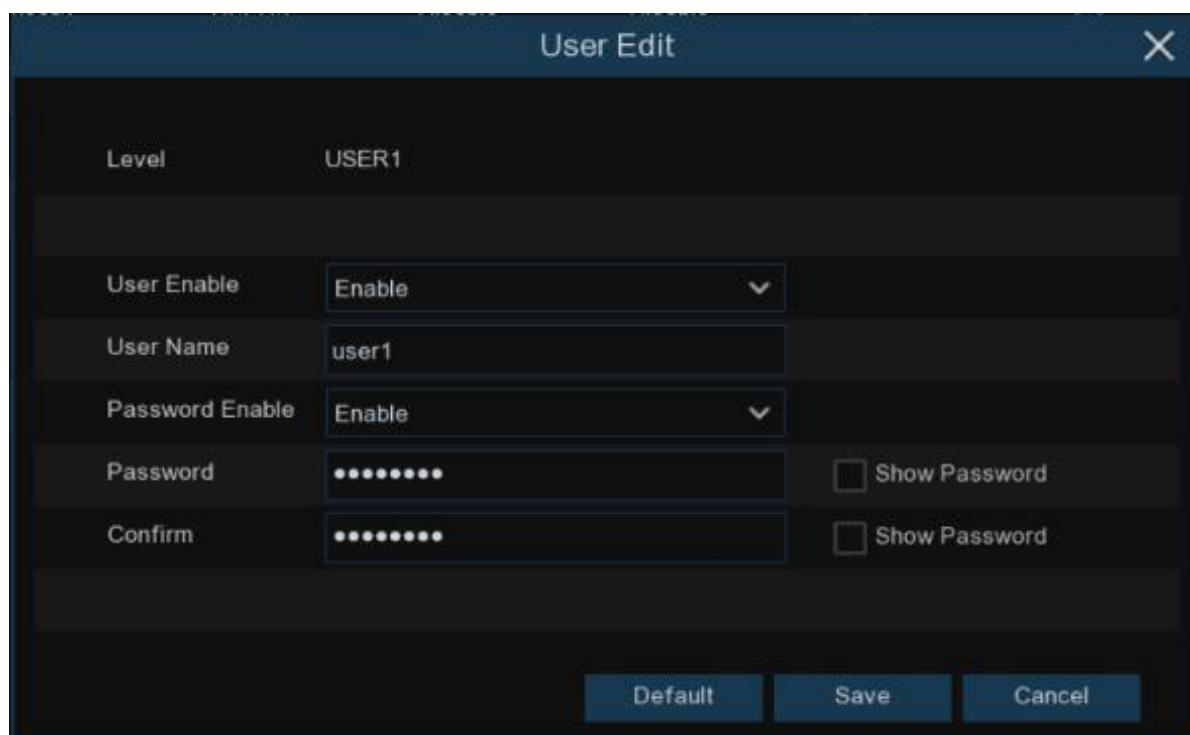
パスワードの有効化。 プライバシーを保護するために、パスワードを有効にすることを強くお勧めします。パスワード保護を無効にしたい場合は、NVRが安全な場所に設置されていることを確認してください。

5.7.2.2 新規ユーザーの追加

Multi-User							
No.	User Name	Level	User Enable	Password Enable	User Edit	Permission	
1	admin	ADMIN	Enable	Enable			
2	user1	USER1	Enable	Enable			
3	user2	USER2	Disable	Disable			
4	user3	USER3	Disable	Disable			
5	user4	USER4	Disable	Disable			
6	user5	USER5	Disable	Disable			
7	user6	USER6	Disable	Disable			

Default User: admin

1. 現在無効になっているユーザーアカウントを1つ選択し、「ユーザー編集」アイコンをクリックします。



The screenshot shows a 'User Edit' dialog box with the following fields and controls:

- Level:** USER1
- User Enable:** Enable (dropdown menu)
- User Name:** user1 (text input field)
- Password Enable:** Enable (dropdown menu)
- Password:** [masked] (text input field) with a Show Password checkbox.
- Confirm:** [masked] (text input field) with a Show Password checkbox.
- Buttons:** Default, Save, Cancel

2. **User Enable**の隣のドロップダウンから**Enable**を選択します。
3. **ユーザー名**の横のフィールドをクリックして、アカウントのユーザー名を変更します。
4. **パスワードの有効化**の隣にあるドロップダウンから「**有効化**」を選択します。
5. **パスワード**の横のフィールドをクリックし、必要なパスワードを入力します。
6. **確認**の横のフィールドをクリックして、パスワードを再入力します。
7. **保存**をクリックします。認証のため、管理者パスワードの入力が必要です。

5.7.2.3 ユーザー権限の設定

管理者アカウントは、すべてのシステム機能を完全に制御することができる唯一のアカウントで

No.	User Name	Level	User Enable	Password Enable	User Edit	Permission
1	admin	ADMIN	Enable	Enable		
2	user1	USER1	Enable	Enable		
3	user2	USER2	Disable	Disable		
4	user3	USER3	Disable	Disable		
5	user4	USER4	Disable	Disable		
6	user5	USER5	Disable	Disable		
7	user6	USER6	Disable	Disable		

Default User: admin

す。各ユーザーアカウントは、特定のメニューや機能へのアクセスを有効または無効にすることができます。

1. 権限」タブの下にある編集アイコンをクリックします。

User Permission ✕

User Name: user1

<input checked="" type="checkbox"/> Log Search	<input checked="" type="checkbox"/> Parameter	<input checked="" type="checkbox"/> Maintain	<input checked="" type="checkbox"/> Manual Record
<input checked="" type="checkbox"/> Disk	<input checked="" type="checkbox"/> Remote Login	<input checked="" type="checkbox"/> SEQ Control	<input checked="" type="checkbox"/> Manual Capture

Backup

Analog Channels: 1 2 3 4 5 6 7 8

IP Camera: 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

Live

Analog Channels: 1 2 3 4 5 6 7 8

IP Camera: 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

Playback

Analog Channels: 1 2 3 4 5 6 7 8

IP Camera: 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

PTZ

Analog Channels: 1 2 3 4 5 6 7 8

IP Camera: 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

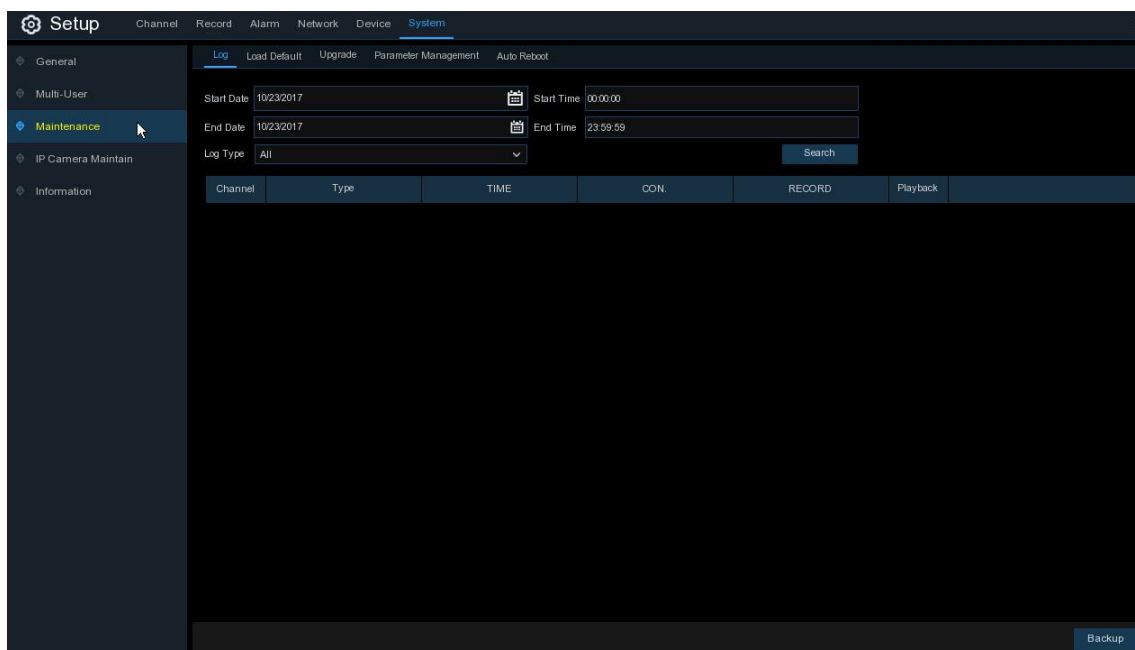
2. ユーザーにアクセスさせたいシステムメニューや機能の横にあるボックスにチェックを入れます。**すべて]**をクリックすると、すべてのボックスにチェックが入りま

す。どのボックスにもチェックを入れない場合は、[\[クリア\]](#) をクリックします。

3. [保存](#) をクリックすると、変更内容が保存されます。

5.7.3 メンテナンス

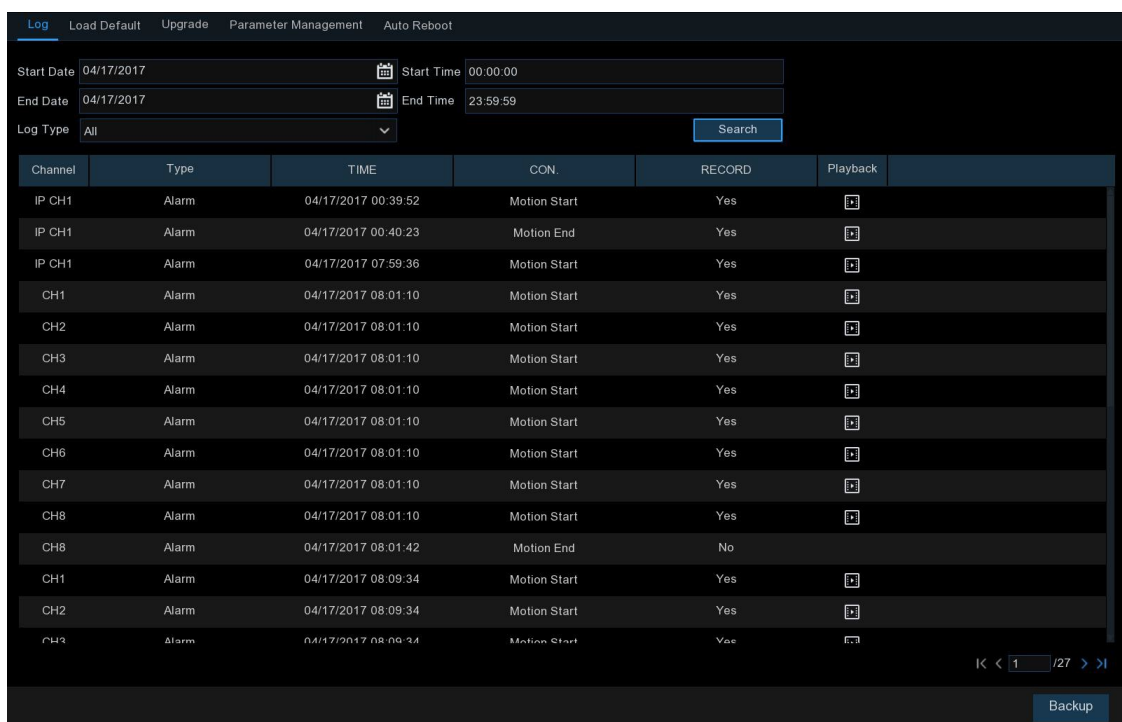
このセクションでは、システムログの検索と表示、デフォルト設定のロード、システムのアップ



グレード、システムパラメータのエクスポートとインポート、およびシステムの自動再起動を管理することができます。

5.7.3.1 ログ

システムログは、モーション・アラームやシステム警告など、重要なシステム・イベントを表示します。設定した期間のシステムログのバックアップファイルをUSBメモリーに簡単に



作成することができます。

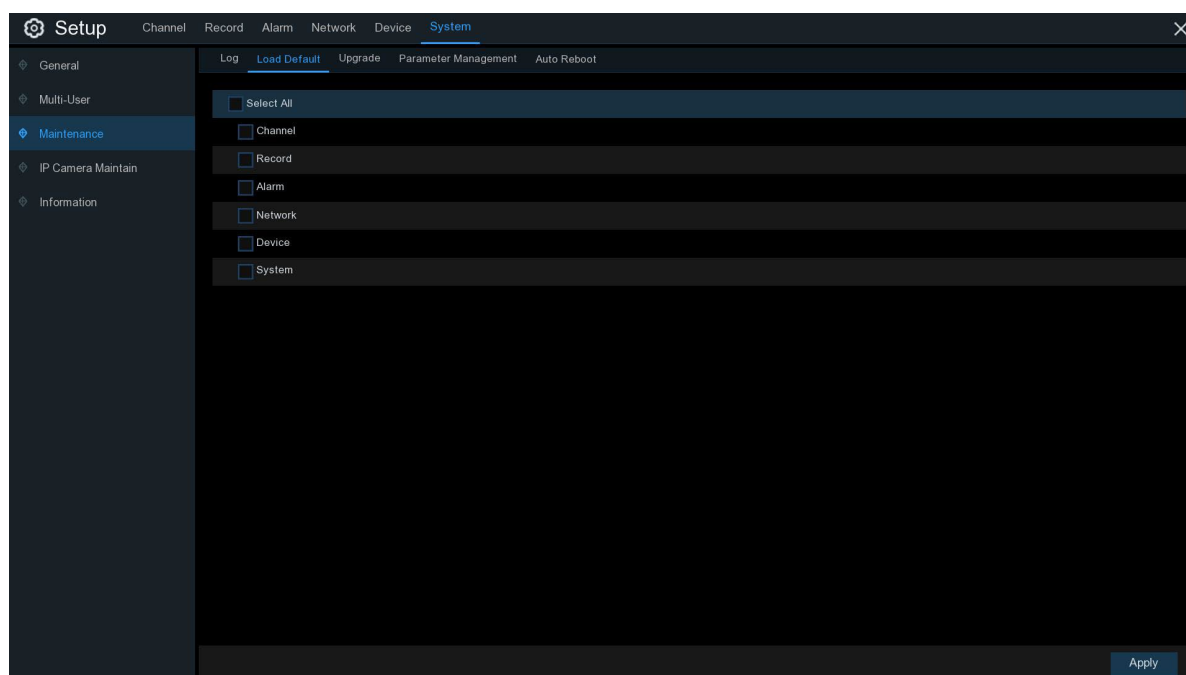
ログの検索とバックアップ。

1. **開始日**と**開始時刻**の横のフィールドをクリックして、画面上のカレンダーから検索の開始日と開始時刻を選択します。
2. **End Date & End Time**の横のフィールドをクリックし、画面上のカレンダーから検索の終了日と時間を選択します。
3. **ログタイプ**」の隣にあるドロップダウンから検索したいイベントの種類を選択するか、「すべて」を選択すると、選択した期間のシステムログ全体が表示されます。
4. **検索** をクリックします。
5. 検索期間中のシステムログイベントを閲覧することができます。
 - **再生**欄をクリックすると、ビデオイベントを即座に再生することができます。右クリックで検索結果に戻ることができます。
 - **左** / **右** ボタンの右 / 左 ボタンでシステムログのイベントの位置を移動
6. **バックアップ** をクリックすると、検索期間中のシステムログのバックアップが作成されます。フラッシュ・ドライブがNVRのUSBポートに接続されていることを確認してください。
7. バックアップドライブのメニューが表示されます。バックアップファイルを保存するフォルダを指定し、**[OK]** をクリックすると開始されます。

5.7.3.2 ロードデフォルト

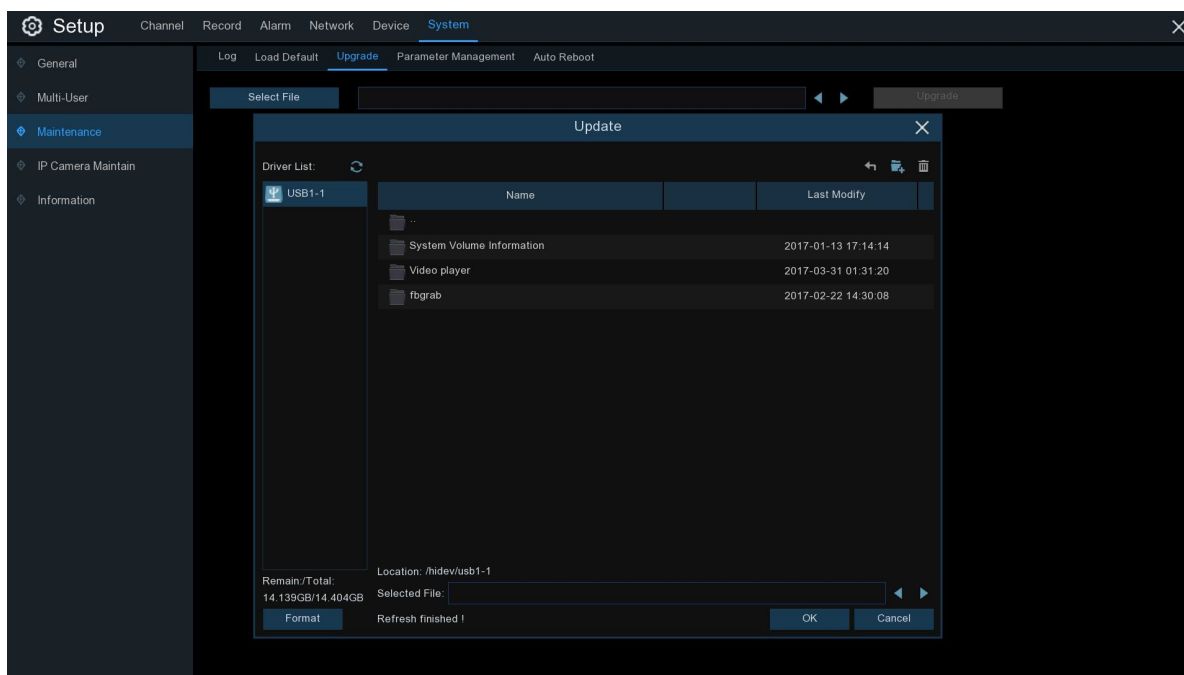
NVRの設定を出荷時の状態にリセットします。すべての設定を一度にリセットするか、特定のメニューの設定のみをリセットするかを選択できます。デフォルトの設定に戻しても、ハードディスクに保存された録画やスナップショットは削除されません。

ドライブ



復元したい項目にチェックを入れるか、「[すべて選択](#)」にチェックを入れると、[すべて](#)の項目が選択されます。[適用](#) をクリックすると、選択した項目のデフォルト設定が読み込まれます。

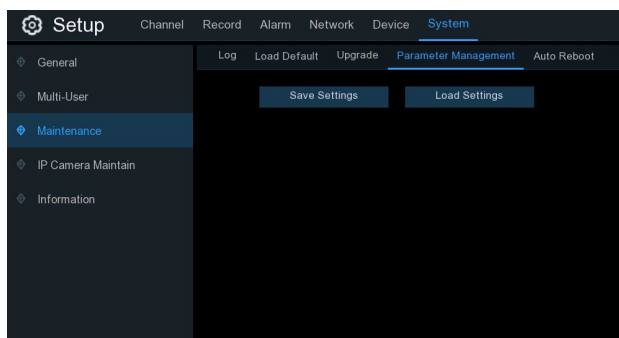
5.7.3.3 アップグレード



1. ファームウェア・ファイル(.swファイル)をUSBドライブにコピーし、USBフラッシュ・ドライブをNVRのUSBポートに挿入してください。
2. ファイルの選択]ボタンをクリックして、USBフラッシュドライブ内のファームウェアファイルを選択し、[OK]をクリックします。
3. アップグレードボタンをクリックすると、システムのアップグレードが開始されます。システムのアップグレードは5-10分ほど続きますが、ファームウェアのアップグレード中にNVRの電源を切ったり、NVRからUSBを取り外したりしないでください。

5.7.3.4 パラメータ管理

設定したメイン・メニューの設定をUSBフラッシュ・ドライブにエクスポートしたり、エクスポートした設定ファイルをUSBフラッシュ・ドライブからNVRにインポートしたりすることが可能です。



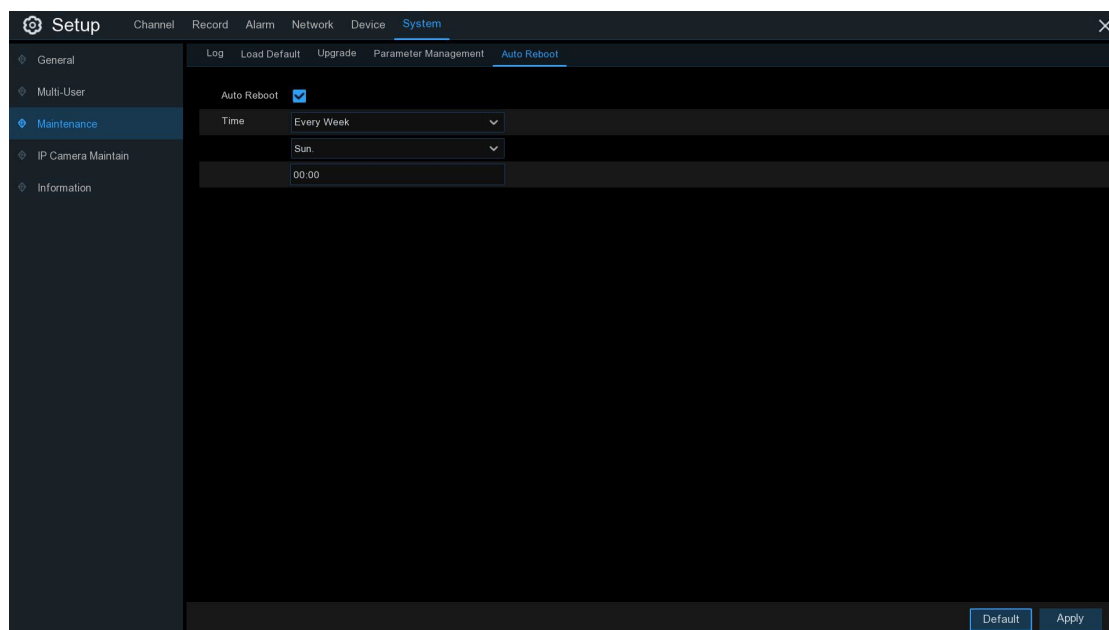
設定を保存します。 NVRの現在のシステム設定をUSBデバイスに保存するためにクリックします。認証のため、Adminパスワードの入力が必要です。

設定を読み込む。 システム設定のエクスポートを作成したら、別のNVRで設定をインポートす

ることができます。設定の**ロード]** ボタンをクリックして、**USBフラッシュドライブ**からインポートするシステム設定ファイルに移動します。認証のため、**Admin**パスワードの入力が必要です。

5.7.3.5 自動リブート

このメニューでは、システムが定期的にNVRを自動リブートすることができます。NVRの動作の整合性を維持するため、この機能を有効にしておくことをお勧めします。

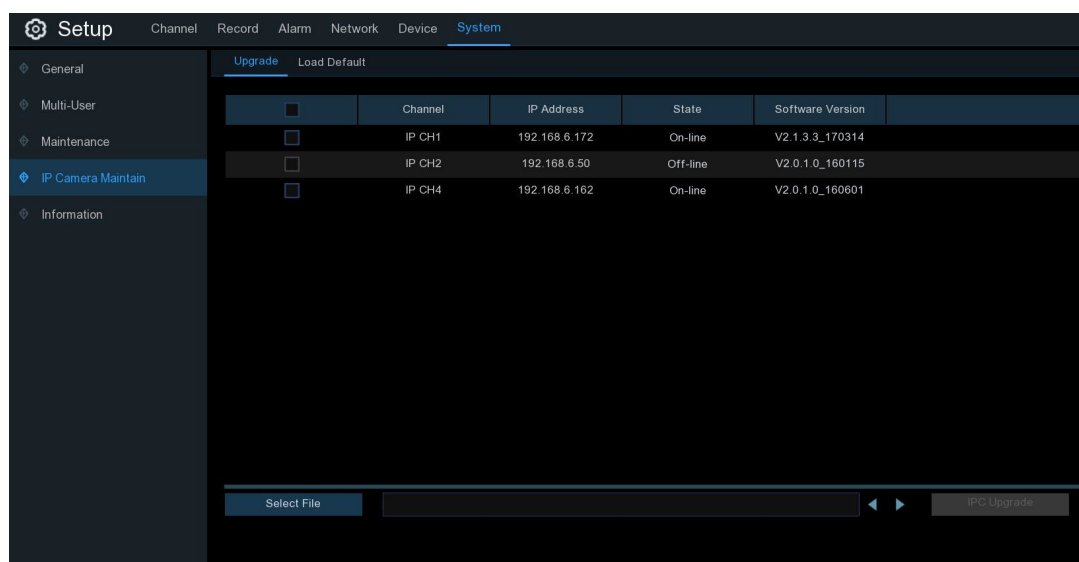


自動リブート有効にする場合はチェックを入れてください。

時間: NVRを日、週、月で再起動するように設定できます。

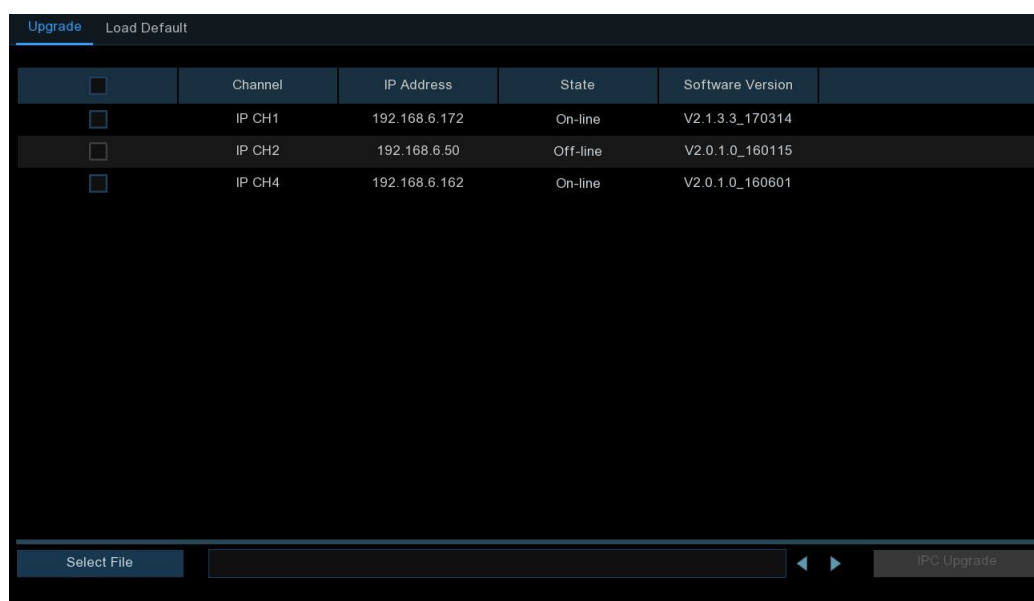
5.7.4 IPカメラ メインテナンス

このメニューでは、IPカメラのファームウェアのバージョンアップと、IPカメラの初期設定



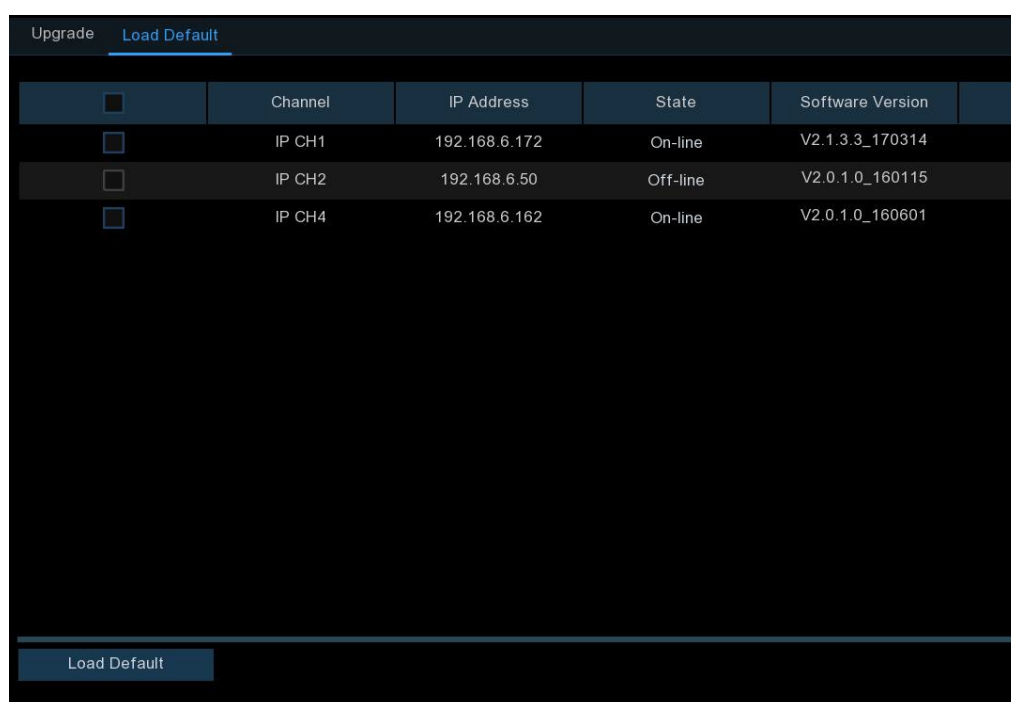
への復帰を行います。

5.7.4.1 IPカメラのアップグレード



1. ファームウェアをアップグレードする IP カメラを 1 台選択します。
2. **ファイルを選択** をクリックして、USBメモリーからアップデートファイルを選択し、**[OK]** をクリックします。
3. IPCアップグレードボタンをクリックするとアップグレードが開始されます。認証のため、Adminパスワードの入力が必要です。アップグレード中は、NVRとIPカメラの電源を切ったり、USBを抜いたりしないでください。

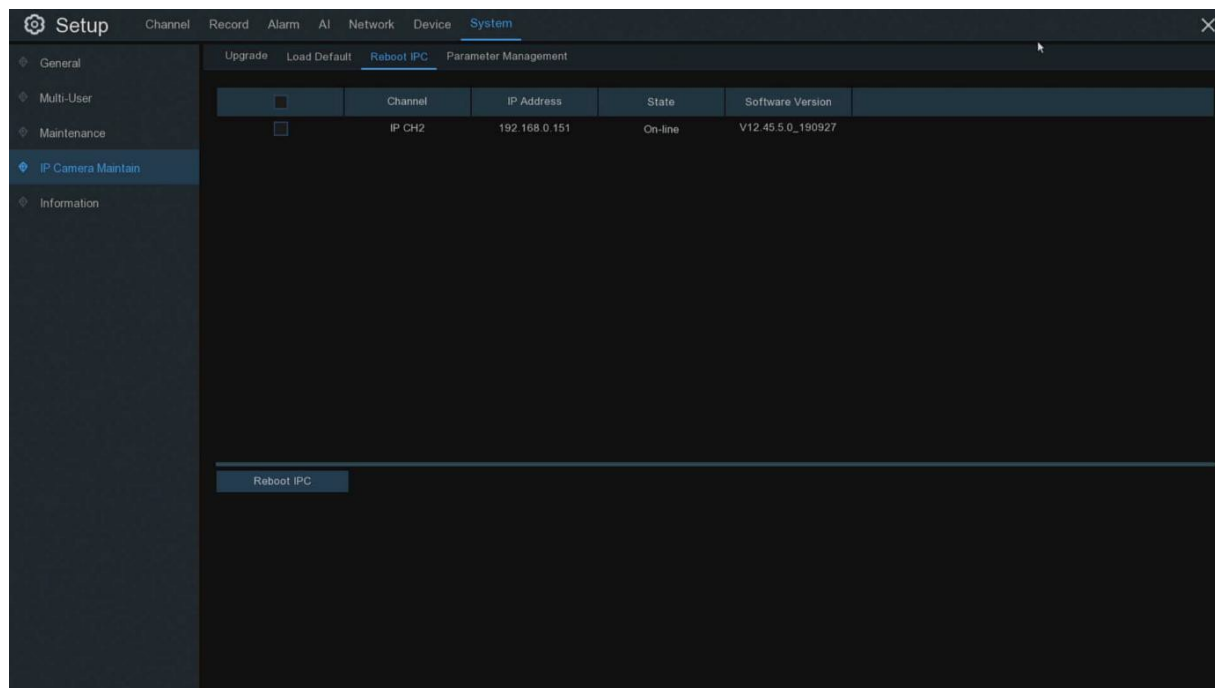
5.7.4.2 IPカメラの初期設定値を読み込む



1. 復元したいIPカメラを選択します。
2. **Load Default** をクリックすると、設定が復元されます。認証のため、Adminパスワード

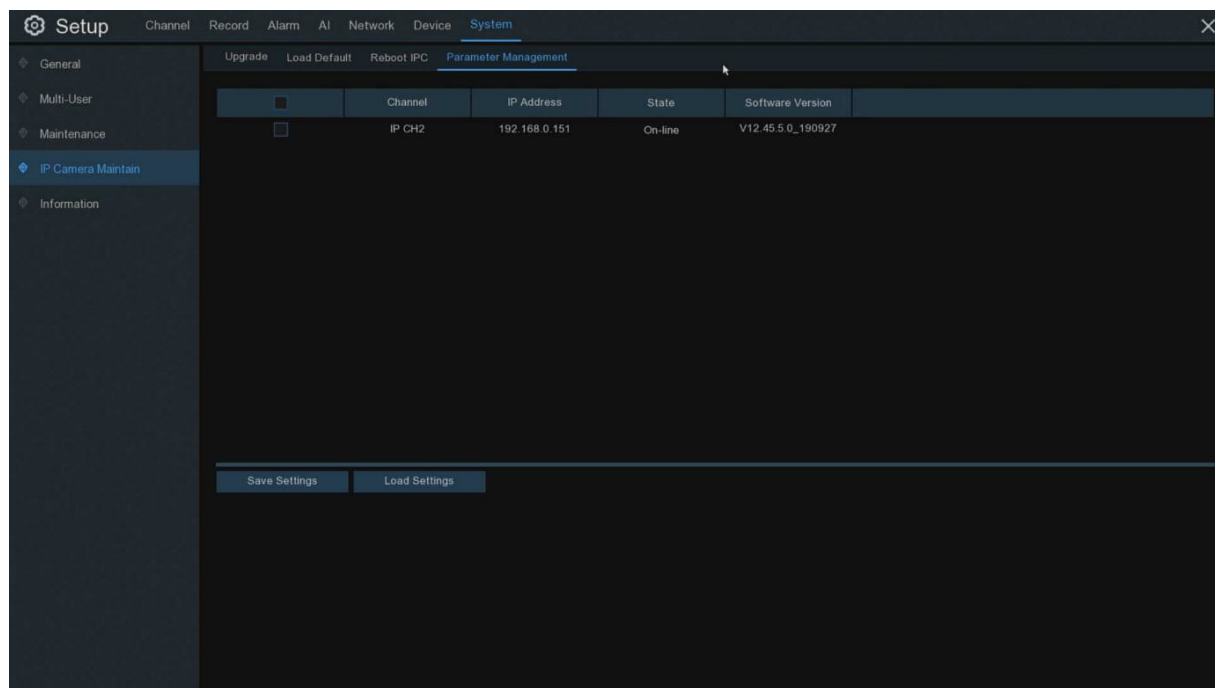
の入力が必要です。

5.7.4.3 IPCのリブート



IPCにチェックを入れ、**Reboot IPC**をクリックすると、このIPCが再起動されます。

5.7.4.4 パラメータ管理



IPCにチェックを入れ、**[Save Settings]**をクリックすると、IPCのパラメータがUSBディスクに保存されます。IPCにチェックを入れ、**Load Settings**をクリックすると、USBディスクからIPCに設定がロードされます。

5.7.5 システム情報

システム情報、チャンネル情報、録画情報、ネットワークの状態を表示するメニューです。

5.7.5.1 インフォメーション

デバイスID、デバイスモデル名、IPアドレス、MACアドレス、ファームウェアのバージョンな

Information	Channel Information	Record Info	Network State
Device ID	000000		
Device Name	4M-HY08		
Device Type	HY-DVR		
Hardware Version	DM-317		
Software Version	V8.1.14-20170315		
IE Client Version	V1.0.0.56		
Video Format	PAL		
HDD Volume	1863G		
IP Address	192.168.6.127		
Web Port	80		
Client Port	9000		
MAC Address	00-11-22-79-B3-77		
Network State	Connect success		
P2P ID	RSV1908006338103		

ど、システム情報を表示します。

お使いのNVRがP2P機能をサポートしている場合、情報ページにP2P IDとP2P QRコードが記載されています。モバイル・アプリでこのQRコードをスキャンして、NVRをリモート表示することができます。

5.7.5.2 チャンネル情報

Channel	Alias	State	Mainstream	Substream	Motion Detection	Privacy Zone
CH17	CH17	On-line	704x 480, 30Fps, 32Kbps	704x 480, 0Fps, 8Kbps	Support	Support
CH18	CH18	On-line	704x 480, 30Fps, 32Kbps	704x 480, 0Fps, 8Kbps	Support	Support
CH19	CH19	On-line	704x 480, 30Fps, 32Kbps	704x 480, 0Fps, 8Kbps	Support	Support
CH20	CH20	On-line	704x 480, 30Fps, 32Kbps	704x 480, 0Fps, 8Kbps	Support	Support
CH21	CH21	On-line	704x 480, 30Fps, 32Kbps	704x 480, 0Fps, 8Kbps	Support	Support
CH22	CH22	On-line	704x 480, 30Fps, 32Kbps	704x 480, 0Fps, 8Kbps	Support	Support

接続された各カメラのチャンネル情報（エイリアス、メインストリーム、サブストリーム録画仕様、動体検知ステータス、プライバシーゾーンなど）を表示します。

5.7.5.3 記録情報

Channel	Record State	Record Switch	Stream Type	Resolution	FPS	Bitrate
CH17	OFF	Enable				
CH18	OFF	Enable				
CH19	OFF	Enable				

ビットレート、ストリームタイプ、記録解像度、フレームレート（FPS）など、接続された各カメラの記録情報を表示します。

5.7.5.4 ネットワークの状態

Attribute	Value
WLAN	
IP Address	192.168.1.100
Subnet Mask	255.255.255.0
Gateway	192.168.1.1
MAC Address	88-72-29-86-A3-23
DHCP	Enable
Internal Interface	Connected
IP Address	10.10.25.100
Subnet Mask	255.255.0.0
DNS1	192.168.1.1
DNS2	8.8.8.8
PPPoE	Disable
Port	
Web Port	80
Client Port	9000
RTSP Port	554
UPNP	Disable
Total Band Width:	320Mbps
Used Band Width:	5.013Mbps

ネットワーク情報を表示します。


総帯域幅：NVRのIPカメラの総入力帯域幅が表示されます。

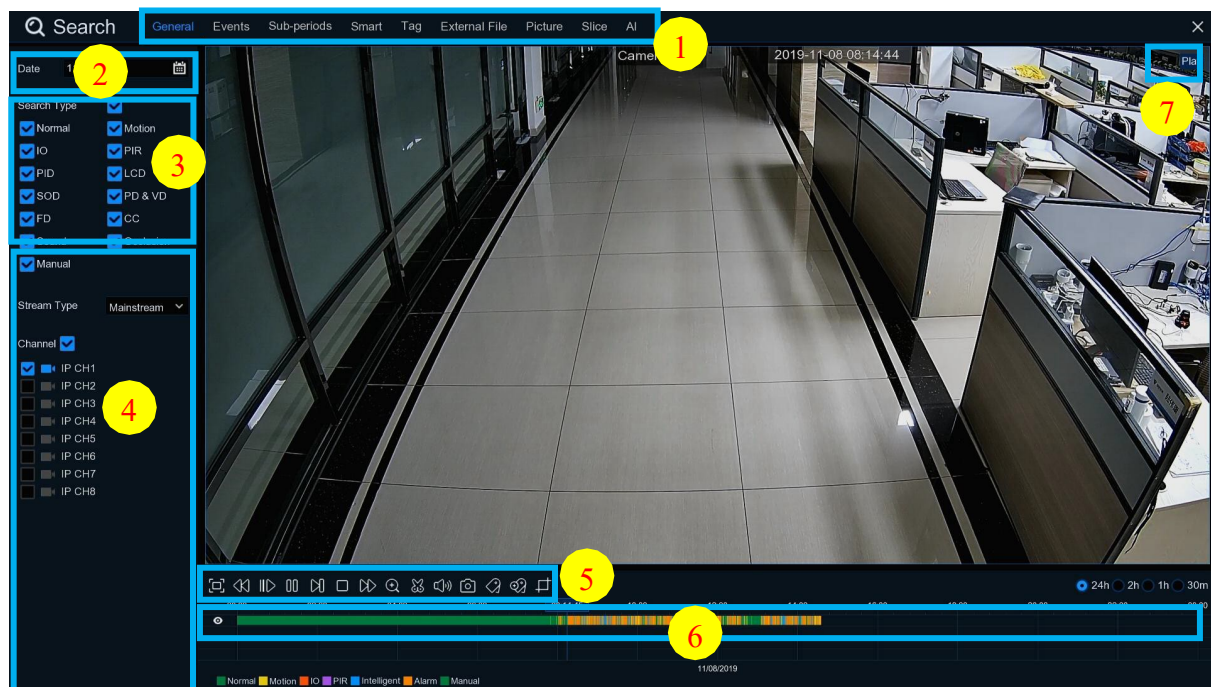
使用帯域幅：IPカメラの使用帯域幅を表示します。

第6章 検索・再生・バックアップ^{アル}

サーチ機能では、過去に録画したビデオやNVRのハードディスクに保存されているスナップショットを検索し、再生することができます。録画スケジュールと一致するビデオ、手動録画、モーション・イベントのみを再生することができます。バックアップ機能により、重要なイベント（ビデオとスナップショットの両方）をUSBフラッシュ・ドライブに保存することができます。


6.1 検索機能を使う


スタートメニューの「 検索」ボタンをクリックし、検索セクションに入ります。





- 1. 検索オプション**：システムは様々な検索&再生方法を提供します。一般、イベント、サブ期間、スマート&ピクチャー
- 2. 日付検索**：日付で検索して再生する。
- 3. 検索タイプ**：システムは、検索を絞り込むためのさまざまな検索タイプを提供します。
- 4. チャンネル選択**：検索&再生したいチャンネルを選択します。
- 5. ビデオ再生コントロール**：ビデオ再生のコントロールを行います。





 動画再生をフルスクリーンに拡大する


 巻き戻し、x2、x4、x8、x16


 スロー再生、1/2、1/4、1/8、1/16スピード


 再生


 一時停止

 フレーム単位で再生します。1回クリックすると動画の1フレームが再生されます 停止



 早送り、x2、x4、x8、x16


 デジタルズーム：クリックするとズームインし、再生中にカメラ画像をクリック&ドラッグすると、選択した部分が拡大されます。右クリックで通常の再生に戻ります。


 ビデオクリップ。動画の一部をUSBメモリに素早く保存。[6.1.1.1ビデオクリップバックアップの詳細を見る](#)

 ビデオクリップを保存します。


 音量調節：スライダーバーをスクロールして音量を増減します。

 スナップショット：スナップショット画像をUSBメモリに取り込むことができます。ビデオ再生が分割画面表示の場合、キャプチャしたいチャンネルにマウスカーソルを移動し、アイコン  をクリックすると、スナップショットが保存されます。

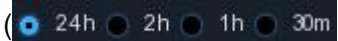
 デフォルトタグの追加：クリックすると、特定の再生チャンネルと時間にマークが追加されます。

 カスタムタグを追加：タグを追加するためにクリックすると、それはカスタムウィンドウがポップアップ表示されます、あなたは名前を変更することができます。

をタグに使用します。

 ビデオスナップショット機能：再生インターフェースの任意の領域のスナップショットを作ることができ、USBディスクまたは顔認識ブロックまたはホワイトリストにロードすることができます。

6. タイムライン。連続録画は、録画の種類を表す色のついたバーで表示されます（ディスプレイの右下に凡例が表示されます）。タイムフレームオプションを使用する

() をクリックすると、より小さな時間帯や大きな時間帯を表示することができます。

異なる色で表示される録画の種類。



緑色で連続録画。

モーション録画は黄色、I/O録画

は赤色で表示されます。

PIR録画（バイオレット色）、イ

ンテリジェント録画（ブルー色）

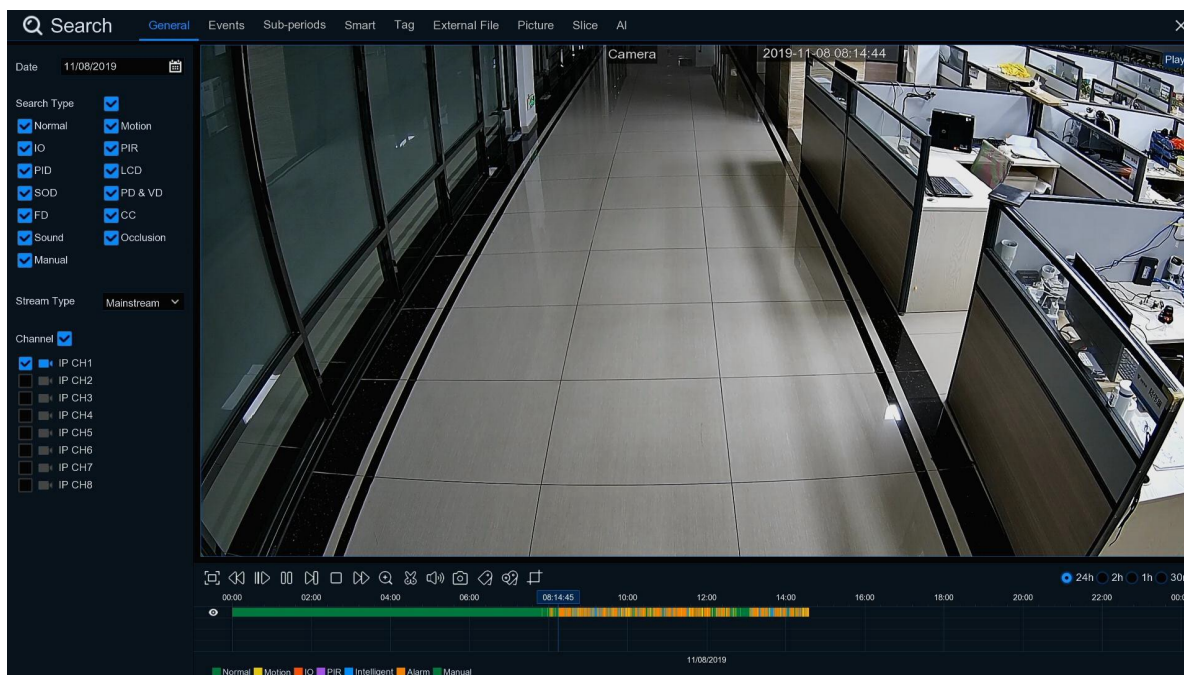
、アラーム録画（オレンジ色）。

リセダカラーでマニュアル録画。

7. 再生状態：ビデオの再生状態を表示します。



6.1.1 ビデオ全般の検索・再生

このメニューでは、選択した日付の録音を検索して再生することができます。



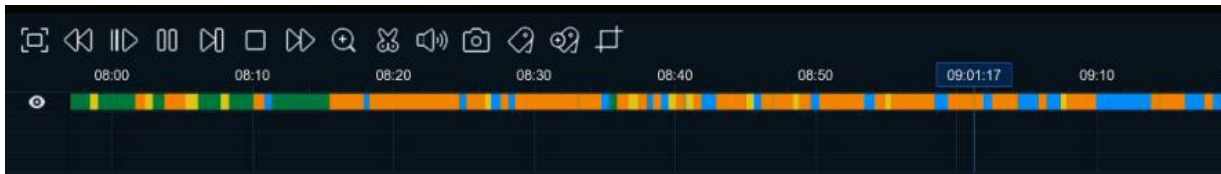
1. カレンダーから録画したビデオを検索する日付を選択します。
2. 検索の種類を選択します。
3. 検索したいチャンネルにチェックを入れるか、**チャンネル**にチェックを入れると接続されているすべてのチャンネルが検索されます。
4. 検索結果は、00:00から24:00までのタイムライン上に表示されます。
5. ▶ ボタンをクリックすると、再生が開始されます。
6. **ビデオ再生コントロール**のボタンで再生をコントロールする。
7. タイムフレームオプション(24h 2h 1h 30m)を使用して、より小さいまたはより大きい期間を表示します。
8. 再生中の映像の一部を素早くUSBメモリーに保存したい場合は





 ビデオクリップのバックアップ機能。

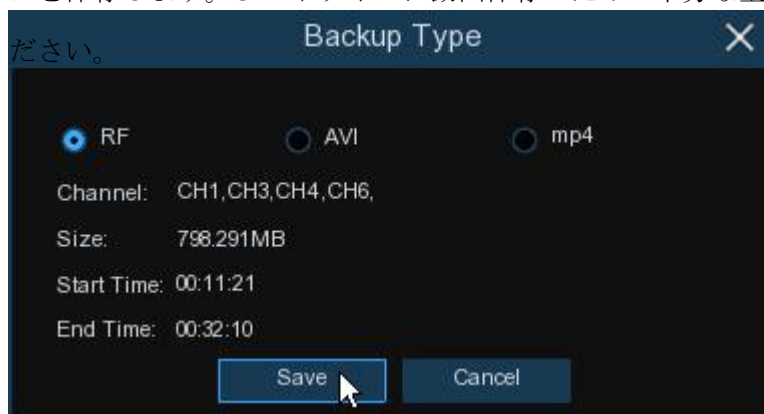
9. 新しいタグ機能を追加し、新しいカスタムタグを追加し、デフォルトタグを追加し、クリックしてください。

は、特定のチャンネルと時刻にマークを付けることができました。追加後、タップインターフェースで作成した「マーク」にダイブして、直接再生することができます。

6.1.1.1 ビデオクリップバックアップ

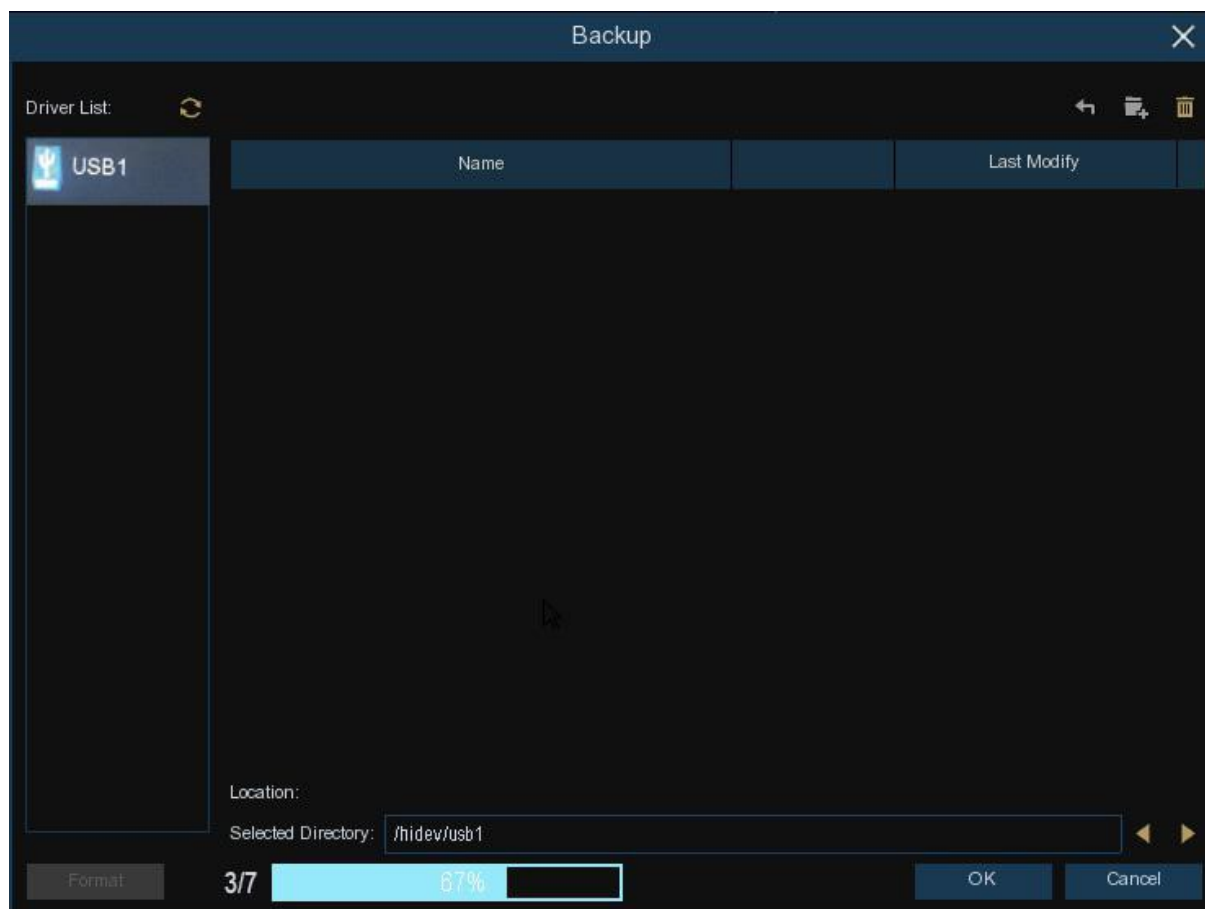


1. USBフラッシュ・ドライブをNVRに挿入します。
2. 録画した動画の再生を開始する。
3. アイコンをクリックします。
4. ビデオクリップのバックアップを取りたいチャンネルにチェックを入れます。
5. マウスマウスカーソルをビデオクリップを開始したいタイムラインに移動させます。
6. マウスの左ボタンを押しながら、カーソルをタイムラインの動画クリップを終了させたい位置までドラッグします。
7. のアイコンがのアイコンに変わりました。をクリックすると、ビデオクリップが保存されます。
8. バックアップファイルのファイル形式を選択し、「保存」ボタンをクリックして動画クリップを保存します。USBドライブに動画保存のための十分な空き容量があることを確認してください。



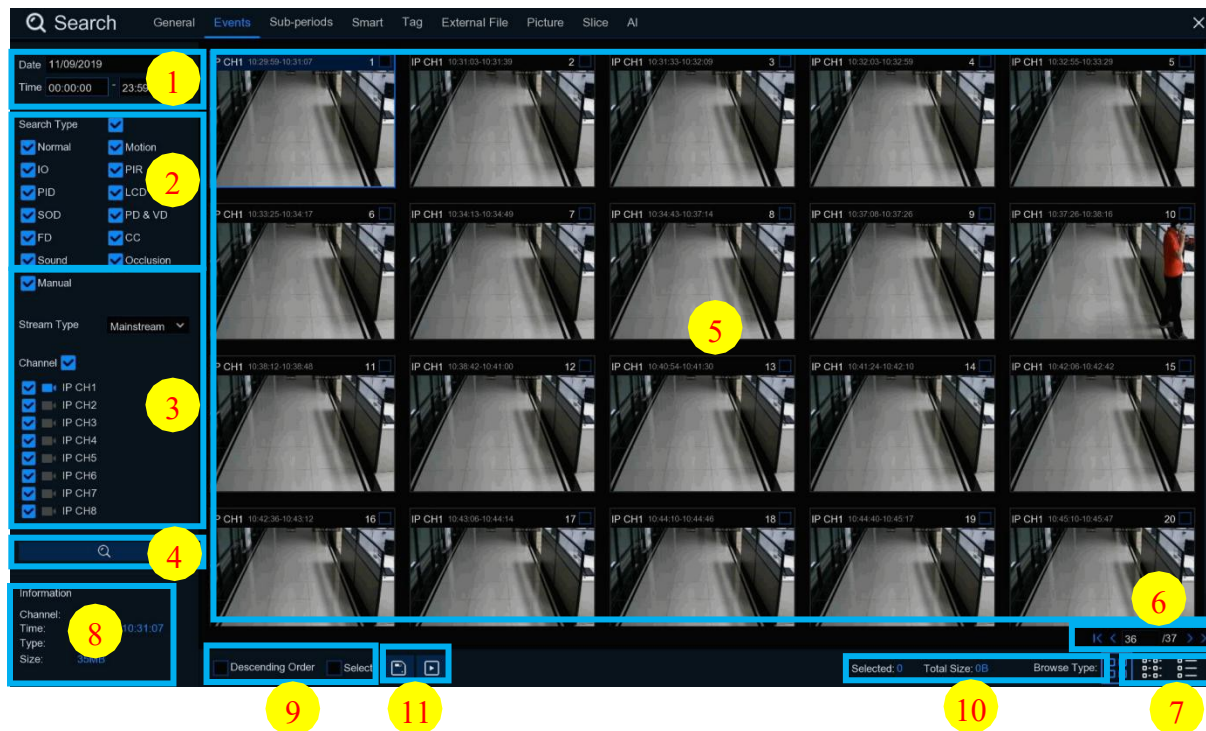
9. バックアップドライブのメニューが表示されます。バックアップファイルを保存するフォルダに移動します。

10. **OK**をクリックして開始します。ウィンドウの下部にあるプログレスバーに、バックアップの進行状況が表示されます。



6.1.2 イベント検索・再生・バックアップ

イベント検索では、チャンネル、開始・終了時刻、録画の種類をまとめた便利な録画一覧を表示することができます。また、イベントをUSBメモリーに素早くバックアップすることも可能です。



イベントの検索、再生、バックアップに。

1. 検索したい日付と時間を選択します。
2. 検索したい録画タイプにチェックを入れるか、**検索タイプ**にチェックを入れてすべてを選択します。
3. 検索したいチャンネルを選ぶか、**チャンネル**にチェックを入れるとすべてのチャンネルが選択されません。
4. **Q** アイコンをクリックすると検索が開始されます。
5. 検索条件に合うイベントが一覧で表示されます。イベント上でマウスの左ボタンをダブルクリックすると、すぐにビデオを再生することができます。
6. メニューの右下にある **◀ 4 /15 ▶** のアイコンをクリックすると、ページ間のブラウジングができます
をクリックするか、閲覧したいページを入力してください。
7. 画面右下に表示されているアイコンをクリックすると、リストフォームの表示を切り替えることができます。



サムネイル表示。 イベントのスナップショットを表示することができます。

リスト表示。 イベントが一覧で表示されます。

1 CH1 00:00:00	2 CH1 00:00:45	3 CH1 00:18:30	4 CH1 00:44:03	5 CH1 01:10:48	6 CH1 01:19:22	7 CH1 01:35:37	8 CH1 01:43:32
9 CH1 02:01:12	10 CH1 02:25:38	11 CH1 02:43:17	12 CH1 03:02:08	13 CH1 03:08:37	14 CH1 03:10:01	15 CH1 03:14:54	16 CH1 03:42:12
17 CH1 04:07:23	18 CH1 04:19:35	19 CH1 04:36:40	20 CH1 05:00:20	21 CH1 05:24:12	22 CH1 05:45:55	23 CH1 06:04:07	24 CH1 06:14:27
25 CH1 06:41:12	26 CH1 06:44:25	27 CH1 07:01:42	28 CH1 07:20:43	29 CH1 07:31:23	30 CH1 07:48:04	31 CH1 08:17:33	32 CH1 08:40:16
33 CH1 08:50:34	34 CH1 09:07:05	35 CH1 09:25:12	36 CH1 09:44:07	37 CH1 09:46:08	38 CH1 10:00:52	39 CH1 10:14:18	40 CH1 10:34:42
41 CH1 10:45:57	42 CH1 11:12:48	43 CH1 11:20:27	44 CH1 11:48:18	45 CH1 12:07:25	46 CH1 12:30:12	47 CH1 12:44:43	48 CH1 12:55:49
49 CH1 13:05:48	50 CH1 13:30:46	51 CH1 13:37:51	52 CH1 13:57:01	53 CH1 14:10:24	54 CH1 14:11:16	55 CH1 14:18:12	56 CH1 14:35:26
57 CH1 14:40:31	58 CH1 14:44:42	59 CH1 14:48:38	60 CH1 15:15:44	61 CH1 15:39:08	62 CH1 16:01:07	63 CH1 16:16:00	64 CH1 16:24:41
65 CH1 16:27:29	66 CH1 16:43:47	67 CH1 16:45:43	68 CH1 17:01:14	69 CH1 17:05:03	70 CH1 17:28:30	71 CH1 17:54:23	72 CH1 18:08:49
73 CH1 18:36:07	74 CH1 18:44:14	75 CH1 18:57:14	76 CH1 19:07:37	77 CH1 19:12:12	78 CH1 19:36:50	79 CH1 19:50:34	80 CH1 20:01:42
81 CH1 20:25:40	82 CH1 20:34:32	83 CH1 20:49:48	84 CH1 21:04:51	85 CH1 21:21:09	86 CH1 21:42:12	87 CH1 21:47:36	88 CH1 22:02:49
89 CH1 22:29:59	90 CH1 22:39:14	91 CH1 22:54:42	92 CH1 22:57:45	93 CH1 23:08:03	94 CH1 23:22:59	95 CH1 23:35:50	

 **詳細表示です。** イベントの詳細を表示することができます。


	Channel	Type	Date	Start Time	End Time	Size	Playback	Lock	
<input type="checkbox"/>	1	CH1	MINS	10/23/2017	00:00:00	00:00:45	6MB		
<input type="checkbox"/>	2	CH1	MINS	10/23/2017	00:00:45	00:18:30	150MB		
<input type="checkbox"/>	3	CH1	MINS	10/23/2017	00:18:30	00:44:03	217MB		
<input type="checkbox"/>	4	CH1	MINS	10/23/2017	00:44:03	01:10:48	227MB		
<input type="checkbox"/>	5	CH1	MINS	10/23/2017	01:10:48	01:19:22	72MB		
<input type="checkbox"/>	6	CH1	MINS	10/23/2017	01:19:22	01:35:37	138MB		
<input type="checkbox"/>	7	CH1	MINS	10/23/2017	01:35:37	01:43:32	67MB		
<input type="checkbox"/>	8	CH1	MINS	10/23/2017	01:43:32	02:01:12	150MB		
<input type="checkbox"/>	9	CH1	MINS	10/23/2017	02:01:12	02:25:38	207MB		
<input type="checkbox"/>	10	CH1	MINS	10/23/2017	02:25:38	02:43:17	150MB		
<input type="checkbox"/>	11	CH1	MINS	10/23/2017	02:43:17	03:02:08	160MB		
<input type="checkbox"/>	12	CH1	MINS	10/23/2017	03:02:08	03:08:37	55MB		

詳細表示モードでは、ビデオイベントをロックして、ハードディスクにイベントが書き込まれないようにすることができます。 アイコンをクリックするとロックされ、 をクリックするとロックが解除されます。



8. イベント上でマウスの左ボタンをクリックすると、画面左下にイベント情報が表示されます。

9. Descending order : ファイル一覧の降順。

選択 : イベント番号の横のボックスにチェックを入れると、ファイルが選択されます。

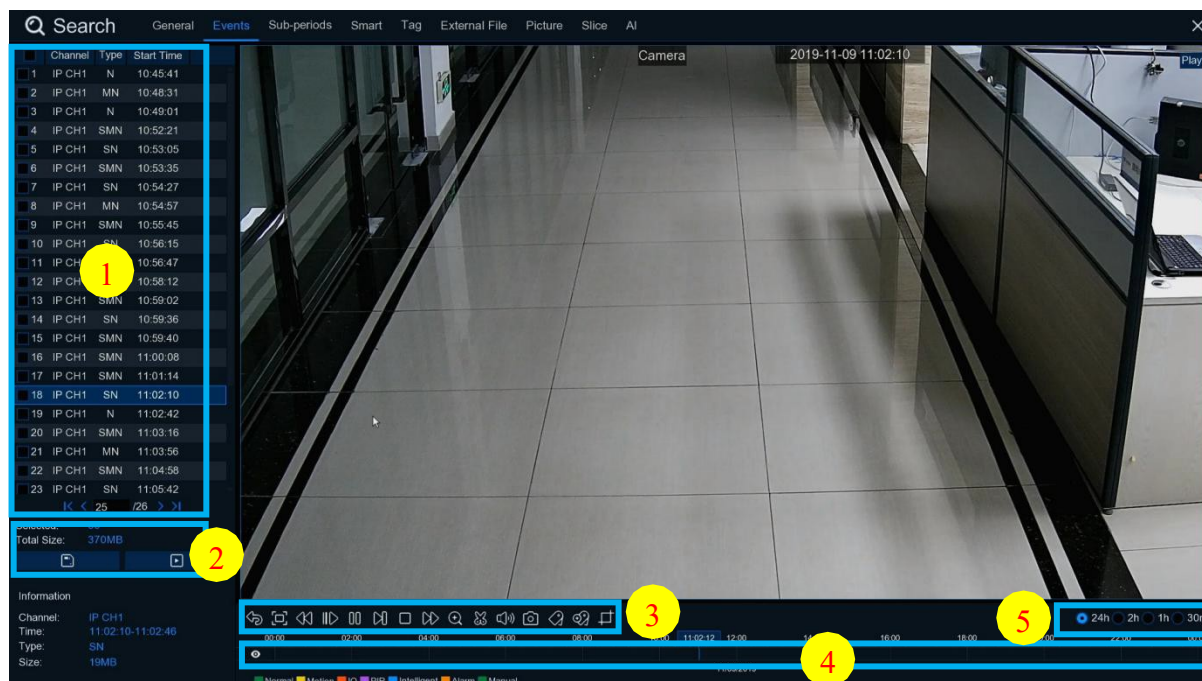
 をクリックすると、ページ内の全イベントが選択されます。

10. 選択されたファイルの数、合計サイズの情報が画面右下に表示されます。



11. ファイルを選択した後、 アイコンをクリックして、USB フラッシュドライブにビデオを保存することができます。または 





アイコンをイベント再生コントロールウィンドウに表示すると、ビデオが再生されます。

6.1.2.1 イベント再生コントロール



1. イベントリスト、ここでイベントを選択することができます。

2.  アイコンをクリックすると、選択したイベントビデオが USB フラッシュドライブに保存されます。 アイコンをクリックすると、動画が再生されます。

3. **ビデオ再生コントロール**のボタンで再生をコントロールします。 アイコンをクリックするか、マウスの右ボタンをクリックすると、再生を終了してイベント検索ウィンドウに戻ることができます。
 4. 今再生しているイベントがタイムライン上に表示されます。
 5. タイムフレームオプション()を使用して、より小さいまたはより大きい期間を表示します。
10. 新しいタグを追加し、**カスタムタグを追加するには**、 をクリックし、**デフォルトタグを追加するには**、 をクリックします。


特定のチャンネルと時間にマークを付けることができます。追加後、タップインターフェースで作成した「マーク」にダイブして直接再生することも可能です。

6.1.3 サブピリオド再生

サブ期間再生は、1つのチャンネルから複数の通常録画とモーションイベントを同時に再生することができます。通常録画とイベント録画では、選択されている分割画面モードに応じて、映像が均等に分割されます。例えば、映像が1時間で、分割画面×4を選択した場合、各分割画面は15分ずつ再生されます。

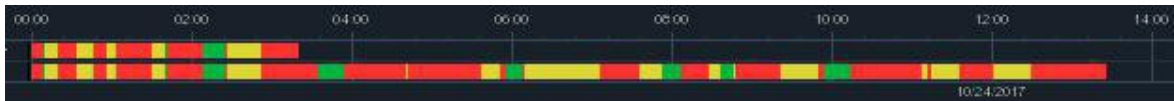


サブ期間での動画検索&再生に。

1. 検索したい日付と時間を選択します。
2. 動画を再生する分割画面を選択します。
3. 検索したい録画タイプにチェックを入れるか、**検索タイプ**にチェックを入れてすべてを選択します。
4. 検索したいチャンネルを選びます。この機能は、一度に1つのチャンネルしか検索・再生できませんのでご注意ください。
5. 再生ボタン をクリックすると、再生が始まります。**ビデオ再生コントロール**のボタンで再生をコントロールします。

6. 動画は画面分割で再生しています。
7. 特定の分割画面上でマウスの左ボタンをクリックすると、その分割画面の時間帯がタイムライン上に表示されます。タイムライン上部のカラーバーには

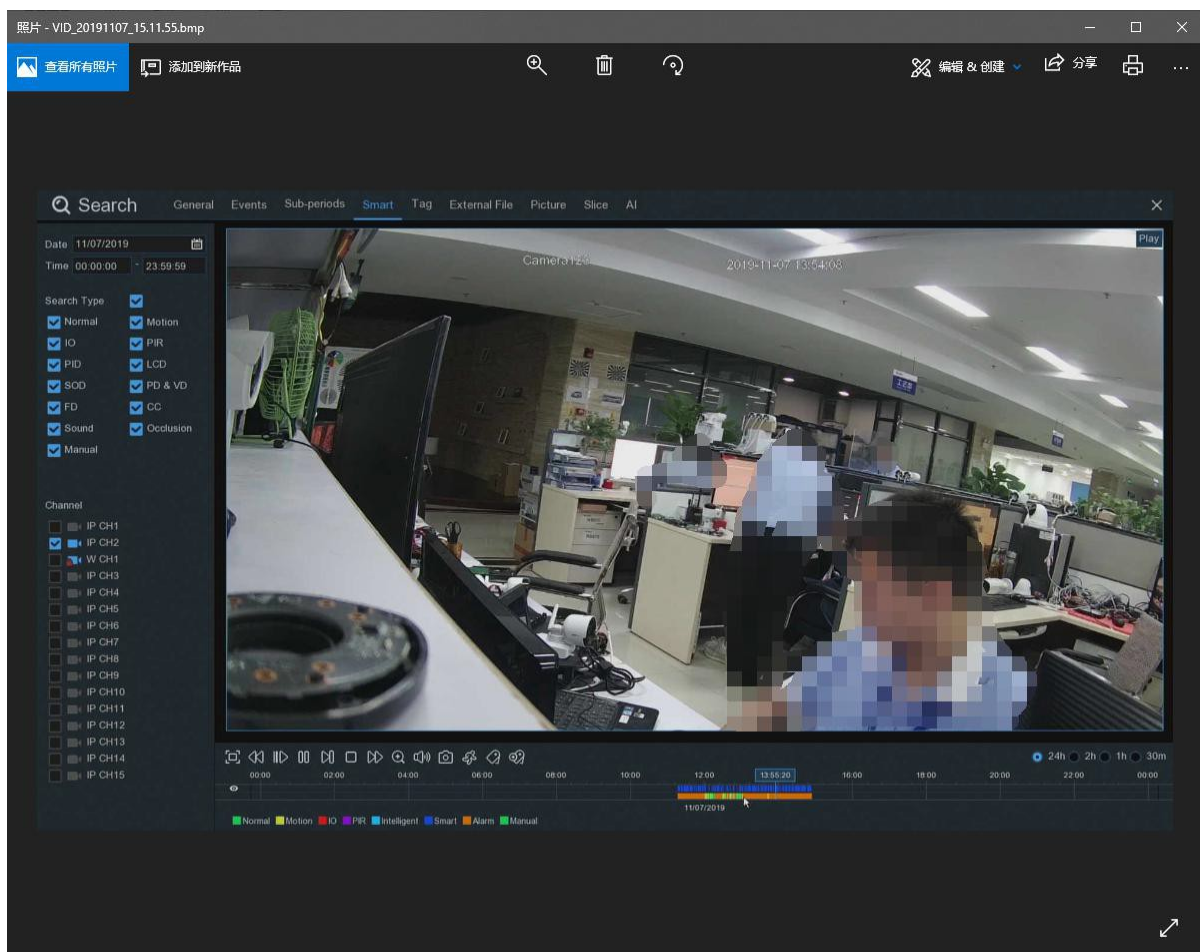
は、クリックしたビデオ分割画面のタイムスパンです。タイムライン下部のカラーバーは、検索したビデオ全体のタイムスパンを示します。



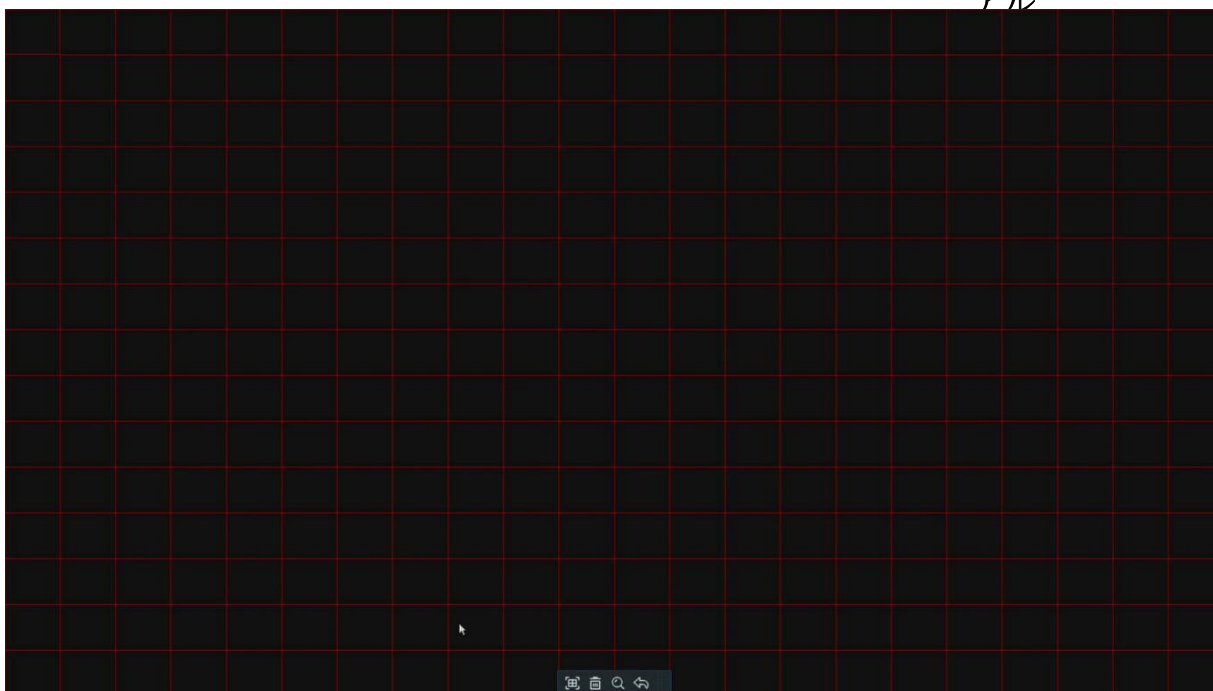
8. タイムフレームオプション(24h 2h 1h 30m)を使用して、より小さいまたはより大きい期間を表示します。
9. 新しいタグを追加し、税関のタグを追加するには、🔍 をクリックし、デフォルトのタグを追加するには、📍 をクリックすると、作ることができます。

特定のチャンネルと時刻にマークを付けることができます。追加後、タップインターフェースで作った「マーク」にダイブして直接再生することができます。

6.1.4 スマート





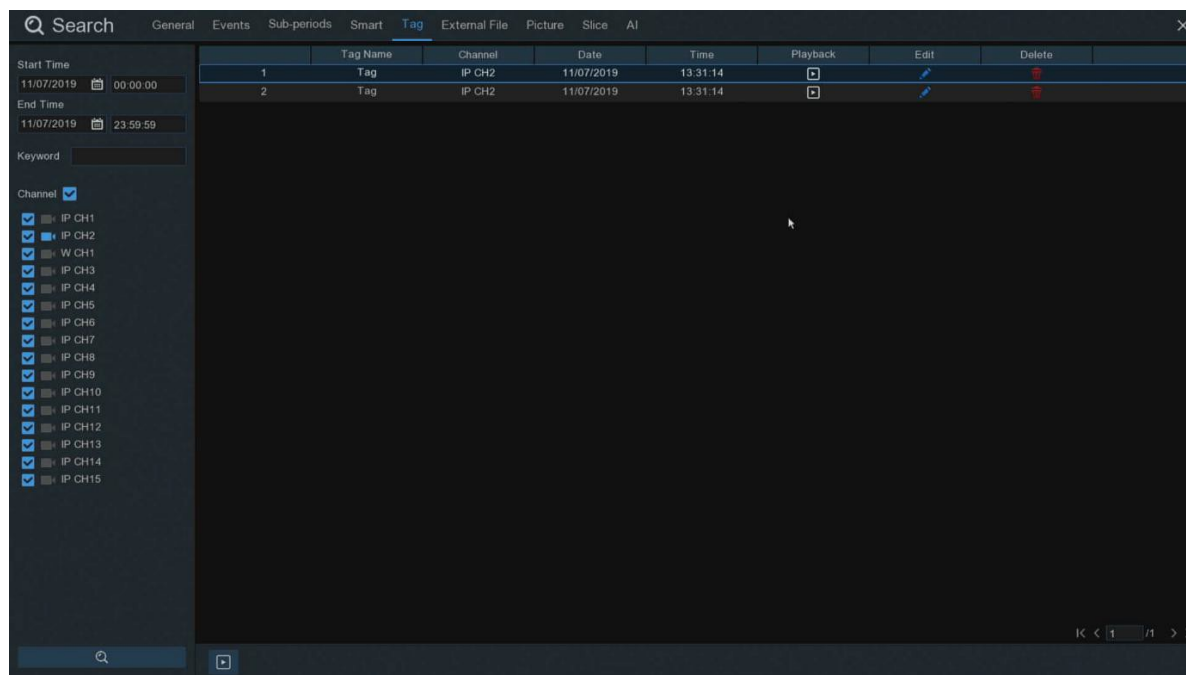
この機能により、人が動いているのかどうかを認識することができます。はい」の場合、バーが青くなります。🔍 クリックするとスマートエリア設定インターフェイスに入ります。



赤いグリッドが選択された領域です。この領域で誰かがモーションを起こした場合、その領域が検索され、バーが青でマークされます。

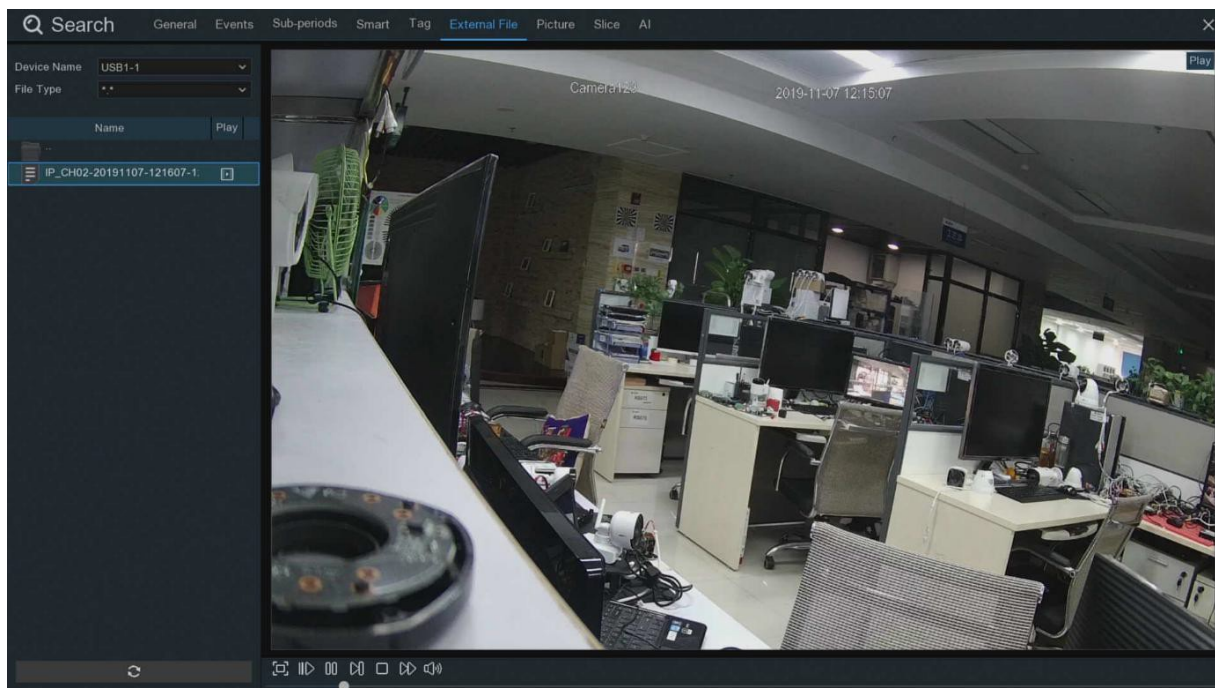
6.1.5 タグ

追加したタグの編集・再生・削除の確認はこちら。時間、チャンネルをクリックし、をクリックすると検索します。をクリックするとマークした位置にダイブし、再生します。



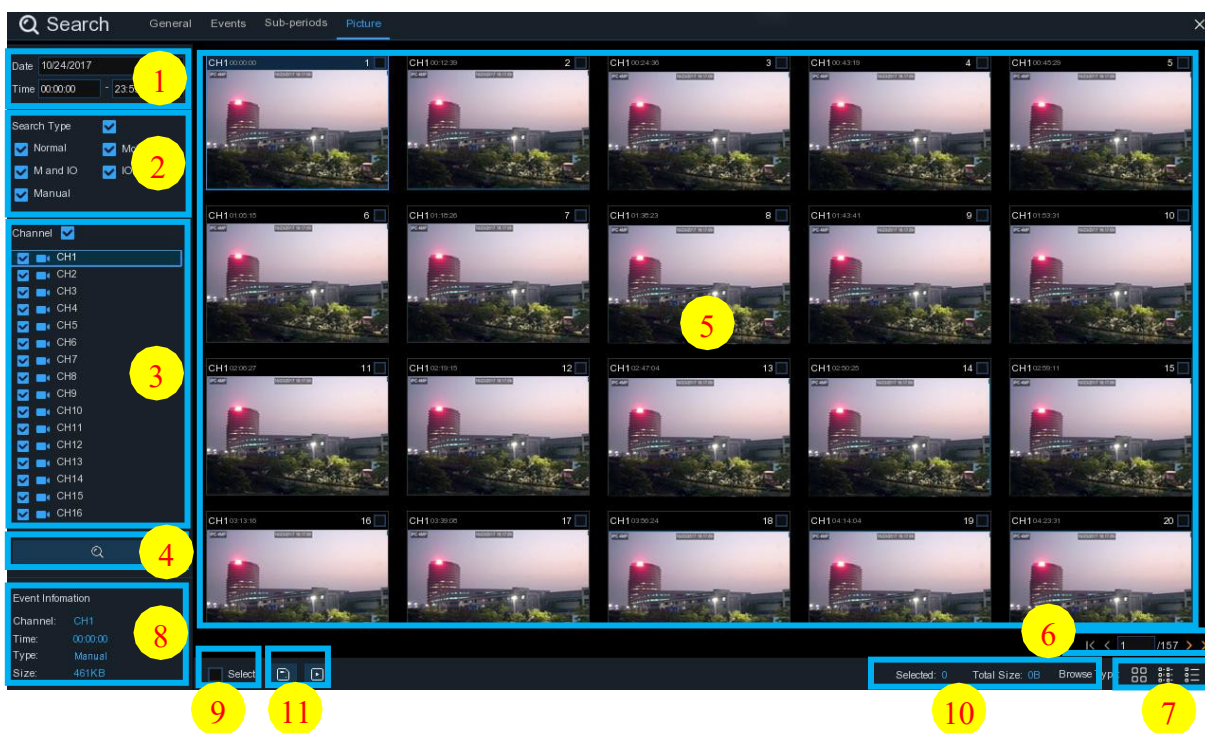
6.1.6 外部ファイル

ここでは、USBディスクの外部ビデオからのビデオを再生することができました。左側のファイルをクリックすると、再生が始まります。





6.1.7 画像検索・表示

スナップショットの検索、再生、USBメモリーへのコピーが可能です。



写真の検索、再生、バックアップに。

1. 検索したい日付と時間を選択します。
2. 検索したいピクチャーキャプチャーの種類にチェックを入れるか、**検索タイプ**にチェックを入れてすべてを選択します。
3. 検索したいチャンネルを選ぶか、**チャンネル**にチェックを入れるとすべてのチャンネルが選択されます。
4.  ボタンをクリックすると、検索が開始されます。
5. 検索条件に合う写真が一覧で表示されます。写真をダブルクリックすると、拡大表示されます。
6. メニューの右下にある  のアイコンをクリックすると、ページ間のブラウジングができます
をクリックするか、閲覧したいページを入力してください。
7. 画面右下に表示されているアイコンをクリックすると、リストフォームの表示を切り替えることができます。



サムネイル表示。イベントのスナップショットを表示するこ





とができます。リスト表示です。イベントが一覧で表示され

<input type="checkbox"/> 1	CH1	00:00:00	<input type="checkbox"/> 2	CH1	00:00:45	<input type="checkbox"/> 3	CH1	00:18:30	<input type="checkbox"/> 4	CH1	00:44:03	<input type="checkbox"/> 5	CH1	01:10:48	<input type="checkbox"/> 6	CH1	01:19:22	<input type="checkbox"/> 7	CH1	01:35:37																					
<input type="checkbox"/> 9	CH1	02:01:12	<input type="checkbox"/> 10	CH1	02:25:38	<input type="checkbox"/> 11	CH1	02:43:17	<input type="checkbox"/> 12	CH1	03:02:08	<input type="checkbox"/> 13	CH1	03:08:37	<input type="checkbox"/> 14	CH1	03:10:01	<input type="checkbox"/> 15	CH1	03:14:54	<input type="checkbox"/> 17	CH1	04:07:23	<input type="checkbox"/> 18	CH1	04:19:35	<input type="checkbox"/> 19	CH1	04:36:40	<input type="checkbox"/> 20	CH1	05:00:20	<input type="checkbox"/> 21	CH1	05:24:12	<input type="checkbox"/> 22	CH1	05:45:55	<input type="checkbox"/> 23	CH1	06:04:07
<input type="checkbox"/> 25	CH1	06:41:12	<input type="checkbox"/> 26	CH1	06:44:25	<input type="checkbox"/> 27	CH1	07:01:42	<input type="checkbox"/> 28	CH1	07:20:43	<input type="checkbox"/> 29	CH1	07:31:23	<input type="checkbox"/> 30	CH1	07:48:04	<input type="checkbox"/> 31	CH1	08:17:33	<input type="checkbox"/> 33	CH1	08:50:34	<input type="checkbox"/> 34	CH1	09:07:05	<input type="checkbox"/> 35	CH1	09:25:12	<input type="checkbox"/> 36	CH1	09:44:07	<input type="checkbox"/> 37	CH1	09:46:08	<input type="checkbox"/> 38	CH1	10:00:52	<input type="checkbox"/> 39	CH1	10:14:18
<input type="checkbox"/> 41	CH1	10:45:57	<input type="checkbox"/> 42	CH1	11:12:48	<input type="checkbox"/> 43	CH1	11:20:27	<input type="checkbox"/> 44	CH1	11:48:18	<input type="checkbox"/> 45	CH1	12:07:25	<input type="checkbox"/> 46	CH1	12:30:12	<input type="checkbox"/> 47	CH1	12:44:43	<input type="checkbox"/> 49	CH1	13:06:48	<input type="checkbox"/> 50	CH1	13:30:46	<input type="checkbox"/> 51	CH1	13:37:51	<input type="checkbox"/> 52	CH1	13:57:01	<input type="checkbox"/> 53	CH1	14:10:24	<input type="checkbox"/> 54	CH1	14:11:16	<input type="checkbox"/> 55	CH1	14:18:12
<input type="checkbox"/> 57	CH1	14:40:31	<input type="checkbox"/> 58	CH1	14:44:42	<input type="checkbox"/> 59	CH1	14:48:38	<input type="checkbox"/> 60	CH1	15:15:44	<input type="checkbox"/> 61	CH1	15:39:06	<input type="checkbox"/> 62	CH1	16:01:07	<input type="checkbox"/> 63	CH1	16:16:00																					

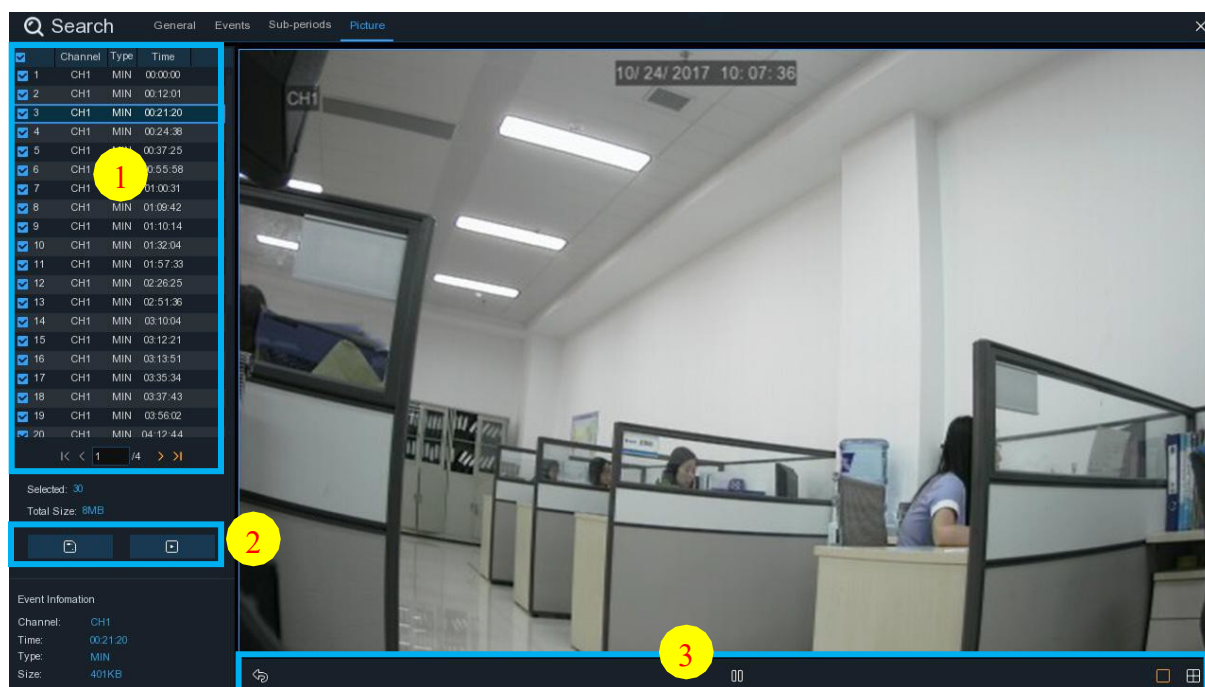












詳細表示です。イベントの詳細を表示することができます。

	Channel	Type	Date	Time	Size	Playback
<input type="checkbox"/> 1	CH1	MIN	10/24/2017	00:00:00	160KB	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 2	CH1	MIN	10/24/2017	00:12:01	201KB	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 3	CH1	MIN	10/24/2017	00:21:20	401KB	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 4	CH1	MIN	10/24/2017	00:24:38	111KB	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 5	CH1	MIN	10/24/2017	00:37:25	167KB	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 6	CH1	MIN	10/24/2017	00:55:58	210KB	<input type="checkbox"/>

8. 写真の上でマウスの左ボタンをクリックすると、画面の左下に写真情報が表示されます。
9. イベント番号の横のボックスにチェックを入れるとファイルが選択され、「**選択**」の横のボックスにチェックを入れるとページ内のすべての画像が選択されます。
10. 選択されたファイルの数、合計サイズの情報が画面右下に表示されます。
11. ファイルを選択した後、 ボタンをクリックすると、USB フラッシュドライブに写真が保存されます。または
 ボタンをクリックすると、ピクチャープレビューコントロールウィンドウが表示されます。

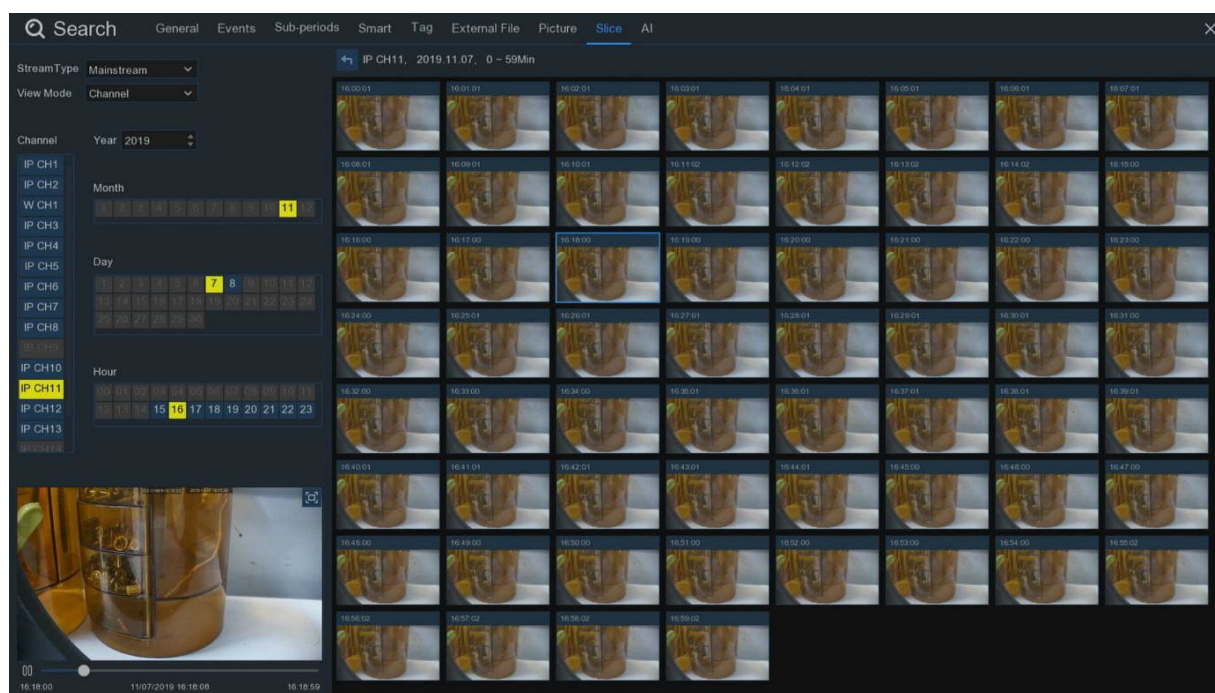
6.1.7.1 ピクチャープレビューコントロール



1. ピクチャーリスト、ここで写真を選択することができます。
2.  ボタンをクリックすると、選択した写真がUSBメモリーに保存されます。 ボタンをクリックすると、写真がスライドショーで表示されます。
3.  ボタンを押すと、プレビュー制御ウィンドウを終了し、画像検索ウィンドウに戻ります。 ボタンを押すと一時停止し、 を押すとスライドショーが再開します。
 ボタンを押すと、前のスナップショットまたはスナップショットのグループが表示され、
 を押すと、次のスナップショットまたはスナップショットのグループが表示されます。
 ボタンをクリックすると1枚のスナップショットが、 ボタンをクリックすると4枚のスナップショットが 、ボタンを押すと9枚のスナップショットが一度に表示されます。

6.1.8 スライス

スライス再生では、分単位で動画を再生することができます。



ストリームタイプ、チャンネル、月、日、時間を一つずつ選択すると、60枚のスライス映像が飛び出します。

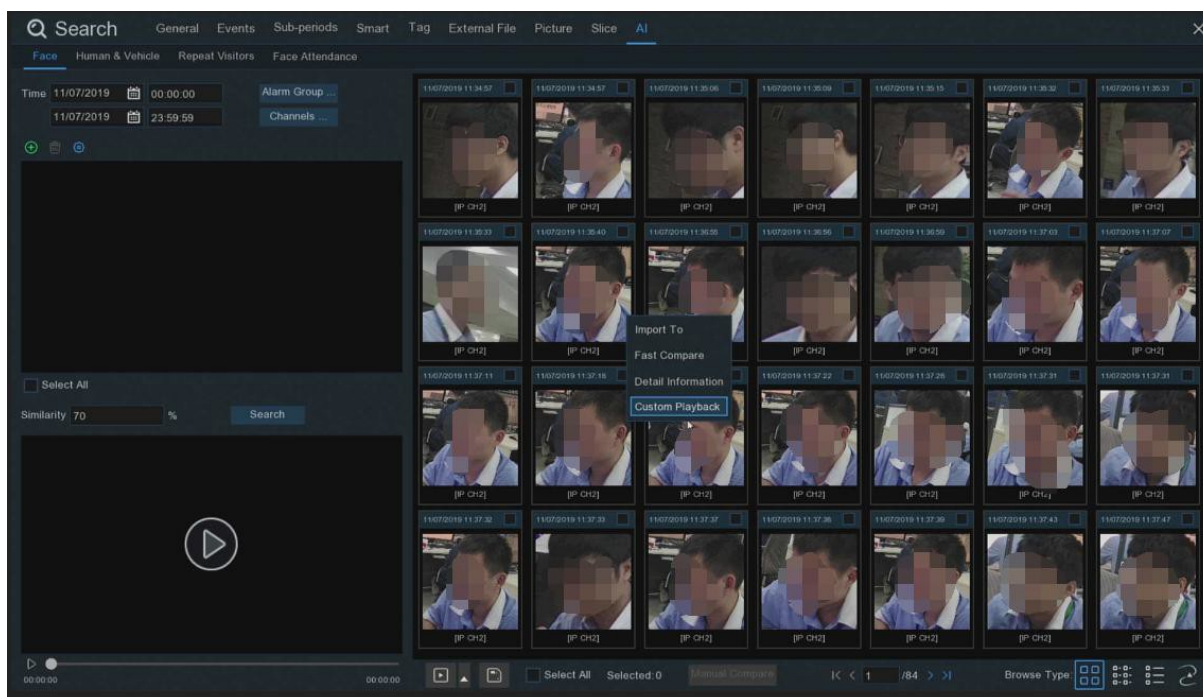
を選択した場合、各ハウスは1分となります。左下をクリックすると再生されます。🔍 をクリックすると

通常再生 **View Mode: チャンネル** を選択した場合、検索前にチャンネルのみを選択することができます。時刻を選択した場合は、検索前に時刻のみ選択可能です。

6.1.9 エーアイ

6.1.9.1 顔

日付、時間、チャンネル、顔管理グループを選択し、検索をクリックすると、この特定の時間




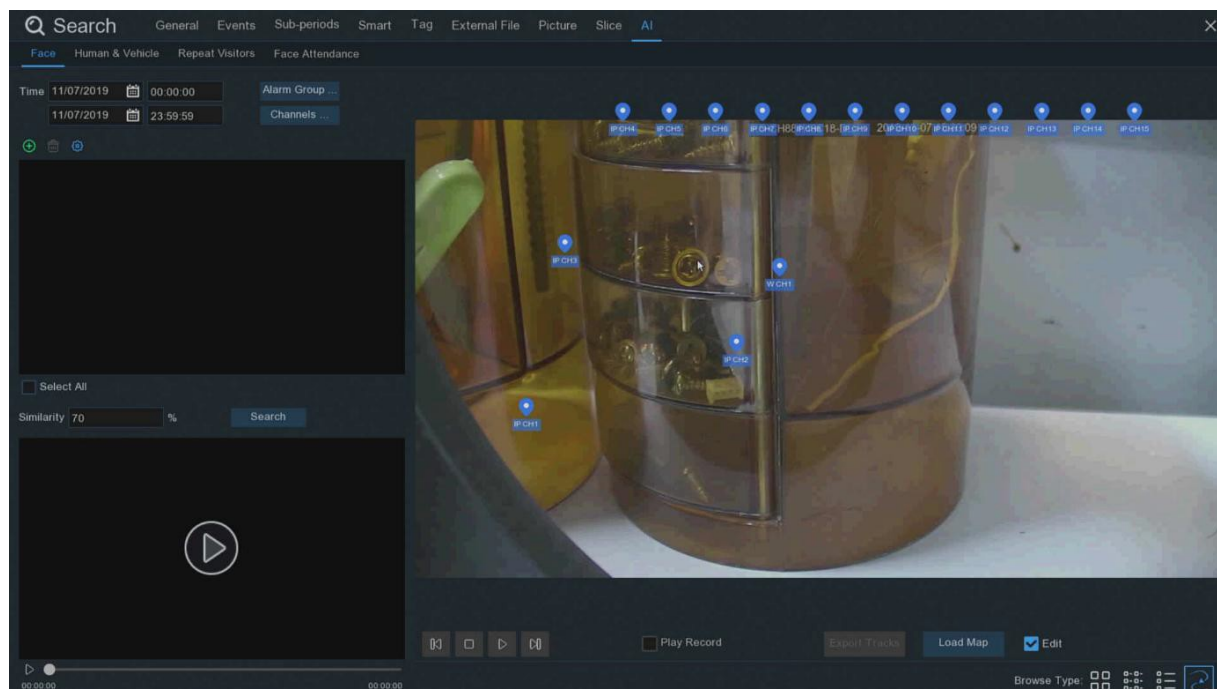
、グループのすべての顔情報を検索することができます。


をクリックして検索顔を追加するか、マウスを右クリックして「**高速比較**」を選択して検索してください。 をクリックすると写真が削除され、 をクリックすると AI 管理インターフェイスに飛びます。**インポート]** をクリックすると、写真がグループにインポートされます。**詳細情報]** をクリックすると、顔の詳細情報が表示されます。**カスタム]** をクリックします。

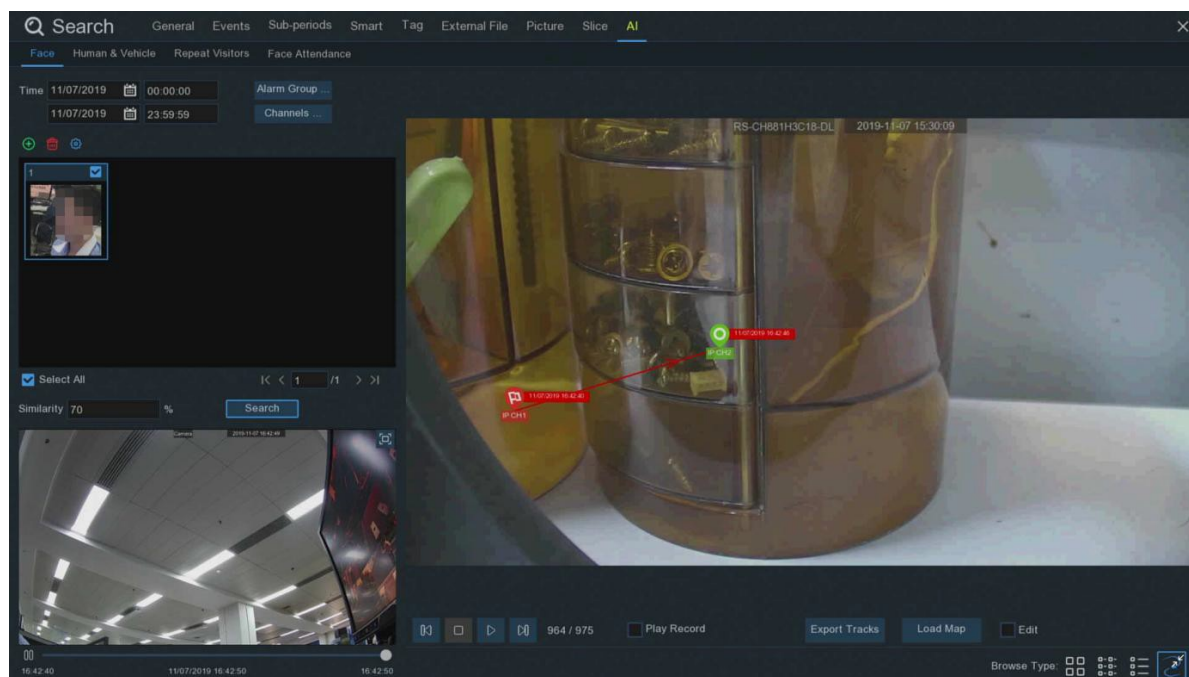
再生 この顔が検出されたときに再生します。 をクリックすると、別の表示形式を選択できます。

6.1.9.1.1 イーマップ

右  下隅をクリックすると、E-map トラッキングメニューが表示されます。



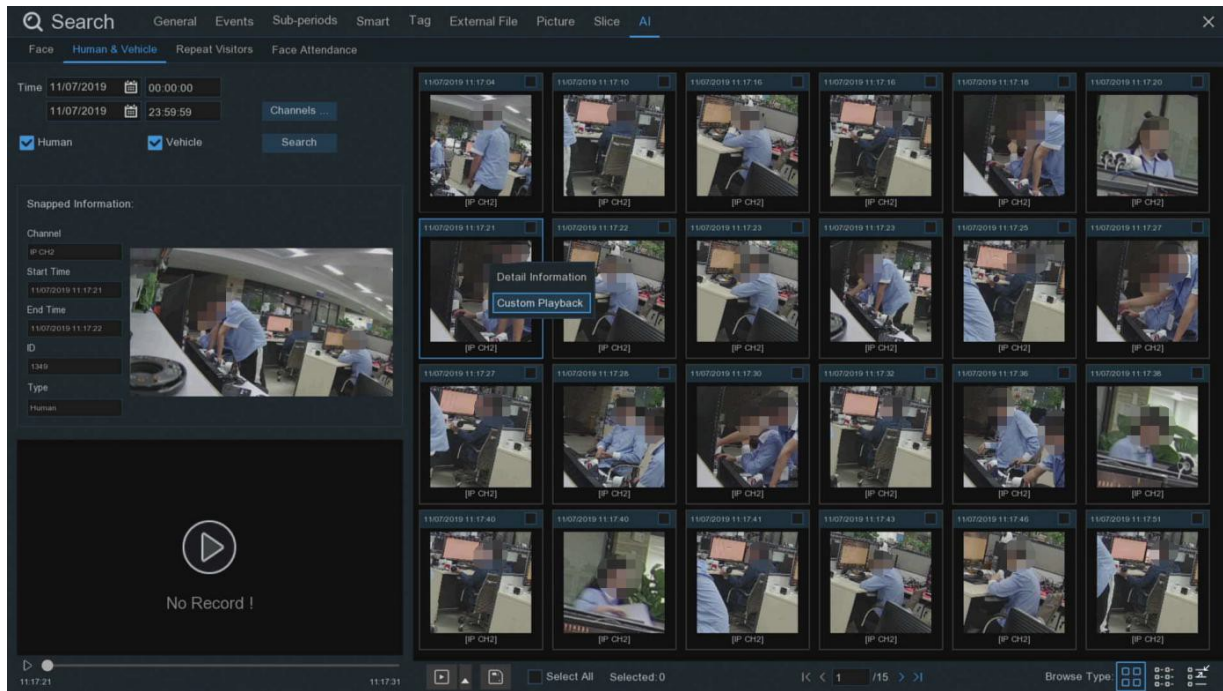
Load Mapをクリックすると、USBディスクがポップアップし、地図が追加されます。EditをクリックしてIPCアイコンを好きな位置に移動し、クリックを解除して編集モードを終了します。次に、 ，ローカル顔管理リストまたはUSBディスクから顔を選択し、検索をクリックします（1つの顔の検索のみサポート）。どのIPCがこの顔を検出したか検索できます、それは地図上にカラーマークが表示されます。



IPCのアイコンの上でマウスを左クリックすると、右隅に簡易再生が表示されます。複数のカメラで1人の顔を検出した場合、その人の移動方向を認識し、矢印マークを描画します。

6.1.9.2 人・車両

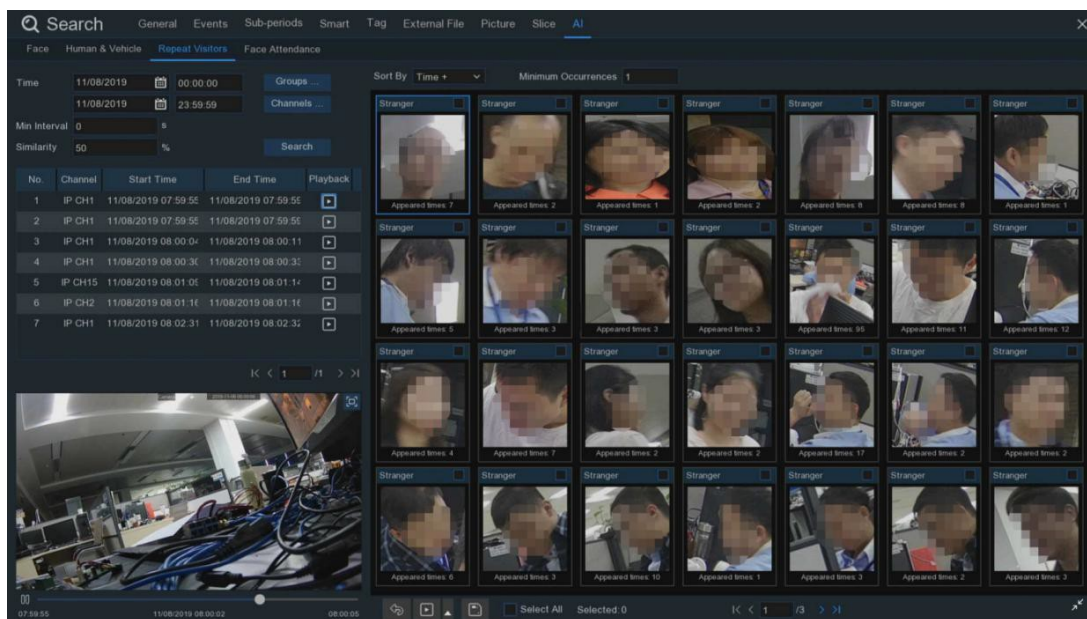
日付、時間、チャンネル、人と車両を選択し、検索をクリックすると、この特定の時間とグループからすべての人と車両の情報を検索することができます。



マウスを左クリックすると、左側に基本情報が表示されます。マウスを右クリックすると、カスタム再生と詳細情報が表示されます。左下隅をクリックすると簡易再生、ダブルクリックするとズーム、エンターをクリックすると通常再生になります。

6.1.9.3 リピーター

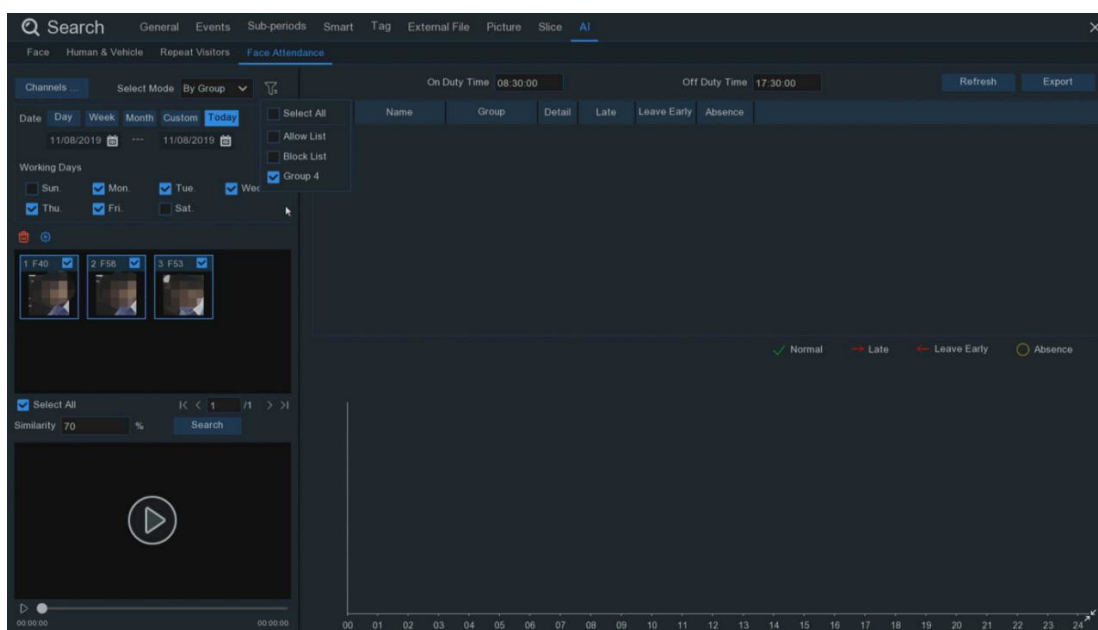
一つの顔が何回出てくるか検索して計算する



日付、時間、期間を選択し、検索をクリックします。マウスを左クリックすると、検索結果が表示され、左側には詳細再生と情報が表示されます。マウスを右クリックすると、顔の取り込みと詳細情報が表示されます。

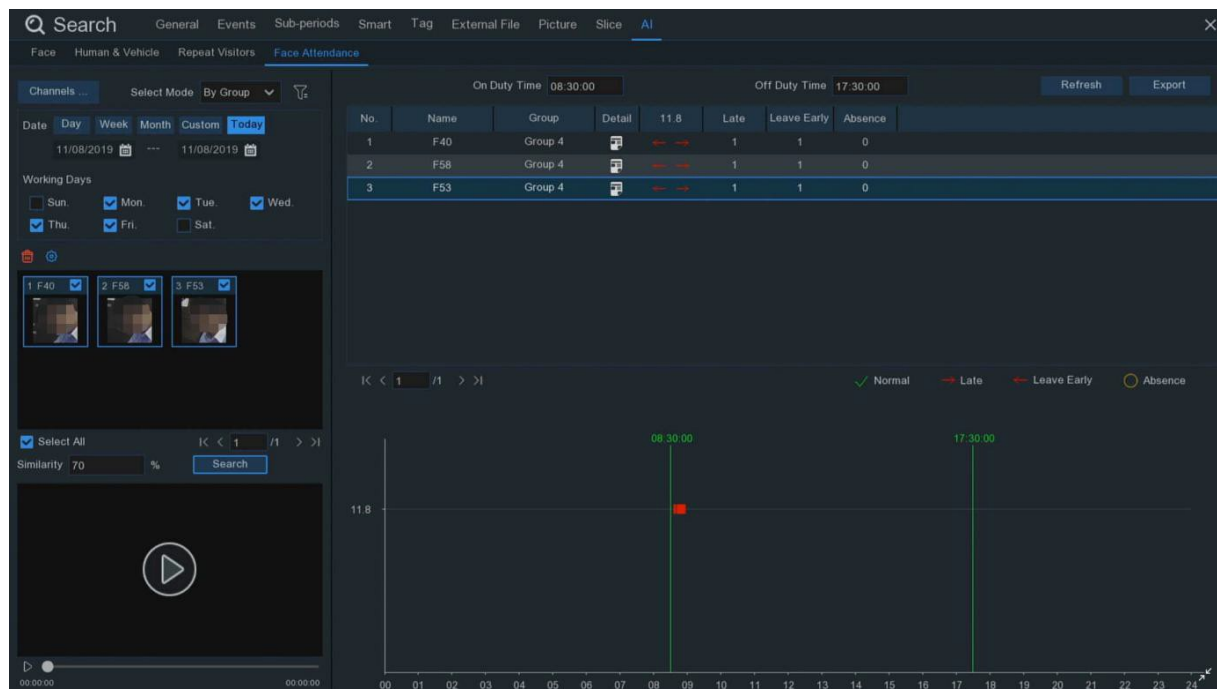
6.1.9.4 フェイス・アテンダンス

特定の時間帯にその人が出現しているかどうかを確認し、遅刻や早退を判断することができます。

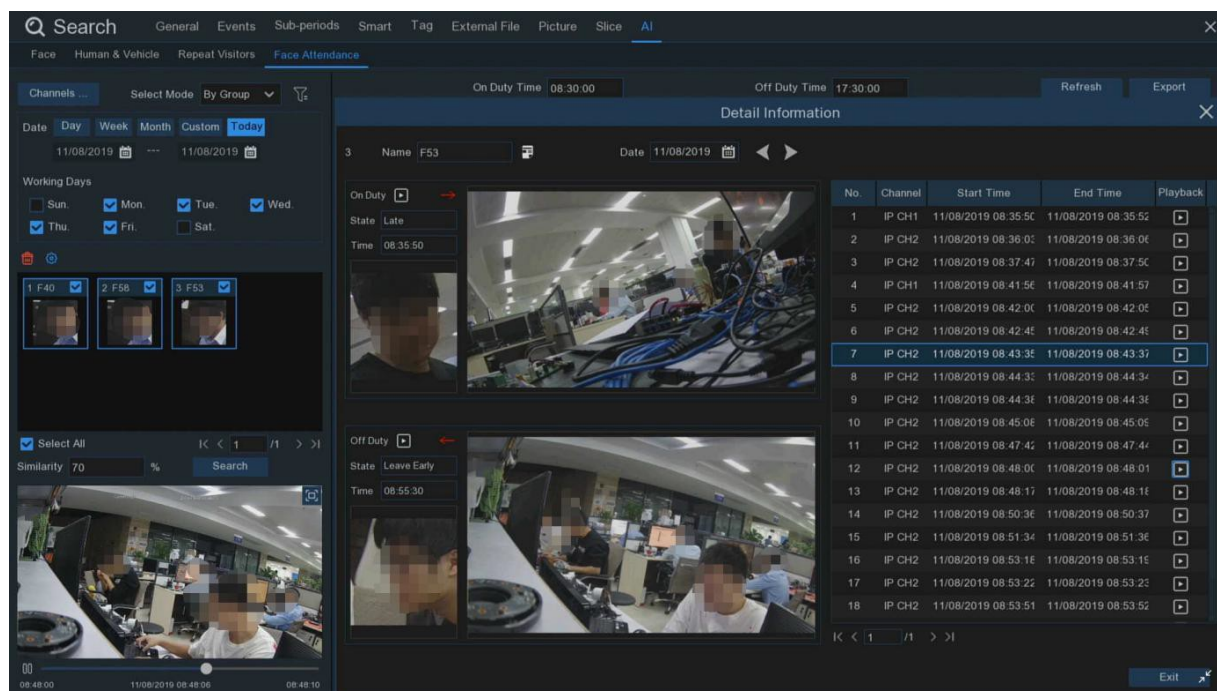


チャンネル、日付、営業日、グループを選択すると、自動的にこのグループのすべての顔情報が表示され、その後、検索したい顔をクリックし、検索をクリックし、結果を取得します。

。



1つの結果をクリックすると、下には検出されたすべてのレコードが表示されます。クリック詳細アイコン、詳細情報のインターフェイスを入力します。



また、最初の登壇者と最新の登壇者の時刻を含む詳細な出席情報を取得することができます。左下隅にある再生アイコンをクリックすると、簡単に再生することができます。

第7章 Webクライアントによるリモートアクセス

Web Clientを使用して、PCからいつでもNVRにリモート・アクセスすることができます。

Web Clientにアクセスする前に、NVRのインターネット設定が正しく構成されていることを確認する必要があります。

7.1 基本システム環境要件

Web Clientを動作させるために必要なハードウェアとOSの最小要件は、以下のとおりです。

項目	最小	おすすめ
CPU	インテル® Core™ i5 CPU	インテル® Core™ i5以上のCPU
ラム	4G以上	8G以上
ハードディスク	500G以上	1000G以上
ディスプレイRAM	2G以上	4G以上
ディスプレイの解像度	1280*1024	1920*1080
OS	Windows 7 以上 Mac OS X® 10.9以上	
DirectX	DirectX 11	
Direct3D	アクセラレーション機能	
イーサネットアダプター	10/100/1000Mイーサネットアダプター	
アイイー	Microsoft Internet Explorer (Ver. 11,10,9,8)。Edgeには対応していません。	
Mozilla Firefox	V51以下です。V52以上のバージョンには対応していません。	
グーグルクローム	V44以下です。V45以上のバージョンには対応していません。	
Mac Safari	5.1以上	

7.2 Webプラグインのダウンロードとインストール

Web Clientにアクセスするには、次のようにします。

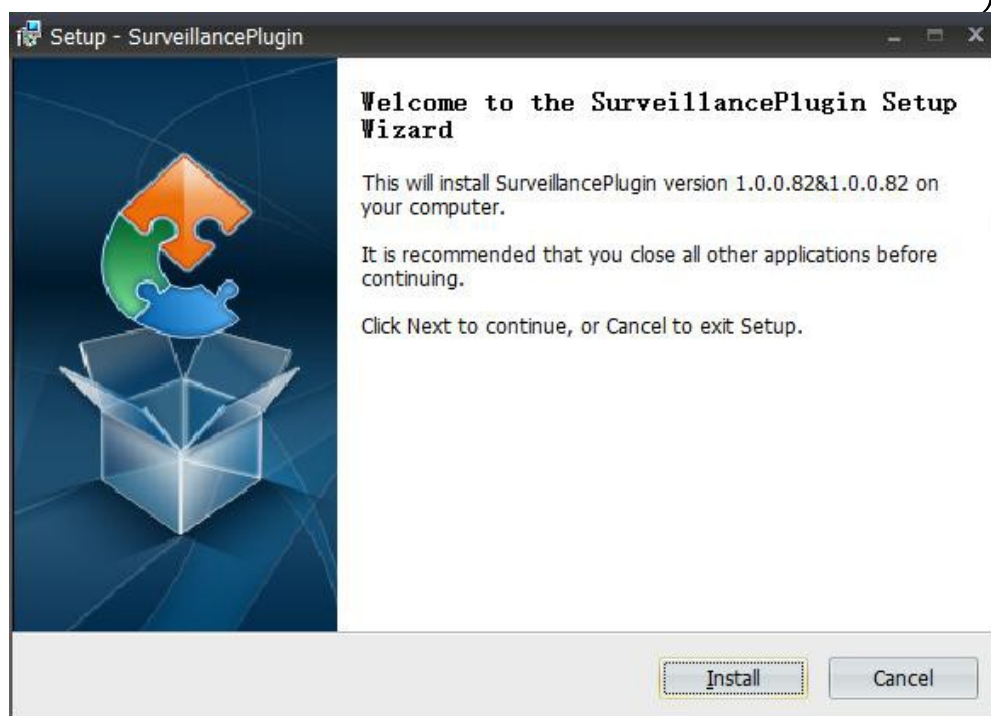
IE/Chrome/Firefoxの場合。

1. PCでエクスプローラを起動し、URLボックスにNVRのIPアドレスまたはNVRに設定したDDNSドメイン名(Host Name)を入力します。
2. 初めてWebクライアントを起動する場合は、Webクライアントプラグインのインストールが必要です。
。クリック
をクリックして、プラグインをダウンロードし、コンピュータにインストールしてください。

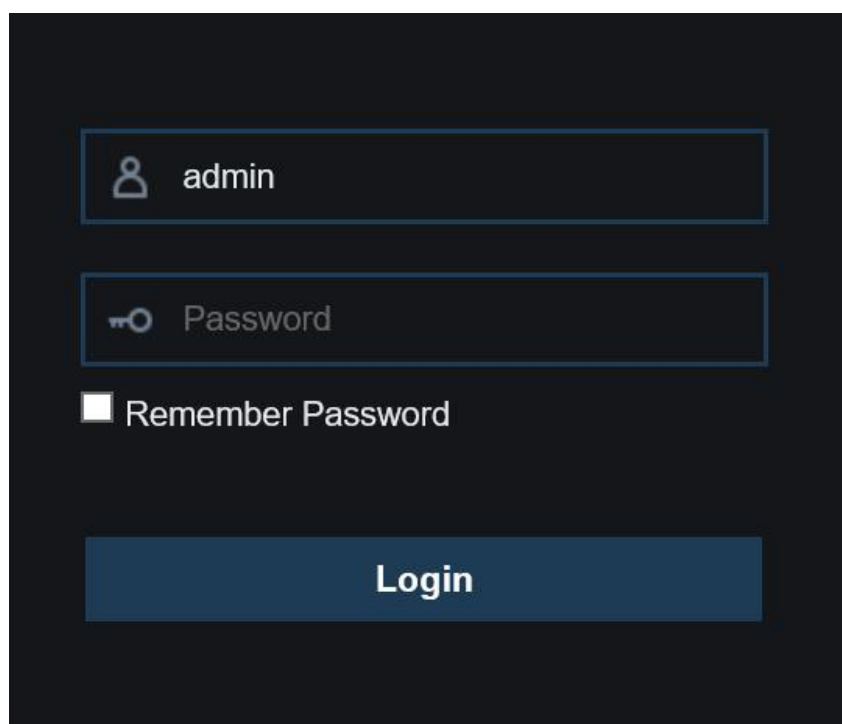
You haven't installed the plugin or it is not the latest version.

Please click [download](#) to download the latest plugin.

Please close browser before plugin installation!!!



3. プラグインをインストールした後、ブラウザを終了して再度起動し、手順1を繰り返して

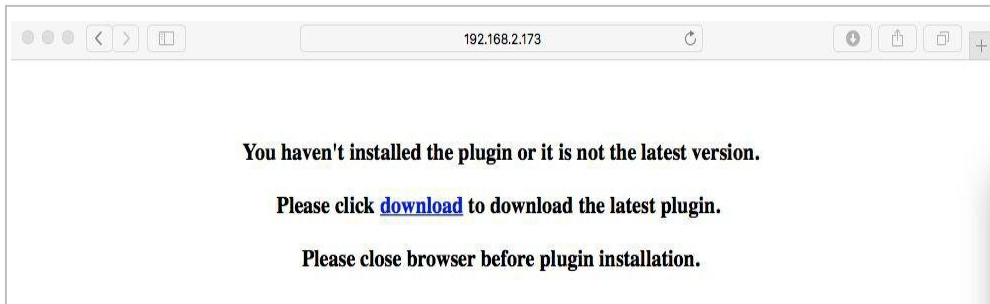


ログインページを開いてください。ユーザー名とパスワードを入力して、ウェブクライアントにログインしてください。

注) Google Chromeをご利用の場合は、Version V41以下をご利用ください。V42～V44をご利用の場合は、NPAPIプラグインを有効にする必要があります。URLバーに<chrome://flags/#enable-npapi>と入力し、NPAPIを検索して有効化してください。V45以上には今のところ対応していません

Mac Safariの場合。

1. MacのSafariを起動し、URLボックスにNVRのIPアドレスまたはNVRに設定したDDNSドメイン名(Host Name)を入力します。

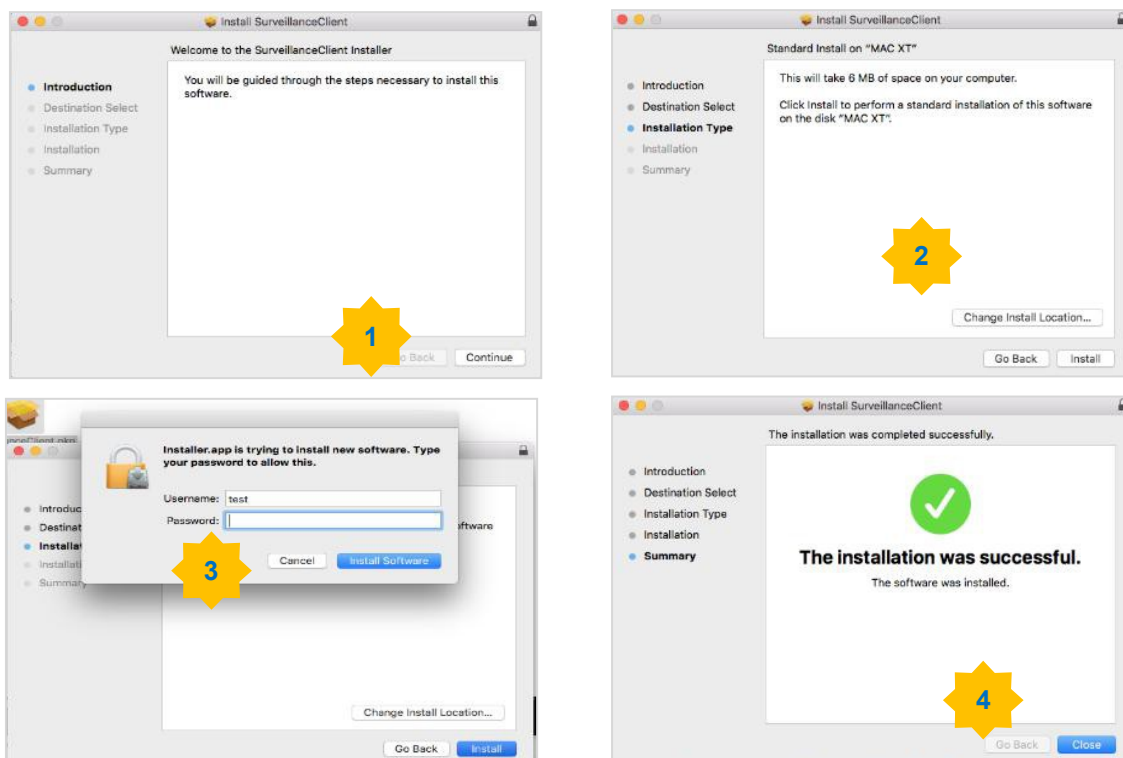


2. プラグイン「SurveillanceClient.dmg」をダウンロードし、ダウンロードしたファイルを探して、ダブル



クリックします。

3. 続行」→「インストール」をクリックします。Macのユーザー名とパスワードを入力し、「ソフトウェアのインストール」→「閉じる」をクリックすると、インストールが完了します。



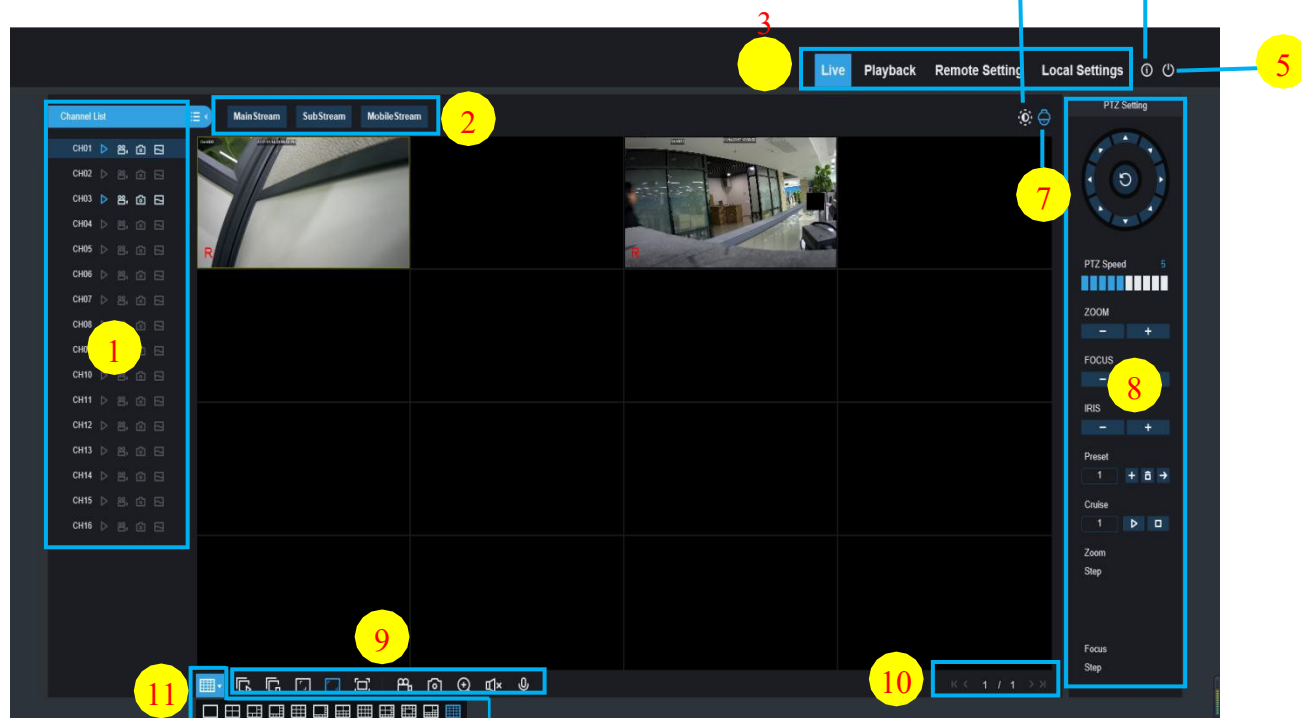
4. Safariを閉じてもう一度開くと、手順1を繰り返してWeb Clientのログイン画面が表示されます。

7.3 ウェブクライアントマネージャー


ウェブ・クライアントは、管理者アカウントでNVRを完全に制御することをサポートします。不正なログインを防ぐために、ユーザー名とパスワードは必ず保護してください。



7.3.1 ライブインターフェース



Web Clientにログインした後、最初に関く画面です。ライブプレビューの開閉、ローカルコンピュータへの手動録画、画面スナップショット撮影、PTZ制御、色調整などが行えます。






1- チャンネルリスト。クイックカメラ機能のためのチャンネルリストを開く

 ボタンをクリックすると、チャンネルリストが表示され、ボタンをクリックするとチャンネルリストが非表示になります。

  ライブビデオストリームのオン/オフを切り替えます。ライブビデオストリームがオンの場合、ボタンは青色で表示されます。

  手動録画のボタンです。クリックすると、ライブストリーム映像の手動録画が開始されます。もう一度クリックすると、録画が停止します。手動録画は、パソコンに保存されます。録画中は、ボタンが青く表示されます。

 手動スナップショットボタンをクリックすると、現在のライブディスプレイのスナップショットをパソコンに保存します。

  ビットレートボタン。メインストリーム、サブストリーム、モバイルストリームの映像設定を使用するようカメラを設定します。モバイルストリームはIPチャンネルのみ使用可能です。

2- ライブビデオストリームのオプション。

メインストリームすべてのライブ映像を高画質のメインストリーム映像設定で表示します。サブストリームすべてのライブ映像を中画質のサブストリーム映像で表示します。モバイルストリーム。帯域を節約するために、低画質のモバイルストリームのビデオ設定ですべてのライブビデオを表示します。IP チャンネルのみで利用可能です。

3- 主なメニューです。

ライブカメラからのライブ映像を見ることができます。

再生する。NVRのHDDに保存されている録画されたビデオを表示します。

リモート設定。NVR設定メニューの機能にアクセスします。

ローカル設定。Web Clientで撮影した録画やスナップショットのダウンロード先を設定したり、動画ファイルのファイル形式を選択したりすることができます。

4- インフォメーションです。カーソルを合わせると、システムの詳細が表示されます。

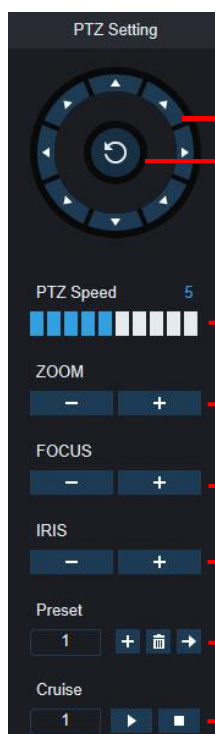
5- 退出する。

6- カラーコントロール。クリックすると、カラーコントロールの表示/非表示が切り替わります。



7- PTZコントロール。PTZ カメラを使用するための PTZ コントロールをクリックで表示または非表示にします。

8- PTZコントロール



方向矢印。クリックするとPTZカメラが移動します
自動ラインスキャン

PTZスピードクリックすると、PTZ カメラの移動速度を設定できます。

ズーム：-/+をクリックすると、拡大・縮小します。

フォーカスをクリックすると、フォーカスを調整できます。

アイリスアイリスを調整するには、-/+をクリックしま

プリセットポイントプリセットポイントの追加
、削除、またはプリセットポイントへの移動。

クルーズPTZクルーズの開始/停止

9- ライブビューコントロールボタン。



ライブウィンドウで画像を開く。

すべてのLiveチャンネルを閉じる

オリジナル・プロポーションライブ映像をオリジナルのプロポーションで表示

ストレッチを行います。画面上の各チャンネルの全領域に収まるようにライブ映像を引き伸ばします。 ウェブクライアントをフルスクリーンに拡大する場合。

手動録画。クリックすると、表示されているすべてのチャンネルの手動録画が開始されます。もう一度クリックすると録画が停止します。手動録画は、パソコンに保存されます。

スナップショット現在表示されているすべてのチャンネルのスナップショットをパソコンに保存します。 デジタルズーム：ライブ画像上でクリックし、ライブ画像の領域上でクリック&ドラッグすると拡大表示されます。右クリックで通常の見え方に戻ります。

音量調整。 音量はミュートです。

10- ナビゲーションです。画面に表示されているチャンネルの現在のページ番号が表示されます。矢印キーでページを切り替えます。

11- ページビュー。クリックすると、一度に画面に表示されるチャンネル数を選択できます。

7.3.2 プレイバック

NVR内部のHDDに保存されている録画映像を検索&再生したり、映像をパソコンにダウンロードしたりすることができます。

Live Playback Remote Setting Local Settings

2017 10

S M T W T F S

1 2 3 4 5 6 7

8 9 10 11 12 13 14

15 16 17 18 19 20 21

22 23 24 25 26 27 28

29 30 31

Type All

Stream MainStream

Synchronous playback

CH01 IP CH01

CH02 IP CH02

CH03 IP CH03

CH04 IP CH04

IP CH05

IP CH06

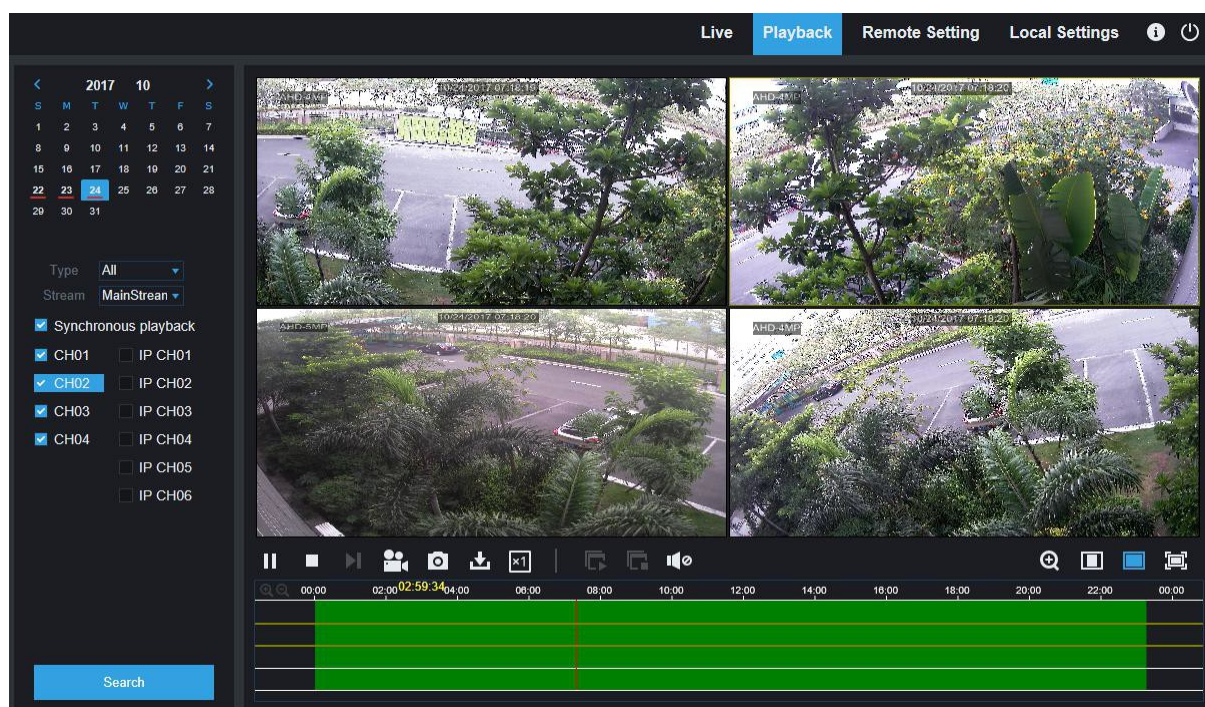
Search

00:00 02:00 02:59:34 04:00 06:00 08:00 10:00 12:00 14:00 16:00 18:00 20:00 22:00 00:00

録音を検索するには

1. ウィンドウの右上にある **[再生]** をクリックします。
2. カレンダーから録画検索したい日を選択します。録画がある日は赤いアンダーラインで表示されます。
3. **[タイプ]** の隣にあるドロップダウンから検索する録画タイプを選択するか、**[すべて]** を選択してすべての録画を検索します。
4. 検索・再生したいビデオストリームを選択します。サブストリームの録画を再生する場合は、[5.2.2.1 Record](#)でNVRをDualstreamで録画するよう設定したことを確認してください。
5. 録画検索したいチャンネルにチェックを入れます。**同期再生**にチェックを入れると、全チャンネルを一度に再生することができます。
6. **検索** をクリックします。
7. 検索条件に合う録画がタイムライン上に表示されます。再生を開始したいビデオの部分をクリックし、▶再生ボタンをクリックします。

7.3.2.1 プレイバックコントロールボタン




▶ 録画の再生 | 一時


停止


■ 停止

▶ 1フレーム進む。再生中のフレームを1フレームずつ移動します。が表示されているときのみ有効です。

同期再生オプションがチェックされていない。

 再生中のチャンネルをクリックし、録画ボタンをクリックすると、現在の映像がコンピュータに録画されます。もう一度クリックすると録画が停止します。

 再生中のチャンネルをクリックし、キャプチャボタンをクリックすると、スナップショットが撮影され、コンピュータに保存されます。


 ダウンロードメニューを開き、複数の録画ビデオを一括してダウンロードすることができます。


	<input type="checkbox"/>	Start Time	End Time	Status	File Size
1	<input checked="" type="checkbox"/>	2017-10-25 00:00:00	2017-10-25 00:01:04	Completed	47.00M
2	<input checked="" type="checkbox"/>	2017-10-25 00:01:04	2017-10-25 00:06:56	2%	253.76M
3	<input type="checkbox"/>	2017-10-25 00:06:56	2017-10-25 00:12:48	Not Downloaded	253.71M
4	<input type="checkbox"/>	2017-10-25 00:12:48	2017-10-25 00:18:41	Not Downloaded	253.91M
5	<input type="checkbox"/>	2017-10-25 00:18:41	2017-10-25 00:24:34	Not Downloaded	253.64M
6	<input type="checkbox"/>	2017-10-25 00:24:34	2017-10-25 00:30:27	Not Downloaded	253.68M
7	<input type="checkbox"/>	2017-10-25 00:30:27	2017-10-25 00:36:18	Not Downloaded	253.75M
8	<input type="checkbox"/>	2017-10-25 00:36:18	2017-10-25 00:42:10	Not Downloaded	253.90M
9	<input type="checkbox"/>	2017-10-25 00:42:10	2017-10-25 00:48:03	Not Downloaded	253.74M
10	<input type="checkbox"/>	2017-10-25 00:48:03	2017-10-25 00:53:56	Not Downloaded	253.63M


10 | 1 / 10 | Show from 1 to 10, total 95. Per page : 10


Start Download Stop Download

ダウンロードしたいファイルを選び、「**ダウンロード開始**」ボタンを押すと、ダウンロードの状況が表示されます。停止するには、**ダウンロードを停止する**ボタンを押してください。

 **再生速度**。クリックすると、再生速度が選べます。


 **すべてのチャンネルを再生する**。クリックすると、検索したすべてのチャンネルを再生します。**同期**再生にチェックが入っていない場合のみ使用可能です。

 **全チャンネルを停止する**。クリックすると全チャンネルの再生が停止します。**同期 playback**オプションがチェックされていない。

 **デジタルズーム**：再生中の動画をクリックし、動画上の任意の場所をクリック&ドラッグすると拡大表示されます。右クリックで通常の見え方に戻ります。

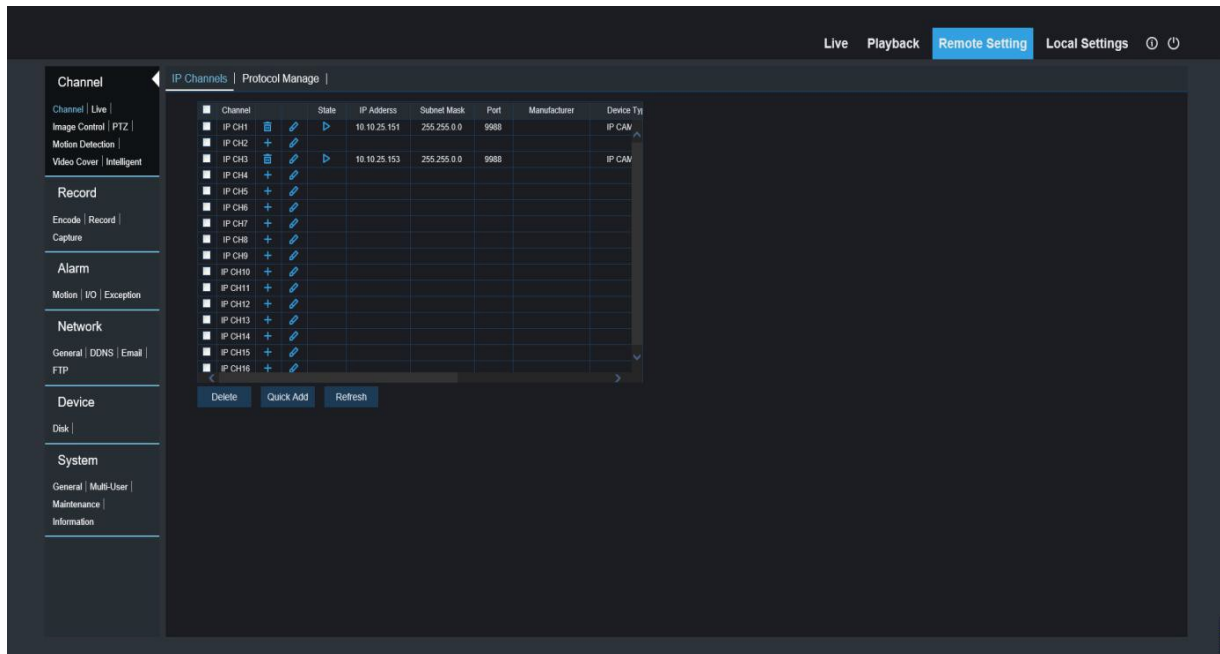
オリジナルのプロポーショナル再生している動画を元の比率で表示します

ストレッチを行います。再生中のビデオを、画面上の各チャンネルの全領域に合わせるように引き伸ばします。

 **Webクライアントをフルスクリーンに拡大するには**

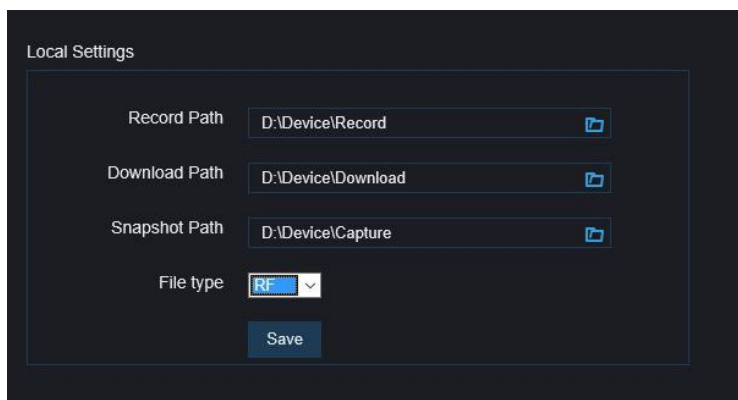
7.3.3 リモート設定

ここでは、NVR の設定をリモートで行うことができます。NVR の設定の詳細については、「[第5章 NVR システム設定](#)」を参照してください。



7.3.4 ローカル設定

Web Clientで撮影した録画やスナップショットのダウンロード先を設定したり、動画ファイルの



ファイル形式を選択したりすることができます。

記録パス。 📁 をクリックして、手動で録画したビデオをコンピュータに保存するフォルダを参照し、選択します。

ダウンロードのパスです。 📁 をクリックして、ダウンロードした録画ビデオをコンピュータに保存するフォルダを参照し、選択します。

スナップショットのパス 📁 をクリックして、手動キャプチャーのスナップショットをコンピュータに保存するフォルダを参照し、選択します。

ファイルタイプ。 手動録画に適したファイル形式を選択します。

保存します。クリックすると、変更内容が保存されます。

第8章 バックアップした映像をPC/Macで 見る

ここでは、CDに付属の強力なビデオプレーヤーで、バックアップファイルを再生する方法を紹介します。

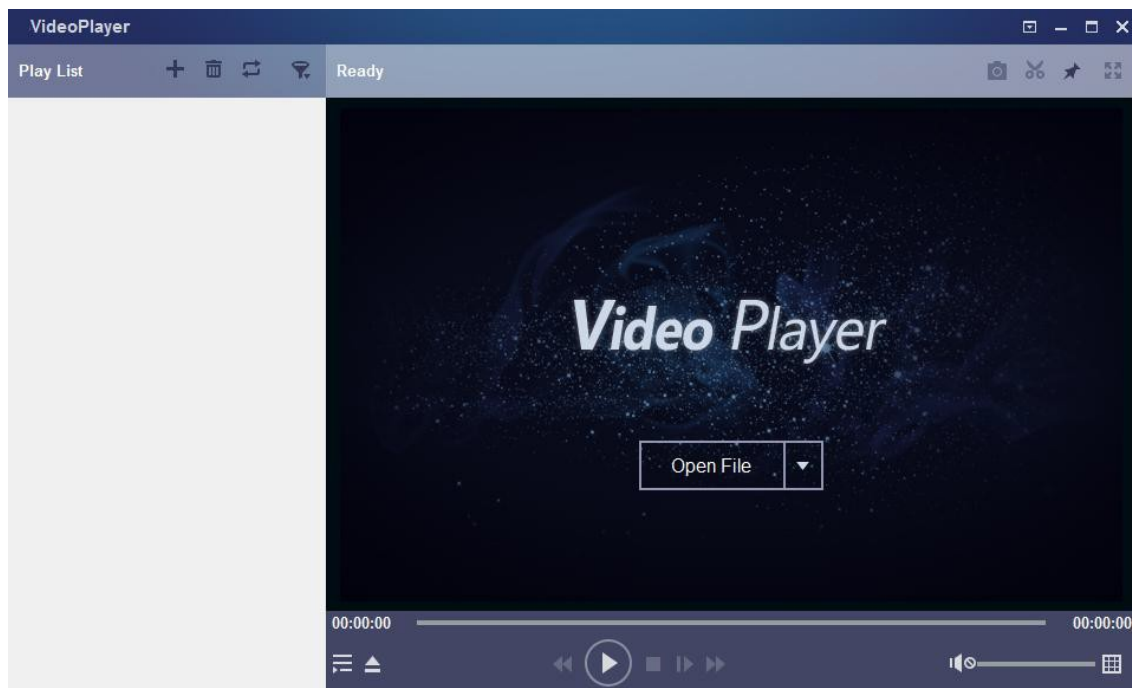
Macの方は、例えば「VideoPlayer_x.x.xx_xxx_x.dmg」のように、アプリをインストールしてください。VideoPlayer_1.0.15_2017_01_6.dmg.

PCをご利用の方は、例えば「VideoPlayer_x.x.xx_xxx_xx.exe」というソフトをインストールしてください。VideoPlayer_1.0.15_2017_01_06.exe.

最小システム要件

- Intel Pentium 4 以上
- Microsoft Windows XP / Vista / 7 / 8 / 10
- 256MB RAM
- 16MBビデオメモリ

1. CD内のVideo Playerソフトをインストールし、実行する。

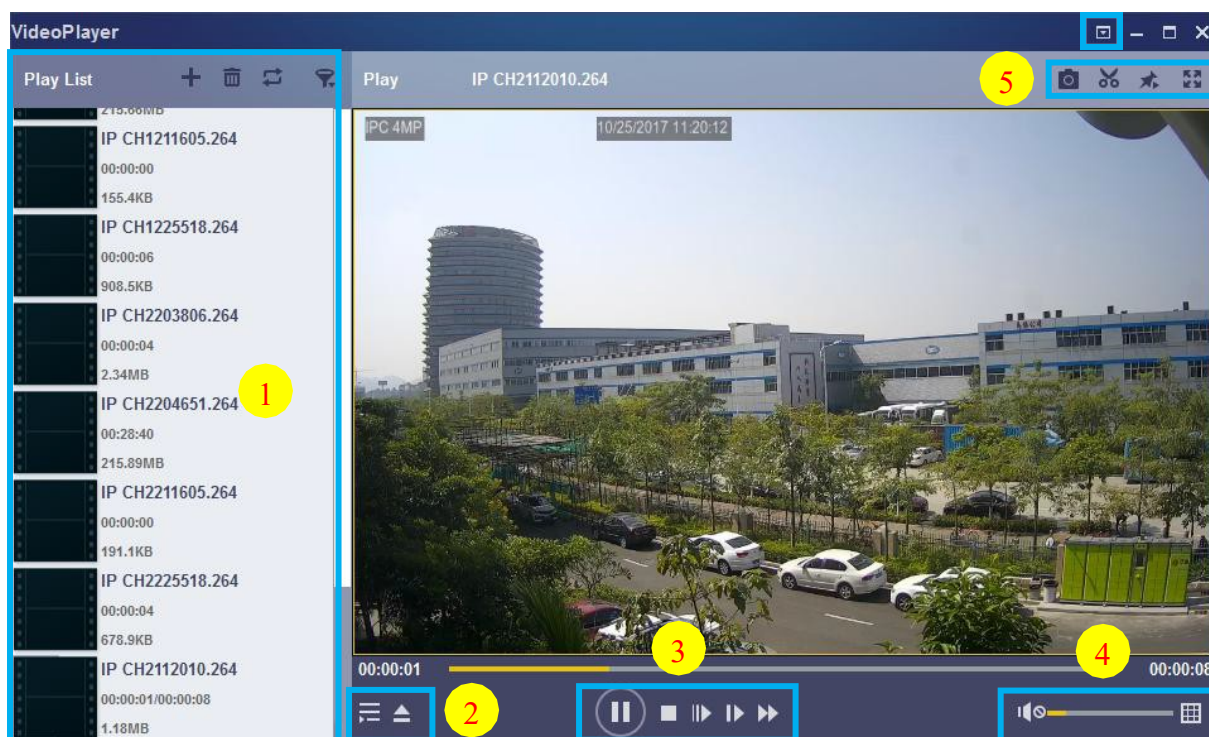


2. バックアップファイルをパソコンにコピーする。
3. **ファイルを開く** ボタンをクリックするか、再生リスト上の「+」ボタンをクリックして、単一または複数のビデオファイルを読み込みます。それは




は、".rf", ".avi", ".mp4", ".264", ".265"ファイルの追加と再生に対応しています。▼ ボタンをクリックすると、バックアップされた動画があるフォルダをロードします。

ビデオプレーヤー制御


6



1. 再生リスト

-  ファイルを
-  追加するフ
-  ァイルを削
- 除する







再生モードの選択：1つのファイルを再生して停止する、リストされたすべてのファイルを順番に再生する、1つのファイルを繰り返す、すべてのファイルを繰り返す。

-  ファイル名で絞り込む


2. プレイリストの表示/非表示

-  クリックすると、ファイルを開いたり、フォルダーを読み込んだりすることができます。

3. プレイコントロール


-  Play
-  Pause
-  Stop
-  フレーム単位で再生します。1回クリックすると動画の1フレームが再生されます
-  スロー再生、1/2、1/4、1/8、1/16の速度
-  早送り、x2、x4、x8、x16



4. 音量調整


-  マルチスクリーン再生。一度に複数の動画を再生することができます。マルチスクリーン

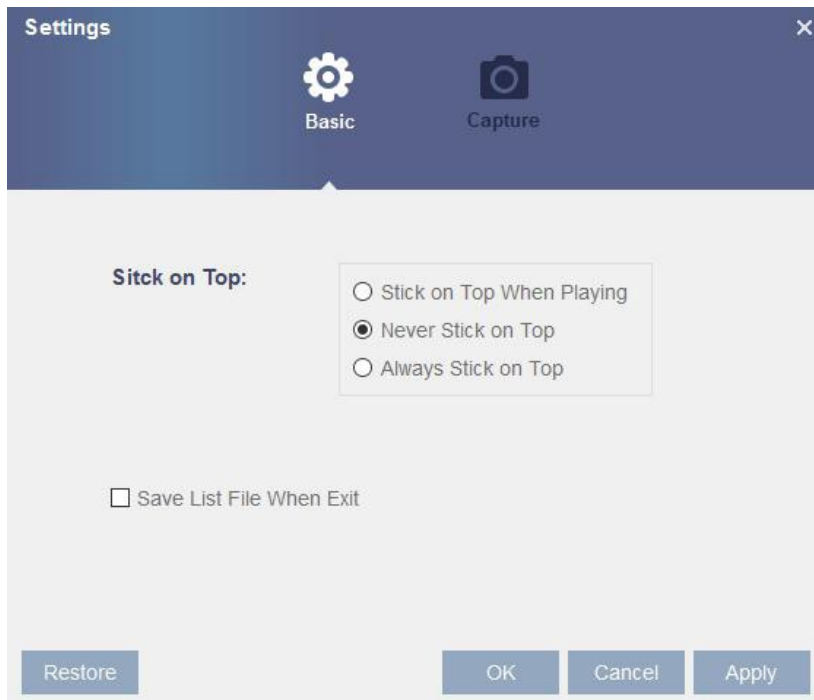
を選択すると、プレイリストのビデオを再生画面にドラッグすることができま

5.  スナップショットを撮る

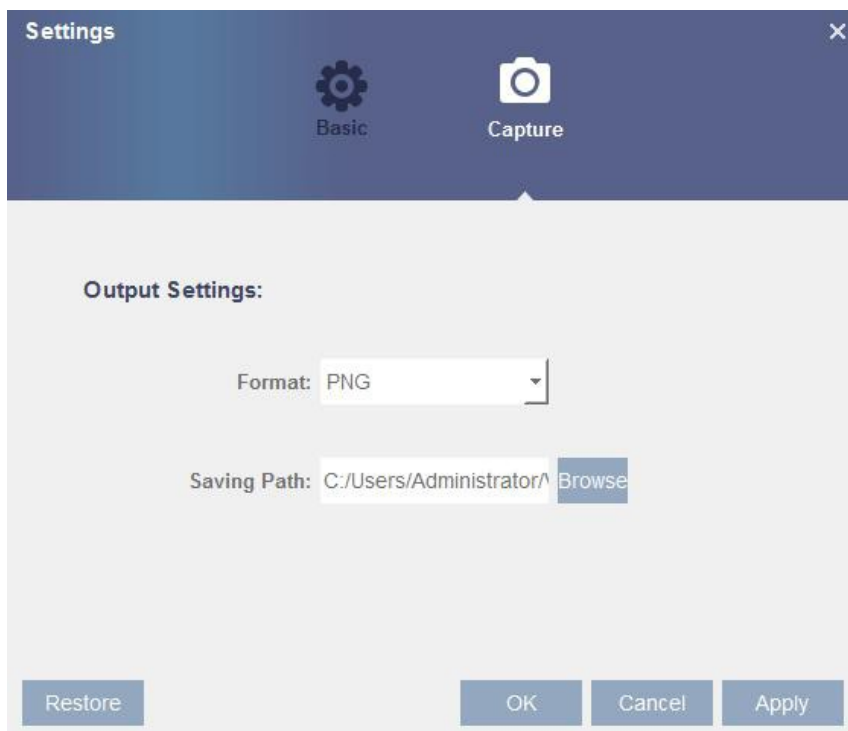
 ビデオクリップをパソコンに保存するにはを1回押すとビデオクリップが始まり、もう一度押すと終わります。

-  ビデオプレーヤーをトップに表示する
-  ビデオの再生画面をフルスクリーンに拡大する

6.  アドバンスドセットアップメニューはビデオプレーヤーのOSD言語を選択し、ビデオプレーヤーの設定を構成することができます。



基本的な設定です。オントップモードの設定

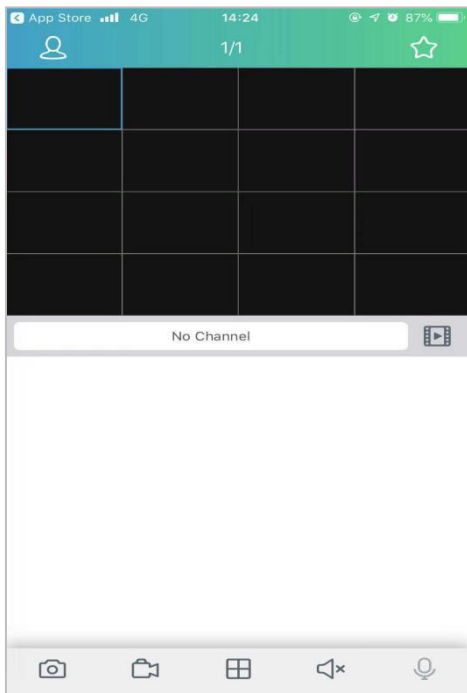


キャプチャーの設定です。スナップショットの保存形式と保存パスを設定します。

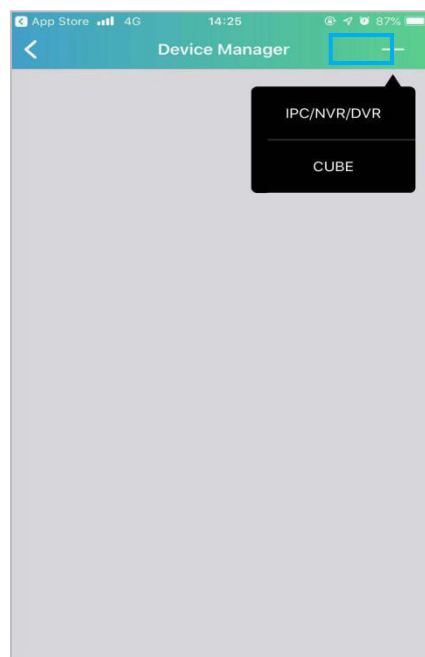
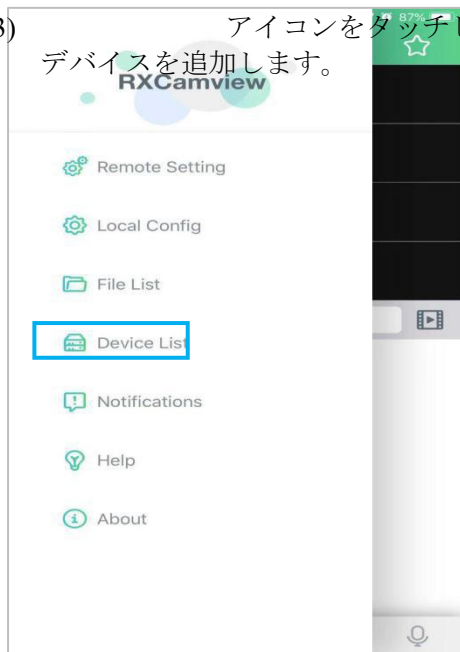
第9章 モバイル端末を使ったリモートアクセス

NVRは、AndroidおよびiOSオペレーティング・システムをベースとしたモバイル・デバイスからのリモート・アクセスをサポートします。

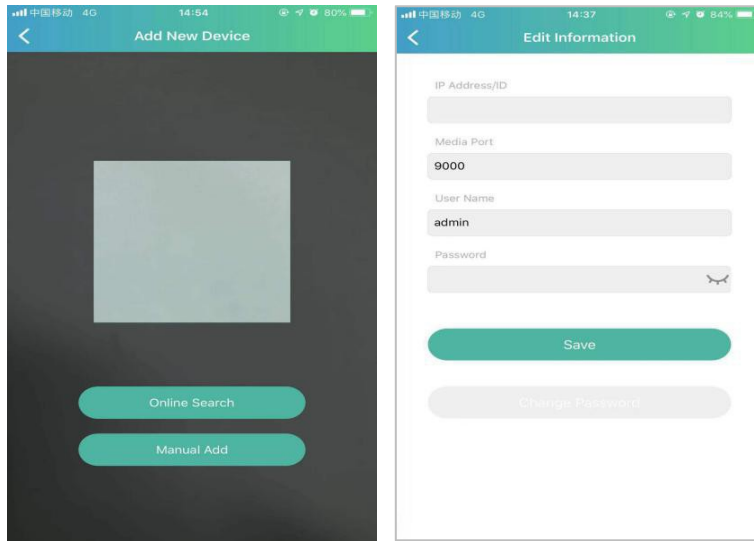
- 1) アンドロイド端末ではGoogle Play Store、iOS端末ではApp StoreからRXCamViewを検索し、インストールします。
- 2) アプリを実行すると、ライブビュー画面が表示されます。



- 3) アイコンをタッチしてメニューを開き、"デバイスリスト"を選択し、+をタッチしてデバイスを追加します。



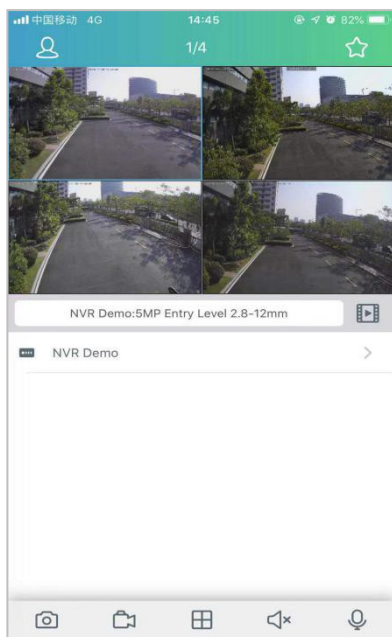
4) 「手動追加」を選択し、NVRの情報を入力します。



AddNewDevice

- 1、QRコードを読み取る：QRコードを読み取ってデバイスを追加する
 - 2、オンライン検索：同じローカルエリアネットワーク内のデバイスを検索し、デバイスを追加します。
 - 3、Manual Add：手動で追加
- IP Address/ID:** IPアドレスまたはP2P IDを入力します。
- メディア・ポート:** NVRネットワーク設定のメディア・ポートを入力します。
- ユーザー名/パスワード:** NVRのユーザー名とパスワードを入力します。

5) すべての設定が完了したら、「保存」をタッチして保存すると、端末が正常に接続されている場合はライブビュー表示になります。



- 1枚表示
- 4枚表示
- 6枚表示
- 8ピクチャーズディスプレイ
- 9ピクチャーズディスプレイ
- 16枚表示

注：このアプリは1つのscreen.Youでmax.16枚の写真を表示し、他の16枚の写真を見るために次の画面に移動するために画面をスリップすることができます。合計80枚の写真を表示することができます。

- スナップショットで写真を撮る
- ライブビュー映像をモバイル機器に録画する
- オーディオをオフにする/オンにする
- デュアル・ウェイ・スピーカー (NVRが対応している場合) PTZコントロール
- (IPCが対応している場合)

ライブビュー画像を閉じる（ウィンドウがこのアイコンをポップアウトするまで、ビデオ画像を押して、ライブビューを閉じるために、このアイコンにビデオをドラッグします。）

第10章 付録

10.1 トラブルシューティング

1. Q: システムがHDDを検出しない場合はどうすればよいですか?
A: 電源システムが正しく接続されているか、データコードと電源ケーブルがしっかりと接続されているか、HDDのインターフェースに異常がないか、確認してください。または、仕様書や説明書などを参考にして、お使いのHDDが対応しているかどうかを確認してください。
2. Q: パスワードを変更したのですが、新しいパスワードを忘れてしまったので、どうしたらいいですか?
A: システムのパスワードを忘れてしまった場合は、弊社技術担当者にご相談ください。パスワードは覚えやすく、比較的安全なものを設定することを強くお勧めします。安全性の要求がある場合は、000000のような単純なパスワードは設定しないでください。
3. Q: NVRとカメラを一緒に接続すると、ビデオ信号が異常になったり、ビデオ信号が出なくなったりすることがあります。両方のデバイスの電源はOKです。何が問題なのでしょう?
A: NVR側のネットワークケーブルがしっかりと接続されているか、ケーブルが摩耗して交換が必要であるか、またはNTSCまたはPALが一貫して選択されているかどうかを確認します。
4. Q: NVRが熱の影響を受けるのを防ぐには?
A: NVRは動作中に熱を放散する必要があります。NVRの安定性と寿命を確保するために、熱源から離れた空気の循環のよい場所にNVRを設置してください。
5. Q: モニター画面は正常で、パネル・キーも機能しているのに、NVRのリモート・コントローラーが機能しません。なぜですか?
A: リモコンをフロントパネルのIRレシーバーに向けて、再度操作してください。それでも動作しない場合は、リモコンの電池が消耗していないか確認してください。そうでない場合は、リモコンが壊れていないか確認してください。
6. Q: PCからHDDを取り出して、NVRに取り付けたいのですが、どうすればいいですか?動作しますか?
A: 対応している全てのHDDが使用可能です。しかし、NVRが実行されると、HDDのデータは失われることを忘れないでください。
7. Q: 録音中に再生はできますか?
A: はい。録音しながら再生する機能に対応しています。
8. Q: NVRのHDDにある一部のレコードを消去することはできますか?
A: ファイルの安全性を考慮し、一部の記録を消去しないことがあります。すべての記録を消去したい場合は、HDDをフォーマットしてください。
9. Q: なぜNVRクライアントにログインできないのですか?
A: ネットワークの接続設定が正しいか、RJ-45ポートが正常に接触しているかを確認してください。また、アカウントとパスワードが正しく入力されていることを確認してください。

10. Q : 再生中にレコードが見つからないのですが？

A: HDDのデータライン接続に問題がないか、システム時刻が正しく調整されているかを確認してください。何度か試してみて、再起動してください。それでもうまくいかない場合は、HDDが壊れていないかどうか確認してください。

11. Q: なぜNVRはPTZを制御できないのですか?A: 確認してください

。

- a) フロント側のPTZが故障している。
- b) PTZデコーダーの設定、接続、設置が正しくない。
- c) NVR の PTZ 設定が正しくありません。

- d) PTZデコーダーのプロトコルがNVRのそれと一致しない。
- e) PTZデコーダーのアドレスがNVRのアドレスと一致していません。
- f) 多数のデコーダを接続する場合、PTZデコーダのABラインの一番遠い側に120Ωの抵抗を追加して、反射抑制とインピーダンスマッチングを実現する必要があります。そうしないと、PTZの制御が不安定になります。
12. Q : なぜ動的検出がうまくいかないのでしょうか？
A: 動体検知時間と動体検知地域の設定が正しいか、また、感度が低く設定されていないか確認してください。
13. Q : アラームが効かないのはなぜですか？
A: アラームの設定、アラームの接続、アラーム入力信号が正しいかどうか確認してください。
14. Q : ブザーが鳴り続けるのはなぜですか？
A: アラームの設定を確認してください。モーション検出機能が有効で、オブジェクトの動きが常に検出されているかどうか、I/Oアラームが**Always Off**に設定されているかどうかを確認してください。また、対応するHDDのアラーム設定も参照してください。
15. Q : 「STOP」 ボタンを押したり、コンテキストメニューの「録画の停止」をクリックしても録画が停止しないのはなぜですか？
A : 停止または録画停止を押すと、手動録画のみ停止することができます。もし、特定の時間帯にスケジュール録画を停止したい場合は、設定を「録画なし」に変更してください。スタートアップ録画を停止するには、録画モードをスケジュール録画または手動録画に変更してください。その後、所定の方法で記録を停止することができます。また、録画を停止する別の方法として、録画の設定でチャンネルをオフの状態に設定することができます。

10.2 使用環境整備

1. NVRをシャットダウンするには、まずシステムをシャットダウンし、次に電源を切ってください。直接電源を切らないでください。HDDのデータが失われたり、破損したりする可能性があります。
2. NVRを熱源や場所に近づけないでください。
3. 定期的に内部の埃を掃除してください。NVRの換気をよくして、熱をよく放散するようにします。
4. オーディオケーブルやビデオケーブル、RS-232やRS-485などのポートに接続されたケーブルはホットプラグで接続しないでください。ポートが破損する恐れがあります。
5. HDDケーブルやデータケーブルが経年劣化していないか、定期的にご確認ください。
6. NVRのオーディオおよびビデオ信号が他の電子機器によって介入されないようにし、静電気や誘導電圧によってHDDが損傷しないようにしてください。ネットワーク・ケーブルが頻

繁に差し込まれる場合、接続線を定期的に交換することをお勧めします、~~悉~~なければ、入力信号が不安定になることがあります。

7. 本製品はクラスA製品です。それは多分生命に無線妨害をもたらす。このような場合、ユーザーが対策を講じる必要があります。

10.3 付属品 (参考出品)



リモートコントローラー



電源アダプター



保証書



USBマウス



CD

素材部門、送信されたい
かなる部分も、あるいは
部門から事前に書面による許可を得ている。

この文書に記載されている内容は、当社の知的財産です。
本書は、当社の許可なく複製、複写、翻訳、出版など、いかなる形式、手段であっても行うことができます。

当社の製品は継続的に改良されており、予告なく変更される場合があります。しかし、その内容の正しさを保証するものではありません。

弊社は、弊社製品の使用により発生した損害について、一切の責任を負いません。

取扱説明書に記載されている製品の型式は、認識するためのものであり、これらの名称は、他社の登録商標または著作権に属する場合があります。

商品画像は、実際の商品と異なる場合があります。付属品は販売地域によって異なる場合があります。付属品の詳細については、販売店までお問い合わせください。

著作権について